

高松市  
子ども・子育て支援に関するアンケート調査  
結果報告書

平成26年3月  
香川県 高松市



# 目 次

## **I. 調査の概要**

1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 回収結果	1
4. この報告書の見方	1
5. 標本誤差について	2

## **II. 就学前児童の保護者調査の結果**

### **1 居住地**

(1) 居住地	3
---------	---

### **2 子どもと家族の状況**

(1) 子どもの年齢構成	4
(2) 回答者	4
(3) 回答者の配偶関係	5
(4) 子育ての主体者	5

### **3 保護者の就労状況**

(1) 母親の就労形態	6
(2) 父親の就労形態	9
(3) パート・アルバイト就労者のフルタイムへの転換希望	11
(4) 非就労者の就労希望	12

### **4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について**

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	14
(2) 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望	19
(3) 休日等の定期的な教育・保育事業の利用希望	23

## 5 病気の際の対応について

- (1) 子どもが病気やケガで通常の教育・保育事業を利用できない場合の対応……27
- (2) 病児・病後児保育施設等の利用希望……29

## 6 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用について

- (1) 不定期的な教育・保育事業の利用……31
- (2) 宿泊を伴う預かりの状況……35

## 7 小学校就学後の放課後の過ごし方について（5歳児のみ）

- (1) 小学校の放課後を過ごさせたい場所（平日）……37
- (2) 放課後児童クラブの土曜日、日曜日・祝日の利用希望……40

## 8 地域の子育て支援事業の利用状況について（3歳未満のみ）

- (1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況……44
- (2) 地域子育て支援拠点事業の利用希望……46

## 9 職場の両立支援制度について

- (1) 子どもと過ごす時間……48
- (2) 家庭における父親と母親の役割……49
- (3) 育児休業給付や保険料免除の仕組みの認知状況……51
- (4) 育児休業取得の状況……52
- (5) 職場復帰の状況……54
- (6) 短時間勤務制度の利用……58
- (7) 1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の育児休業取得期間……60
- (8) 子育てをしながら仕事をする上で必要なこと……61
- (9) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）……62

## 10 児童の虐待について

- (1) 児童虐待についての見聞の状況……63
- (2) 児童虐待を見聞したときの対応……64
- (3) 相談機関の認知状況・利用経験……65

## 11 子育て全般について

- (1) 子育て観・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・66
- (2) 気軽に相談できる相手・・・・・・・・・・・・67
- (3) 日頃悩んでいること・・・・・・・・・・・・68
- (4) 情報入手手段・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・69
- (5) 小学校入学までに身につけさせたい力・・・・70
- (6) 教育・保育内容で充実してほしい内容・・・・71

## 12 子どもとの外出、子どもの遊び場、親子の居場所について

- (1) 子どもとの外出で困ること・・・・・・・・・・・・71
- (2) 子どもの遊び場所・・・・・・・・・・・・・・73
- (3) 親子の居場所として重要なこと・・・・・・・・75

## 13 少子化問題、施策全般について

- (1) 子どもの人数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・76
- (2) 地域における子どもや子育て家庭に対する支援・・・・78
- (3) 高松市における子育てのしやすさ評価・・・・・・・・80
- (4) 高松市での子育て継続意向・・・・・・・・・・・・83

## 14 子育て支援サービスの認知度、行政への期待

- (1) 子育て支援サービスの認知度・・・・・・・・・・・・86
- (2) 高松市への期待・・・・・・・・・・・・・・・・・88

# Ⅲ. 小学生の保護者調査の結果

## 1 居住地

- (1) 居住地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・91

## 2 子どもと家族の状況

- (1) 子どもの学年・・・・・・・・・・・・・・・・・・92
- (2) 回答者・・・・・・・・・・・・・・・・・・92
- (3) 回答者の配偶関係・・・・・・・・・・93
- (4) 子育ての主体者・・・・・・・・・・93

## 3 保護者の就労状況

- (1) 母親の就労形態・・・・・・・・・・94
- (2) 父親の就労形態・・・・・・・・・・97
- (3) パート・アルバイト就労者のフルタイムへの転換希望・・・・・・・・99
- (4) 非就労者の就労希望・・・・・・・・100

## 4 放課後や休日の過ごし方

- (1) 放課後や休日を過ごす場所・・・・・・・・102
- (2) 放課後児童クラブの利用・・・・・・・・106
- (3) 放課後子ども教室の利用希望・・・・・・・・111

## 5 病気の際の対応

- (1) 病児・病後児保育施設の利用状況・・・・・・・・112
- (2) 病児・病後児保育施設を利用しなかった場合の対処方法・・・・・・・・115

## 6 一時預かりについて

- (1) 一時預かりの利用状況・・・・・・・・116
- (2) 一時預かりの利用希望・・・・・・・・119
- (3) 宿泊を伴う預かりの状況・・・・・・・・121

## 7 仕事と子育てについて

- (1) 子どもと一緒に過ごす時間……………123
- (2) 家庭における父親と母親の役割……………124
- (3) 子育てをしながら仕事をする上で必要なこと……………125
- (4) 仕事と生活の調和……………126

## 8 児童の虐待について

- (1) 児童虐待の見聞……………127
- (2) 相談機関の認知度・利用経験……………129

## 9 子育て全般について

- (1) 子育て観……………130
- (2) 気軽に相談できる相手……………131
- (3) 日頃悩んでいること……………132

## 10 子どもの教育と健全育成について

- (1) 子どもの成長過程で必要と思われる取り組み……………133
- (2) 子どもの地域活動・グループ活動への参加……………134

## 11 子どもの安全、防犯について

- (1) 不審者などの被害……………138
- (2) 子どもの安全を守るために重要と思われること……………140

## 12 子どもの遊び場について

- (1) 主な遊び場……………141
- (2) 子どもの遊び場について望ましいと思うこと……………142

## 13 子どものふだんの様子

- (1) 食生活……………143
- (2) 運動習慣……………147
- (3) 睡眠、休養……………148

## 14 少子化問題、施策全般について

- (1) 子どもの人数……………153
- (2) 高松市における子育てのしやすさ評価……………156
- (3) 高松市への期待……………160

# IV. 中学生・高校生調査の結果

## 1 属性

- (1) 性別……………163
- (2) 学年……………164
- (3) 同居・近居の状況……………165
- (4) 居住地域……………166

## 2 ふだんの生活について

- (1) 睡眠・休養……………167
- (2) 食生活……………169
- (3) 放課後の過ごし方……………170
- (4) 休日の過ごし方……………172
- (5) 運動習慣……………174
- (6) 居心地のよい場所……………175
- (7) 悩みの状況……………176
- (8) 生活に関する意識……………179

## 3 家庭について

- (1) 家族とのコミュニケーション……………181
- (2) 家庭での役割……………185
- (3) 父親・母親についての意識……………186

## 4 学校の生活

- (1) 学校生活について……………188

## 5 地域とのつながり

- (1) 地域活動・ボランティア活動への参加……………190
- (2) 小さな子どもとのふれあい……………191
- (3) 地域の大人による見守り……………193

## 6 将来について

- (1) 結婚観……………194
- (2) 子どもを持つことについて……………198
- (3) 将来の生活像……………201

## 7 高松市での居住継続意向

- (1) 高松市での居住継続意向……………202

## V. まとめ

- 1. 教育・保育事業及び子育て支援事業等について……………205
- 2. 子育て支援全般について……………207
- 3. 区域別のニーズのまとめ（子ども・子育て支援事業に関わる事項）……………209

## VI. 自由意見のまとめ

- 1. 自由意見のまとめ……………211



## I . 調査の概要



## 1. 調査目的

子ども・子育て関連3法に基づく「子ども・子育て支援新制度」は、早ければ平成27年度からスタートすることとされている。そこで、本市では、新たな国の新制度と、平成25年3月に制定した「高松市子ども・子育て条例」に基づく「高松市子ども・子育て支援推進計画」を策定することとした。

この計画の策定に先立ち、就学前児童の保護者及び小学生の保護者に対しては各種子育て支援サービスの利用状況や希望を、また、中学生・高校生に対しては家庭や学校での生活や将来の希望等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に、アンケート調査を実施した。

## 2. 調査設計

- (1) 調査対象 平成25年4月1日現在、市内に在住する就学前児童（0～5歳）および小学校1年生から6年生の保護者、中学生、高校生
- (2) 抽出方法 住民基本台帳（外国人を含む）による無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送による配布及び郵送による回収
- (4) 調査期間 平成25年9月27日～10月10日

## 3. 回収結果

調査対象	標本数（発送数）	有効回収数	有効回収率
就学前児童の保護者	3,500	2,236	63.8%
小学生の保護者	2,000	1,272	63.6%
中学生・高校生	1,500	755	50.3%

## 4. この報告書の見方

- (1) 回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してある。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%を前後することがある。
- (2) 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超える。なお、複数回答を求める質問についての図表上の表記は、以下のとおりである。
  - 「MA%」（Multiple Answer）  
＝回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
  - 「2LA%」（2 Limited Answer）  
＝回答選択肢の中からあてはまるものを2つ以内で選択する場合
  - 「3LA%」（3 Limited Answer）  
＝回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
- (3) 本文中のグラフや数表で、コンピュータの入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。

### 5. 標本誤差について

本調査は標本調査であるので、標本抽出における誤差等を考慮する必要がある。

通常、世論調査などでは信頼度 95%（同一の調査を 100 回行えば 95 回まではこの結果になるであろうという推定）のレベルを求めるのが一般的であり、これに基づく標本測定値の標本誤差の近似式は、次の公式で求められる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(100-P)}{n}}$$

N : 母集団数      n : 有効回答者数      P : 回答の比率（標本測定値）

【表 信頼度 95%における主要な%の信頼区間】

（単位：％）

	母集団 (N)	有効回収数 (n)	回答の比率 (P)				
			90	80	70	60	50
就学前全体	23,752	2,148	0.7	1.3	1.7	2.0	2.1
都心	6,230	532	3.0	5.4	7.1	8.1	8.4
中部	6,033	551	2.9	5.2	6.8	7.8	8.1
東部北	3,365	292	5.5	9.8	12.9	14.7	15.3
東部南	1,911	200	7.9	14.0	18.4	21.1	21.9
西部北	1,732	145	11.2	19.8	26.0	29.7	31.0
西部南	2,949	267	6.0	10.7	14.0	16.0	16.7
南部	1,532	161	9.8	17.4	22.9	26.2	27.3
小学生全体	24,515	748	2.3	4.1	5.3	6.1	6.4
都心	6,573	223	7.6	13.6	17.8	20.4	21.2
中部	5,393	146	11.8	20.9	27.4	31.4	32.7
東部北	3,820	120	14.2	25.3	33.2	38.0	39.6
東部南	2,007	59	29.0	51.6	67.7	77.4	80.6
西部北	1,749	59	28.9	51.4	67.4	77.1	80.3
西部南	3,090	81	21.2	37.7	49.5	56.6	58.9
南部	1,883	60	28.5	50.6	66.4	75.9	79.1
中学生全体	12,707	424	4.0	7.1	9.4	10.7	11.2
高校生全体	11,928	318	5.4	9.6	12.6	14.4	15.0

資料：母集団の人数は、平成 25 年 4 月 1 日現在の、住民基本台帳人口（外国人を含む）

#### 【標本誤差の見方】

例えば、就学前児童調査のある質問で都心区域の回答が10%であった場合、10%を中心に±3.0%つまり、真の値は7.0%から13.0%の間にあると推定してよいが、その推定が正しい確率は95%程度である。また、上記の表は、回答の比率を10%きざみで表示しているが、回答が78%のように途中である場合は、上記表から最も近い80%における数値を読み取り、この数値から類推し使用すればよい。

上記から見ると、区域別の結果では誤差が大きい場合があることに注意する必要がある。

## Ⅱ. 就学前児童の保護者調査の結果



# 1 居住地域

## (1) 居住地域

問1 お住まいの地区（小学校区）はどこですか。（○は1つ）

居住地区については、「都心」「中部」が多い。

【小学校区と区域別】

区域	小学校区	件数	区域	小学校区	件数	区域
都心	新番丁	70	東部南	前田	21	200 (8.9%)
	亀阜	64		川添	41	
	栗林	91		川島	44	
	花園	28		十河	59	
	高松第一	50		東植田	12	
	木太	89		植田	23	
	女木	-		西部北	香西	
	男木	-	弦打		53	
	中央	76	鬼無		21	
	中央	76	下笠居		19	
	中部	木太南	49	西部南	川岡	24
木太北部		35	円座		69	
鶴尾		20	檀紙		54	
太田		109	国分寺北部		64	
林		97	国分寺南部		56	
三溪		36	南部	上西	-	161 (7.2%)
仏生山		47		塩江	17	
一宮		69		安原	8	
多肥	107	大野	37	無回答	68	
太田南	66	浅野	34			
東部北	古高松	57	川東			34
	屋島	32	香南			31
	古高松南	49	合計		2,236	
	屋島東	20				
	屋島西	42				
	牟礼	30				
	牟礼北	27				
	牟礼南	14				
	庵治	21				
庵治第二	-					

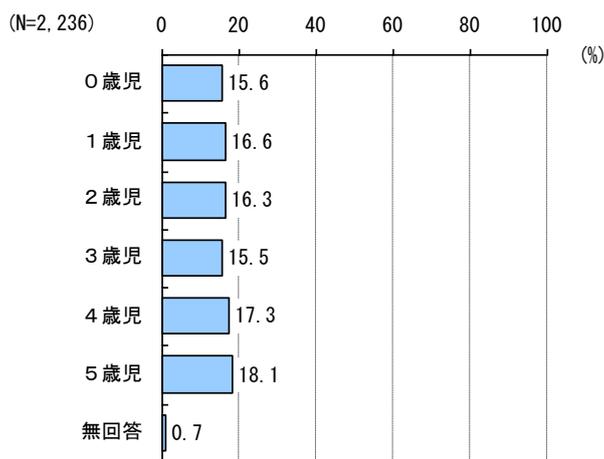
## 2 子どもと家族の状況

### (1) 子どもの年齢構成

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。

子どもの年齢は、「5歳児」が18.1%で最も多く、次いで「4歳児」17.3%となっている。また、最も少なかったのは「0歳児」で15.6%と、「0歳児」から「5歳児」までほぼ同水準となっている。

【子どもの年齢構成】



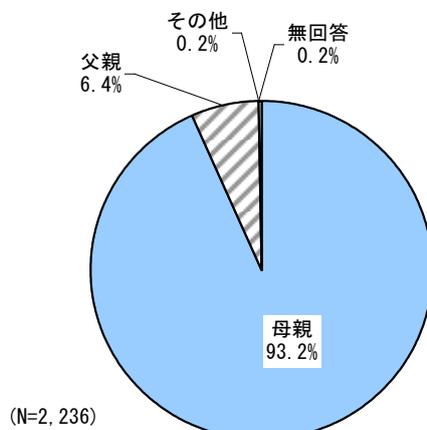
※子どもの年齢は平成25年4月1日現在の年齢。但し、誕生が平成25年4月以降の場合は「0歳児」とした。

### (2) 回答者

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

回答者は、「母親」が93.2%と大半を占めている。

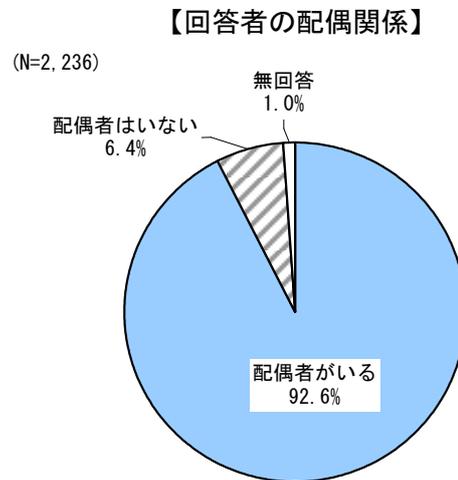
【回答者】



(3) 回答者の配偶関係

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(○は1つ)

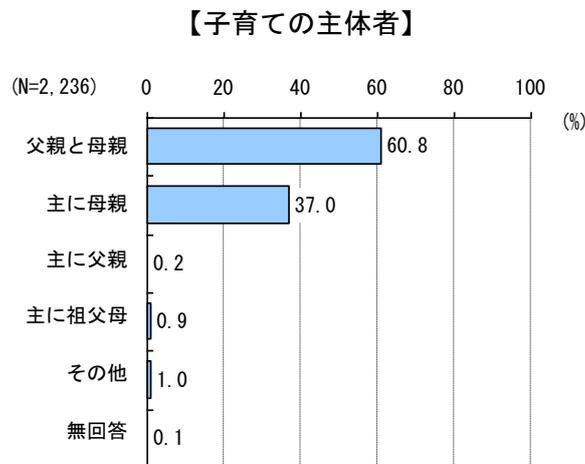
回答者の配偶関係では、「配偶者がいる」が92.6%と大半を占めている。



(4) 子育ての主体者

問5 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

子育ての主体者では、「父親と母親」が60.8%で最も多く、次いで「主に母親」37.0%となっている。



### 3 保護者の就労状況

#### (1) 母親の就労形態

問6 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。

##### (1) 母親【父子家庭の場合は記載不要】

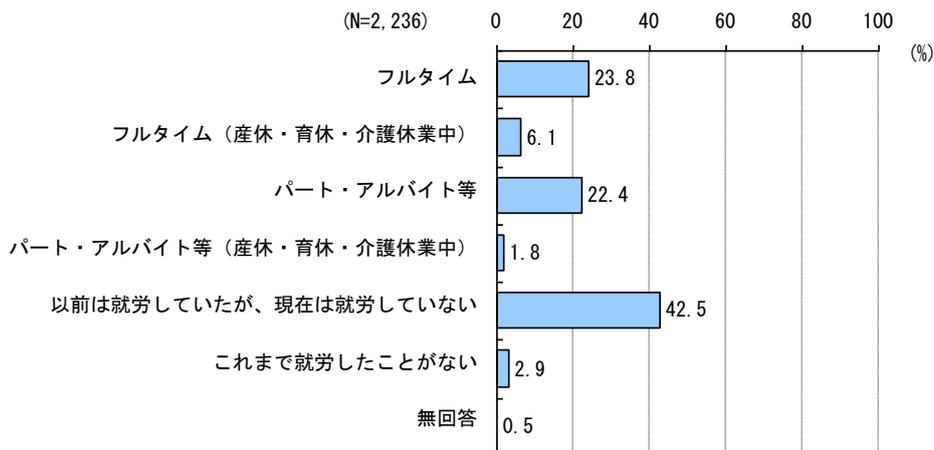
あてはまる番号1つに○をつけ、1～4に当てはまる方は、就労日数、就労時間（残業時間を含む）、家を出る時刻、帰宅時刻について、もっとも多いパターンで記入してください。

母親の就労形態では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（非就労）が42.5%で最も多く、次いで「フルタイム」23.8%、「パート・アルバイト等」22.4%となっている。

就労形態別に就労状況をみると、“フルタイム”では、「週5日」、「1日8時間」就労が多く、家を出る時刻では「8時」、帰宅時刻では「18時」が多くなっている。“パート・アルバイト等”では、「週5日」、「1日5時間」就労が多く、家を出る時刻は「8時」、帰宅時刻は「17時」が多くなっている。

“フルタイム”は“パート・アルバイト等”に比べて、帰宅時刻が遅い傾向がみられる。

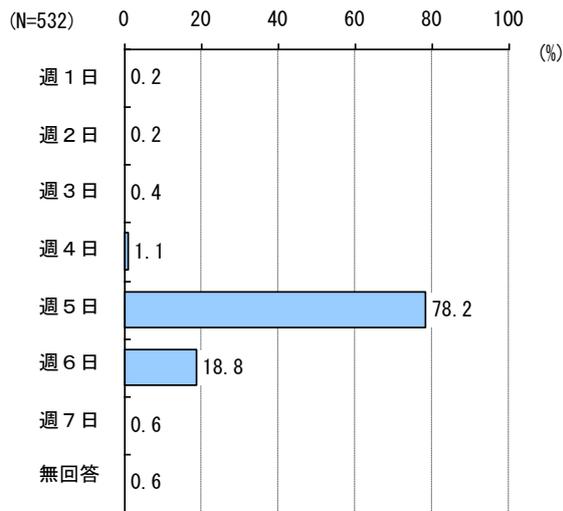
【母親の就労形態】



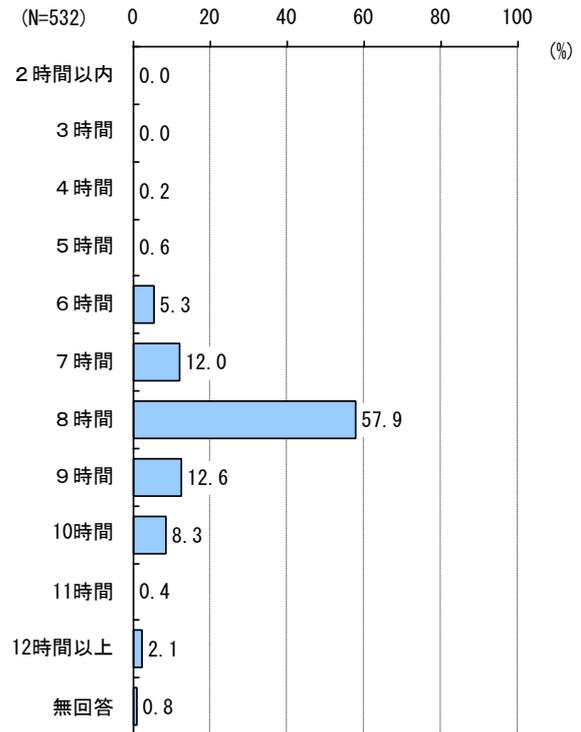
※「フルタイム」とは、働いている時間が1週5日程度・1日8時間程度の方

※「パートタイム」の表記にはアルバイト等を含み、働いている時間がフルタイムより短い方

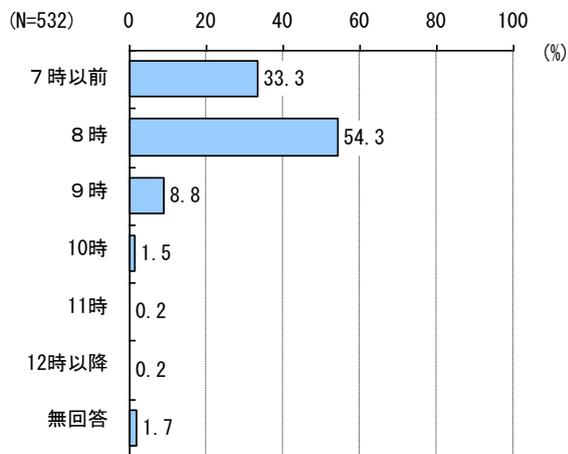
【フルタイム就労者の就労日数】



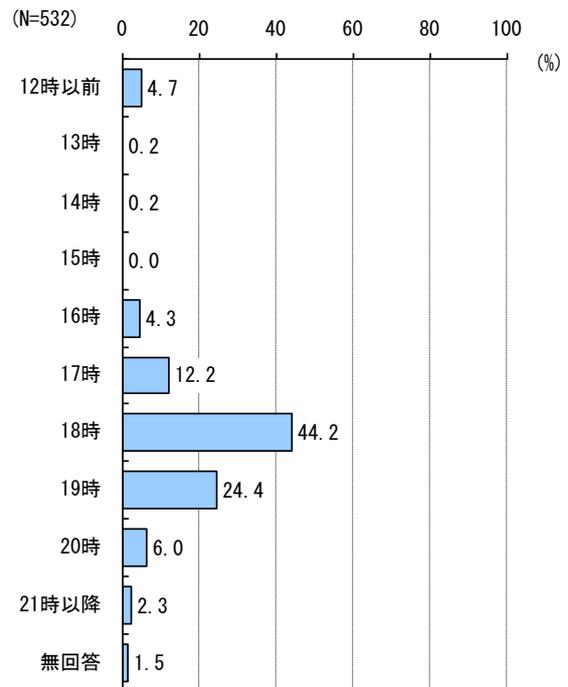
【フルタイム就労者の 1 日の就労時間】



【フルタイム就労者の自宅を出る時刻】

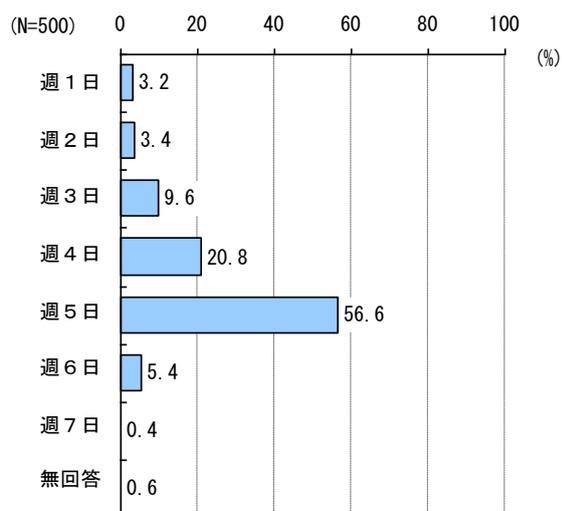


【フルタイム就労者の帰宅時刻】

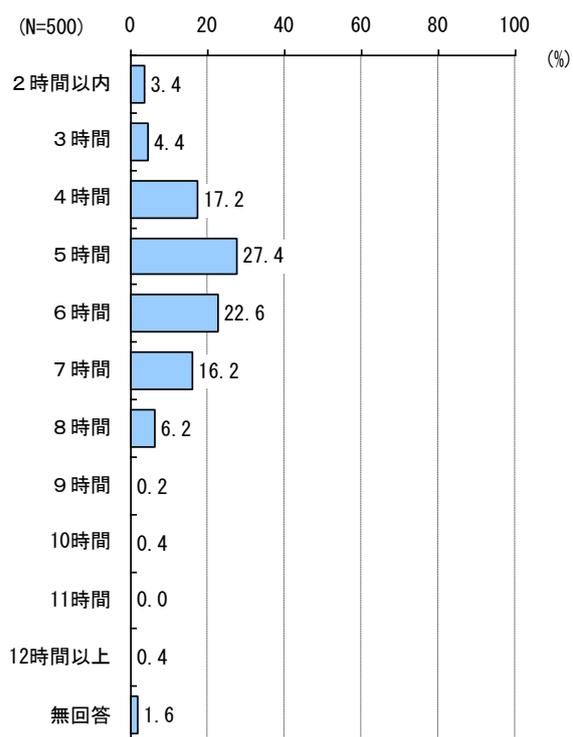


## Ⅱ 就学前児童の保護者調査の結果

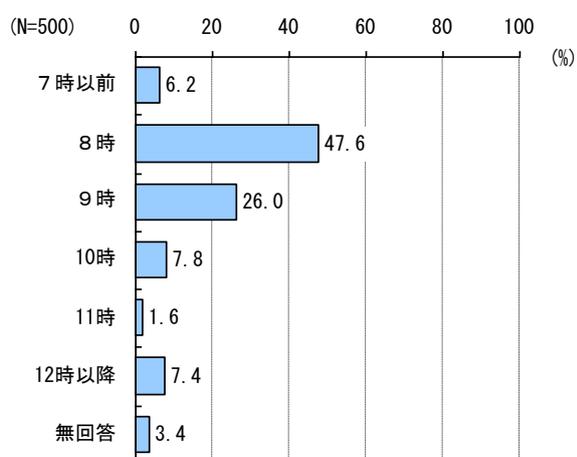
### 【パート・アルバイト等就労者の就労日数】



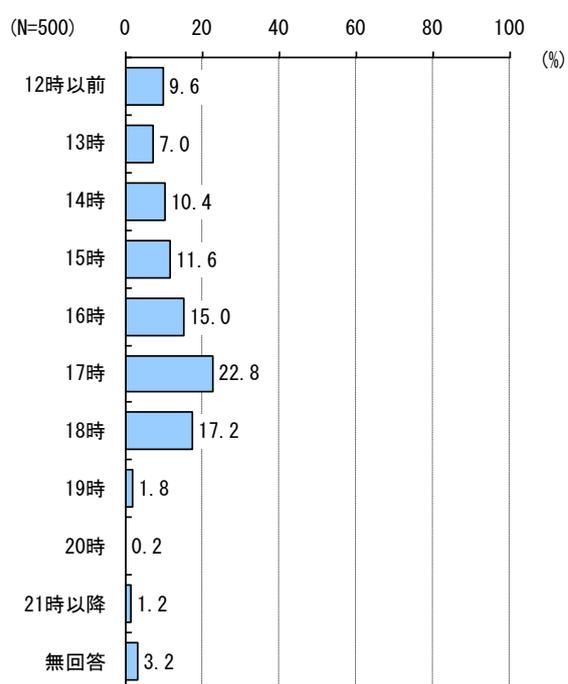
### 【パート・アルバイト等就労者の1日の就労時間】



### 【パート・アルバイト等就労者の自宅を出る時刻】



### 【パート・アルバイト等就労者の帰宅時刻】



(2) 父親の就労形態

(2) 父親【母子家庭の場合は記載不要】  
 あてはまる番号1つに○をつけ、1～4に当てはまる方は、就労日数、就労時間（残業時間を含む）、家を出る時刻、帰宅時刻について、もっとも多いパターンについて記入してください。

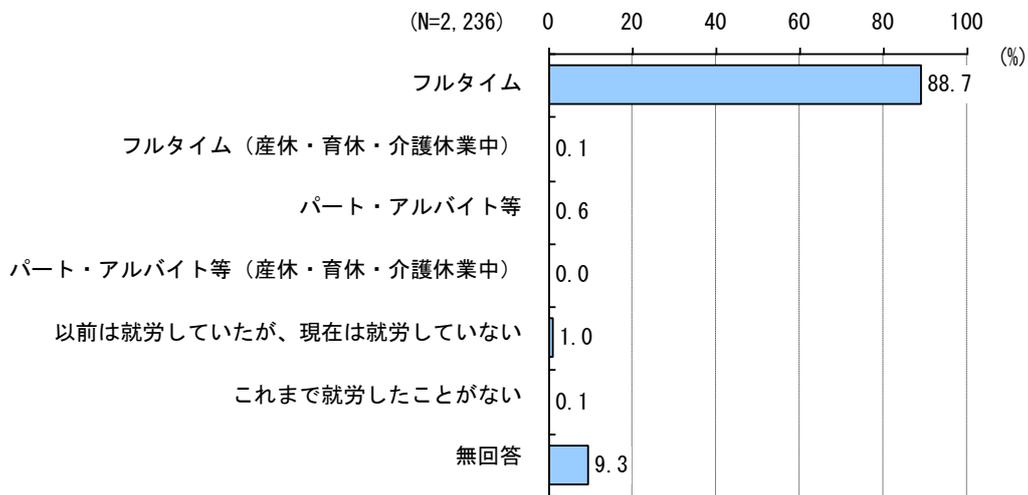
父親の就労形態では、「フルタイム」が88.7%と大半を占めている。

就労形態別に就労状況をみると、“フルタイム”の就労日数では、「週5日」が58.1%、次いで「週6日」36.9%となっている。

1日の就労時間では「8時間」が28.1%で最も多く、次いで「12時間以上」24.9%、「10時間」21.4%となっている。就労時間が10時間以上を合わせると54.0%と過半を超えている。

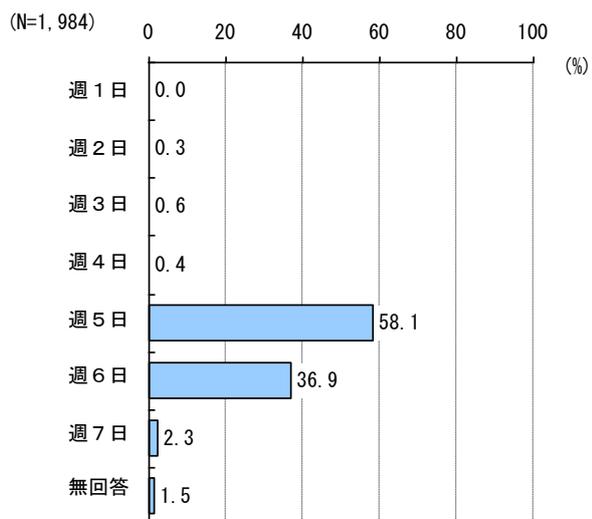
家を出る時刻は「7時以前」が47.5%と最も多く、帰宅時刻は「21時以降」が24.8%と最も多くなっている。

【父親の就労形態】



## II 就学前児童の保護者調査の結果

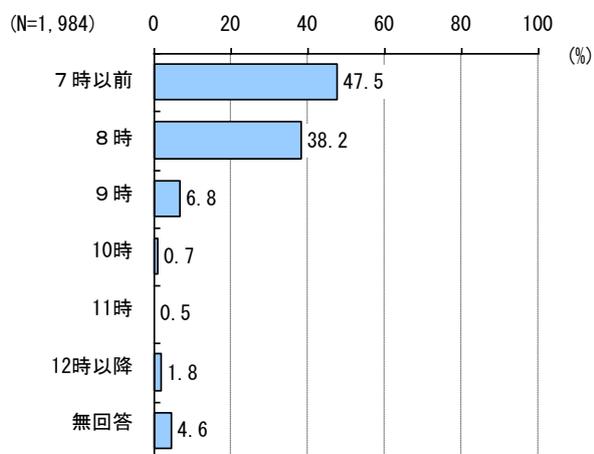
### 【フルタイム就労者の就労日数】



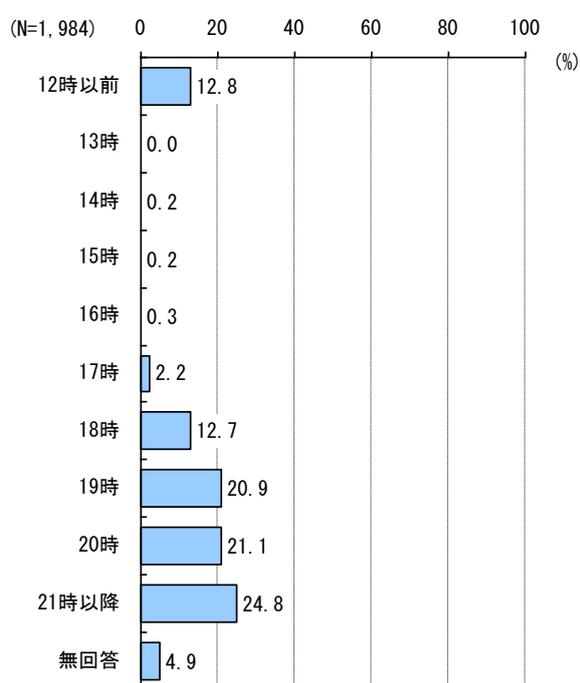
### 【フルタイム就労者の1日の就労時間】



### 【フルタイム就労者の自宅を出る時刻】



### 【フルタイム就労者の帰宅時刻】



(3) パート・アルバイト就労者のフルタイムへの転換希望

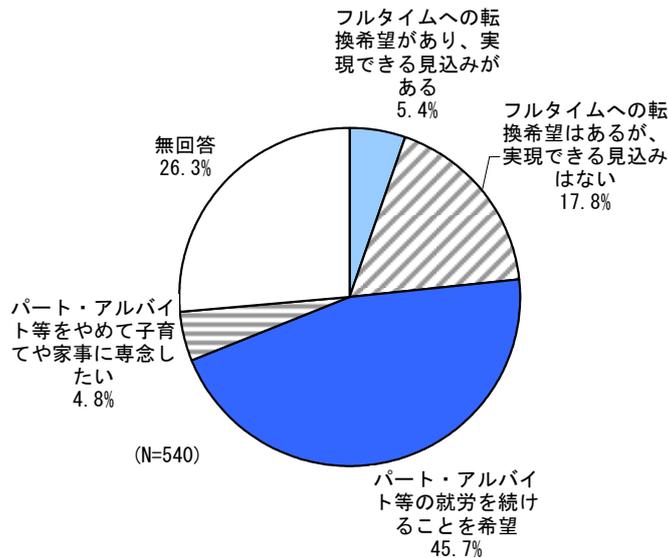
問6-1 問6の(1)または(2)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問7へお進みください。

パート・アルバイトで就労している父母のフルタイムへの転換希望については、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が45.7%とほぼ半数を占めている。これに次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」17.8%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」5.4%となっており、フルタイムへ転換したいと望んでいる母親の割合は2割強とみられる。

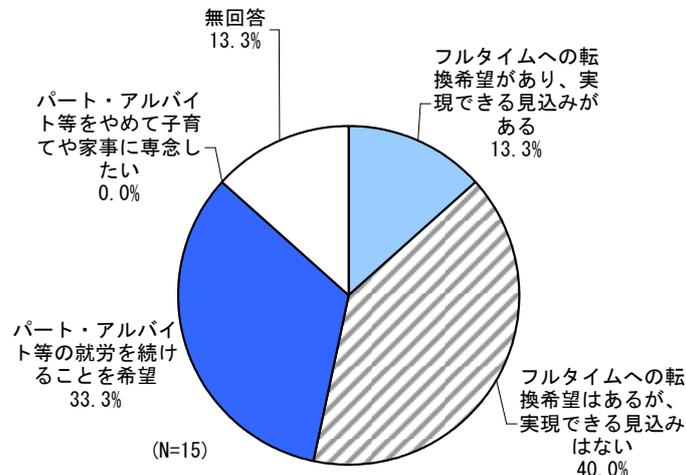
父親では、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が40.0%で最も多く、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の13.3%とあわせると、5割強がフルタイムへの転換を望んでいるとみられる。

【パート・アルバイト等のフルタイムへの転換希望】

<母親>



<父親>



## II 就学前児童の保護者調査の結果

### (4) 非就労者の就労希望

問6-2 問6の(1)または(2)で「5」または「6」に○をつけた方にうかがいます。

就労したいという希望はありますか。(○は1つ)

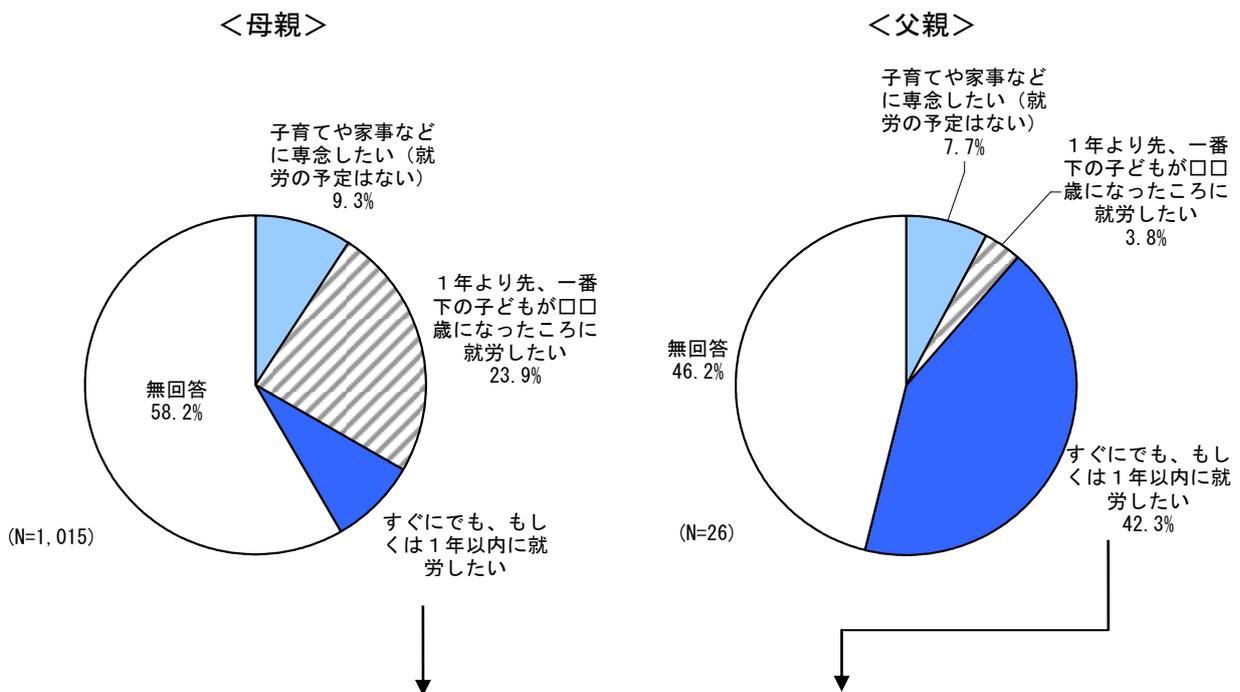
就労していない父母の就労希望については、母親では「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに働きたい」が23.9%で最も多く、具体的な末子年齢については「3歳」(37.4%)、「4歳」(16.9%)が多い。

父親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が42.3%で最も多くなっている。

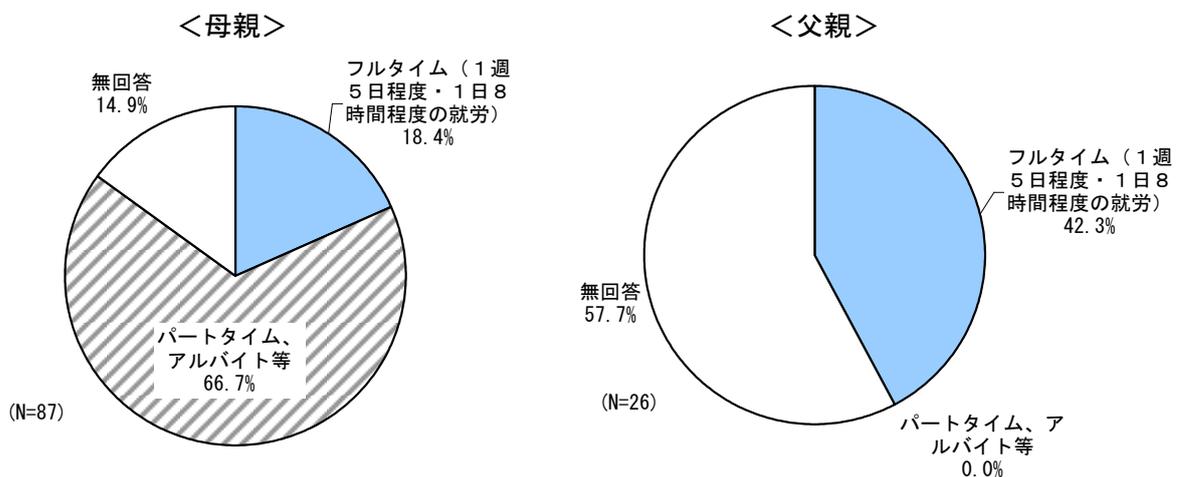
就労を希望している場合の形態については、母親では「パートタイム、アルバイト等」が66.7%で最も多く、父親では回答者すべてが「フルタイム」としている。

パートタイムを希望する母親の場合、1週当たりの日数では「週5日」が36.2%で最も多く、次いで「週3日」31.0%、「週4日」25.9%となっている。就労時間では、「5時間」が37.9%で最も多く、次いで「4時間」29.3%、「6時間」19.0%となっている。

#### 【非就労者の就労希望】

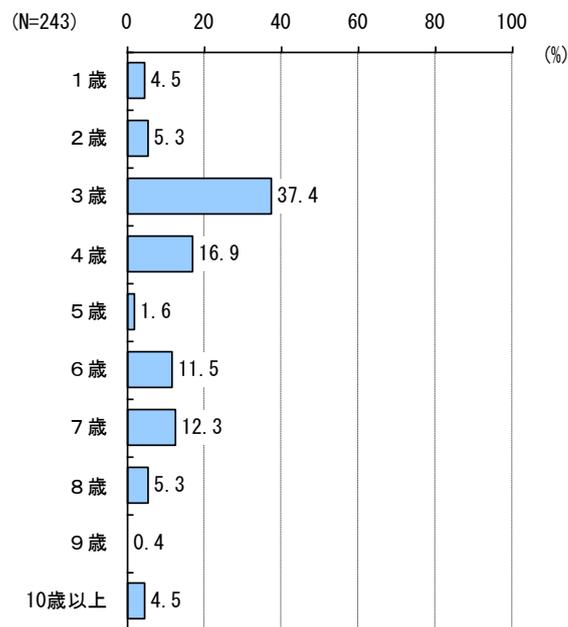


#### 【すぐにでも就労したい人の希望する就労形態】



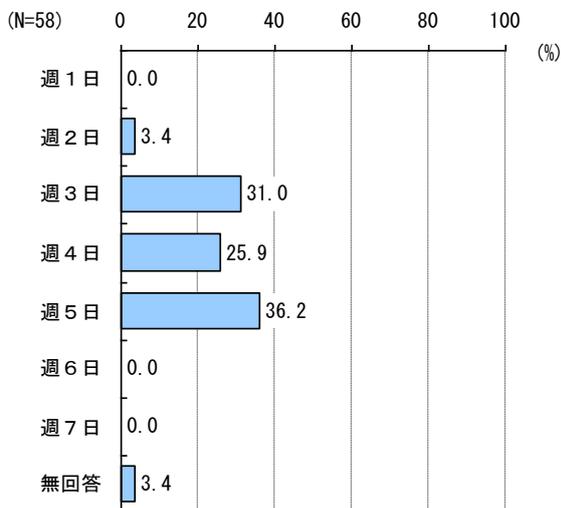
【就労しようと思う一番下の子どもの年齢】

<母親>

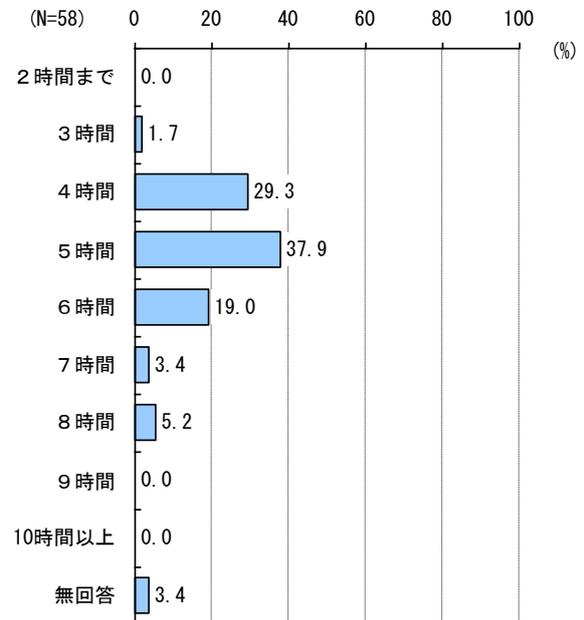


【パート・アルバイト等希望者の就労希望<母親>】

<就労希望日数>



<1日の就労時間>



## 4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

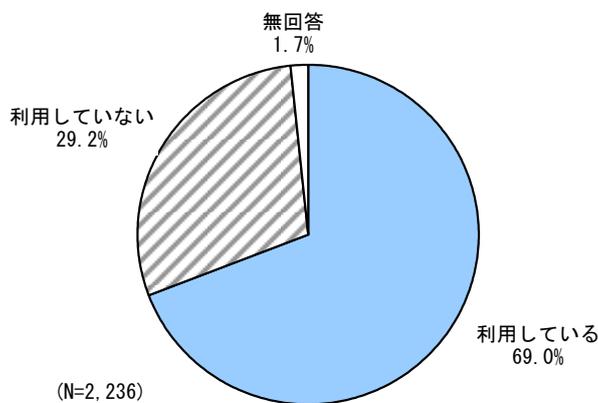
### (1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問7 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。  
(○は1つ)

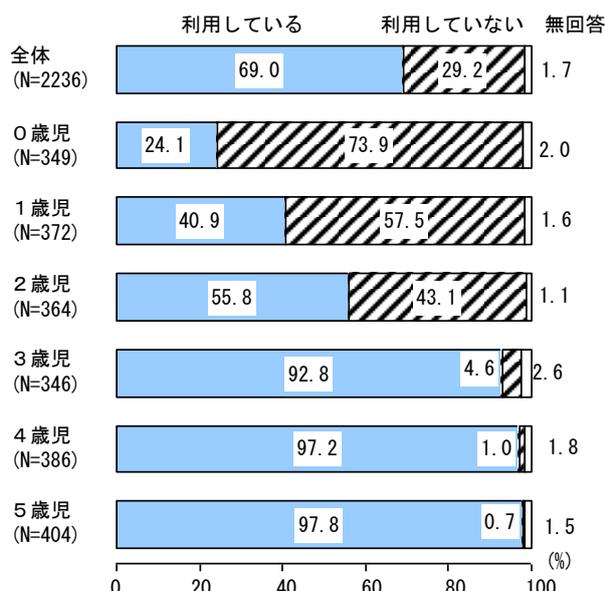
全体では 69.0%が平日の定期的な教育・保育事業を利用している。

子どもの年齢別にみると、0歳児では 24.1%、1歳児では 40.9%、2歳児では 55.8%と半数を上回り、3歳児以上では9割を超えている。区域別にみると、南部で 73.9%と最も利用が多くなっている。

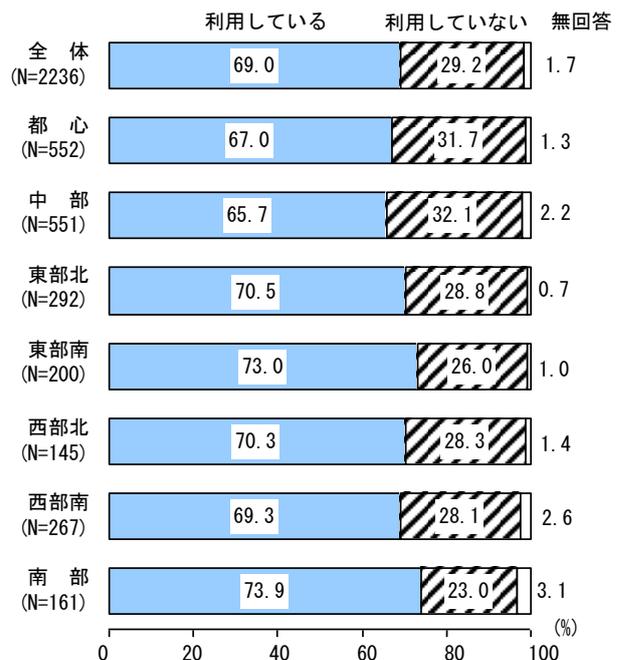
【定期的な教育・保育事業の利用有無】



<年齢別>



<区域別>



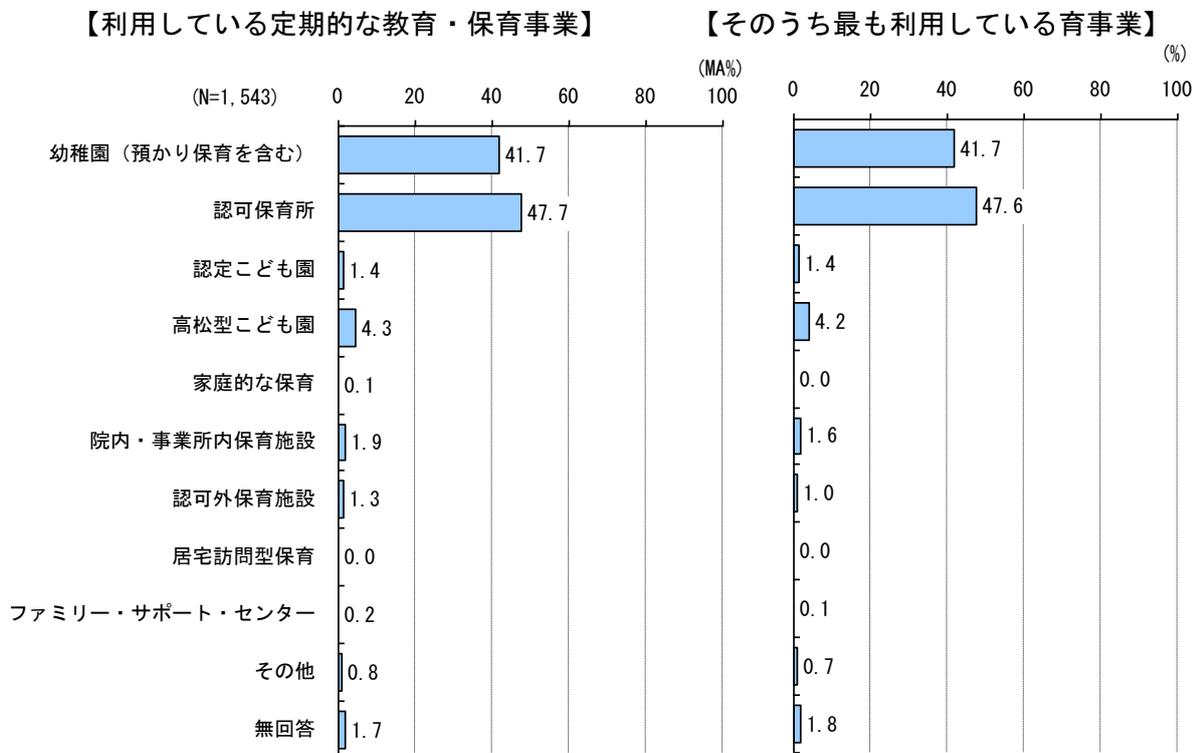
問7-1 問7で「1」に○をつけた方にうかがいます。

あて名のおさんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(○はいくつでも。そのうち、主に利用しているものには◎を1つ)

定期的に利用している教育・保育事業では、「認可保育所」が47.7%で最も多く、次いで「幼稚園(預かり保育を含む)」41.7%であり、この2つに集中している。(利用している人を100%とした割合)

子どもの年齢別にみると、2歳児までは「認可保育所」、3歳児以上では「幼稚園(預かり保育を含む)」が多くなっている。

各事業の利用率を時系列比較すると、後期計画調査に比べて「幼稚園」の利用率が増加し、「認可保育所」の利用率が減少している。



Ⅱ 就学前児童の保護者調査の結果

【定期的に利用している教育・保育事業】

(単位：Nは件、それ以外は%)

	全体 (N)	幼稚園 (預かり保育を含む)	認可 保育所	認定 こども園	高松 型 こども園	家庭 的な 保育	院内・ 事業 所内 保育 施設	認可 外 保育 施設	居 宅 訪 問 型 保 育	ファミ リー・ サポ ート・ セン ター	その他	無 回 答	
全 体	1543	41.7	47.6	1.4	4.2	-	1.6	1	-	0.1	0.7	1.8	
年 齢 別	0歳児	84	1.2	77.4	1.2	6.0	-	4.8	7.1	-	-	2.4	
	1歳児	152	3.9	82.2	0.7	2.0	-	7.2	1.3	-	-	2.6	
	2歳児	203	13.3	71.9	0.5	3.4	-	3.9	1.5	-	3.0	2.5	
	3歳児	321	52.6	37.1	1.6	4.7	-	-	0.6	-	0.3	1.9	
	4歳児	375	53.9	37.1	1.9	5.1	-	0.3	0.5	-	-	1.3	
	5歳児	395	58.7	33.9	1.5	4.1	-	-	0.3	-	-	0.3	1.3
区 域 別	都 心	370	50.5	41.6	0.8	-	-	1.6	1.4	-	0.3	1.9	1.9
	中 部	362	49.2	46.1	-	-	-	1.4	0.8	-	-	0.3	2.2
	東 部 北	206	38.3	35.9	5.8	13.6	-	2.9	1.0	-	-	0.5	1.9
	東 部 南	146	26.7	67.1	0.7	0.7	-	1.4	2.1	-	-	-	1.4
	西 部 北	102	38.2	51.0	1.0	5.9	-	2.0	1.0	-	-	-	1.0
	西 部 南	185	37.3	58.4	-	-	-	1.6	0.5	-	-	-	2.2
	南 部	119	23.5	46.2	2.5	24.4	-	-	-	-	-	1.7	1.7
家 庭 類 型 別	フルタイム×フルタイム	476	10.9	74.8	0.8	5.0	-	4.0	1.5	-	0.2	0.2	2.5
	フルタイム×パート	420	35.2	56.4	0.7	4.3	-	0.7	1.0	-	-	0.2	1.4
	フルタイム×非就労	456	85.5	5.0	2.0	3.3	-	0.2	0.7	-	-	1.8	1.5
	その他	21	47.6	33.3	4.8	4.8	-	-	4.8	-	-	4.8	-
	ひとり親・親はいない・無回答	170	25.3	65.3	2.4	4.1	-	0.6	0.6	-	-	-	1.8

【定期的に利用している教育・保育事業の利用率の時系列比較】

(回答者全体を100%とした利用率)

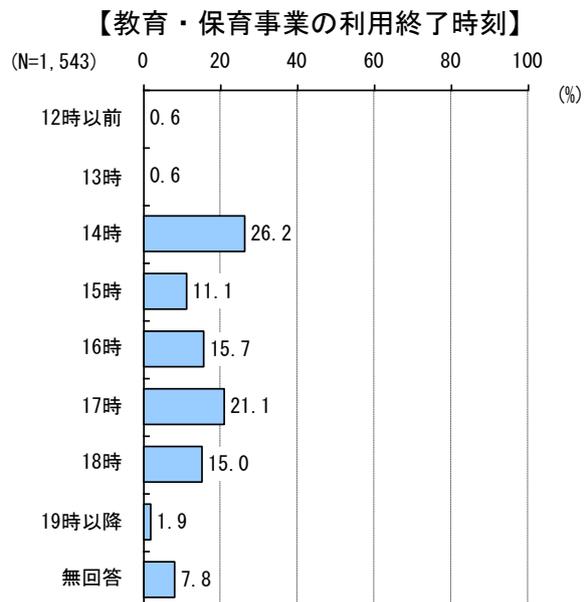
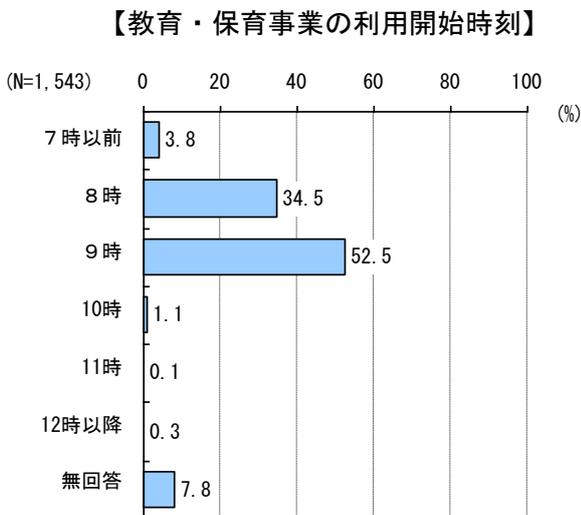
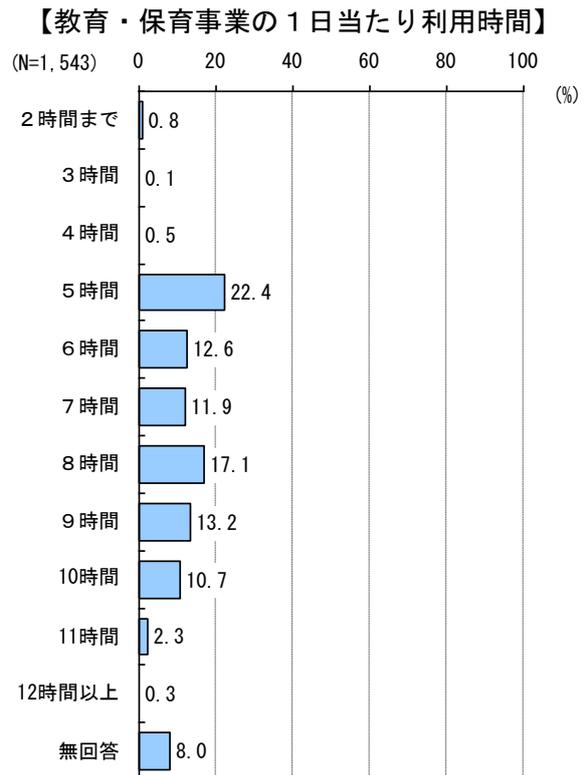
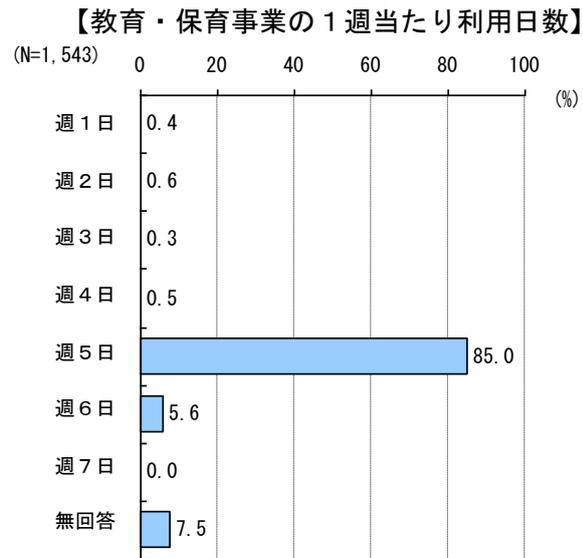
	後期計画 (H20)	今回調査 (H25)	増減
教育・保育事業利用している割合	58.7%	69.0%	10.3%
幼稚園	20.3%	28.8%	3.9%
幼稚園の預かり保育	4.6%		
認可保育所	35.4%	32.9%	▲ 2.5%
認定こども園	0.6%	1.0%	0.4%
家庭的な保育	0.2%	0.1%	▲ 0.1%
院内・事業所内保育施設	0.6%	1.3%	0.7%
認可外保育施設	0.7%	0.9%	0.2%
ファミリー・サポート・センター	0.3%	0.1%	▲ 0.2%

問7で「1」に○をつけた方にうかがいます。

問7-2 平日に定期的にご利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。

定期的な教育・保育事業の利用状況では、1週当たりの利用日数は「5日」が大半を占め、1日の利用時間は「5時間」が最も多いものの、「5時間～10時間」に分散している。

また、教育・保育事業の利用開始時刻では、「9時」が52.5%で最も多く、利用終了時刻では、「14時」、「17時」が多くなっている。



II 就学前児童の保護者調査の結果

【平日の定期的な教育・保育事業の利用状況】

＜1週当たりの利用日数＞

	全 体	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答	平 均 (日)
全 体	1,543	0.4	0.6	0.3	0.5	85.0	5.6	-	7.5	5.0
幼稚園（預かり保育を含む）	643	0.2	0.5	0.3	0.3	97.7	0.3	-	0.8	5.0
認可保育所	734	0.5	-	0.1	0.5	76.0	11.0	-	11.7	5.1
認定こども園	21	-	-	-	-	76.2	-	-	23.8	5.0
高松型こども園	65	-	-	-	-	84.6	1.5	-	13.8	5.0
家庭的な保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
院内・事業所内保育施設	24	-	4.2	8.3	-	79.2	-	-	8.3	4.7
認可外保育施設	16	-	-	-	-	87.5	-	-	12.5	5.0
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリーサポートセンター	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	4.0
その他	11	9.1	54.5	-	-	18.2	-	-	18.2	2.6

＜1日当たりの利用時間数＞

	全 体	2時間 まで	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間 以上	無回答	平 均 (時間)
全 体	1,543	0.8	0.1	0.5	22.4	12.6	11.9	17.1	13.2	10.7	2.3	0.3	8.0	7時間15分
幼稚園（預かり保育を含む）	643	0.5	0.3	0.6	49.6	27.5	9.5	5.0	3.4	2.0	0.3	-	1.2	5時間51分
認可保育所	734	0.5	-	0.1	0.1	0.1	12.9	29.2	22.1	17.8	4.0	0.7	12.4	8時間37分
認定こども園	21	4.8	-	-	28.6	14.3	14.3	-	9.5	4.8	-	-	23.8	6時間08分
高松型こども園	65	-	-	-	20.0	13.8	24.6	9.2	7.7	9.2	1.5	-	13.8	7時間03分
家庭的な保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
院内・事業所内保育施設	24	-	-	-	-	-	8.3	16.7	29.2	33.3	4.2	-	8.3	9時間05分
認可外保育施設	16	6.3	-	-	12.5	6.3	18.8	6.3	25.0	12.5	-	-	12.5	7時間22分
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリーサポートセンター	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	8時間00分
その他	11	27.3	-	18.2	18.2	-	-	9.1	-	-	-	-	27.3	3時間53分

＜利用開始時刻＞

	全 体	7時以前	8時	9時	10時	11時	12時以降	無回答	平 均 (時間)
全 体	1,543	3.8	34.5	52.5	1.1	0.1	0.3	7.8	8時34分
幼稚園（預かり保育を含む）	643	0.5	22.1	73.9	1.6	0.2	0.3	1.6	8時48分
認可保育所	734	6.8	45.4	35.3	0.5	-	0.3	11.7	8時22分
認定こども園	21	-	19	47.6	9.5	-	-	23.8	8時53分
高松型こども園	65	3.1	27.7	55.4	-	-	-	13.8	8時37分
家庭的な保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-
院内・事業所内保育施設	24	-	70.8	20.8	-	-	-	8.3	8時14分
認可外保育施設	16	-	43.8	43.8	-	-	-	12.5	8時30分
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリーサポートセンター	1	-	-	100.0	-	-	-	-	9時00分
その他	11	-	18.2	54.5	9.1	-	-	18.2	8時53分

＜利用終了時刻＞

	全 体	12時以前	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時以降	無回答	平 均 (時間)
全 体	1,543	0.6	0.6	26.2	11.1	15.7	21.1	15.0	1.9	7.8	15時53分
幼稚園（預かり保育を含む）	643	0.5	0.9	58.3	23.5	5.8	6.5	2.8	0.2	1.6	14時40分
認可保育所	734	0.1	0.1	-	1.0	23.6	34.7	25.3	3.4	11.7	17時04分
認定こども園	21	4.8	-	33.3	9.5	14.3	4.8	9.5	-	23.8	15時00分
高松型こども園	65	-	-	23.1	15.4	27.7	6.2	13.8	-	13.8	15時41分
家庭的な保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
院内・事業所内保育施設	24	-	-	-	-	12.5	33.3	41.7	4.2	8.3	17時25分
認可外保育施設	16	6.3	6.3	-	-	18.8	37.5	18.8	-	12.5	16時17分
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリーサポートセンター	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	17時00分
その他	11	27.3	9.1	27.3	-	9.1	9.1	-	-	18.2	13時13分

(2) 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問8 すべての方にうかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、保育料などの費用がかかっても、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業がありますか。  
(○はいくつでも。そのうち、最も利用したいものには◎を1つ)

今後利用したい教育・保育事業については、「幼稚園（預かり保育を含む）」が63.2%で最も多く、次いで「認可保育所」52.2%、「認定こども園」29.1%となっている。

このうち、今後最も利用したい教育・保育事業については、「幼稚園（預かり保育を含む）」が42.5%で最も多く、次いで「認可保育所」30.6%となっている。

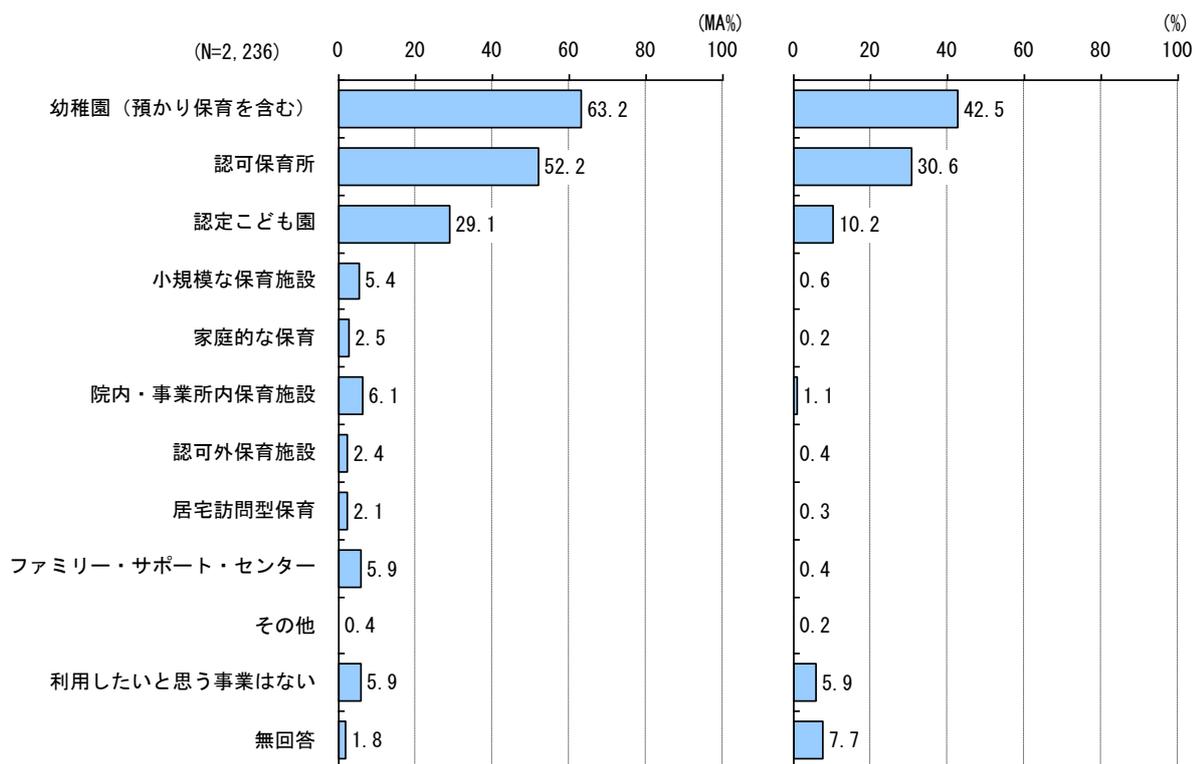
子どもの年齢別にみると、0歳児は「認可保育所」、1歳児以上は「幼稚園」が最も多くなっている。また、0歳でも「利用したいと思う事業はない」は8.3%と少なく、何らかの事業を利用したい意向をもっている。

利用を希望する事業を時系列比較すると、後期計画調査に比べて「幼稚園」「認可保育所」「認定こども園」ともに希望が多くなっている。

【今後、定期的に利用したい教育・保育事業】

<利用したい事業>

<そのうち最も利用したい教育・保育事業>



Ⅱ 就学前児童の保護者調査の結果

【今後、定期的にご利用したい教育・保育事業(MA) (年齢別・区域別・就労タイプ別)】

	全体 (N)	幼稚園 (預かり保育を含む)	認可 保育所	認定 こども園	小規模 な保育施設	家庭 的な保育	院内・事業 所内保育施設	認可外 保育施設	居宅訪問 型保育	ファミリ ー・サポ ート・セ ンター	その他	利用 したい と思う 事業は ない	無 回答	
全体	2,236	63.2	52.2	29.1	5.4	2.5	6.1	2.4	2.1	5.9	0.4	5.9	1.8	
年齢別	0歳児	349	55.3	61.9	33.2	7.2	2.3	9.5	4.3	2.3	7.2	-	8.3	2.3
	1歳児	372	59.1	58.1	31.2	7.3	3.2	6.7	2.7	1.9	5.4	0.8	9.9	2.4
	2歳児	364	67.6	55.2	35.7	7.7	2.5	6.3	2.2	2.5	5.8	0.3	5.8	1.1
	3歳児	346	66.5	46.8	24.9	5.2	3.5	5.5	2.3	2.3	5.2	1.2	3.2	1.4
	4歳児	386	63.7	45.9	24.9	2.6	2.6	2.8	2.1	2.3	6.2	0.3	4.4	2.3
	5歳児	404	66.3	46.3	25.2	3.2	1.2	5.9	1.2	1.2	5.4	0.2	4.2	1.2
区域別	都心	552	66.7	46.9	28.3	4.7	3.1	5.1	3.1	3.4	8.2	-	7.1	1.4
	中部	551	69.9	52.1	26.5	6.2	2.7	5.8	2.9	1.1	5.3	0.5	4.9	1.3
	東部北	292	64.4	44.9	37.3	5.8	2.4	7.2	1.7	2.7	8.2	0.3	6.5	2.1
	東部南	200	57.0	60.5	20.5	3.5	1.5	6.5	2.0	1.0	5.5	-	6.5	3.5
	西部北	145	60.0	61.4	31.0	4.1	2.1	3.4	0.7	1.4	1.4	1.4	3.4	1.4
	西部南	267	56.9	56.9	25.5	6.7	3.0	10.5	2.6	1.9	5.2	0.4	5.6	1.5
	南部	161	49.1	57.8	42.2	5.0	1.2	5.0	-	1.9	1.9	1.9	6.8	1.9
家庭 類型別	フルタイム×フルタイム	580	47.2	79.7	36.7	6.9	2.4	10.3	3.3	2.8	5.7	0.2	1.9	1.0
	フルタイム×パート	472	59.1	59.3	25.2	3.6	1.9	4.2	1.3	1.5	4.2	0.4	3.2	2.5
	フルタイム×非就労	936	79.7	29.4	27.5	5.8	2.5	4.1	2.2	1.8	7.1	0.6	9.4	1.5
	その他	32	71.9	37.5	21.9	-	-	-	3.1	-	-	-	6.3	3.1
	ひとり親・親はいない・無回答	216	42.1	64.4	25.5	4.6	4.6	8.3	3.2	2.8	5.6	0.5	7.4	3.2

【今後利用したい教育・保育事業の希望率の時系列比較】

	後期計画 (H20)	今回調査 (H25)	増減
幼稚園	18.7%	63.2%	▲ 19.6%
幼稚園の預かり保育	24.9%		
認可保育所	24.2%	52.2%	▲ 28.0%
認定こども園	12.0%	29.1%	▲ 17.1%
家庭的な保育	3.7%	2.5%	▲ 1.2%
院内・事業所内保育施設	13.4%	6.1%	▲ 7.3%
認可外保育施設	3.5%	2.4%	▲ 1.1%
ファミリー・サポート・センター	6.4%	5.9%	▲ 0.5%

問8-1 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望がある方にうかがいます。

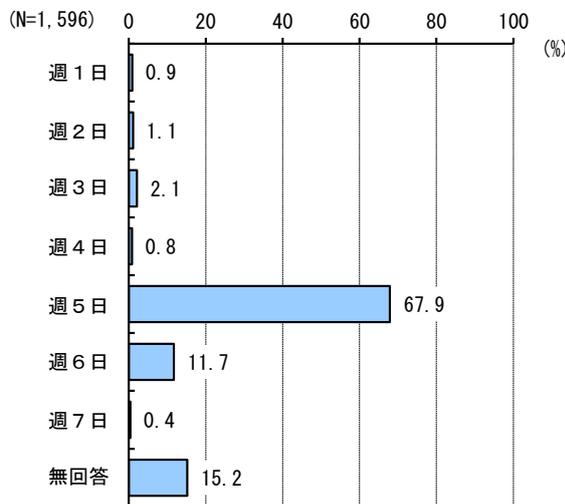
問8で◎をつけた最も利用したいものについて、希望する利用日数・時間を□内に具体的な数字でご記入ください。

平日に定期的に利用したい教育・保育サービスの利用希望日数では、「週5日」が67.9%で最も多く、次いで「週6日」11.7%となっている。

希望する時間については、「8時間」が18.5%で最も多いものの、「6時間」から「10時間」に希望は分散している。

希望する利用時間帯では、開始時刻は「9時」が41.9%、「8時」が32.6%と多く、終了時刻は、「17時」が21.3%で最も多く、次いで「18時」20.1%となっている。

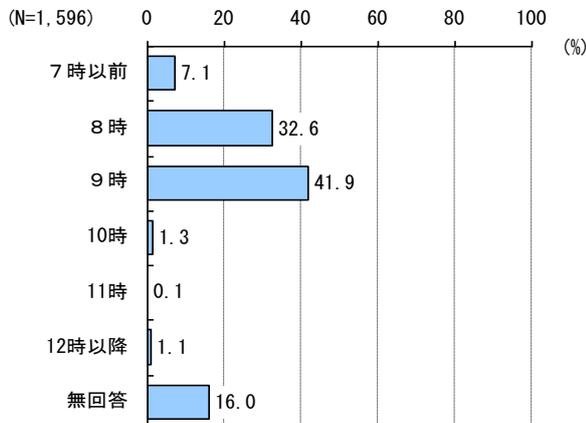
【教育・保育事業の1週当たり利用希望日数】



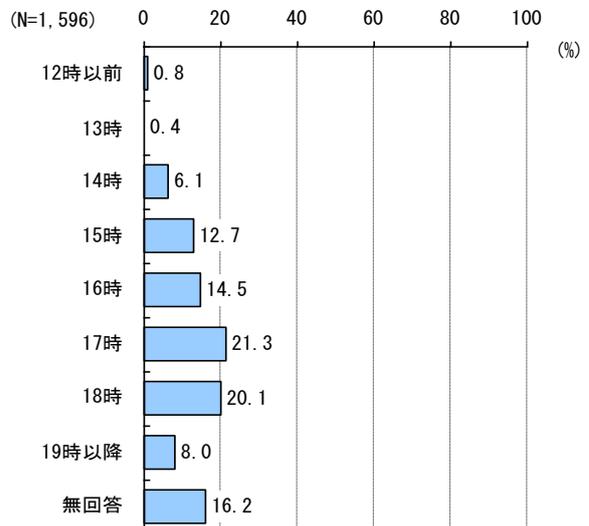
【教育・保育事業の1日当たり利用希望時間】



【教育・保育事業の利用希望開始時刻】



【教育・保育事業の利用希望終了時刻】



II 就学前児童の保護者調査の結果

【平日の定期的な教育・保育事業の希望】

＜利用希望日数＞

	全 体	週 1 日	週 2 日	週 3 日	週 4 日	週 5 日	週 6 日	週 7 日	無回答	平 均 (日)
全 体	1,596	0.9	1.1	2.1	0.8	67.9	11.7	0.4	15.2	5.0
幼稚園（預かり保育を含む）	667	0.6	0.9	1.8	0.7	73.5	7.3	0.3	14.8	5.0
認可保育所	521	0.6	0.2	0.8	0.8	65.1	17.7	0.4	14.6	5.2
認定こども園	208	-	1.9	1.9	1.0	78.4	10.6	0.5	5.8	5.0
小規模な保育施設	14	-	21.4	28.6	-	28.6	14.3	-	7.1	3.9
家庭的な保育	4	25.0	-	-	-	25.0	25.0	-	25.0	4.0
院内・事業所内保育施設	23	4.3	-	-	-	60.9	8.7	-	26.1	4.9
認可外保育施設	8	-	-	-	-	75.0	-	-	25.0	5.0
居宅訪問型保育	5	20.0	20.0	20.0	-	20.0	-	-	20.0	2.8
ファミリー・サポート・センター	9	22.2	-	22.2	-	-	-	-	55.6	2.0
その他	3	33.3	-	-	-	-	-	-	66.7	1.0
利用したいと思う事業はない	2	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

＜1日当たりの利用希望時間＞

	全 体	2時間 以下	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間 以上	無回答	平 均 (時間)
全 体	1,596	0.4	0.7	1.2	5.8	10.7	11.3	18.5	14.2	12.3	4.6	3.5	16.7	8時間04分
幼稚園（預かり保育を含む）	667	0.1	0.3	1.8	11.2	20.1	15.1	15.0	8.7	7.2	2.7	1.6	16.0	7時間17分
認可保育所	521	0.6	-	0.4	0.2	0.8	7.7	25.5	20.5	15.9	5.6	6.3	16.5	8時間58分
認定こども園	208	0.5	0.5	-	4.8	9.1	11.5	17.8	16.8	19.2	8.7	4.3	6.7	8時間32分
小規模な保育施設	14	-	-	14.3	28.6	-	14.3	14.3	14.3	-	7.1	-	7.1	6時間41分
家庭的な保育	4	-	25.0	-	-	-	25.0	-	-	25.0	-	-	25.0	6時間40分
院内・事業所内保育施設	23	-	-	-	-	-	8.7	8.7	21.7	21.7	13.0	-	26.1	9時間17分
認可外保育施設	8	-	-	-	-	-	-	12.5	50.0	12.5	-	-	25.0	9時間00分
居宅訪問型保育	5	-	20.0	20.0	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-	20.0	5時間00分
ファミリー・サポート・センター	9	11.1	22.2	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	55.6	3時間00分
その他	3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	3時間00分
利用したいと思う事業はない	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

＜利用希望開始時刻＞

	全 体	7時以前	8時	9時	10時	11時	12時以降	無回答	平 均 (時)
全 体	1,596	7.1	32.6	41.9	1.3	0.1	1.1	16.0	8時32分
幼稚園（預かり保育を含む）	667	3.7	25.6	52.5	1.8	-	0.7	15.6	8時40分
認可保育所	521	11.3	41.5	30.7	0.4	-	0.6	15.5	8時17分
認定こども園	208	9.6	37.5	45.7	1.0	0.5	-	5.8	8時25分
小規模な保育施設	14	7.1	21.4	57.1	7.1	-	-	7.1	8時41分
家庭的な保育	4	-	-	75.0	-	-	-	25.0	9時00分
院内・事業所内保育施設	23	4.3	52.2	13.0	-	-	4.3	26.1	8時39分
認可外保育施設	8	12.5	37.5	25.0	-	-	-	25.0	8時10分
居宅訪問型保育	5	-	20.0	-	-	-	40.0	40.0	11時20分
ファミリー・サポート・センター	9	-	-	11.1	-	-	33.3	55.6	13時45分
その他	3	-	-	-	-	-	33.3	66.7	14時00分
利用したいと思う事業はない	2	-	-	-	-	-	-	100.0	-

＜利用希望終了時刻＞

	全 体	12時以前	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時以降	無回答	平 均 (時)
全 体	1,596	0.8	0.4	6.1	12.7	14.5	21.3	20.1	8.0	16.2	16時41分
幼稚園（預かり保育を含む）	667	0.4	0.7	12.4	24.0	15.0	15.6	13.0	2.8	15.9	15時57分
認可保育所	521	0.2	-	0.2	1.2	15.4	30.1	24.8	12.7	15.5	17時25分
認定こども園	208	1.0	-	3.8	10.1	15.4	21.6	31.3	11.1	5.8	17時02分
小規模な保育施設	14	-	14.3	21.4	7.1	21.4	7.1	21.4	-	7.1	15時32分
家庭的な保育	4	25.0	-	-	-	25.0	-	-	25.0	25.0	15時40分
院内・事業所内保育施設	23	-	-	-	4.3	-	17.4	39.1	13.0	26.1	18時04分
認可外保育施設	8	-	-	-	-	12.5	37.5	25.0	-	25.0	17時10分
居宅訪問型保育	5	-	-	-	-	-	60.0	-	-	40.0	17時00分
ファミリー・サポート・センター	9	11.1	-	-	-	11.1	-	-	22.2	55.6	16時45分
その他	3	-	-	-	-	-	33.3	-	-	66.7	17時00分
利用したいと思う事業はない	2	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

(3) 休日等の定期的な教育・保育事業の利用希望

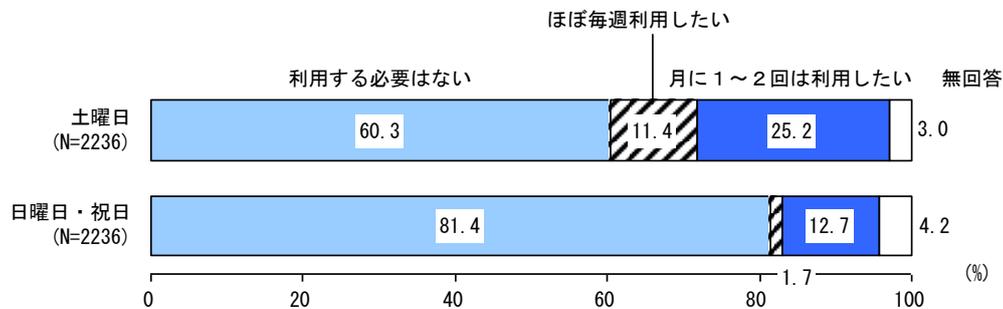
問9 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。

休日等の定期的な教育・保育事業の利用希望では、土曜日は、「月1～2回利用したい」が25.2%、「ほぼ毎週利用したい」が11.4%、日曜日・祝日は、「月1～2回利用したい」が12.7%、「ほぼ毎週利用したい」が1.7%であり、何らかの利用希望があるのは、土曜日36.6%、日曜日・祝日14.4%となっている。

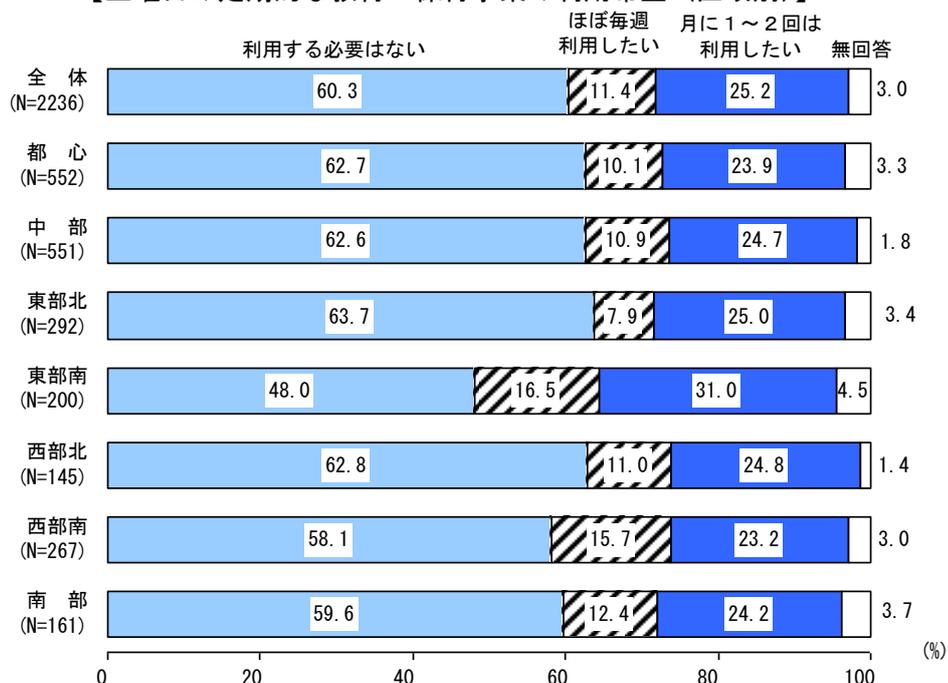
区域別にみると、土曜日については「東部南」の利用希望が比較的高くなっている。

利用希望者の希望する時間帯は、土曜日、日曜日・祝日ともに開始時刻は「9時」が最も多く、次いで「8時」となっており、終了時刻は「17時」が最も多く、次いで「18時」となっている。

【土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望】

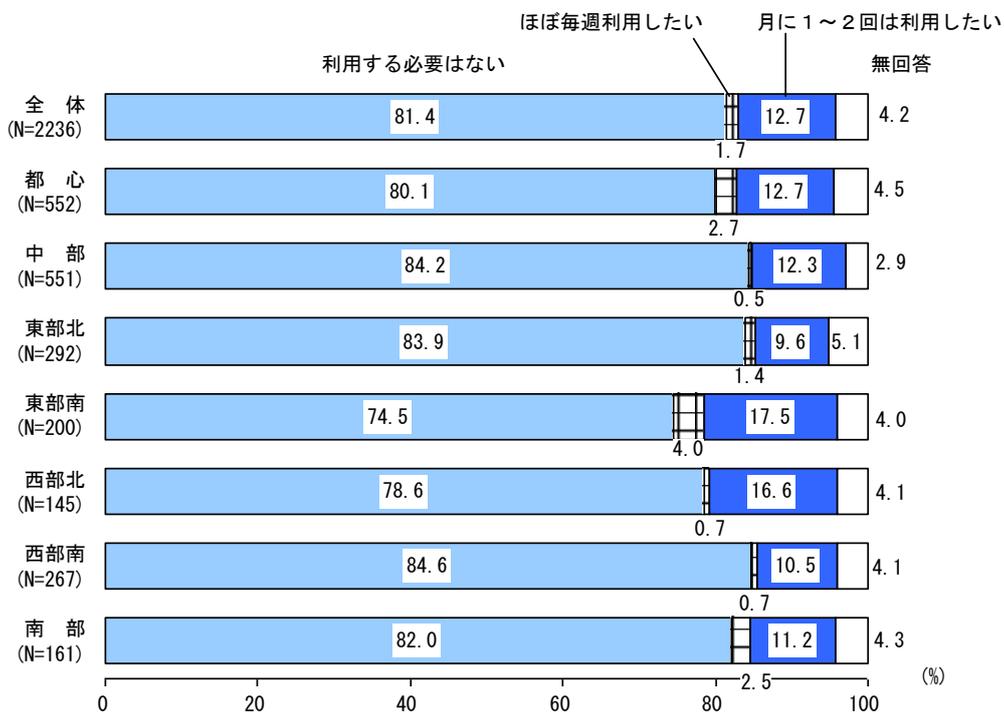


【土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望（区域別）】



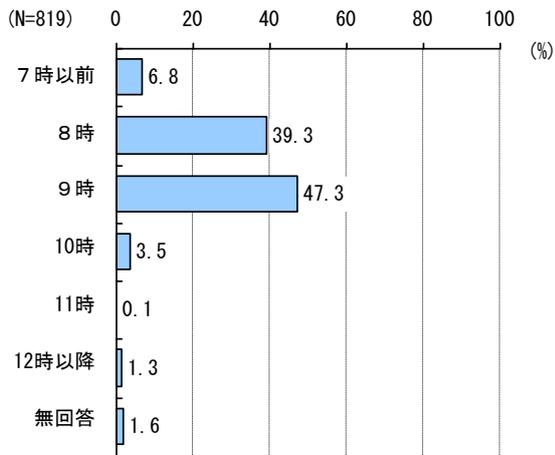
Ⅱ 就学前児童の保護者調査の結果

【日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望（区域別）】

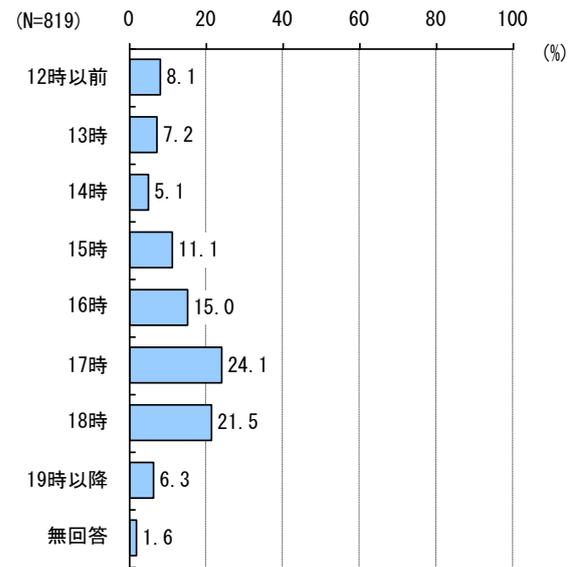


【土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望時間帯】

<利用開始時刻>

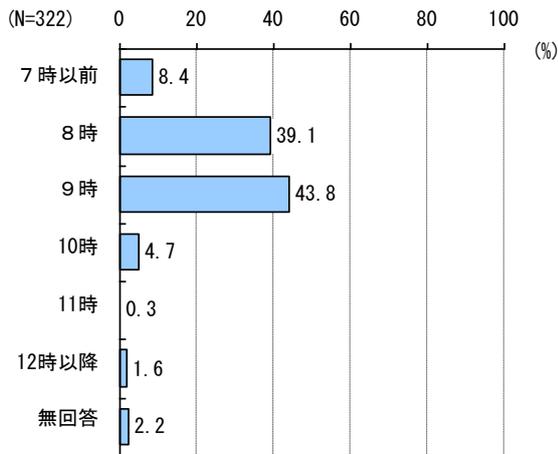


<利用終了時刻>

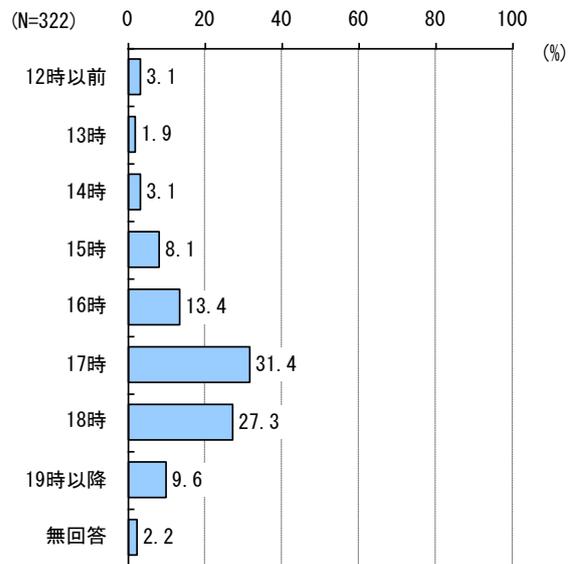


【日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望時間帯】

<利用開始時刻>



<利用終了時刻>



## Ⅱ 就学前児童の保護者調査の結果

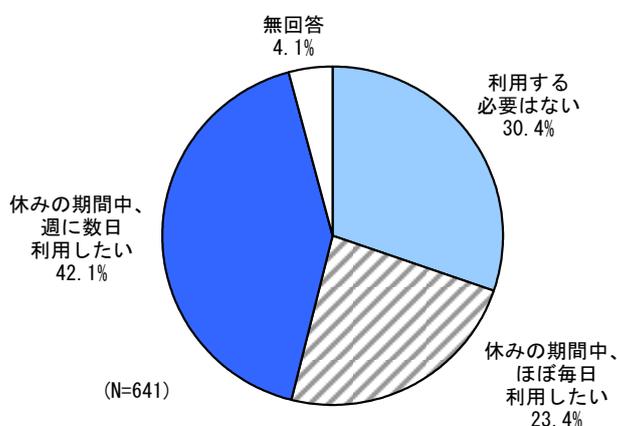
問10 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。

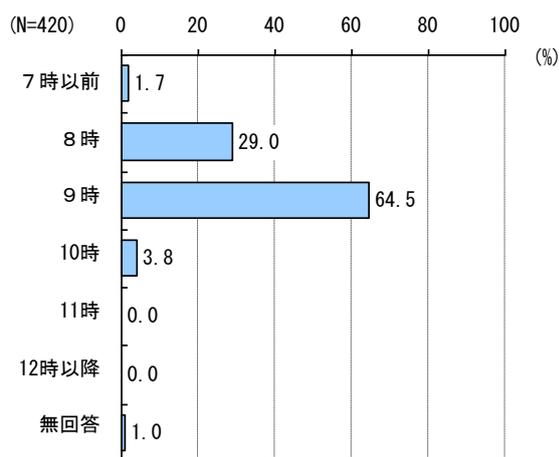
幼稚園の長期休暇中の利用希望では、「休みの期間中、週に数日利用したい」が42.1%で最も多く、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の23.4%とあわせると65.5%を占めている。

利用希望者の希望時間帯をみると、開始時刻は「9時」、終了時刻は「15時」が最も多くなっている。

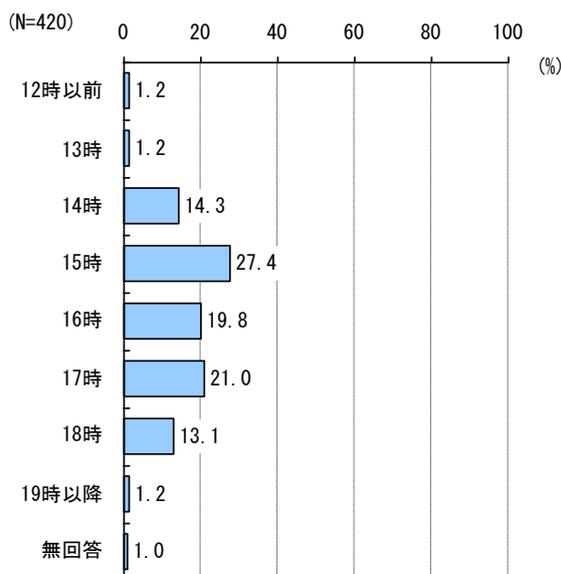
【幼稚園の長期休暇中の利用希望】



【幼稚園の長期休暇中の利用希望開始時刻】



【幼稚園の長期休暇中の利用希望終了時刻】



## 5 病気の際の対応について

### (1) 子どもが病気やケガで通常の教育・保育事業を利用できない場合の対応

問11 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問7で「1」に○をつけた方）にうかがいます。

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。

問11-1 問11で「1」に○をつけた方にうかがいます。

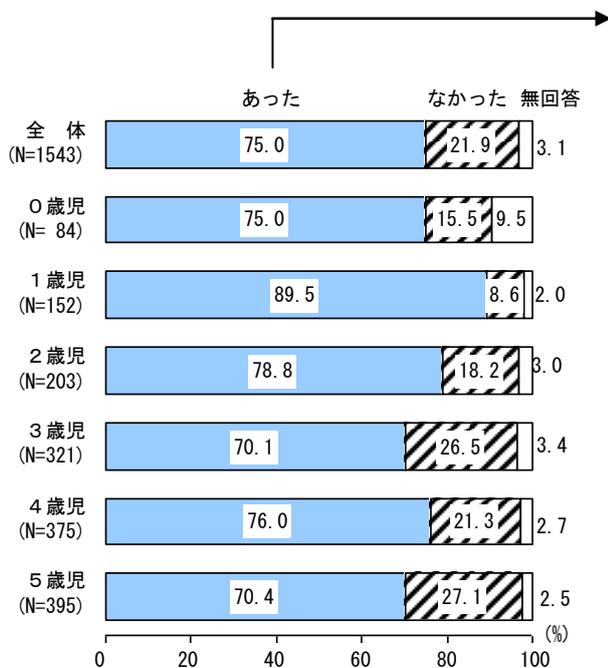
あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことが「あった」のは75.0%となっている。子どもの年齢別にみると、1歳児が最も多く、約9割が経験している。

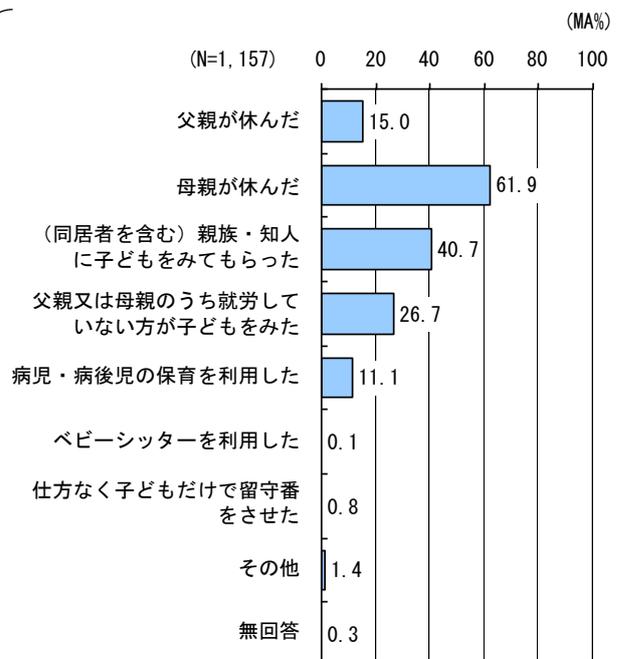
対処方法としては、「母親が休んだ」が61.9%で最も多く、次いで「(同居を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」40.7%となっている。

対処方法別の日数については、“父親が休んだ”のは「年2日」、「母親が休んだ」のは「年10日」、「(同居を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」のは「年5日」、「父親また母親のうち就労していない方がみた」のは「年12日」が多くなっている。また、“病児・病後児の保育を利用した”のは年平均5.2日、“仕方なく子どもだけで留守番をさせた”のは年平均3.4日みられる。

【子どもが病気等で通常の教育・保育事業が利用できなかったこと】



【その際の対応】



## Ⅱ 就学前児童の保護者調査の結果

【子どもが病気等で通常の教育・保育事業を利用できなかったこと（就労タイプ別）】

	全体 (N)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全 体	1,157	15.0	61.9	40.7	26.7	11.1	0.1	0.8	1.4	0.3
フルタイム×フルタイム	420	27.1	79.8	60.0	4.8	15.0	0.2	1.2	2.4	-
フルタイム×パート・アルバイト	311	11.6	82.6	41.8	9.6	13.2	-	0.3	1.0	-
フルタイム×非就労	285	6.0	10.5	11.9	83.9	2.1	-	-	0.4	0.7
その他	8	12.5	50.0	12.5	25.0	-	-	-	-	12.5
ひとり親・親はいない・無回答	133	3.8	67.7	40.6	13.5	13.5	-	2.3	1.5	-

【子どもが病気等で通常の教育・保育事業を利用できなかった日数（対応別）】

	全 体 (N)	年1日	年2日	年3日	年4日	年5日	年6日	年7日	年8日	年9日	年10日	年11日	年12日以上	無回答	平均 (日)
父親が休んだ	173	24.9	30.1	12.7	2.3	19.1	-	1.2	1.7	-	3.5	-	2.9	1.7	3.5
母親が休んだ	716	6.4	9.8	13.3	4.3	15.6	1.3	4.1	2.9	0.3	21.4	-	16.8	3.9	8.6
親族・知人にみてもらった	471	8.5	12.3	16.1	2.8	21.7	1.3	3.4	1.5	-	12.5	-	15.3	4.7	7.8
父親または母親のうち就労していない方がみた	309	5.2	7.4	11.7	6.8	16.8	1.3	5.2	1.6	0.3	17.5	0.6	17.8	7.8	8.7
病児・病後児の保育を利用した	128	15.6	18.0	9.4	8.6	20.3	1.6	1.6	0.8	1.6	14.1	-	4.7	3.9	5.2
ベビーシッターを利用した	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	0.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	9	22.2	33.3	11.1	-	11.1	-	-	-	-	-	-	11.1	11.1	3.4
その他の	16	6.3	12.5	25.0	-	12.5	-	6.3	-	-	-	-	18.8	18.8	9.9

(2) 病児・病後児保育施設等の利用希望

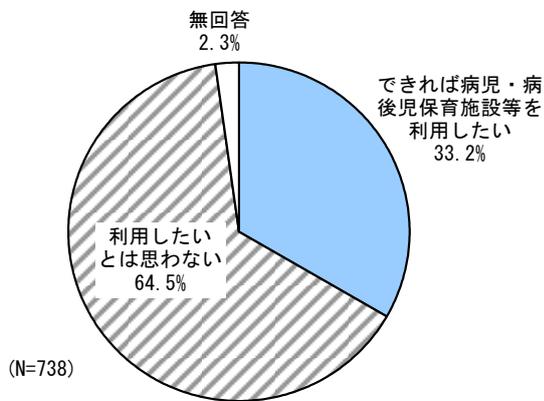
問11-2 問11-1で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。  
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

子どもが病気やケガで通常の教育・保育事業を利用できなかった際に「父親が休んだ」または「母親が休んだ」人について病児・病後児保育施設等の利用希望があるのは33.2%となっている。

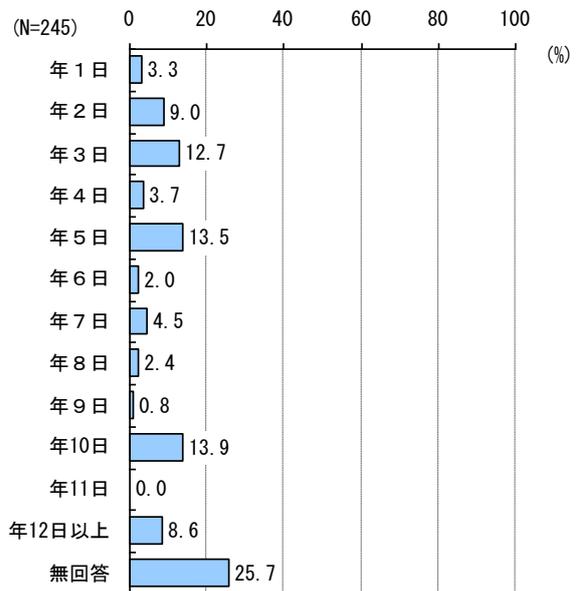
区域別にみると、都心及び東部南で若干利用希望の割合が高くなっている。

病児・病後児保育施設等の利用希望日数については、「年10日」が13.9%で最も多く、次いで「年5日」13.5%となっている。

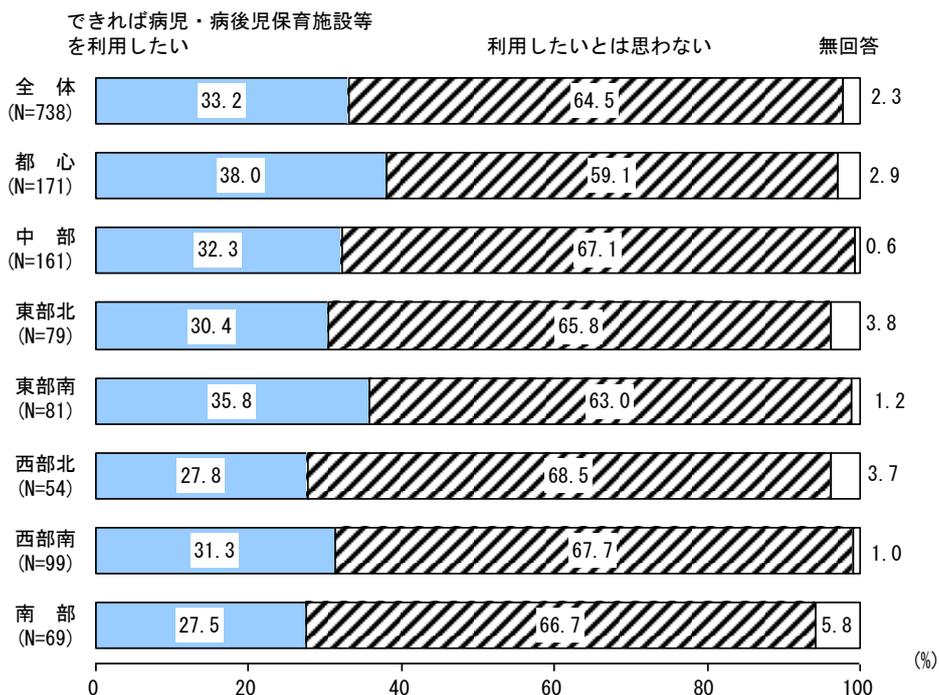
【病児・病後児保育施設の利用希望】



【病児・病後児保育施設の利用希望日数】



【病児・病後児保育施設の利用希望（区域別）】



## II 就学前児童の保護者調査の結果

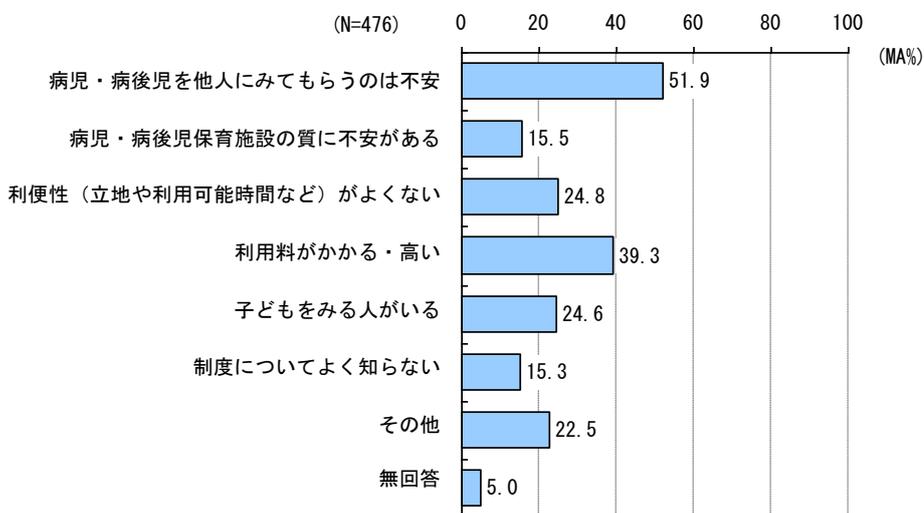
問11-3 問11-2で「2」に○をつけた方にうかがいます。

病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由では、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が51.9%で最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」39.3%、「利便性（立地や利用可能時間など）がよくない」24.8%となっている。

また、「その他」の内容では、「子どもがかわいそう」「病気の時くらいは自分でみたい」「子どもが嫌がる」「病気を移されそう」などが多くなっている。

【病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由】



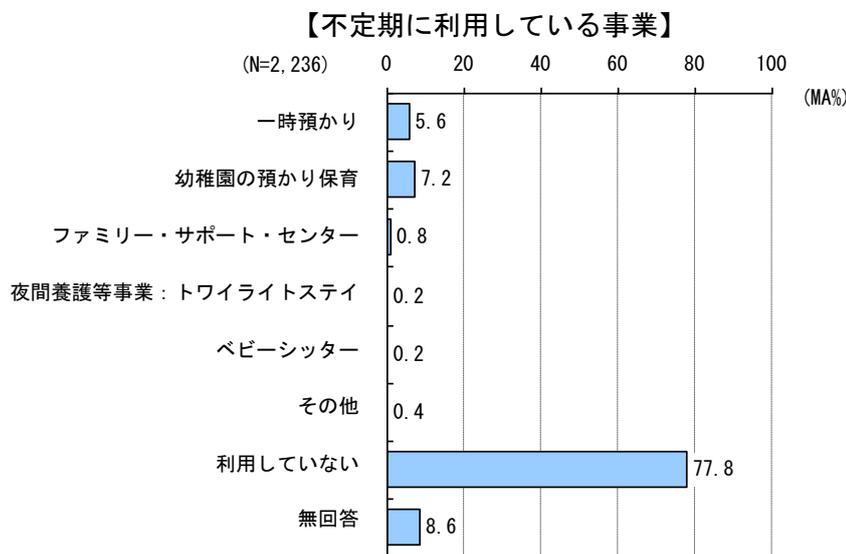
## 6 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用について

### (1) 不定期的な教育・保育事業の利用

問12 あて名のお子さんについて、定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業については、「利用していない」が77.8%と多数を占めている。

不定期に利用している事業内容では、「幼稚園の預かり保育」が7.2%（利用希望日数平均：年8.0日）で最も多く、次いで「一時預かり」5.6%（同：年4.6日）となっている。



**【不定期に利用している事業（年齢別・区域別）】**

		全体 (N)	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	夜間養護等事業：トワイライトステイ	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
全体		2,236	5.6	7.2	0.8	0.2	0.2	0.4	77.8	8.6
年齢別	0歳児	349	5.2	0.6	0.6	0.3	0.3	0.6	81.4	11.5
	1歳児	372	8.6	0.5	1.1	-	-	0.3	79.6	10.5
	2歳児	364	9.3	1.9	0.5	0.3	-	0.8	77.7	9.9
	3歳児	346	5.5	10.4	1.2	-	0.3	0.6	75.4	8.4
	4歳児	386	3.4	14.8	0.5	0.3	-	0.3	75.4	6.5
	5歳児	404	2.5	13.6	1.2	0.5	0.5	-	77.7	5.7
区域別	都心	552	8.5	11.2	1.3	-	0.4	0.5	72.5	7.1
	中部	551	5.3	8.9	0.7	0.4	0.2	0.4	77.7	7.8
	東部北	292	6.8	7.2	1.4	-	-	0.7	76.4	8.6
	東部南	200	2.5	4.0	0.5	-	-	-	83.5	9.5
	西部北	145	6.2	2.8	-	-	-	-	82.8	9.0
	西部南	267	3.4	3.7	0.7	0.7	0.4	0.4	81.6	10.1
	南部	161	2.5	0.6	0.6	-	-	0.6	84.5	11.2

Ⅱ 就学前児童の保護者調査の結果

【不定期に利用している事業別 利用日数】

	全 体 (N)	年1日	年2日	年3日	年4日	年5日	年6日	年7日	年8日	年9日	年10日	年11日	年12日 以上	無回答	平均 (日)
一時預かり	126	36.5	16.7	11.1	3.2	11.9	0.8	2.4	0.8	-	4.8	-	6.3	5.6	4.6
幼稚園の預かり保育	162	21.0	13.0	14.2	4.3	10.5	1.9	2.5	1.9	-	8.6	-	11.7	10.5	8.0
ファミリー・サポート・センター	19	31.6	5.3	10.5	10.5	10.5	5.3	-	-	-	10.5	-	5.3	10.5	4.6
夜間養護等事業	5	-	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-	20.0	-	20.0	20.0	6.4
ベビーシッター	4	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	25.0	-	25.0	25.0	19.3
その他	9	33.3	11.1	11.1	-	-	-	-	-	-	22.2	-	-	22.2	4.0

問13 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。

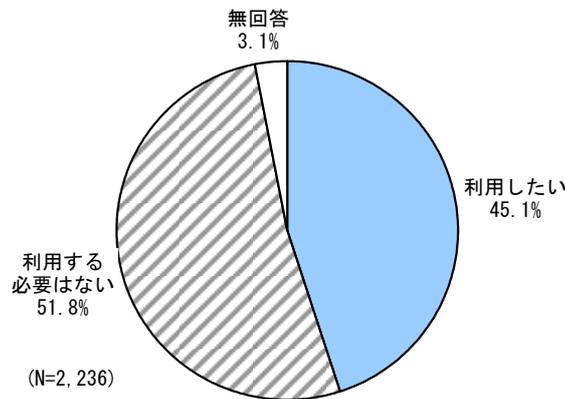
不定期の教育・保育サービスの利用希望については、「利用する必要はない」が51.8%と過半数を占めている。

区域別にみると、都心、中部、東部北で45%を超える利用希望があり、特に、都心では53.1%が「利用したい」と回答している。

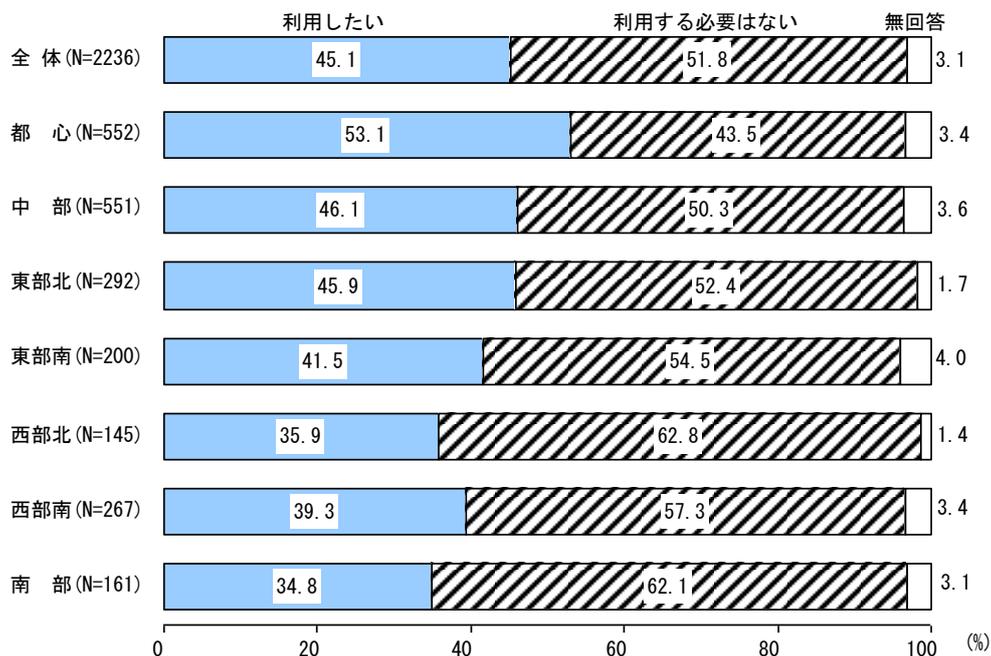
不定期な事業の利用目的では、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院」が69.6%で最も多く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」66.4%、「不定期の就労」25.9%となっている。

不定期な事業の利用希望日数合計については、年平均22.4日となっている。

【不定期の教育・事業の利用希望】

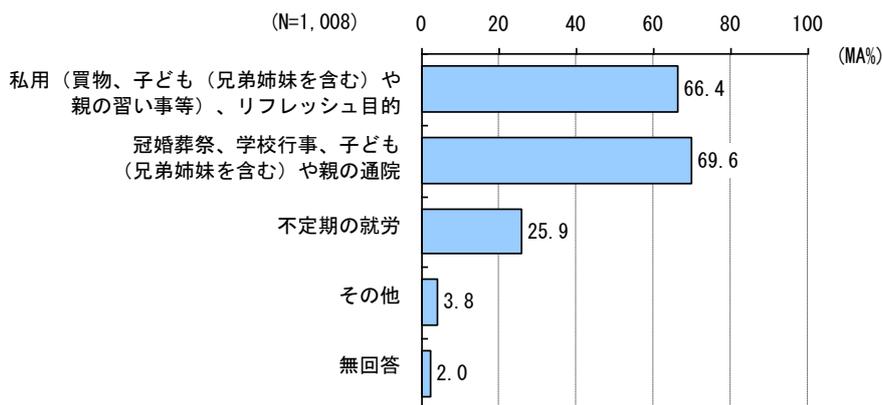


【不定期の事業の利用希望（区域別）】



Ⅱ 就学前児童の保護者調査の結果

【不定期の事業の利用目的】



【不定期の事業の利用目的（年齢別・区域別）】

		全体 (N)	私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院	不定期の就労	その他	無回答
全体		1,008	66.4	69.6	25.9	3.8	2.0
年齢別	0歳児	154	63.6	75.3	28.6	3.9	1.9
	1歳児	169	75.1	68.0	18.9	2.4	1.8
	2歳児	173	69.4	67.1	26.0	6.9	1.2
	3歳児	162	60.5	72.2	32.1	3.1	0.6
	4歳児	175	66.3	66.9	21.1	1.7	4.0
	5歳児	168	61.9	69.6	29.2	4.8	2.4
区域別	都心	293	69.6	70.0	20.1	3.8	2.0
	中部	254	67.7	72.8	27.6	4.3	1.6
	東部北	134	65.7	62.7	20.9	4.5	2.2
	東部南	83	66.3	73.5	28.9	3.6	3.6
	西部北	52	57.7	71.2	34.6	1.9	-
	西部南	105	66.7	66.7	28.6	2.9	1.0
	南部	56	51.8	66.1	44.6	3.6	1.8

【不定期の事業の利用目的別 利用希望日数】

	全体 (N)	年4日以内	年5～8日	年9～12日	年13～16日	年17～20日	年21～24日	年25～28日	年29～32日	年33～36日	年37日以上	無回答	平均 (日)
私用・リフレッシュ目的	669	15.7	23.9	36.0	2.4	3.9	5.1	0.6	3.3	0.9	6.1	2.1	13.2
冠婚葬祭、学校行事、子ども親の通院等	702	27.1	31.2	26.8	2.4	4.3	1.9	0.1	2.1	0.6	1.9	1.7	8.9
不定期の就労	261	11.1	17.2	24.1	3.8	6.1	2.3	1.5	7.7	0.8	19.2	6.1	25.0
その他	38	21.1	18.4	18.4	-	10.5	2.6	-	-	-	7.9	21.1	18.5
合計	1,008	9.2	15.4	23.6	8.2	9.1	5.9	2.4	3.9	2.1	13.7	6.5	22.4

(2) 宿泊を伴う預かりの状況

問14 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

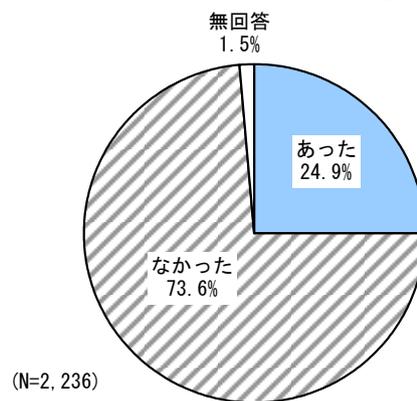
この1年間に泊りがけで家族以外に子どもをみてもらわなければならないことが「あった」のは24.9%となっている。

これを子どもの年齢別にみると、1歳児以上で2割を超えている。

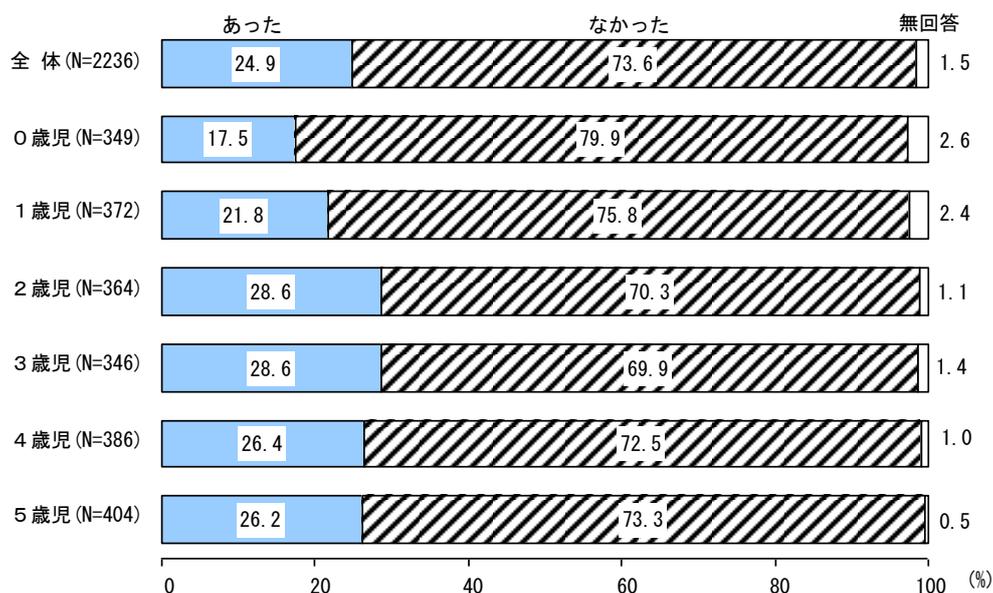
その際の対処方法としては、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が85.6%で最も多くなっている。

この1年間に泊りがけで家族以外に子どもをみてもらわなければならない日数合計は、「年1泊」が最も多く、平均では「年7.4日」となっている。

【この1年間に泊りがけで家族以外に子どもをみてもらったこと】

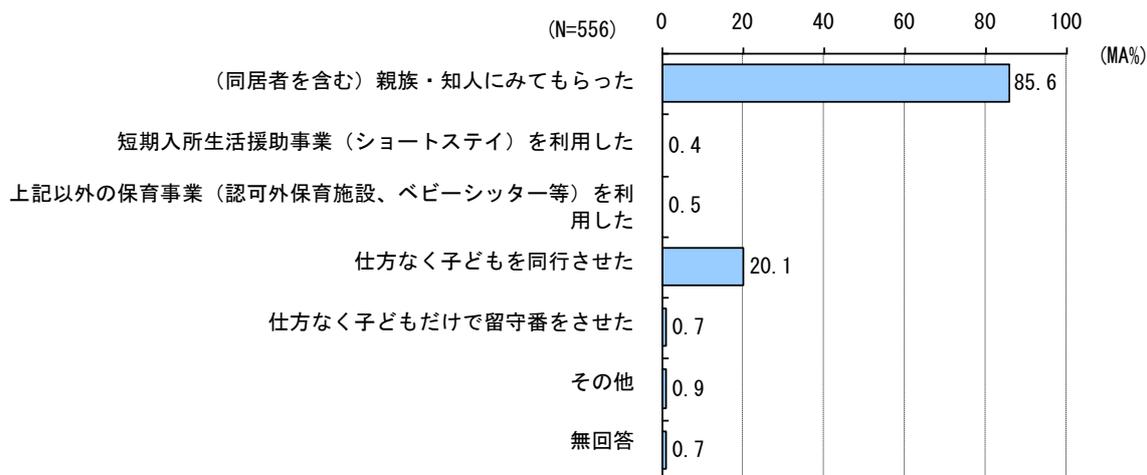


【この1年間に泊りがけで家族以外に子どもをみてもらったこと（年齢別）】



Ⅱ 就学前児童の保護者調査の結果

【泊りがけで家族以外に子どもをみてもらわなければならなかった際の対処方法】



【対処方法別 日数】

	全体 (N)	年1泊	年2泊	年3泊	年4泊	年5泊	年6泊	年7泊	年8泊	年9泊	年10泊	年11泊	年12泊以上	無回答	平均 (日)
親族・知人にみてもらった	476	22.7	14.7	12.2	3.2	12.6	2.7	3.6	0.8	0.6	8.8	-	14.3	3.8	8.1
短期入所生活線所事業を利用した	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	14.0
その他の保育事業を利用した	3	-	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	5.5
仕方なく子どもを同行させた	112	33.9	12.5	19.6	5.4	10.7	0.9	2.7	0.9	-	1.8	-	3.6	8.0	3.3
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	4	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0	2.7
その他	5	20.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	40.0	-	-	-	5.0
合計	556	22.7	13.8	11.3	4.3	11.7	3.8	3.6	1.1	0.5	7.4	-	14.6	5.2	7.4

## 7 小学校就学後の放課後の過ごし方について（5歳児のみ）

### （1）小学校の放課後を過ごさせたい場所（平日）

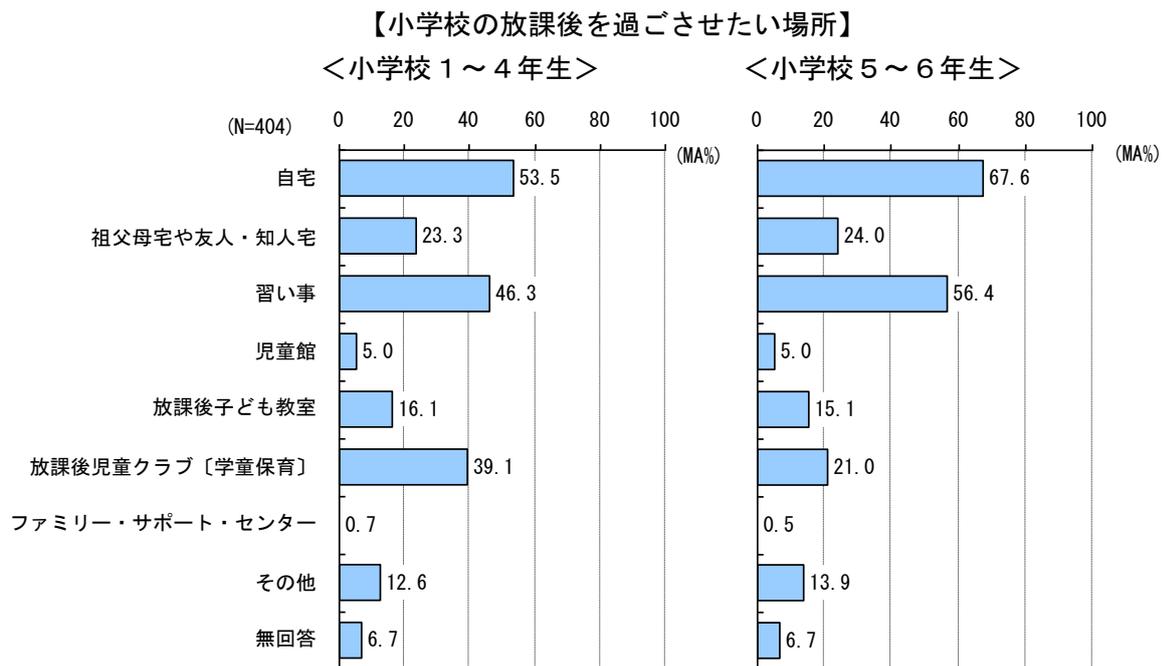
問15 あて名のお子さんについて、小学校1～4年生のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも）

問16 あて名のお子さんについて、小学校5～6年生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも）

小学校就学後の放課後に過ごさせたい場所については、小学校1～4年生では、「自宅」が53.5%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」46.3%、「放課後児童クラブ（学童保育）」39.1%、「放課後子ども教室」16.1%となっている。

小学校5～6年生では、「自宅」が67.6%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」56.4%、「祖父母宅や友人・知人宅」24.0%、「放課後児童クラブ（学童保育）」21.0%となっている。

小学校1～4年生と5～6年生では、「自宅」「習い事」が上位を占めることは共通しているが、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」については、1～4年生では39.1%であるのに対して、5～6年では21.0%に減少している。



Ⅱ 就学前児童の保護者調査の結果

【放課後を過ごさせたい場所別（区域別）】

<小学校1～4年生>

	全体(N)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童館	放課後子ども教室	放課後児童クラブ〔学童保育〕	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	404	53.5	23.3	46.3	5.0	16.1	39.1	0.7	12.6	6.7
都心	91	54.9	16.5	56.0	4.4	18.7	38.5	-	18.7	8.8
中部	87	48.3	23.0	42.5	5.7	13.8	41.4	-	10.3	9.2
東部北	60	65.0	21.7	55.0	-	13.3	40.0	1.7	15.0	1.7
東部南	38	42.1	23.7	31.6	2.6	15.8	42.1	-	5.3	5.3
西部北	29	48.3	27.6	55.2	-	13.8	37.9	-	6.9	3.4
西部南	51	51.0	29.4	33.3	5.9	11.8	45.1	3.9	11.8	5.9
南部	36	55.6	19.4	33.3	16.7	22.2	30.6	-	13.9	8.3

<小学校5～6年生>

	全体(N)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童館	放課後子ども教室	放課後児童クラブ〔学童保育〕	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	404	67.6	24.0	56.4	5.0	15.1	21.0	0.5	13.9	6.7
都心	91	71.4	15.4	68.1	2.2	14.3	20.9	-	14.3	7.7
中部	87	59.8	24.1	55.2	3.4	17.2	19.5	-	16.1	9.2
東部北	60	73.3	20.0	58.3	1.7	13.3	21.7	1.7	18.3	1.7
東部南	38	68.4	21.1	36.8	2.6	13.2	23.7	-	5.3	5.3
西部北	29	72.4	34.5	65.5	-	17.2	20.7	-	10.3	3.4
西部南	51	64.7	31.4	52.9	11.8	7.8	21.6	2.0	11.8	7.8
南部	36	61.1	25.0	33.3	16.7	22.2	25.0	-	13.9	8.3

【放課後を過ごさせたい場所別 過ごさせたい日数】

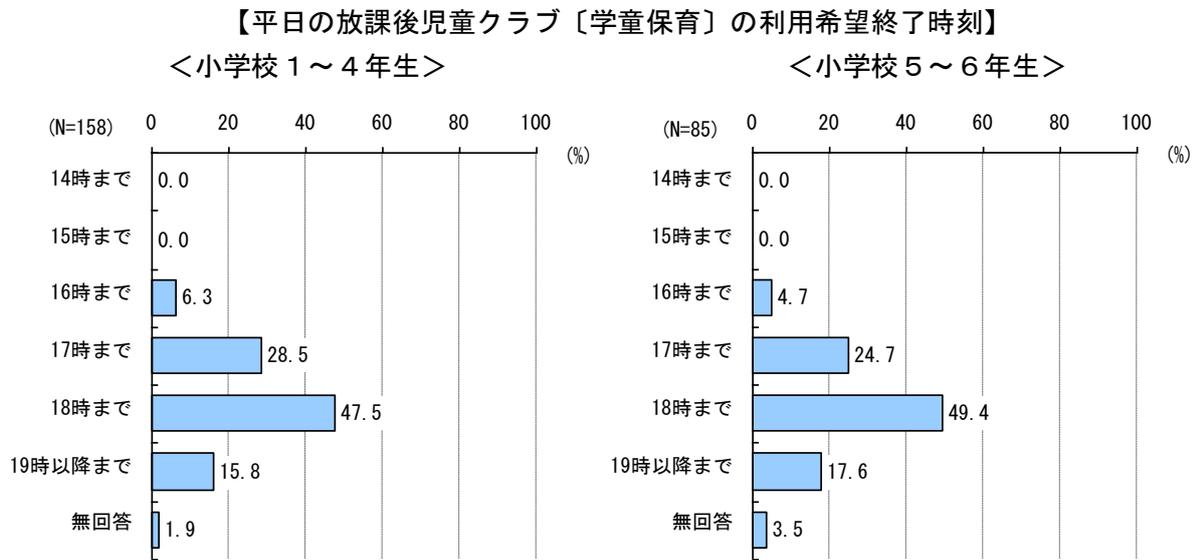
<小学校1～4年生>

	全体	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答	平均(日)
自宅	216	13.9	19.9	23.1	5.6	21.8	1.9	5.1	8.8	3.3
祖父母宅や友人・知人宅	94	40.4	19.1	3.2	6.4	17.0	1.1	1.1	11.7	2.4
習い事	187	32.1	37.4	18.2	5.3	1.1	-	-	5.9	2.0
児童館	20	30.0	15.0	5.0	10.0	20.0	10.0	-	10.0	3.1
放課後子ども教室	65	27.7	27.7	10.8	6.2	20.0	1.5	-	6.2	2.7
放課後児童クラブ〔学童保育〕	158	1.9	11.4	7.6	7.6	60.8	8.2	-	2.5	4.4
ファミリー・サポート・センター	3	-	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3	3.5
その他（コミュニティセンター、公園など）	51	43.1	27.5	9.8	3.9	3.9	-	-	11.8	1.8

<小学校5～6年生>

	全体	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答	平均(日)
自宅	273	12.1	18.7	20.1	5.1	27.5	4.0	4.0	8.4	3.5
祖父母宅や友人・知人宅	97	41.2	21.6	9.3	1.0	10.3	1.0	1.0	14.4	2.1
習い事	228	15.8	44.7	27.6	6.6	1.8	-	-	3.5	2.3
児童館	20	25.0	30.0	5.0	-	10.0	10.0	-	20.0	2.6
放課後子ども教室	61	32.8	24.6	11.5	4.9	16.4	3.3	-	6.6	2.5
放課後児童クラブ〔学童保育〕	85	4.7	17.6	10.6	10.6	41.2	8.2	-	7.1	4.0
ファミリー・サポート・センター	2	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	2.0
その他（コミュニティセンター、公園など）	56	46.4	21.4	14.3	1.8	5.4	-	-	10.7	1.9

放課後児童クラブの利用希望時間については、小学校1～4年生、5～6年生ともに「18時まで」が最も多くなっている。



## II 就学前児童の保護者調査の結果

### (2) 放課後児童クラブの土曜日、日曜日・祝日の利用希望

- 問17 問15または問16で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。  
 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（○は1つ）
- 問18 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（○は1つ）

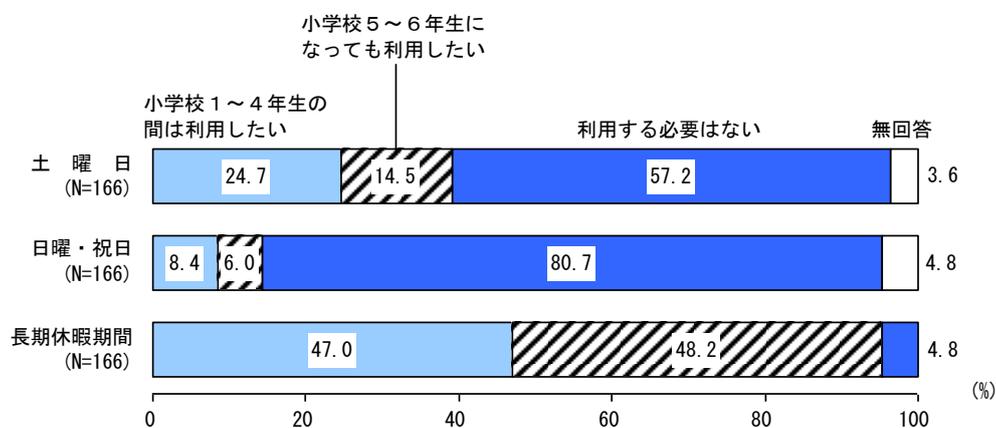
来年少学に入学する児童のうち平日に放課後児童クラブを希望する保護者 166 人について、休日等の放課後児童クラブの利用希望をみると、土曜日、日曜・祝日については、「利用する必要はない」が最も多くなっている。「小学校 1～4 年生の間は利用したい」割合は、土曜日が 24.7%、日曜日・祝日が 8.4%である。

一方、長期休暇期間については、大半が利用を希望しており、「小学校 5～6 年生になっても利用したい」が 48.2%で最も多く、次いで「小学校 1～4 年生の間は利用したい」47.0%となっている。

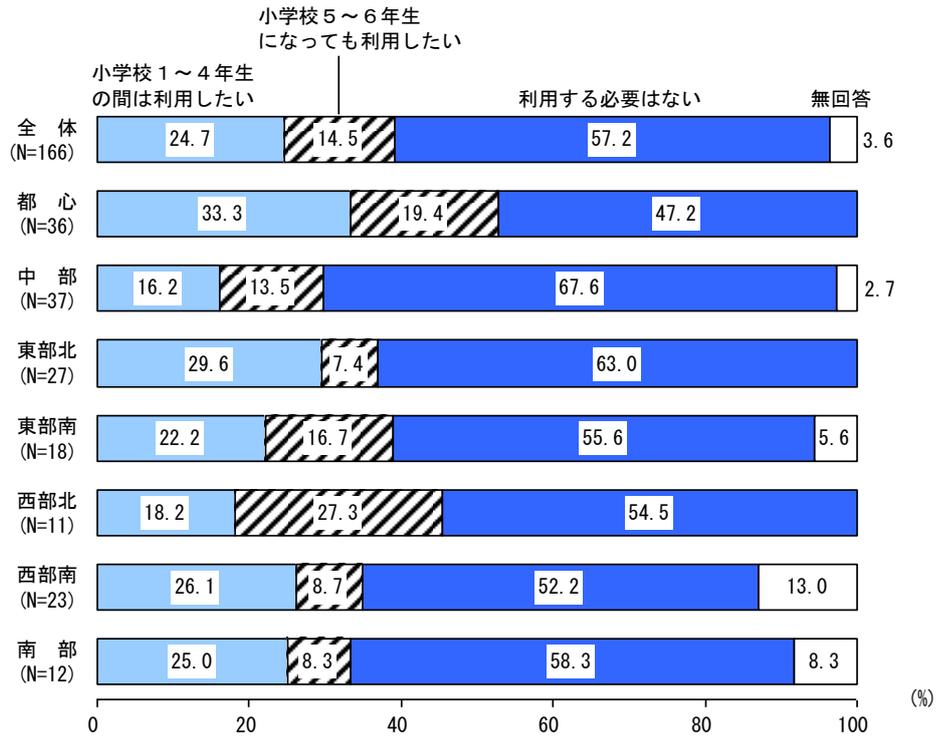
区域別にみると、土曜日、日曜・祝日ともに“都心”と“西部北”で利用希望の割合が高くなっている。

放課後児童クラブの希望時間帯をみると、日曜日・祝日については、利用開始時刻は「9時から」が 58.3%で最も多く、利用終了時刻は「17時まで」「18時まで」「19時以降まで」が同率となっている。長期休暇期間は、利用開始時刻は「8時から」が 50.0%で、利用終了時刻は「18時まで」が 44.9%で最も多くなっている。

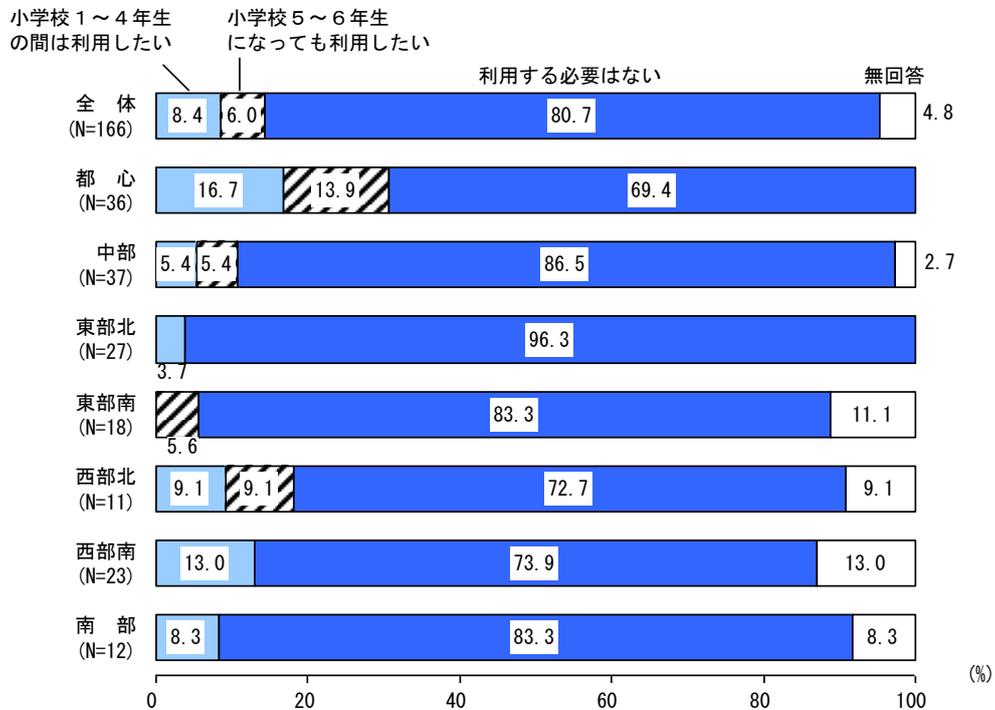
【土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間の放課後児童クラブの利用希望】



【土曜日の放課後児童クラブの利用希望（区域別）】

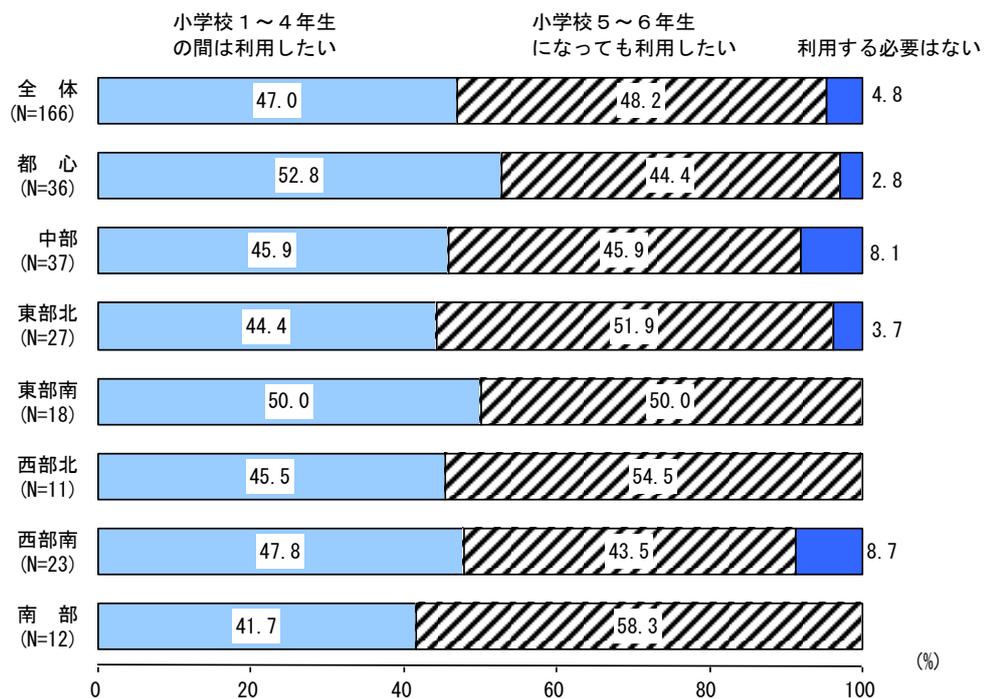


【日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望】 <区域別>

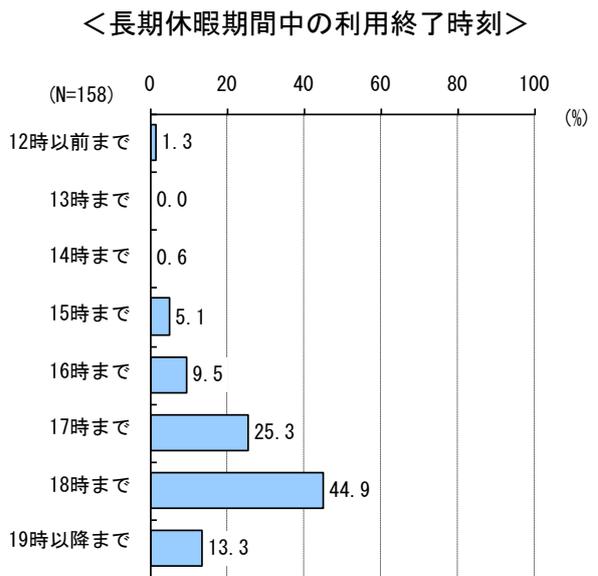
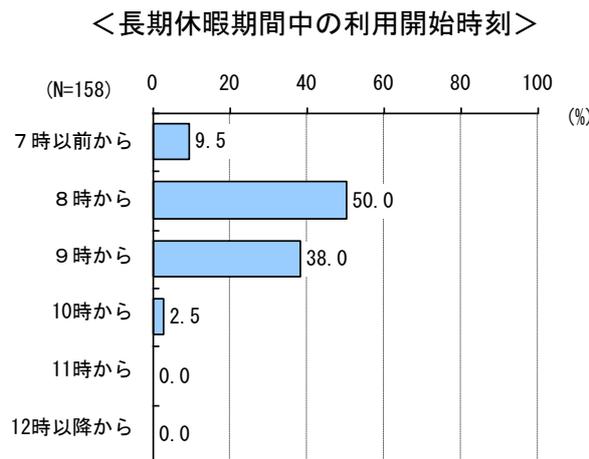
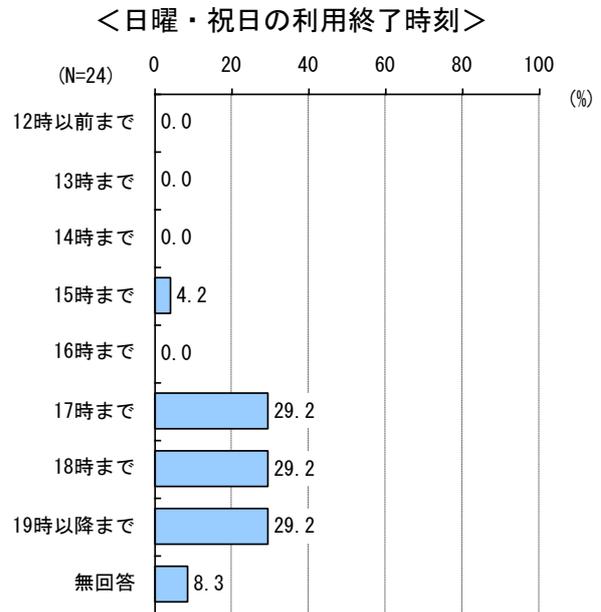
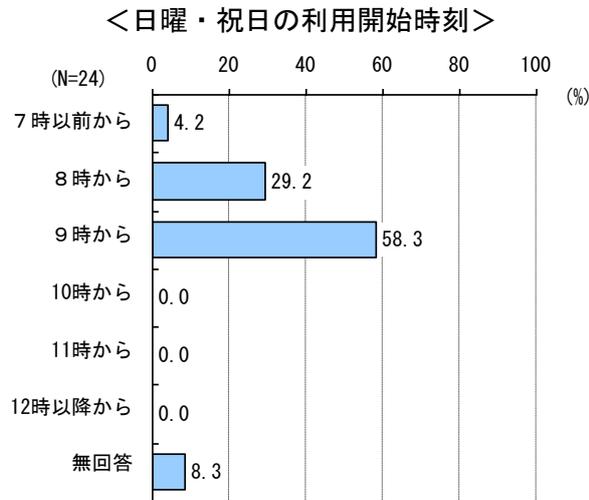


Ⅱ 就学前児童の保護者調査の結果

【長期休暇期間の放課後児童クラブの利用希望（区域別）】



【放課後児童クラブの利用希望時間帯】



## 8 地域の子育て支援事業の利用状況について（3歳未満のみ）

### （1）地域子育て支援拠点事業の利用状況

問19 あて名のお子さんは、現在、前頁にある地域子育て支援センター、つどいの広場を利用していますか。利用している施設名の番号を記載し（いくつでも）、全体でのおおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

#### ■ 利用有無

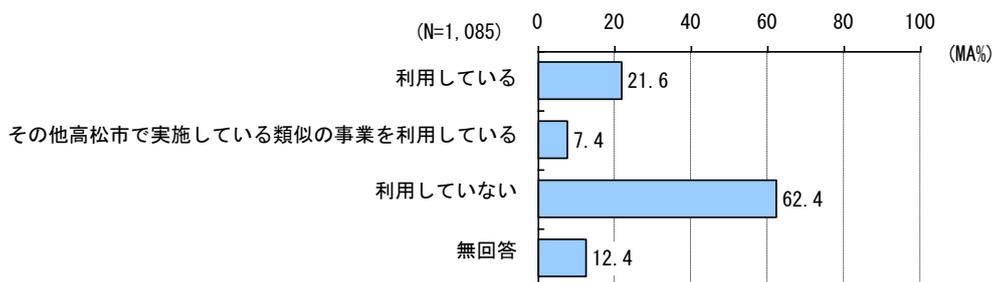
地域子育て支援拠点事業の利用状況では、「利用していない」が62.4%と多く、「利用している」は21.6%にとどまっている。なお、「その他高松市で実施している類似の事業を利用している」は7.4%である。

区域別にみると、“西部北”“南部”で「利用している」が他区域と比べて少なく、逆に「その他高松市で実施している類似の事業を利用している」が比較的多くなっている。

#### ■ 利用回数

地域子育て支援拠点事業では「月1回」が23.9%で最も多く、次いで「月4回（週1回）～月7回」18.8%となっている。高松市の類似事業では「月1回」が30.0%で最も多く、次いで「月2回」28.8%となっており、地域子育て支援拠点事業に比べて利用頻度が少なくなっている。

【地域子育て支援拠点事業の利用有無】



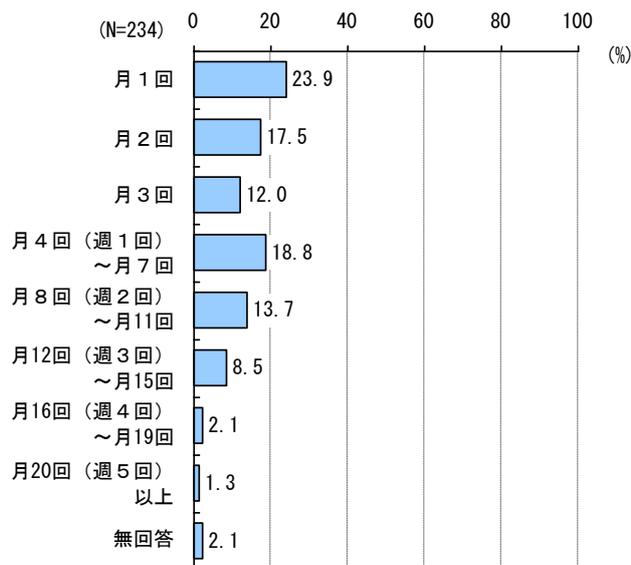
【地域子育て支援拠点事業の利用有無（区域別）】

		全体 (N)	利用している	その他高松市で実施している類似の事業を利用している	利用していない	無回答
全体		1,085	21.6	7.4	62.4	12.4
区域別	都心	272	20.6	7.7	64.7	11.0
	中部	277	25.6	7.9	59.9	11.6
	東部北	136	26.5	5.9	56.6	12.5
	東部南	98	20.4	4.1	64.3	13.3
	西部北	68	14.7	13.2	67.6	10.3
	西部南	134	21.6	3.7	65.7	11.9
	南部	71	11.3	14.1	60.6	18.3
就労タイプ別	フルタイム×フルタイム	309	9.4	2.6	77.7	12.0
	フルタイム×パート	175	10.9	4.6	66.3	20.6
	フルタイム×非就労	498	33.9	11.6	51.0	9.6
	その他	13	7.7	7.7	76.9	7.7
	ひとり親・親はいない・無回答	90	17.8	5.6	63.3	14.4

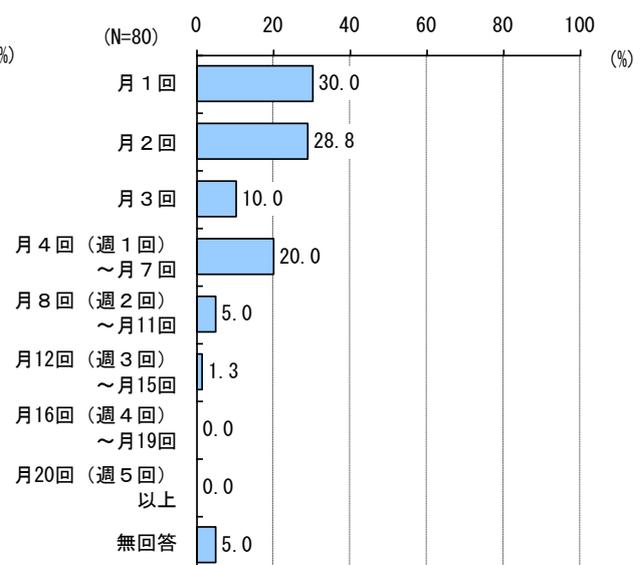
【利用している施設】

地域子育て支援拠点名	人数(人)	構成比(%)
おひさまひろば(こぶし今里保育園)	31	13.3
ひまわりはうすところ	25	10.7
わはは・ひろば高松	23	9.9
にしおか医院地域子育て支援センター(西岡医院)	16	6.9
ピノキオ子育て支援センター(西春日保育所)	15	6.4
カナン保育園地域子育て支援センター	15	6.4
ハイジの森	15	6.4
春日保育園地域子育て支援センター	14	6.0
おやこひろばひなたぼっこ	14	6.0
めだかのがっこう(中野保育所)	13	5.6
はらこども園子育て支援センター「にこにこキッズセンター」	13	5.6
子育て支援センター「さわやかキッズセンター」(香川保健センター)	11	4.7
わはは・ひろば香西	11	4.7
川添保育園地域子育て支援センター	10	4.3
おやこのへやアネックス園(平安保育園)	9	3.9
どんぐりの森(みのり保育園)	9	3.9
子育てホットステーションゆうゆう広場	9	3.9
支援センターはなのみや(花ノ宮保育園)	8	3.4
すみれおやこのひろば(すみれ保育園)	8	3.4
子育てひろば「おるごーる」	8	3.4
ハイジどろっぷ	8	3.4
いずみ保育園子育て支援センター「こどもどーむ」	7	3.0
ももか子ども支援センター(円座百華保育園)	6	2.6
若葉保育園地域子育て支援センター「いちごキッズ」	6	2.6
あそviva・ぶんぶん	6	2.6
むれ子育てふれあいセンター(八栗保育所)	5	2.1
太田西保育園地域子育て支援センター「エンゼルハウス」	4	1.7
子育て“ほっと”ステーションもこもこ	4	1.7
さくらんぼ(さんさん保育園)	3	1.3
こうまぐみ(高松保育園)	1	0.4
みよし保育園子育て支援センター「アリスの家」	1	0.4
西光寺保育所地域子育て支援センター「あしよか」	0	0.0
無回答	11	4.7

【地域子育て支援拠点事業の利用回数】



【高松市の類似事業の利用回数】



## II 就学前児童の保護者調査の結果

### (2) 地域子育て支援拠点事業の利用希望

問20 今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。希望がある場合は枠内におおよその利用希望回数をご記入ください。

#### ■利用希望の有無

地域子育て支援拠点事業の利用希望では、「利用していないが、今後利用したい」が26.8%あり、現状と合わせると約5割が利用意向を持っている。

区域別にみると、“中部”、“都心”で今後の利用希望者の割合が高く、4割を超えている。

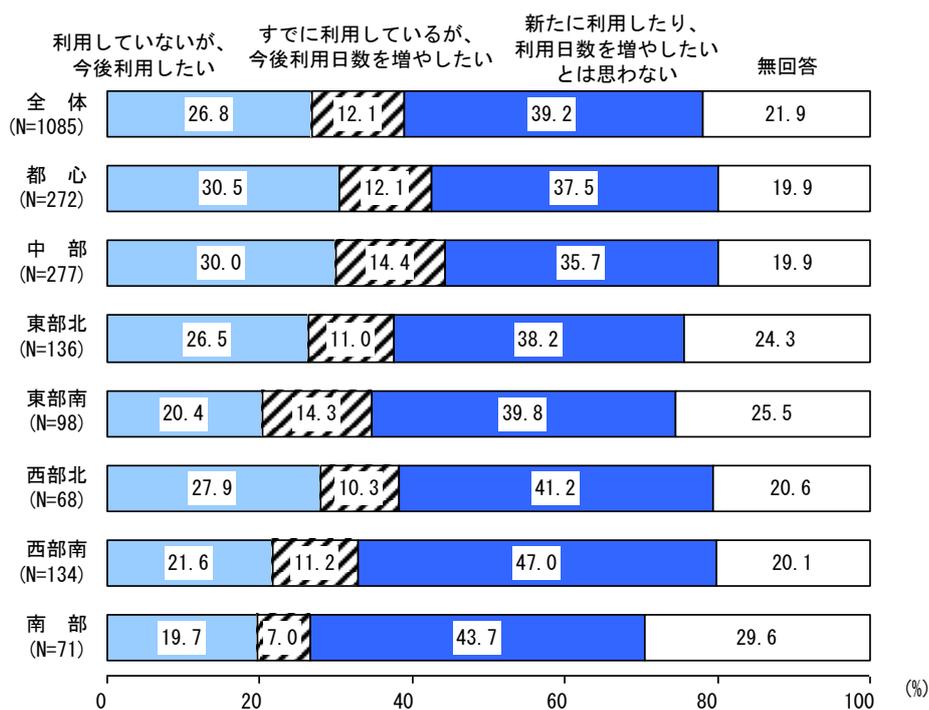
#### ■利用希望回数

“利用していないが、今後利用したい”では、「月4回(週1回)～月7回」が36.4%で最も多く、次いで「月2回」21.3%となっている。

“すでに利用しているが、利用日数を増やしたい”も同様に「月4回(週1回)～月7回」、「月8回(週2回)～月11回」の順となっている。

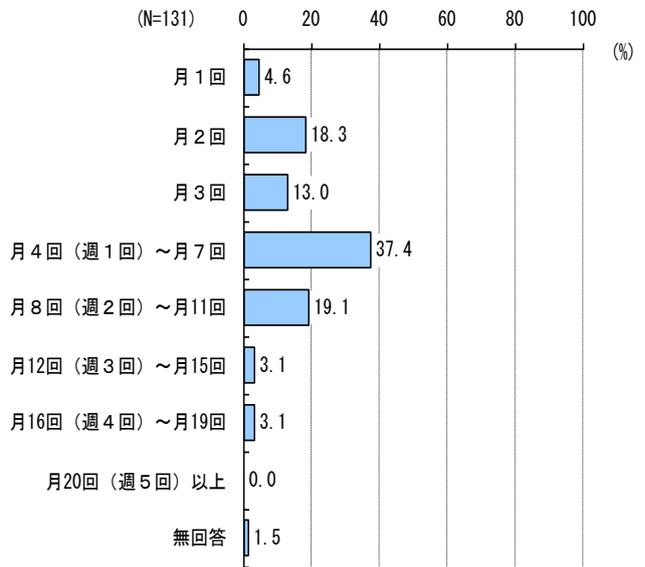
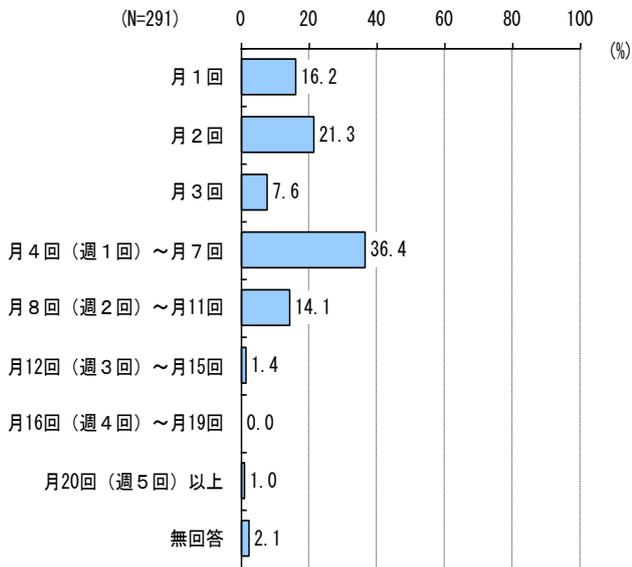
#### 【地域子育て支援拠点事業の利用希望】

<全体・区域別>



【地域子育て支援拠点事業の利用希望回数】

<利用していないが、今後利用したい人>      <すでに利用しているが、利用日数を増やしたい人>



## 9 職場の両立支援制度について

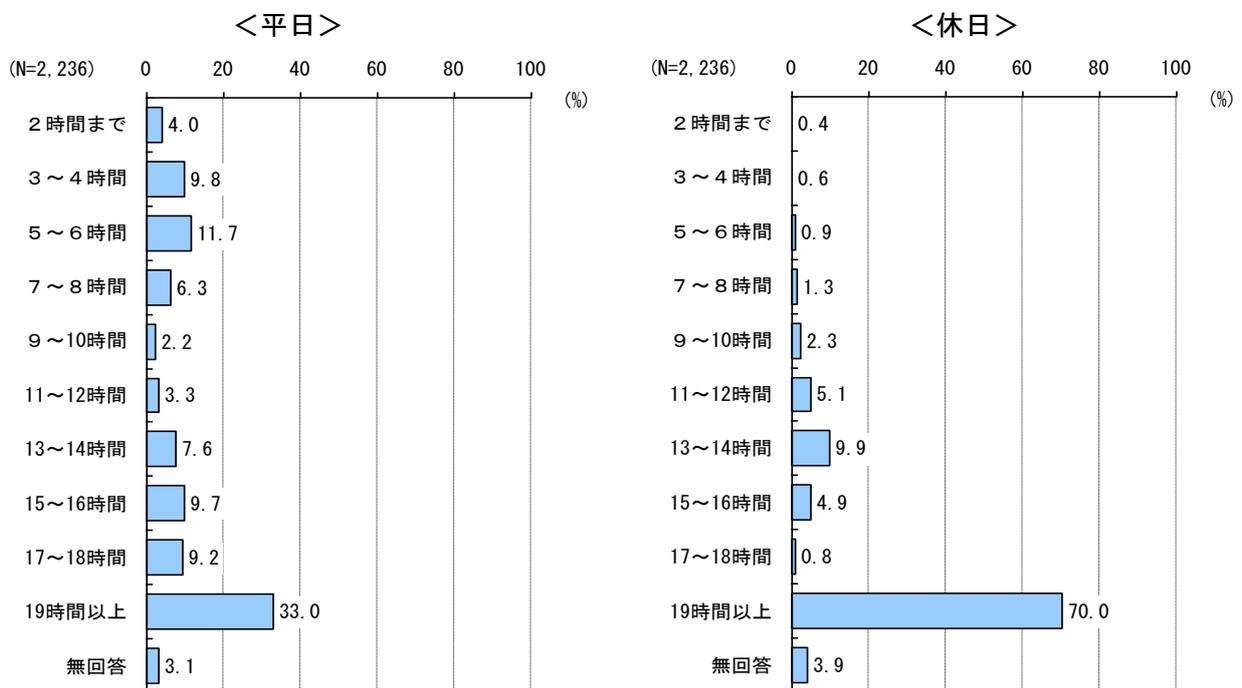
### (1) 子どもと過ごす時間

問21 あなたは、あて名のお子さんと、平日および休日どのくらい一緒に過ごしていますか。  
枠内に数字をご記入ください。

子どもと過ごす時間では、平日、休日ともに「19時間以上」が最も多いが、平日と休日を比べると、休日の方が子どもと過ごす時間は長くなっている。

就労タイプ別にみると、平日は、“フルタイム×フルタイム”や“フルタイム×パート・アルバイト”などいわゆる共働きでは子どもと過ごす時間は短くなっている。

【子どもと過ごす時間】



＜就労タイプ別＞

平日

	全体 (N)	2時間まで	3～4時間	5～6時間	7～8時間	9～10時間	11～12時間	13～14時間	15～16時間	17～18時間	19時間以上	無回答	平均 (時間)
全体	2236	4.0	9.8	11.7	6.3	2.2	3.3	7.6	9.7	9.2	33.0	3.1	14時間23分
フルタイム×フルタイム	580	5.9	23.1	16.0	2.1	1.2	7.4	15.5	10.0	1.4	14.5	2.9	10時間43分
フルタイム×パート・アルバイト	472	3.8	8.9	21.4	9.5	2.3	1.9	5.5	20.1	10.6	11.7	4.2	11時間24分
フルタイム×非就労	936	3.3	2.0	4.2	7.5	2.1	1.3	3.1	2.8	13.7	57.9	2.1	18時間18分
その他	32	3.1	-	3.1	15.6	12.5	3.1	-	12.5	3.1	37.5	9.4	15時間23分
ひとり親・親はいない・無回答	216	2.3	11.6	12.5	3.7	3.7	4.2	11.6	16.2	8.8	20.8	4.6	13時間20分

休日

	全体 (N)	2時間まで	3～4時間	5～6時間	7～8時間	9～10時間	11～12時間	13～14時間	15～16時間	17～18時間	19時間以上	無回答	平均 (時間)
全体	2236	0.4	0.6	0.9	1.3	2.3	5.1	9.9	4.9	0.8	70.0	3.9	20時間55分
フルタイム×フルタイム	580	0.2	0.7	1.2	2.2	2.6	5.0	10.9	8.6	0.7	64.0	4.0	20時間23分
フルタイム×パート・アルバイト	472	0.6	1.1	1.1	1.5	2.8	8.3	11.4	7.4	0.6	61.2	4.0	19時間40分
フルタイム×非就労	936	0.3	0.2	0.6	0.9	1.7	3.2	8.7	2.0	0.9	79.1	2.5	21時間50分
その他	32	3.1	-	-	-	-	12.5	9.4	-	3.1	62.5	9.4	20時間14分
ひとり親・親はいない	216	-	0.9	1.4	0.5	3.2	5.1	9.3	2.8	0.9	67.1	8.8	21時間12分

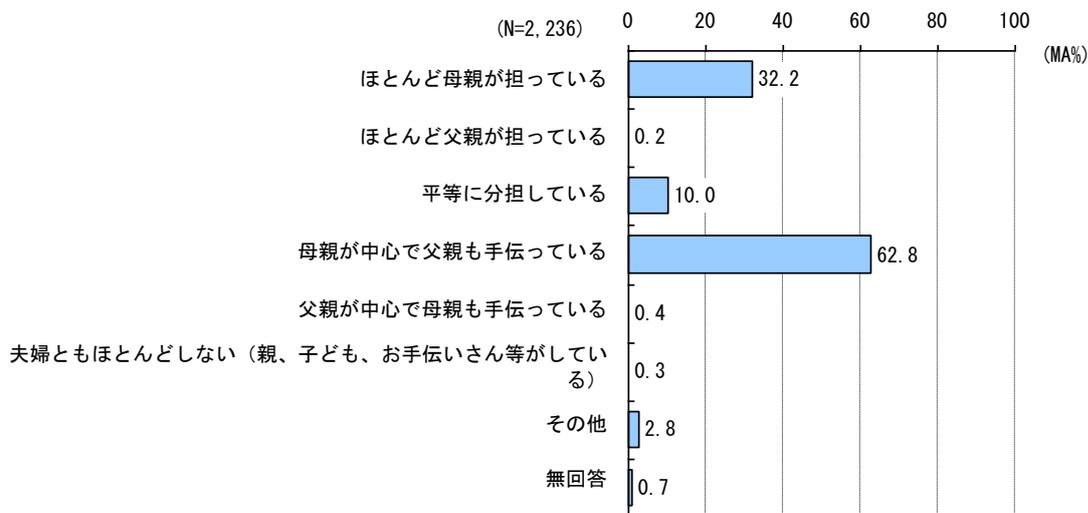
(2) 家庭における父親と母親の役割

問22 子育てにおける、あなたの家庭の父親と母親の役割について、あてはまるものはどれですか。  
(〇はいくつでも)

家庭における父親と母親の役割については、「母親が中心で父親も手伝っている」が62.8%、次いで「ほとんど母親が担っている」32.2%となっており、「平等に分担している」は1割にとどまっている。

就労タイプ別にみると、いずれも「母親が中心で父親も手伝っている」が最も多く、約6割を占めている。

【家庭における父親と母親の役割】



【家庭における父親と母親の役割 (就労タイプ別)】

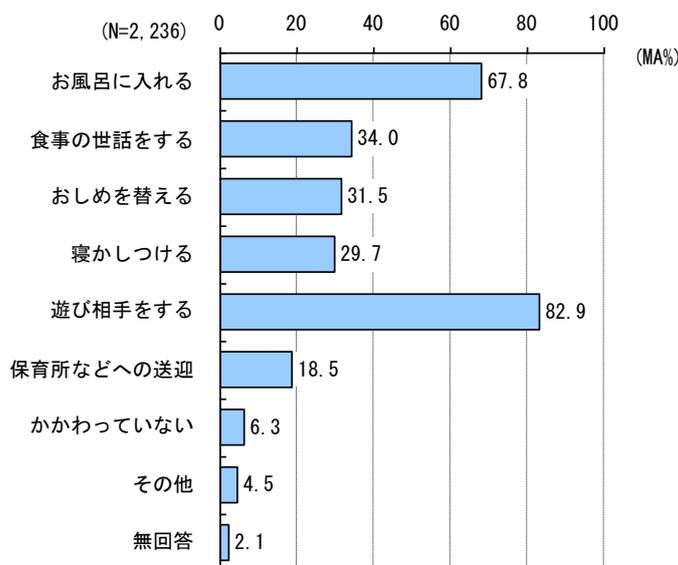
	全体 (N)	ほとんど母親が担っている	ほとんど父親が担っている	平等に分担している	母親が中心で父親も手伝っている	父親が中心で母親も手伝っている	夫婦ともほとんどしない (親、子ども、お手伝いさん等がしている)	その他	無回答	
全体	2,236	32.2	0.2	10.0	62.8	0.4	0.3	2.8	0.7	
就労タイプ別	フルタイム×フルタイム	580	20.7	0.2	21.2	61.4	0.7	2.8	0.2	
	フルタイム×パート・アルバイト	472	29.2	0.2	8.7	67.6	-	1.1	1.1	
	フルタイム×非就労	936	33.4	0.1	4.8	69.3	0.2	1.5	0.6	
	その他	32	37.5	-	9.4	56.3	-	-	6.3	3.1
	ひとり親・親はいない・無回答	216	63.4	0.9	5.1	28.7	-	0.5	11.6	1.4

## Ⅱ 就学前児童の保護者調査の結果

問23 あて名のお子さんについて、父親は育児にどのようにかかわっていますか。(〇はいくつでも)

父親の育児へのかかわりについては、「遊び相手をする」が82.9%で最も多く、次いで「お風呂に入れる」67.8%となっている。「かかわっていない」は6.3%と少数である。

【父親の育児へのかかわり】



【父親の育児へのかかわり（年齢別）】

		全体 (N)	お風呂に入れる	食事の世話をする	おしめを替える	寝かしつける	遊び相手をする	保育所などへの送迎	かかわっていない	その他	無回答
全体		2,236	67.8	34.0	31.5	29.7	82.9	18.5	6.3	4.5	2.1
年齢別	0歳児	349	75.9	36.7	61.0	29.2	86.2	7.7	2.9	2.0	1.7
	1歳児	372	72.0	42.5	54.6	31.5	85.5	14.2	5.6	5.4	0.8
	2歳児	364	72.0	42.6	42.6	31.9	86.0	23.4	5.2	4.7	1.6
	3歳児	346	61.0	30.6	19.7	28.3	81.5	17.9	7.8	3.2	3.2
	4歳児	386	65.0	28.2	10.4	28.2	81.1	22.5	9.1	4.9	2.1
	5歳児	404	61.1	24.3	5.4	28.0	77.7	23.8	6.9	6.2	3.0

(3) 育児休業給付や保険料免除の仕組みの認知状況

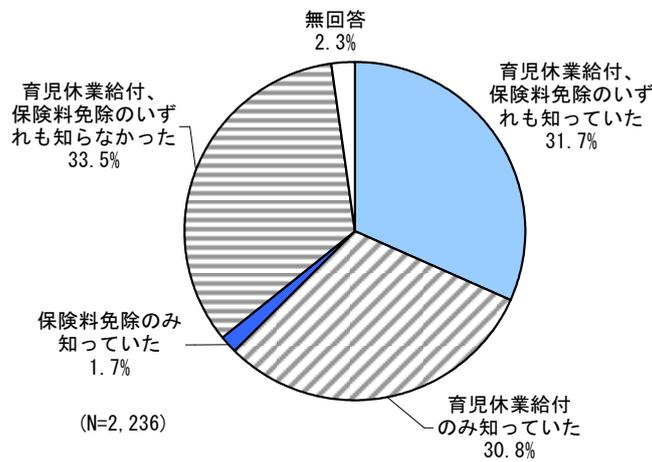
問24 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

育児休業給付や保険料免除の仕組みの認知状況については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が33.5%で最も多く、一方、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」は31.7%にとどまっている。

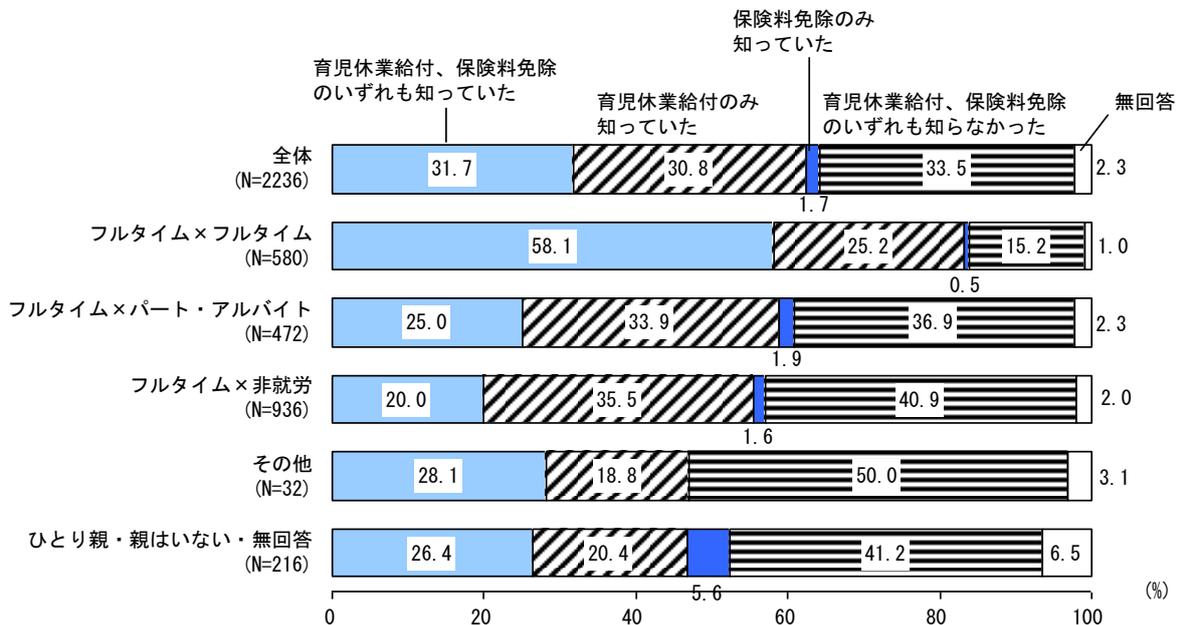
就労タイプ別にみると、「フルタイム×フルタイム」で認知度が高くなっているが、「フルタイム×パート・アルバイト」では非就労タイプとほとんど差はみられない。

【育児休業給付や保険料免除の仕組みの認知状況】

<全体>



<就労タイプ別>



## II 就学前児童の保護者調査の結果

### (4) 育児休業取得の状況

問25 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。  
母親、父親それぞれについてお答えください (○は1つ)。  
また、取得していない方はその理由について、理由欄の番号をご記入ください。(いくつでも)

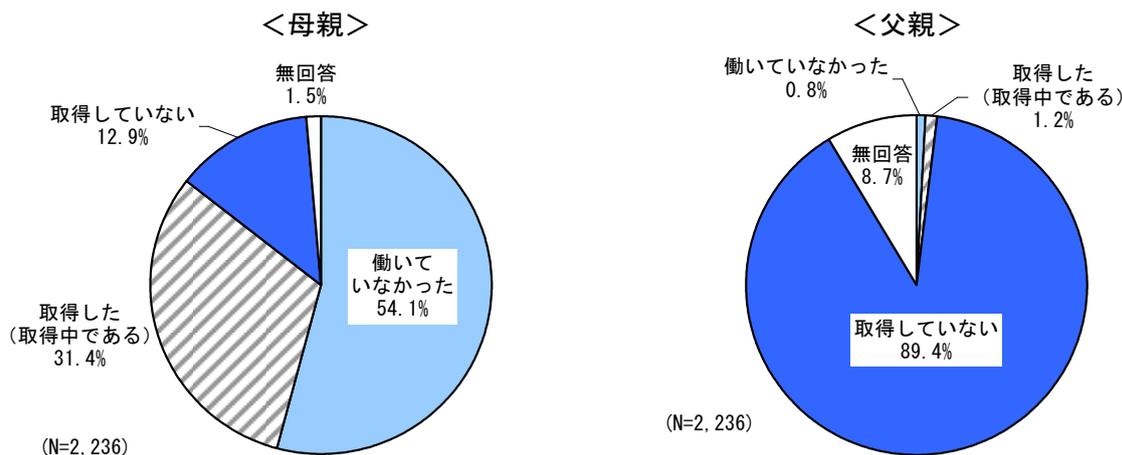
#### ■ 育児休業取得状況

育児休業取得の状況については、「取得した (取得中である)」は、母親では 31.4%、父親は 1.2% である。

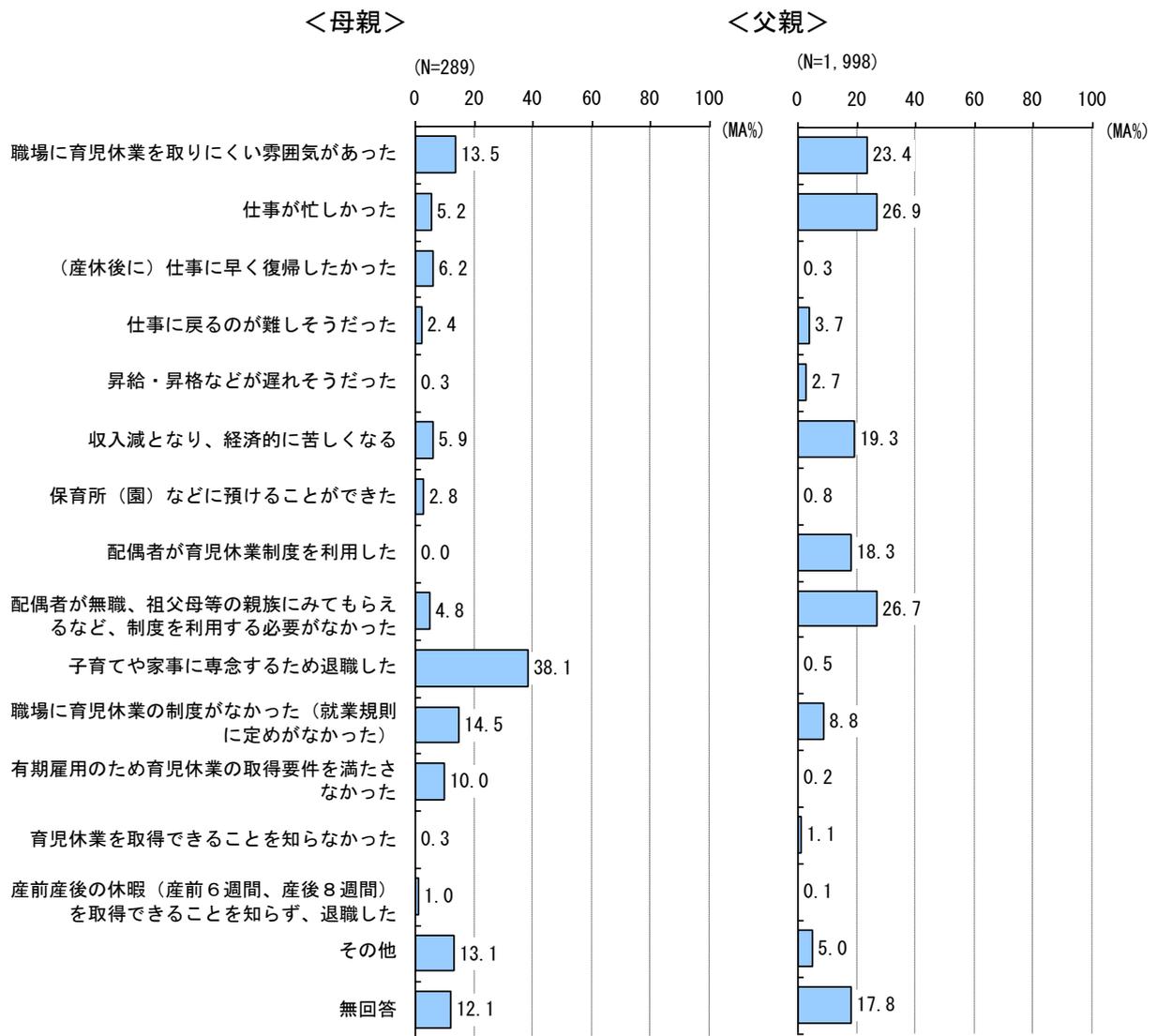
#### ■ 育児休業を取得しなかった理由

育児休業を取得しなかった理由については、母親では「子育てや家事に専念するために退職した」が 38.1%で最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)」が 14.5%となっている。一方、父親では「仕事が忙しかった」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 25%前後となっている。

【育児休業取得状況】



【育児休業を取得しなかった理由】



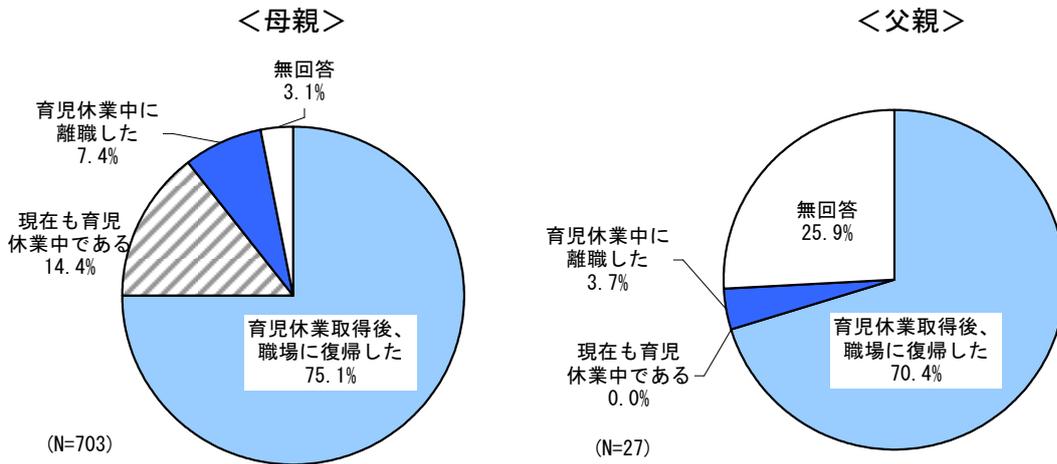
II 就学前児童の保護者調査の結果

(5) 職場復帰の状況

問26 問25で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。  
 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（〇は1つ）

職場復帰の状況については、母親、父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」が7割以上を占めている。

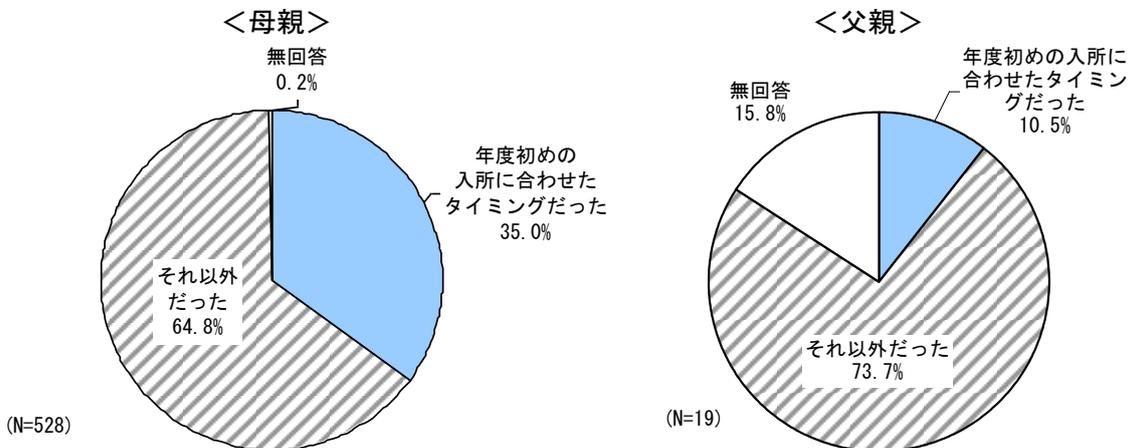
【育児休業取得後の職場復帰の状況】



問27 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（〇は1つ）  
 ※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

職場復帰と保育所入所のタイミングについては、「年度初めの入所に合わせたタイミング以外だった」が母親では64.8%、父親では73.7%と多くなっている。

【職場復帰と保育所入所のタイミング】

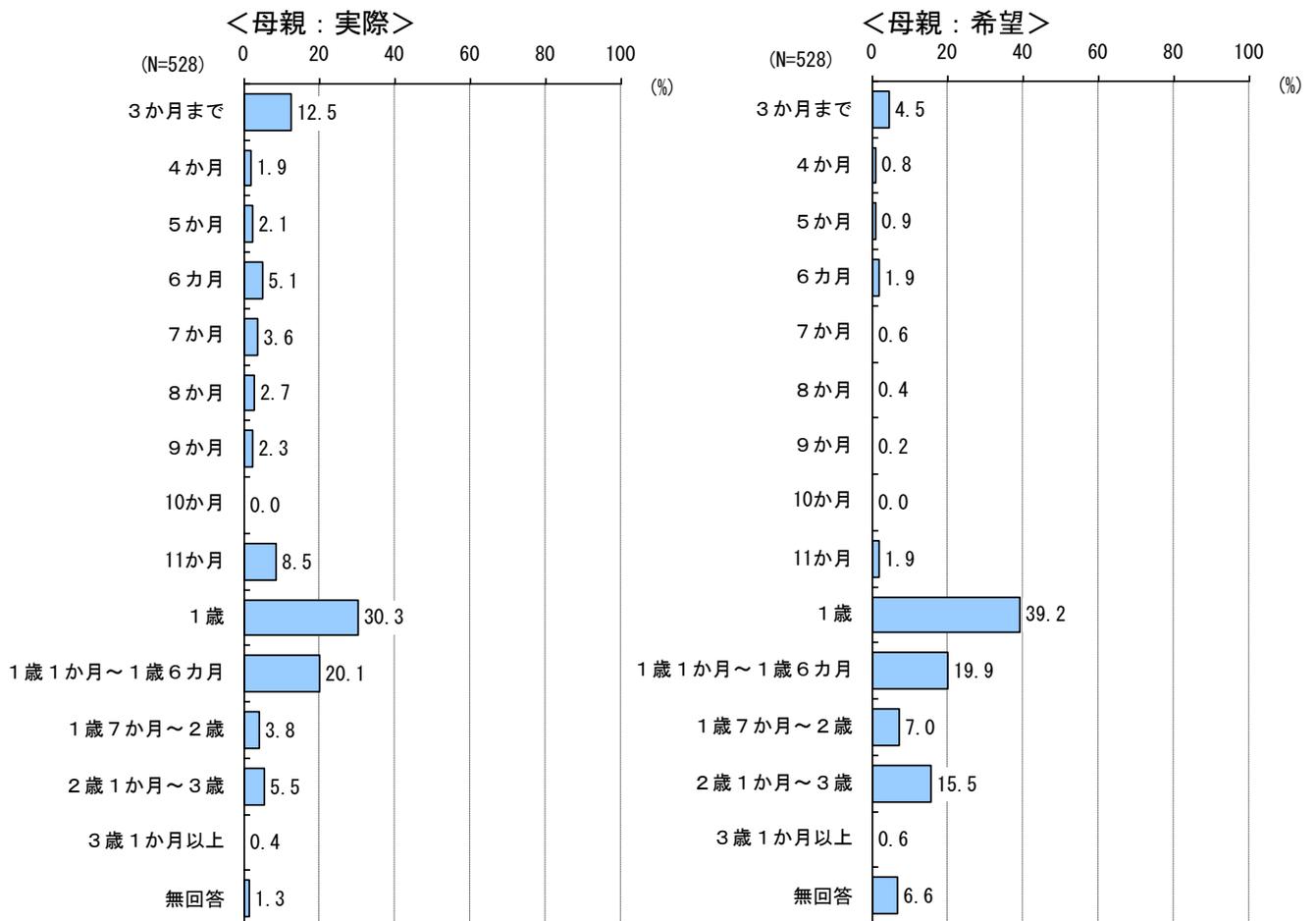


問28 育児休業からは、「実際」にあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

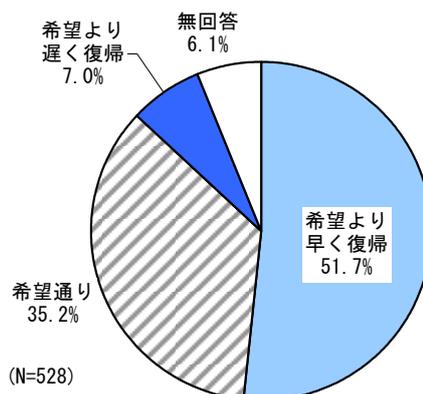
母親が育児休業から復帰した実施の時期については、実際・希望ともに「1歳」が最も多くなっている。

復帰時期の実際と希望を比べると、「希望より早く復帰」が51.7%と過半を占め、次いで「希望通り」35.2%となっている。

【職場復帰時の子どもの年齢（月齢）】



【母親の復帰時期の現実と希望の状況】



※父親については該当者が少なく、また「無回答が多いため割愛する。

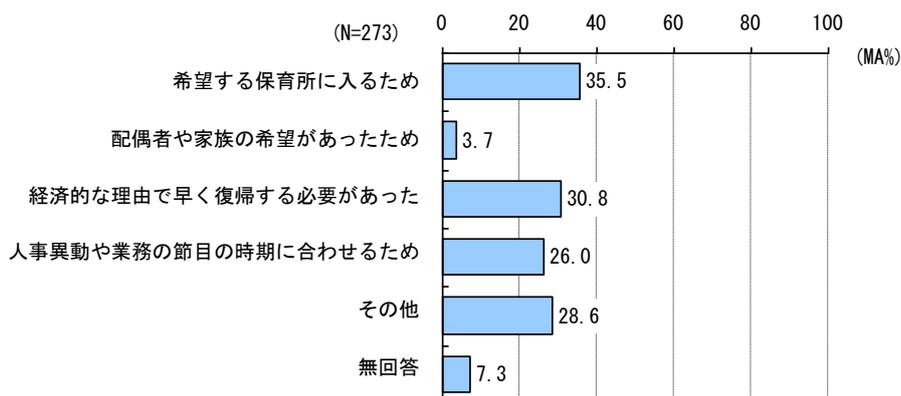
## II 就学前児童の保護者調査の結果

問28-1 問28で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

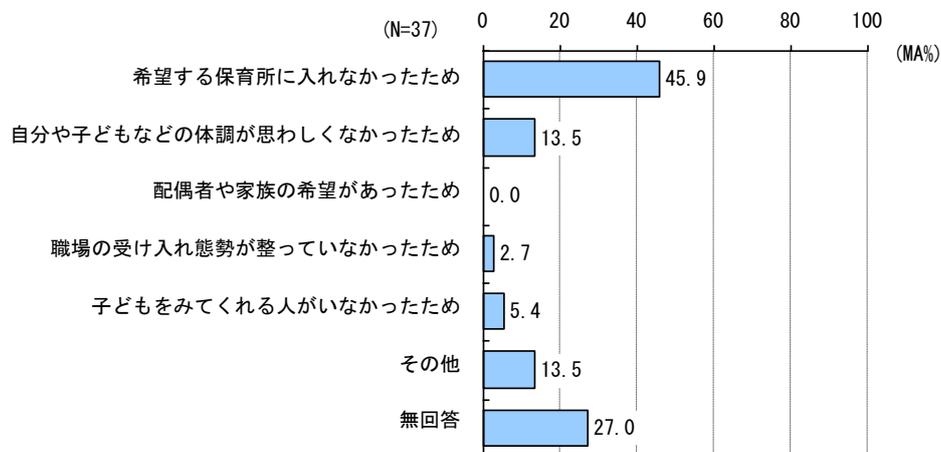
希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお答えください。

“希望より早く復帰”した母親の理由は「希望する保育所に入るため」、 “希望より遅く復帰”した母親の理由は「希望する保育所に入れなかったため」が最も多く、母親の復帰時期は保育所への入所が大きく影響しているとみられる。

### 【希望より早く復帰した理由】<母親>



### 【希望より遅く復帰した理由】<母親>

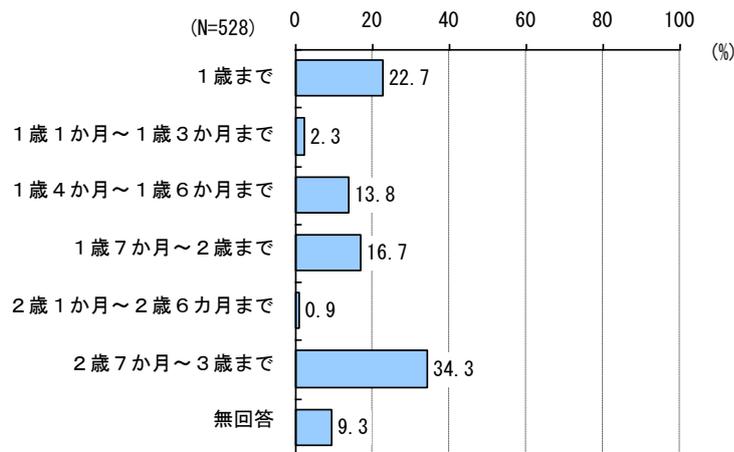


問29 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

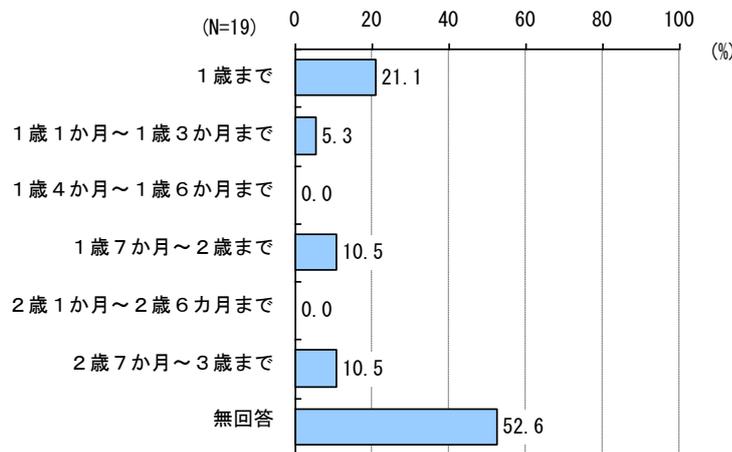
3歳まで休暇を取得できる制度があった場合に取得を希望する子どもの年齢については、母親では「2歳7か月～3歳まで」が34.3%で最も多く、次いで「1歳まで」22.7%となっている。父親では、「無回答」が過半数あり、回答のあった人では「1歳まで」が最も多くなっている。

【3歳まで休暇を取得できる制度があった場合に取得を希望する子どもの年齢（月齢）】

<母親>



<父親>



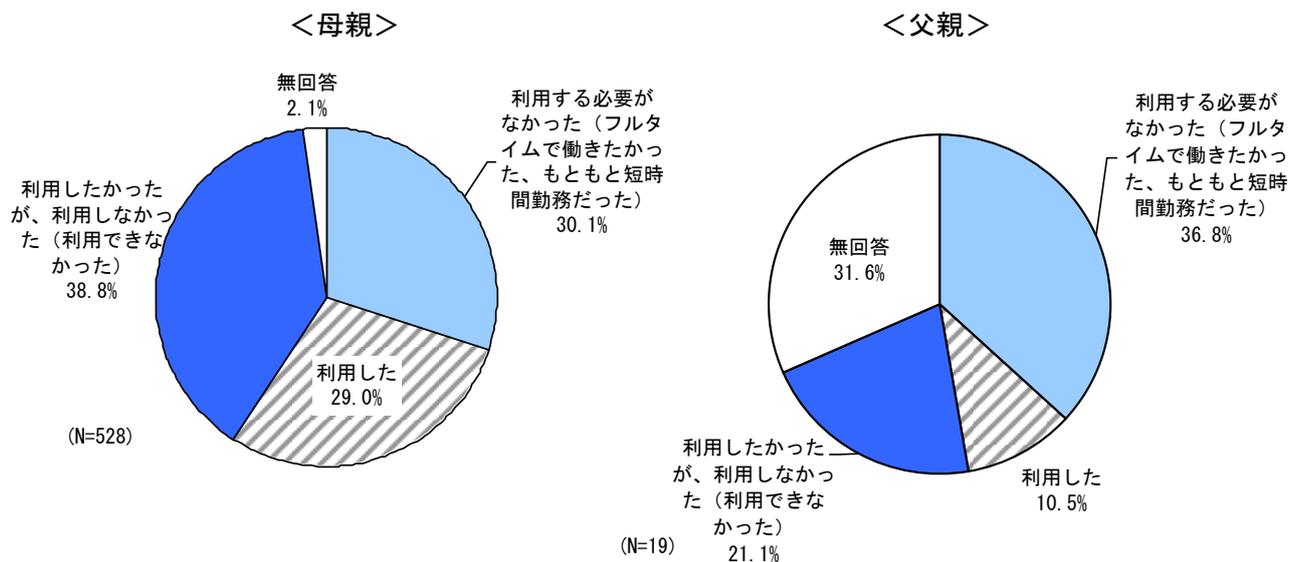
## Ⅱ 就学前児童の保護者調査の結果

### (6) 短時間勤務制度の利用

問30 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(○は1つ)

職場復帰時に短時間勤務制度を利用したのは、母親では29.0%、父親では10.5%となっている。

【短時間勤務制度の利用有無】



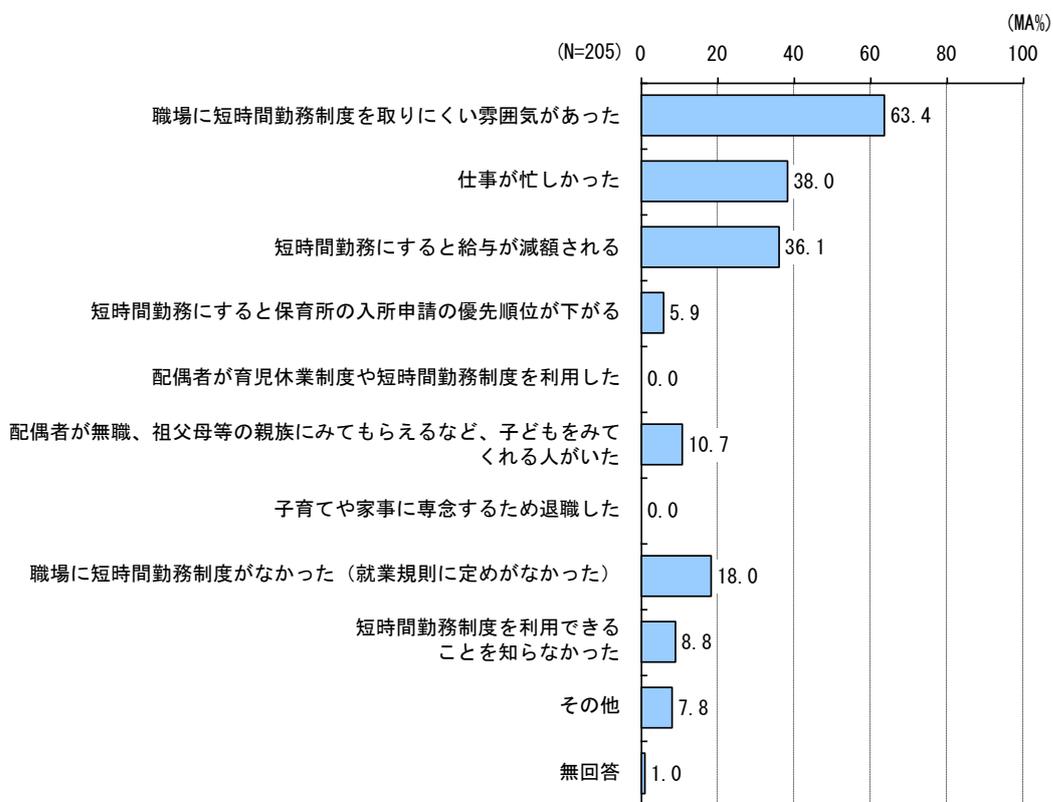
問30-1 問30で「3.利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。(〇はいくつでも)

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由については、母親では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が63.4%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」38.0%、「短時間勤務にすると給与が減額される」36.1%となっている。

【短時間勤務制度を利用しなかった理由】

<母親>



※父親については該当者が少ないため割愛する。

## Ⅱ 就学前児童の保護者調査の結果

### (7) 1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の育児休業取得期間

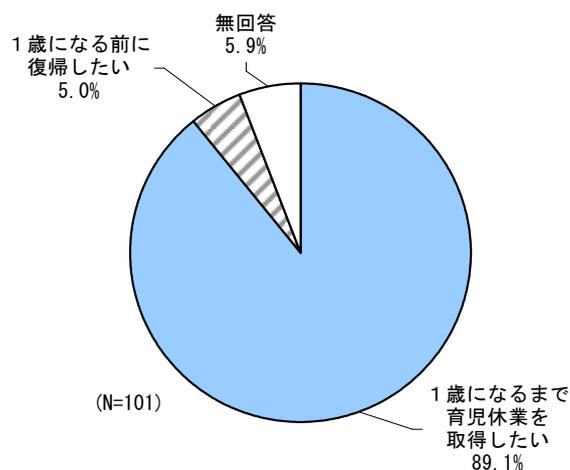
問31 問26で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(〇は1つ)

1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の育児休業取得期間については、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が89.1%と約9割を占めている。

#### 【1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の育児休業取得期間】

<母親>



※父親については0件のため割愛する。

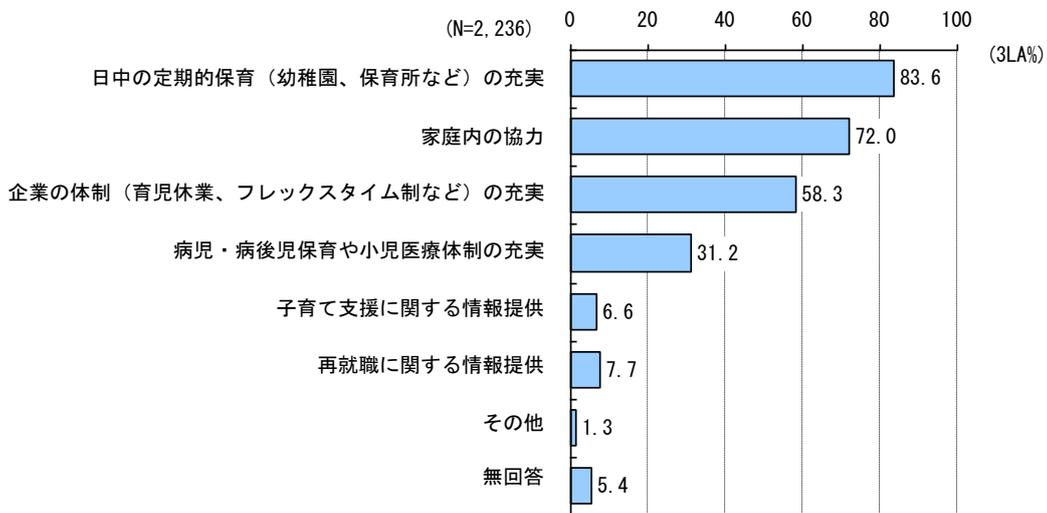
(8) 子育てをしながら仕事をする上で必要なこと

問32 **すべての方にうかがいます。**  
 あなたにとって、子育てをしながら仕事をする上で必要なことは何ですか。(〇は3つまで)

子育てをしながら仕事をする上で必要なことについては、「日中の定期的保育（幼稚園、保育所など）の充実」が83.6%で最も多く、次いで「家庭内の協力」72.0%、「企業の体制（育児休業、フレックスタイム制など）の充実」58.3%となっている。

就労タイプ別にみると、どのタイプも全体と同様の傾向ではあるが、“フルタイム×フルタイム”では「企業の体制（育児休業、フレックスタイム制など）の充実」が68.3%と、他に比べて高くなっている。

【子育てをしながら仕事をする上で必要なこと】



<就労タイプ別>

		全体 (N)	日中の定期的保育（幼稚園、保育所など）の充実	家庭内の協力	企業の体制（育児休業、フレックスタイム制など）の充実	病児・病後児保育や小児医療体制の充実	子育て支援に関する情報提供	再就職に関する情報提供	その他	無回答
全 体		2,236	83.6	72.0	58.3	31.2	6.6	7.7	1.3	5.4
就 労 別	フルタイム×フルタイム	580	88.1	80.3	68.3	26.9	3.4	1.4	0.9	3.1
	フルタイム×パート・アルバイト	472	82.8	72.7	47.9	32.8	5.9	5.9	1.7	6.6
	フルタイム×非就労	936	83.4	70.3	59.7	32.8	8.2	11.8	1.2	5.4
	その他	32	59.4	62.5	21.9	34.4	18.8	15.6	3.1	12.5
	ひとり親・親はいない・無回答	216	77.8	56.9	53.2	31.5	7.4	9.7	1.9	7.9

## II 就学前児童の保護者調査の結果

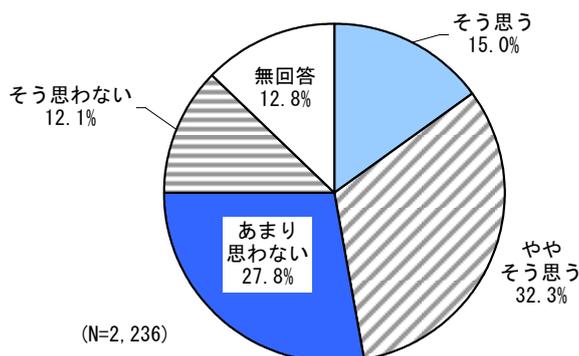
### (9) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）

問33 あなたは、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれていると感じますか。(〇は1つ)

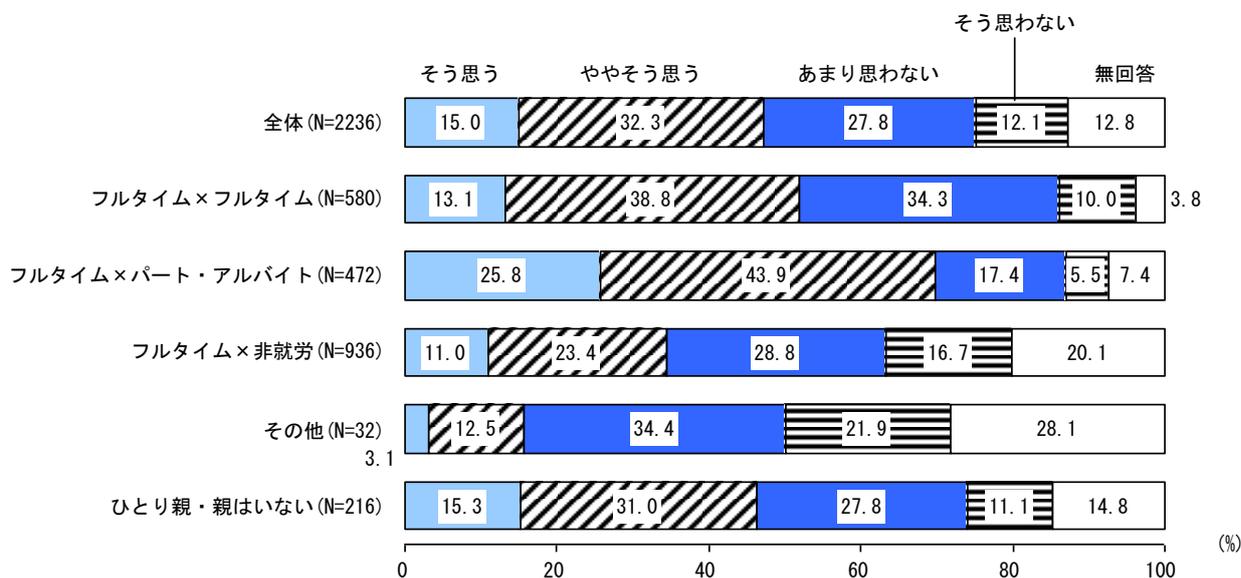
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれていると感じるかについては、「そう思う」が15.0%、「ややそう思う」が32.3%で、あわせると47.3%となっている。

就労タイプ別にみると、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた“仕事と生活の調和がとれている”と感じている割合は、“フルタイム×パート・アルバイト”が69.7%と最も高くなっている。

【仕事と生活の調和がとれていると感じるか】



【仕事と生活の調和がとれていると感じるか（就労タイプ別）】



# 10 児童の虐待について

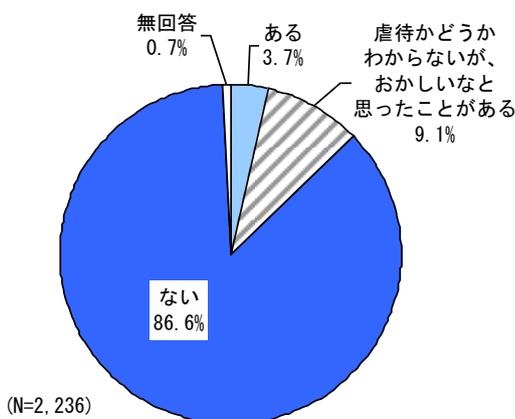
## (1) 児童虐待についての見聞の状況

問34 最近、マスメディア等で、児童の虐待について取り上げられています。あなたの身近なところで、児童の虐待を見たり聞いたりしたことがありますか。(〇は1つ)

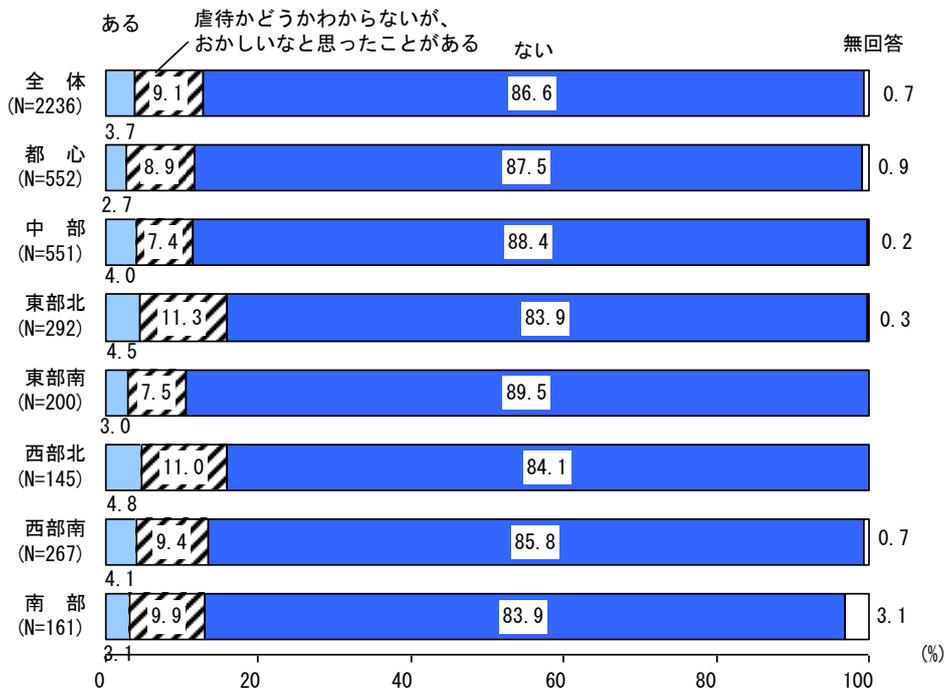
身近なところで児童の虐待を見たり聞いたりしたことが「ある」が3.7%、「虐待かどうかかわからないが、おかしいなと思ったことがある」が9.1%で、合わせると12.8%となっている。

区域別にみると、“東部北”と“西部北”で合計の割合が15%を超え、比較的高くなっている。

【身近なところでの児童虐待の見聞】



【身近なところでの児童虐待の見聞（区域別）】



## II 就学前児童の保護者調査の結果

### (2) 児童虐待を見聞したときの対応

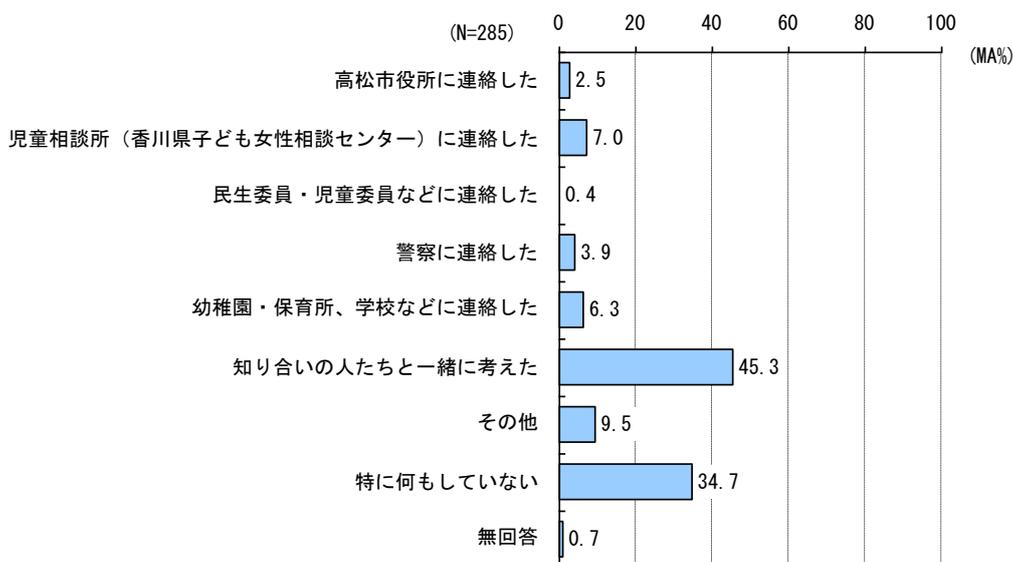
問34-1 問34で「1」もしくは「2」に○をつけた方にうかがいます。

その時、どのように対応しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

児童虐待を見たり聞いたりしたときの対応については、「知り合いの人たちと一緒に考えた」が45.3%で最も多く、次いで「特に何もしない」34.7%となっている。

市役所、児童相談所、民生委員・児童委員、警察など「“どこかに”連絡をした」のは、合わせると約2割となっている。

【児童虐待を見聞したときの対応】



【児童虐待を見聞したときの対応 (区域別)】

	全体 (N)	高松市役所に連絡した	児童相談所 (香川県子ども女性相談センター) に連絡した	民生委員・児童委員などに連絡した	警察に連絡した	幼稚園・保育所、学校などに連絡した	知り合いの人たちと一緒に考えた	その他	特に何もしていない	無回答
全体	285	2.5	7.0	0.4	3.9	6.3	45.3	9.5	34.7	0.7
都心	64	4.7	4.7	-	3.1	3.1	43.8	10.9	35.9	-
中部	63	4.8	12.7	1.6	4.8	4.8	44.4	6.3	33.3	1.6
東部北	46	-	-	-	6.5	8.7	50.0	17.4	32.6	-
東部南	21	4.8	-	-	4.8	9.5	38.1	4.8	38.1	-
西部北	23	-	8.7	-	4.3	8.7	47.8	-	34.8	-
西部南	36	-	8.3	-	2.8	8.3	44.4	11.1	36.1	2.8
南部	21	-	9.5	-	-	4.8	42.9	9.5	38.1	-

(3) 相談機関の認知状況・利用経験

問35 香川県内の子どもに関する相談先について、A～Bのそれぞれに「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。  
 A：知っている B：これまでに利用したことがある

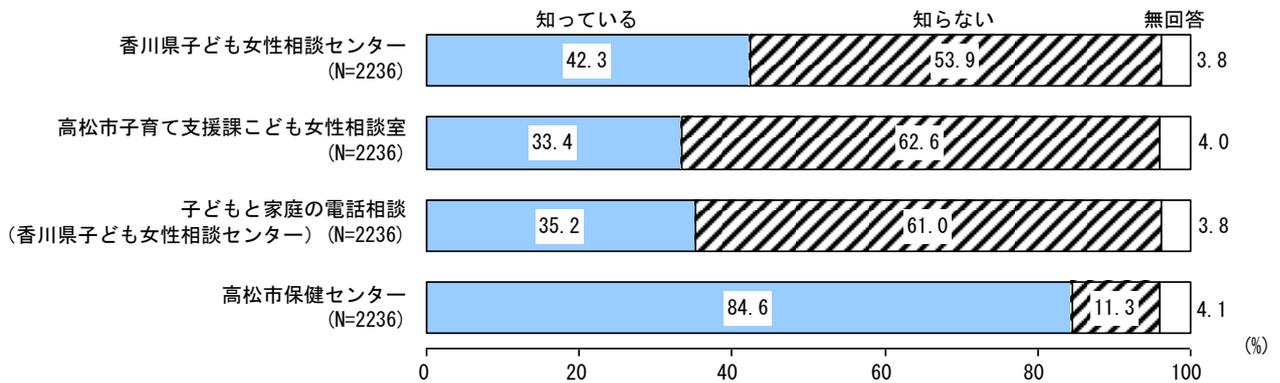
■ 認知度

相談先の認知度については、「高松市保健センター」を除く3施設では「知らない」が多数を占めている。「知っている」割合が高いのは、「高松市保健センター」84.6%で、次いで「香川県子ども女性相談センター」42.3%となっている。

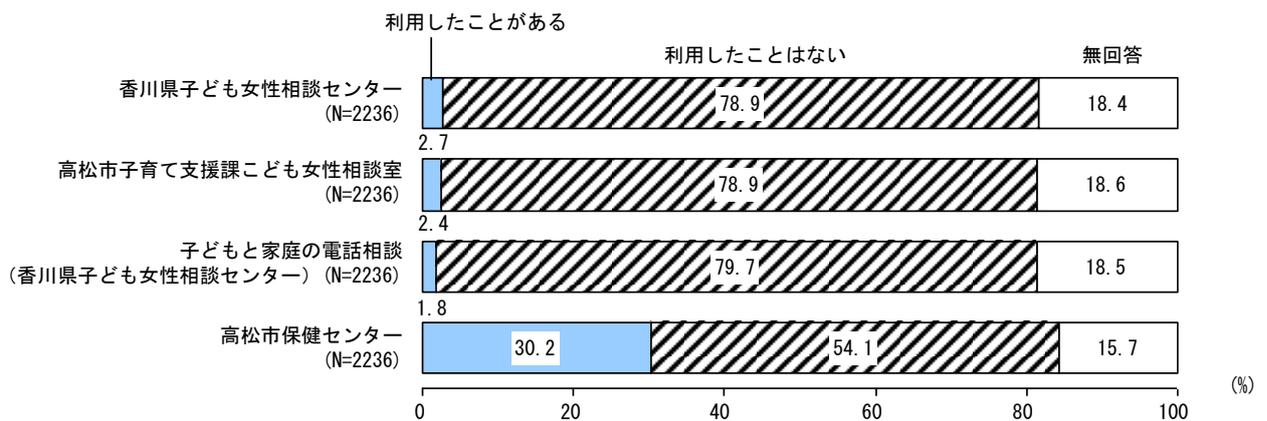
■ 利用経験

相談先の利用経験については、「高松市保健センター」は30.2%であるが、その他の機関はいずれも数%にとどまっている。

【相談先の認知度】



【相談先の利用経験】

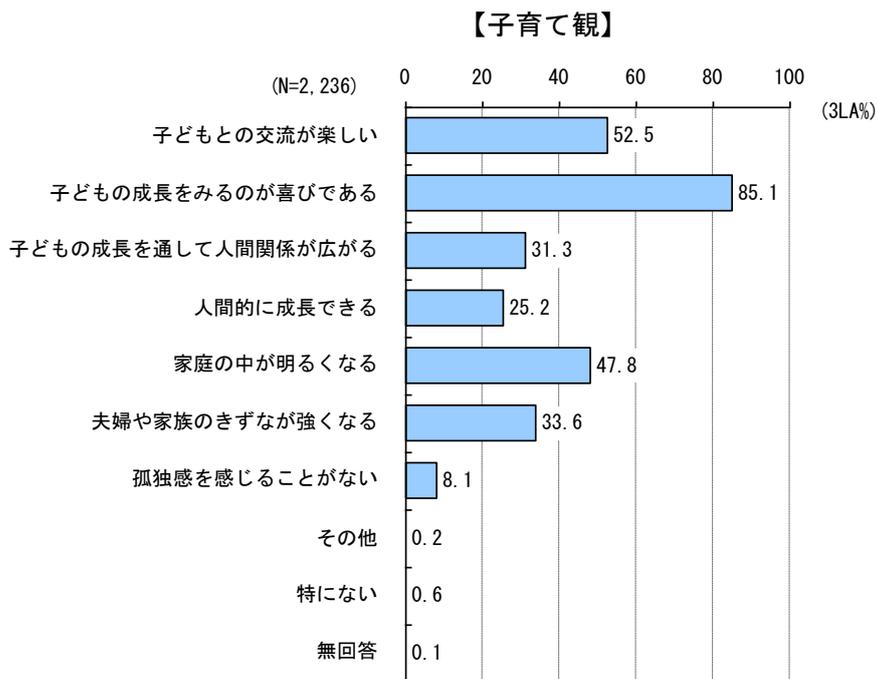


# 11 子育て全般について

## (1) 子育て観

問36 子育ての良さや喜びについてうかがいます。(〇は3つまで)

子育ての良さや喜びについては、「子どもの成長をみるのが喜びである」が85.1%で最も多く、次いで「子どもとの交流が楽しい」52.5%、「家庭の中が明るくなる」47.8%となっている。



【子育て観（年齢別・就労タイプ別）】

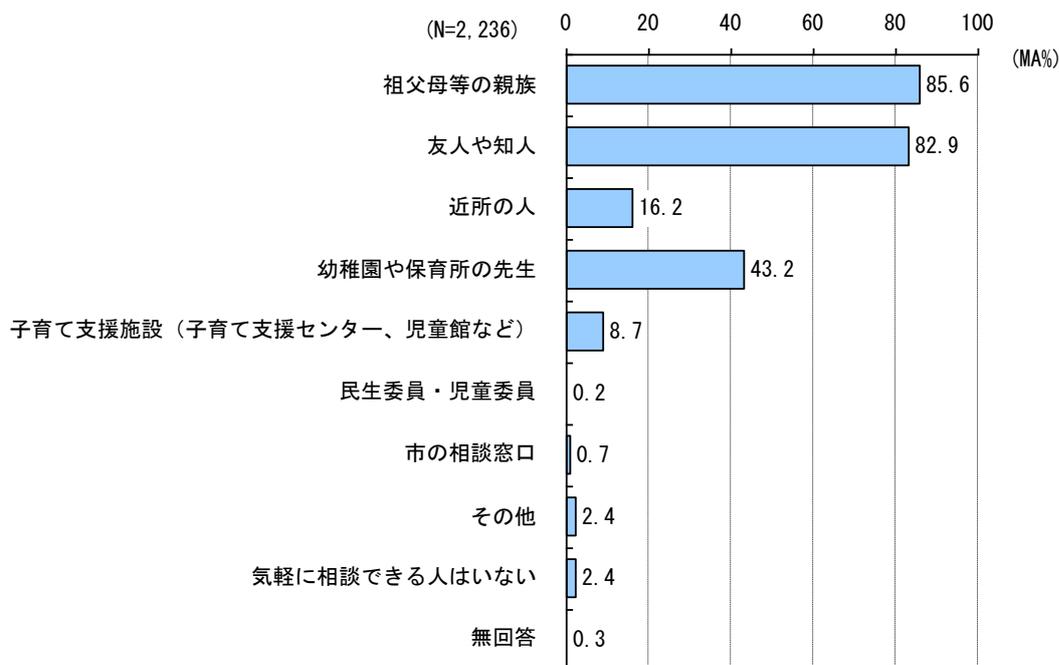
		全体 (N)	子どもとの交流が楽しい	子どもの成長をみるのが喜びである	子どもの成長を通して人間関係が広がる	人間的に成長できる	家庭の中が明るくなる	夫婦や家族のきずなが強くなる	孤独感を感じることがない	その他	特にない	無回答
全体		2236	52.5	85.1	31.3	25.2	47.8	33.6	8.1	0.2	0.6	0.1
年齢別	0歳児	349	59.6	88.8	27.8	21.5	51.0	33.8	7.2	0.3	-	-
	1歳児	372	53.0	88.2	24.2	28.2	48.4	36.3	5.4	0.3	0.8	0.3
	2歳児	364	54.4	84.9	27.5	23.4	50.8	34.9	6.9	0.5	0.5	-
	3歳児	346	49.4	86.4	37.0	22.0	45.7	30.1	10.7	-	0.6	-
	4歳児	386	49.0	85.2	36.0	29.8	45.1	31.3	8.5	0.3	-	0.3
	5歳児	404	50.5	78.5	34.9	25.7	46.0	34.9	9.9	-	1.5	0.2
就労タイプ別	フルタイム×フルタイム	580	58.4	86.4	25.2	27.2	49.1	34.0	7.2	-	-	-
	フルタイム×パート・アルバイト	472	49.8	85.2	33.5	24.4	42.4	38.6	7.8	0.2	0.4	0.2
	フルタイム×非就労	936	51.3	84.9	35.3	24.0	49.4	34.5	6.4	0.3	0.7	0.1
	その他	32	37.5	65.6	31.3	9.4	43.8	25.0	12.5	-	6.3	3.1
	ひとり親・親はいない	216	50.0	84.7	25.9	29.2	50.0	19.4	18.1	0.5	0.9	-

(2) 気軽に相談できる相手

問37 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。  
 (〇はいくつでも)

気軽に相談できる相手については、「祖父母等の親族」が 85.6%で最も多く、ほぼ同率で「友人や知人」が 82.9%となっている。

【気軽に相談できる相手】



【気軽に相談できる相手（年齢別・区域別）】

	全体 (N)	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	幼稚園や保育所の先生	子育て支援施設	民生委員・児童委員	市の相談窓口	その他	気軽に相談できない	無回答	
全体	2,236	85.6	82.9	16.2	43.2	8.7	0.2	0.7	2.4	2.4	0.3	
年齢別	0歳児	349	88.5	81.1	14.6	25.5	16.6	-	0.6	4.3	2.0	-
	1歳児	372	90.1	82.8	14.0	29.6	16.1	0.3	0.8	2.4	1.3	0.5
	2歳児	364	86.8	82.7	17.0	43.4	8.5	0.3	1.1	2.5	2.7	0.3
	3歳児	346	83.5	83.5	17.1	55.5	4.6	0.3	-	0.9	1.7	0.3
	4歳児	386	82.9	84.7	19.2	48.7	4.9	0.5	0.8	2.6	2.6	0.5
	5歳児	404	82.2	82.2	15.1	54.7	2.5	-	0.7	1.7	4.0	0.2
区域別	都心	552	82.2	83.2	14.3	45.8	7.8	0.2	0.4	2.5	2.9	0.4
	中部	551	87.3	84.0	18.0	37.7	8.7	0.4	0.5	2.5	2.5	0.2
	東部北	292	87.3	81.5	17.5	45.9	8.9	-	0.7	3.4	1.7	0.3
	東部南	200	86.5	85.0	14.0	50.5	9.5	0.5	0.5	1.0	2.5	-
	西部北	145	85.5	82.1	18.6	40.0	5.5	-	-	3.4	1.4	-
	西部南	267	88.0	85.0	15.7	39.3	10.9	0.4	1.9	2.2	1.5	-
	南部	161	88.8	77.6	16.8	46.6	10.6	-	0.6	0.6	2.5	1.2

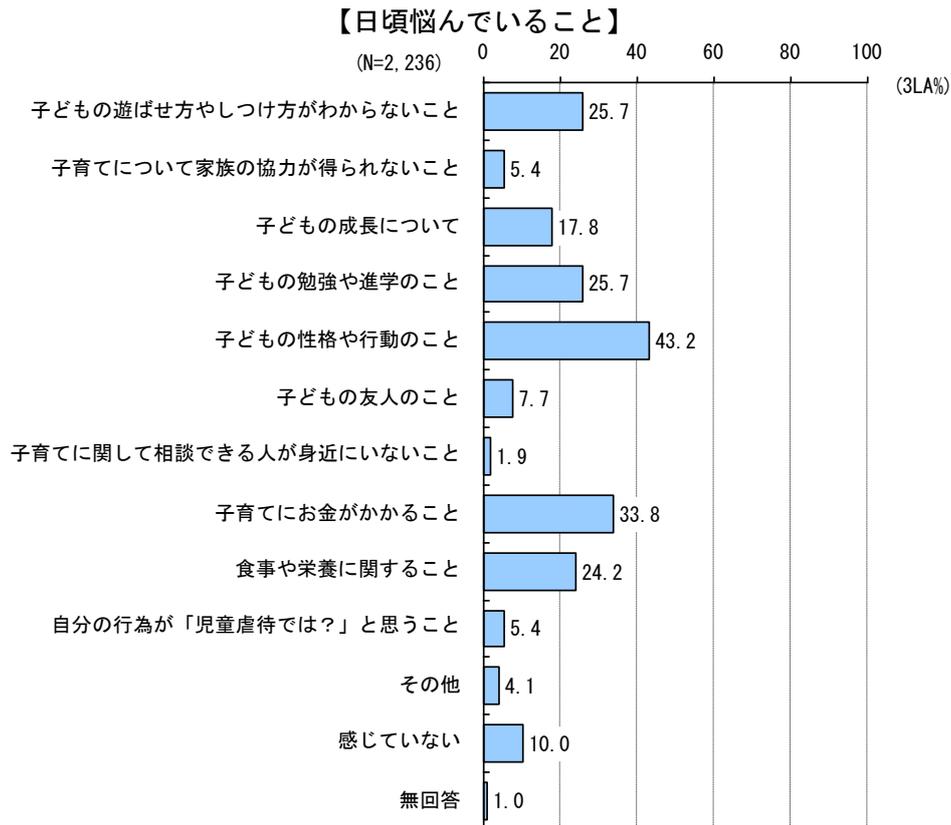
## II 就学前児童の保護者調査の結果

### (3) 日頃悩んでいること

問38 子育てに関して、日頃悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。(〇は3つまで)

日頃悩んでいることについては、「子どもの性格や行動のこと」が43.2%で最も多く、次いで「子育てにお金がかかること」33.8%となっている。

子どもの年齢別にみると、0歳児では「子育てにお金がかかること」が32.1%で最も多く、1歳児以上では「子どもの性格や行動のこと」が最も多くなっている。



**【日頃悩んでいること（年齢別）】**

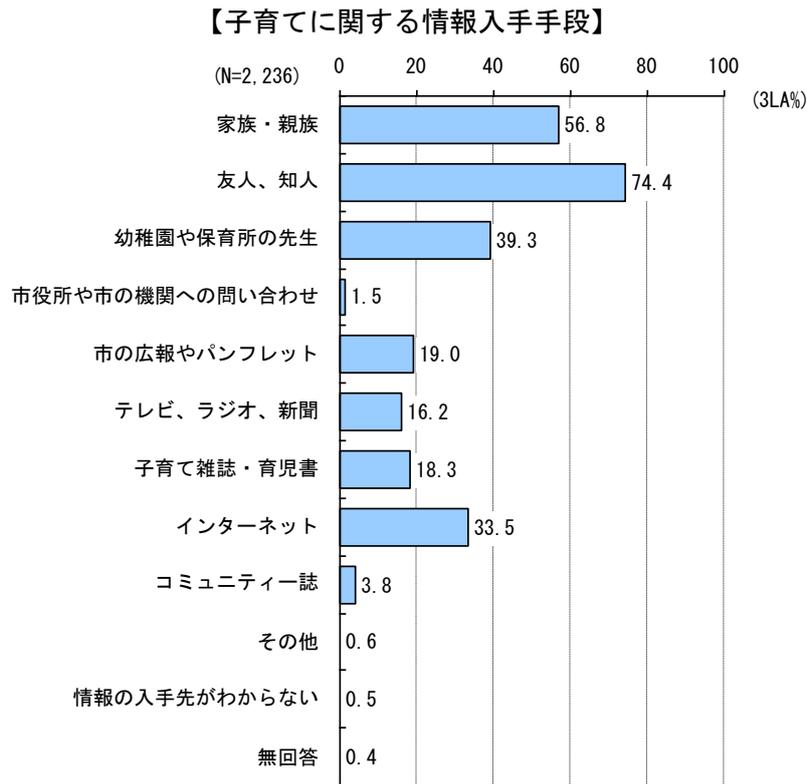
	全体 (N)	い子どもと遊ぶ方が遊ばせ方なや	この子育てが得られてない家族	子どもの成長について	子どもの勉強や進学	子どもの性格や行動	子どもの友人のこと	子育てに関する相談	子育てにお金がかかること	食事や栄養に関すること	虐待では「児童虐待では？」と思うこと	その他	感じていない	無回答	
全体	2,236	25.7	5.4	17.8	25.7	43.2	7.7	1.9	33.8	24.2	5.4	4.1	10.0	1.0	
年齢別	0歳児	349	30.4	4.9	23.5	13.2	28.9	4.0	2.3	32.1	36.4	5.2	3.7	13.2	0.6
	1歳児	372	30.9	4.8	16.1	16.4	40.3	4.8	2.2	28.2	33.3	4.8	5.9	11.6	0.5
	2歳児	364	29.4	4.7	16.5	24.5	48.1	4.7	2.2	37.1	24.5	7.7	4.7	9.6	0.5
	3歳児	346	24.9	7.2	14.7	25.1	43.6	6.1	2.0	35.3	20.2	6.1	2.9	11.0	2.0
	4歳児	386	20.7	4.9	16.3	35.5	52.1	11.9	1.0	38.6	16.1	4.4	3.6	6.2	0.8
	5歳児	404	19.1	5.9	19.6	36.9	45.0	13.4	2.0	31.4	16.1	4.5	4.0	9.2	1.5

(4) 情報入手手段

問39 子育て（教育を含む。）に関する情報をどのように入手されていますか。（○は3つまで）

子育てに関する情報の入手先については、「友人、知人」が74.4%で最も多く、次いで「家族・親族」56.8%となっている。

子どもの年齢別にみると、どの年齢でも「友人、知人」が最も多いことに違いはないが、「幼稚園や保育所の先生」は、2歳児以上になると4割以上と多くなっている。



**【子育てに関する情報入手手段（年齢別）】**

	全体 (N)	家族・親族	友人、知人	幼稚園や保育所の先生	市役所や市の機関への問い合わせ	市の広報やパンフレット	テレビ、ラジオ、新聞	子育て雑誌・育児書	インターネット	コミュニティー誌	その他	情報の入手先がわからない	無回答
全体	2,236	56.8	74.4	39.3	1.5	19.0	16.2	18.3	33.5	3.8	0.6	0.5	0.4
0歳児	349	62.8	72.5	22.9	2.9	14.3	12.9	30.9	42.4	2.3	0.9	0.9	-
1歳児	372	61.0	72.8	29.3	1.1	21.2	19.4	19.9	38.4	4.8	0.8	-	0.3
2歳児	364	58.5	75.8	40.4	1.9	17.3	12.1	19.2	35.2	3.8	0.5	0.5	-
3歳児	346	52.6	74.3	45.7	0.6	19.7	15.6	13.9	30.9	3.2	0.6	0.3	0.9
4歳児	386	52.6	74.9	49.7	1.8	21.0	14.8	14.5	27.2	4.4	-	1.0	1.0
5歳児	404	53.5	75.7	46.0	1.0	19.3	21.8	12.4	28.5	4.5	1.0	0.5	0.2

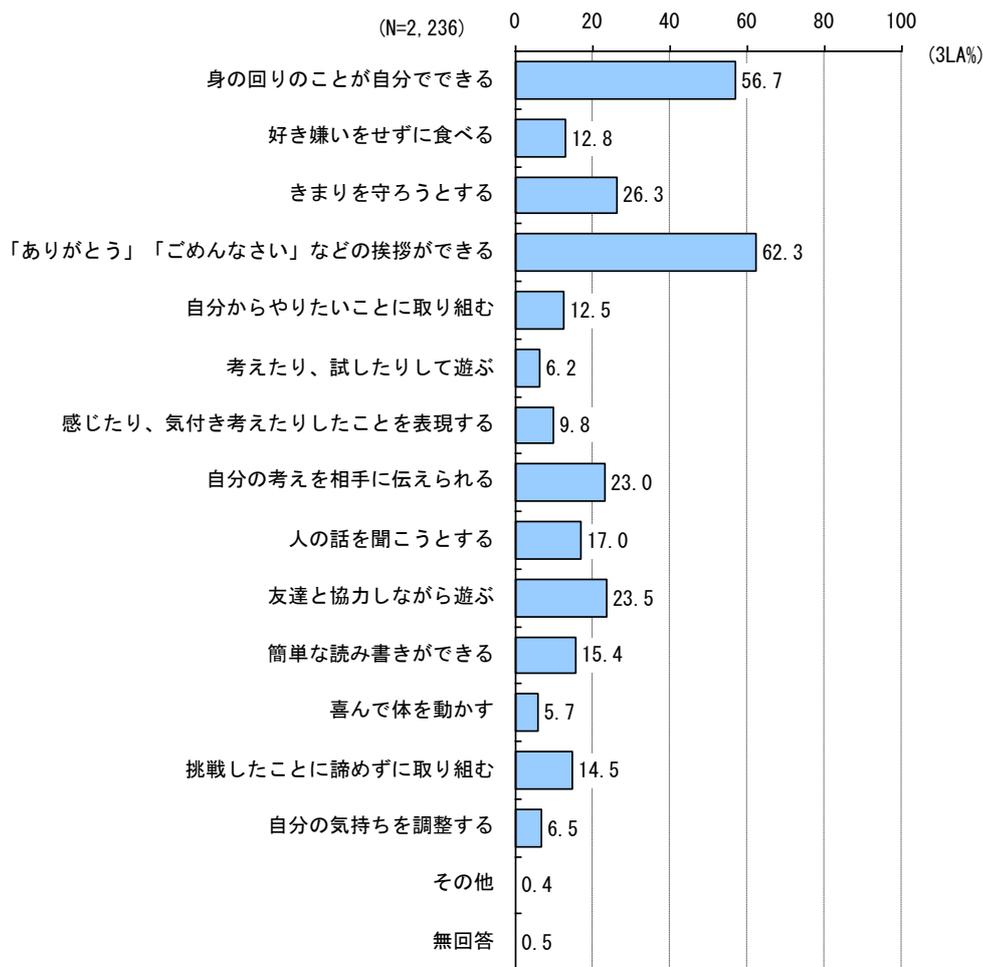
## Ⅱ 就学前児童の保護者調査の結果

### (5) 小学校入学までに身につけさせたい力

問40 子どもが小学校に入学するまでに身につけさせたい力は何ですか。(○は3つまで)

子どもが小学校に入学するまでに身につけさせたい力については、「ありがとう」「ごめんなさい」などの挨拶ができる」が62.3%で最も多く、次いで「身の回りのことが自分でできる」56.7%となっており、この2つが突出して多くなっている。

【小学校入学までに身につけさせたい力】



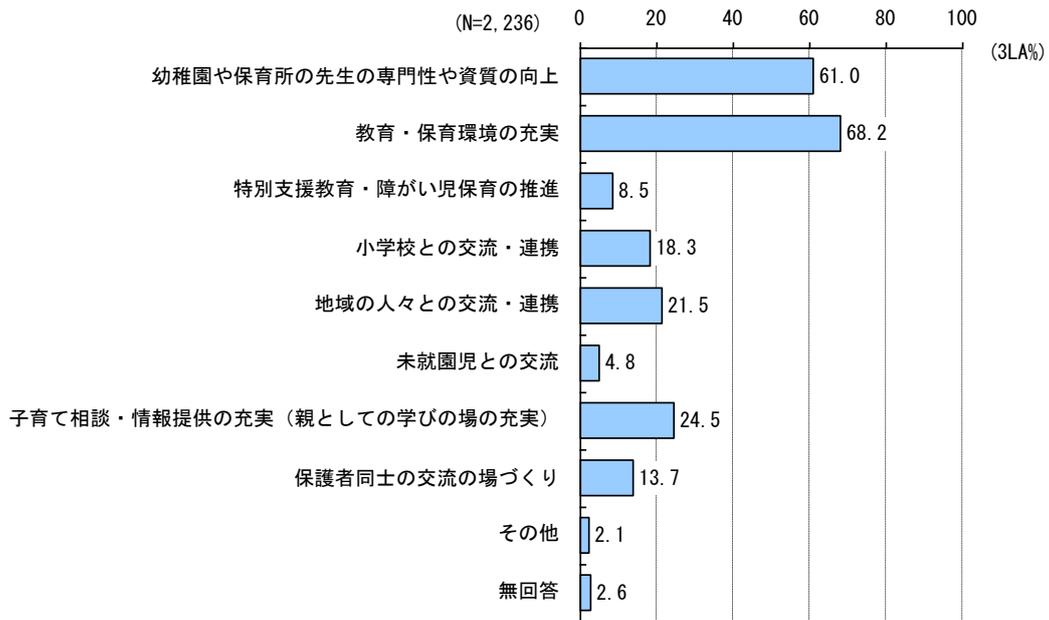
(6) 教育・保育内容で充実してほしい内容

問41 教育・保育内容で充実してほしい内容は何ですか。(〇は3つまで)

教育・保育内容で充実してほしい内容については、「教育・保育環境の充実」が68.2%で最も多く、次いで「幼稚園や保育所の先生の専門性や資質の向上」61.0%となっている。

利用している定期的な教育・保育事業別にみると、利用している事業に関わりなく「教育・保育環境の充実」が最も多くなっている。

【教育・保育内容で充実してほしい内容】



【教育・保育内容で充実してほしい内容 (利用している定期的な教育・保育事業別)】

	全体 (N)	幼稚園の専門性や保育所の先生の資質の向上	教育・保育環境の充実	特別支援教育・障がい児保育の推進	小学校との交流・連携	地域の人々との交流・連携	未就園児との交流	子育て相談・情報提供の充実 (親としての学びの場の充実)	保護者同士の交流の場づくり	その他	無回答
全体	2,236	61.0	68.2	8.5	18.3	21.5	4.8	24.5	13.7	2.1	2.6
幼稚園	643	62.7	70.3	9.0	22.1	20.8	1.9	21.2	11.2	2.2	3.4
認可保育所	734	57.4	67.3	9.1	20.0	21.5	2.9	21.4	16.9	2.3	2.5
その他	138	56.5	63.8	9.4	23.2	21.7	2.2	17.4	15.9	2.2	2.2
利用していない	654	64.5	68.3	7.3	10.6	22.2	10.4	33.0	12.5	1.7	2.0

## 12 子どもの外出、子どもの遊び場、親子の居場所について

### (1) 子どもとの外出で困ること

問42 お子さんとの外出の際、困ること・困ったことは何ですか。(〇は3つまで)

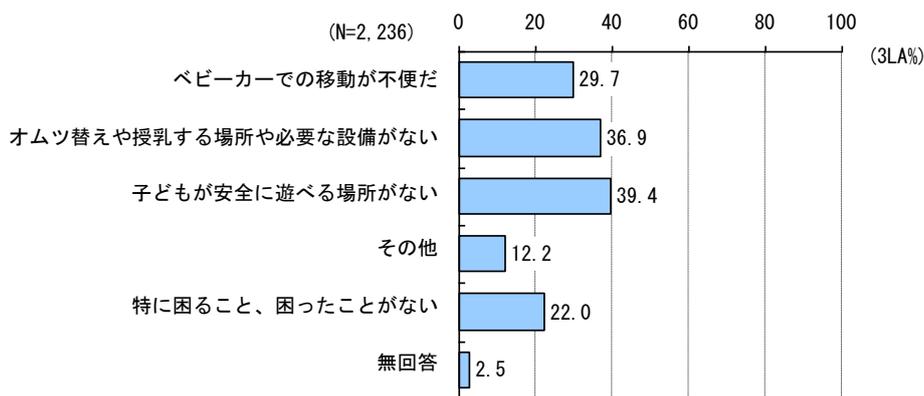
子どもとの外出で困ること・困ったことについては、「特に困ること、困ったことはない」が22.0%であり、『困ること、困ったことがある』のは75.5%となっている。(100%から「特に困ること、困ったことはない」と「無回答」を引いた割合)

内容では、「子どもが安全に遊べる場所がない」が39.4%で最も多く、次いで「オムツ替えや授乳する場所や必要な設備がない」36.9%、「ベビーカーでの移動が不便だ」29.7%となっている。

年齢別にみると、0歳児と2歳児で「オムツ替えや授乳する場所や必要な設備がない」が最も多く、1歳児・3歳児～5歳児では「子どもが安全に遊べる場所がない」が最も多くなっている。

区域別にみると、“東部北”と“東部南”“西部北”で「オムツ替えや授乳する場所や必要な設備がない」が最も多くなっている。

【子どもとの外出で困ること・困ったこと】



【子どもとの外出で困ること・困ったこと（年齢別・区域別）】

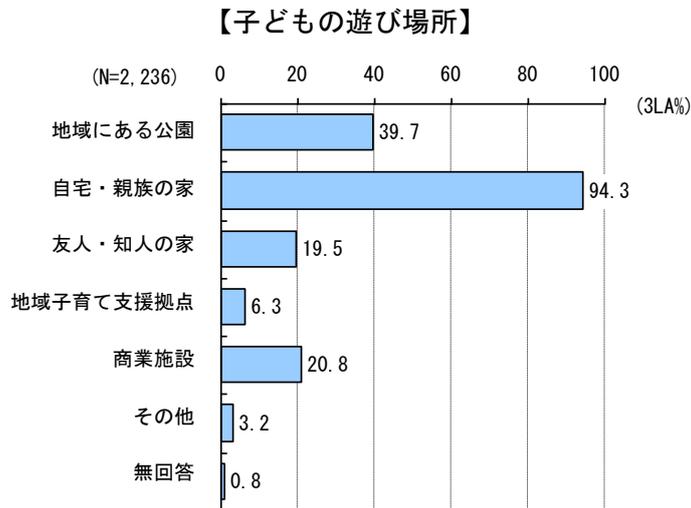
		全体 (N)	ベビーカーでの移動が不便だ	オムツ替えや授乳する場所や必要な設備がない	子どもが安全に遊べる場所がない	その他	特に困ること、困ったことはない	無回答
全体		2,236	29.7	36.9	39.4	12.2	22.0	2.5
年齢別	0歳児	349	43.8	51.6	33.2	12.6	14.9	0.9
	1歳児	372	37.4	42.7	43.3	10.2	14.8	1.3
	2歳児	364	26.9	46.2	40.1	15.9	17.3	2.7
	3歳児	346	25.7	35.0	39.3	12.7	22.3	4.3
	4歳児	386	24.1	25.1	40.7	11.7	26.4	3.6
	5歳児	404	21.5	23.5	39.9	10.4	34.7	2.2
区域別	都心	552	29.5	34.8	41.3	15.9	20.3	2.7
	中部	551	31.9	38.3	39.9	14.3	20.3	2.5
	東部北	292	27.1	41.4	38.0	9.6	21.6	1.7
	東部南	200	29.0	43.0	38.0	12.5	21.5	2.0
	西部北	145	32.4	35.2	35.2	8.3	24.8	1.4
	西部南	267	30.0	35.2	42.7	10.1	21.0	3.7
	南部	161	24.2	31.7	32.9	5.6	34.2	2.5

(2) 子どもの遊び場所

問43 お子さんは、保育所等に行っている時間を除くと、主にどこで遊んでいますか。(〇は3つまで)

子どもの主な遊び場所については、「自宅・親族の家」が94.3%で最も多く、次いで「地域にある公園」39.7%、「商業施設」20.8%となっている。

年齢別、区域別にみても「自宅・親族の家」が最も多く9割以上を占めている。



【子どもの遊び場所（年齢別・区域別）】

		全体(N)	地域にある公園	自宅・親族の家	友人・知人の家	地域子育て支援拠点	商業施設	その他	無回答
全 体		2,236	39.7	94.3	19.5	6.3	20.8	3.2	0.8
年 齢 別	0歳児	349	22.1	94.6	14.9	11.5	16.3	1.7	1.4
	1歳児	372	41.4	94.6	14.2	14.0	24.7	2.4	0.5
	2歳児	364	48.9	94.5	20.6	8.5	23.1	4.4	0.3
	3歳児	346	43.6	95.1	21.7	2.0	20.8	3.5	0.6
	4歳児	386	43.8	93.8	20.2	2.1	21.5	3.4	0.8
	5歳児	404	37.1	93.6	24.8	0.5	18.8	3.7	1.0
区 域 別	都 心	552	48.9	93.1	17.8	5.8	22.3	3.8	0.9
	中 部	551	40.8	94.7	20.3	6.4	21.2	2.9	0.9
	東 部 北	292	41.1	94.5	20.2	6.8	15.4	3.8	-
	東 部 南	200	33.0	94.0	19.0	5.0	23.5	4.5	0.5
	西 部 北	145	41.4	95.2	24.8	4.8	21.4	3.4	0.7
	西 部 南	267	27.0	94.4	19.5	6.4	24.7	2.6	0.7
	南 部	161	33.5	96.9	16.8	8.7	16.1	0.6	0.6

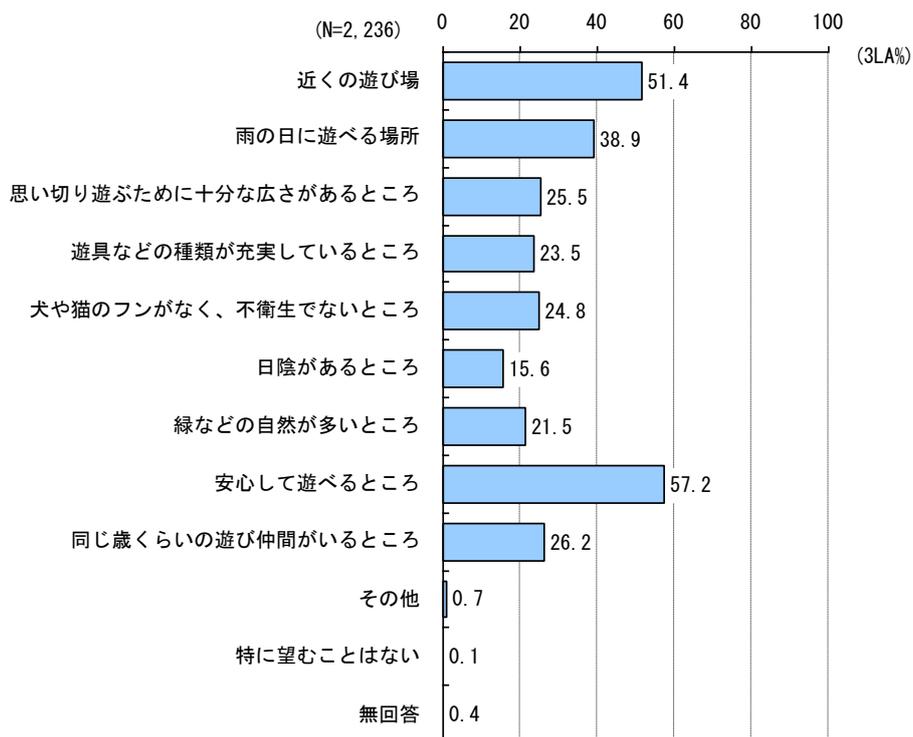
## II 就学前児童の保護者調査の結果

問44 あなたが、子どもの遊び場について望ましいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

子どもの遊び場について望ましいと思うことについては、「安心して遊べる場所」が57.2%と最も多く、次いで「近くの遊び場」51.4%となっている。

区域別にみると、“東部南”では「近くの遊び場」が60.5%で最も多く、他の区域は「安心して遊べる場所」が最も多くなっている。

【子どもの遊び場所について望ましいと思うこと】



【子どもの遊び場所について望ましいと思うこと（年齢別・区域別）】

	全 体 (N)	近くの遊び場	雨の日に遊べる場所	思い切り遊ぶために十分な広さがあるところ	遊具などの種類が充実しているところ	犬や猫のフンがなく、不衛生でないところ	日陰があるところ	緑などの自然が多いところ	安心して遊べる場所	同じ歳くらいの遊び仲間がいるところ	その他	特に望むことはない	無回答
全 体	2236	51.4	38.9	25.5	23.5	24.8	15.6	21.5	57.2	26.2	0.7	0.1	0.4
年 齢 別	0歳児	349	48.1	33.0	22.3	18.3	25.5	18.9	27.2	61.3	30.7	0.9	-
	1歳児	372	55.6	42.5	21.2	21.2	26.3	16.1	17.2	58.6	29.6	0.3	0.3
	2歳児	364	45.6	47.5	26.6	23.9	28.8	15.9	20.3	53.8	22.3	1.6	-
	3歳児	346	50.0	39.0	27.2	26.9	23.7	11.6	22.8	55.5	25.7	0.9	0.9
	4歳児	386	54.4	37.3	22.8	24.1	23.3	14.5	21.5	60.1	25.9	0.3	0.5
	5歳児	404	54.0	34.2	31.9	26.5	21.8	16.6	20.5	54.2	22.5	0.2	0.5
区 域 別	都 心	552	48.9	44.0	27.2	23.2	29.0	16.5	18.3	55.6	24.6	0.9	-
	中 部	551	50.5	40.1	24.0	25.2	24.0	16.0	21.1	58.1	24.7	0.5	0.2
	東 部 北	292	52.1	34.6	25.3	22.3	27.4	21.2	19.5	58.2	27.7	0.7	0.3
	東 部 南	200	60.5	37.5	25.5	23.0	16.5	9.5	25.5	58.0	26.5	0.5	0.5
	西 部 北	145	51.0	36.6	26.9	22.8	27.6	18.6	16.6	55.2	27.6	0.7	2.1
	西 部 南	267	55.1	35.6	26.6	23.6	21.3	12.4	28.1	56.6	28.1	1.1	-
	南 部	161	44.1	36.0	25.5	24.8	26.1	12.4	25.5	59.0	24.8	-	-

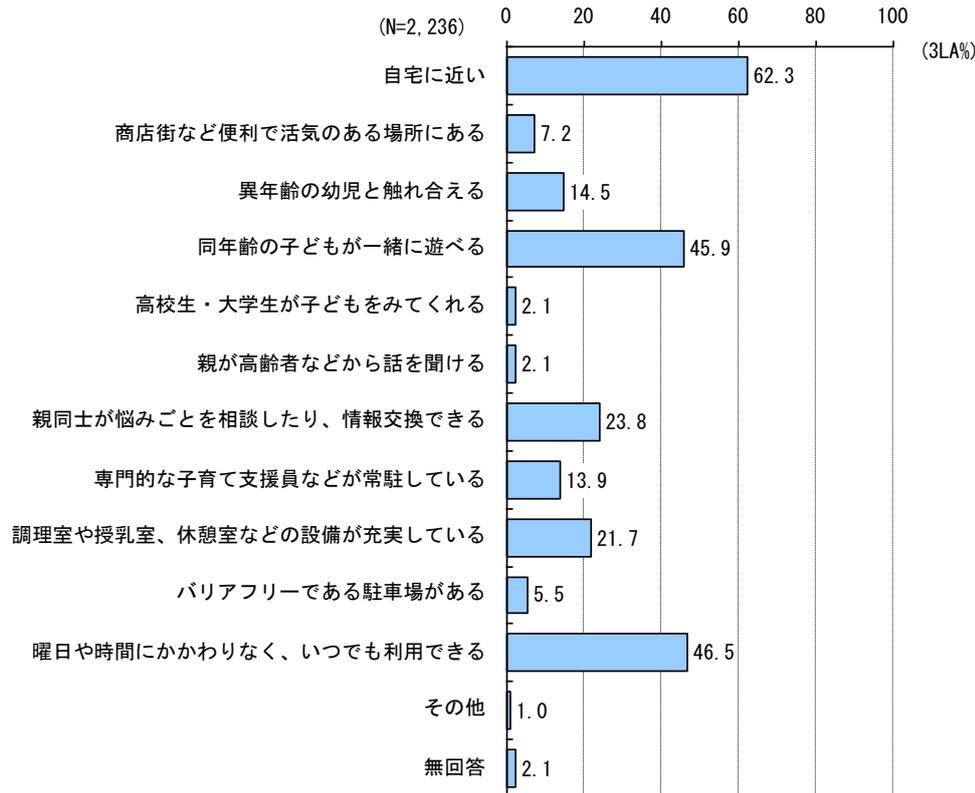
(3) 親子の居場所として重要なこと

問45 家庭以外の親子の居場所として、どのようなことが重要であると思いますか。(○は3つまで)

親子の居場所として重要なことについては、「自宅に近い」が62.3%で最も多く、次いで「曜日や時間にかかわらず、いつでも利用できる」46.5%、「同年齢の子どもと一緒に遊べる」45.9%となっている。

子どもの年齢別・地域別にみても、どの層も「自宅に近い」が最も多く、約6割以上を占めている。

【親子の居場所として重要なこと】



【親子の居場所として重要なこと（子どもの年齢別・区域別）】

	全体 (N)	自宅に近い	商店街など便利で活気のある場所にある	異年齢の幼児と触れ合える	同年齢の子どもと一緒に遊べる	高校生・大学生が子どもをみしてくれる	親が高齢者などから話を聞ける	親同士が悩みごとを相談したり、情報交換できる	専門的な子育て支援員などが常駐している	調理室や授乳室、休憩室などの設備が充実している	バリアフリーである駐車場がある	曜日や時間にかかわらず、いつでも利用できる	その他	無回答	
全体	2,236	62.3	7.2	14.5	45.9	2.1	2.1	23.8	13.9	21.7	5.5	46.5	1.0	2.1	
年齢別	0歳児	349	55.6	6.9	10.0	42.1	1.1	2.0	26.1	18.3	4.3	44.7	0.6	1.1	
	1歳児	372	66.4	4.8	14.0	49.5	1.3	1.1	26.3	14.0	4.6	47.3	1.1	0.8	
	2歳児	364	60.7	8.5	13.2	47.3	2.2	1.6	22.8	12.4	26.6	8.2	49.7	1.6	1.1
	3歳児	346	59.2	7.8	17.6	45.7	1.2	3.2	23.1	16.2	16.5	5.8	43.6	1.2	2.9
	4歳児	386	64.5	7.5	18.1	46.9	3.1	2.3	23.8	11.9	14.5	5.7	42.2	0.5	2.3
区域別	5歳児	404	67.1	6.9	13.9	44.1	3.2	2.5	20.5	11.6	11.1	4.7	50.0	1.2	4.2
	都心	552	63.8	10	14.5	44.4	2.9	2.4	22.5	13.8	19.2	7.1	44.9	0.9	1.8
	中部	551	65.7	5.8	14.9	49.0	1.5	1.8	24.5	15.4	21.8	4.9	44.1	0.5	1.5
	東部北	292	57.9	7.9	14.7	49.7	2.7	3.1	24.0	14.7	20.9	7.5	47.6	1.0	2.7
	東部南	200	60.5	6.0	15.5	44.5	1.5	1.5	22.5	13.5	21.5	3.5	52.0	1.5	3.5
	西部北	145	57.2	6.2	15.9	46.2	2.8	2.8	25.5	15.2	24.8	7.6	48.3	2.1	1.4
西部南	267	62.5	6.4	12.7	44.6	1.9	2.2	23.2	12.0	25.8	3.7	46.8	1.1	0.7	
南部	161	60.2	6.2	14.9	35.4	1.2	1.2	24.2	12.4	19.9	3.7	53.4	1.2	3.7	

## 13 少子化問題、施策全般について

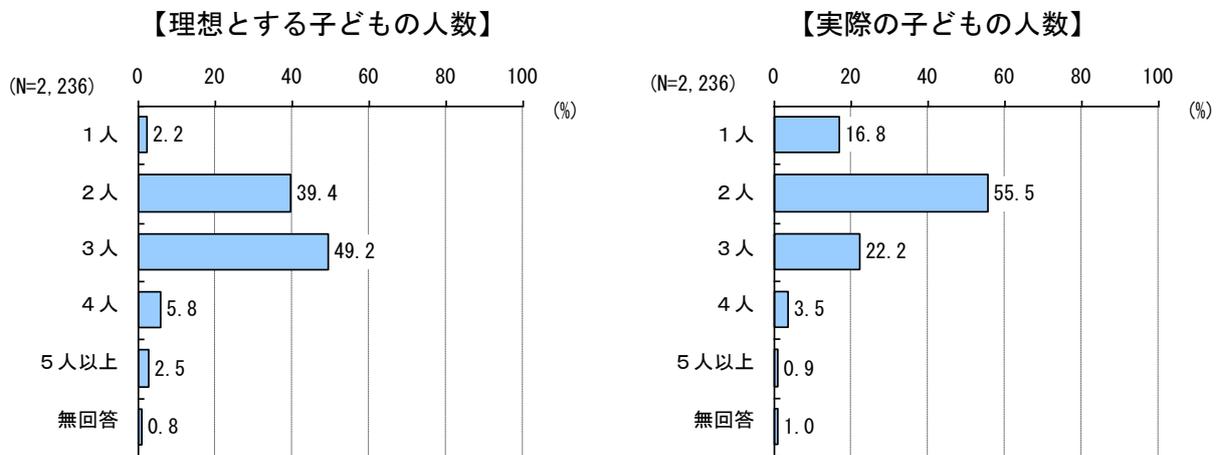
### (1) 子どもの人数

問46 あなたが、欲しいと思っている子どもは何人ですか。また、実際に（予定して）いる子どもは何人ですか。（それぞれに○を1つ）

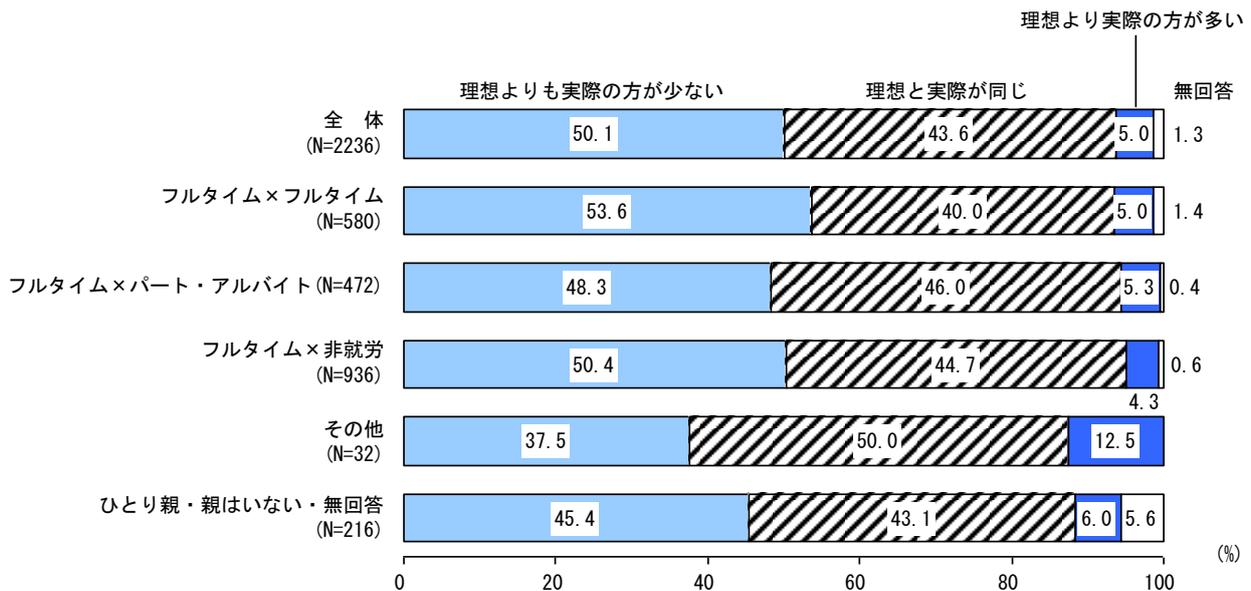
理想とする子どもの人数については、「3人」が49.2%で最も多く、次いで「2人」39.4%となっている。

実際の子どもの人数については、「2人」が55.5%で最も多く、次いで「3人」22.2%となっている。

子どもの人数についての理想と実際では、「理想よりも実際の方が少ない」が50.1%と半数を占め、「理想と現実が同じ」が43.6%となっている。



### 【子どもの人数についての理想と実際（就労タイプ別）】

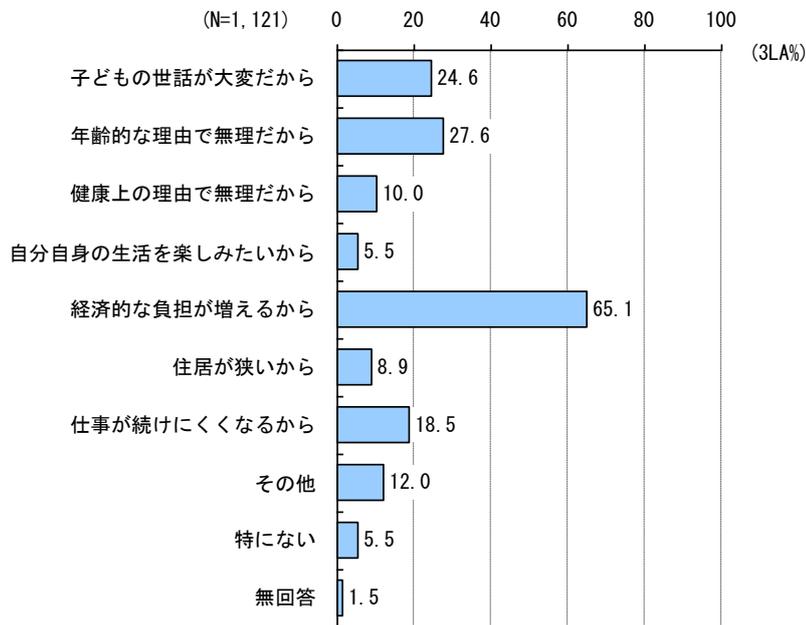


問47 問46で理想とする子どもの人数よりも、実際に（予定して）いる子どもの人数が少ない方にうかがいます。その理由は何ですか。（〇は3つまで）

理想とする人数よりも実際の子どもの人数が少ない理由については、「経済的な負担が増えるから」が65.1%で最も多く、次いで「年齢的な理由で無理だから」27.6%、「子どもの世が大変だから」24.6%となっている。

就労タイプ別にみると、「経済的な負担が増えるから」が最大の理由であることは共通しているが、“フルタイム×フルタイム”では、「仕事が続けにくくなるから」が34.1%みられる。

【理想とする人数よりも実際の子どもの人数が少ない理由】



【理想とする人数よりも実際の子どもの人数が少ない理由（就労タイプ別）】

	全 体 (N)	子どもの世が大変だから	年齢的な理由で無理だから	健康上の理由で無理だから	自分自身の生活を楽しみたいから	経済的な負担が増えるから	住居が狭いから	仕事が続けにくくなるから	その他	特にない	無回答
全 体	1121	24.6	27.6	10.0	5.5	65.1	8.9	18.5	12.0	5.5	1.5
フルタイム×フルタイム	311	21.5	30.5	9.0	4.5	61.1	5.1	34.1	12.2	3.5	1.6
フルタイム×パート・アルバイト	228	25.0	25.0	7.9	7.5	76.8	12.3	24.1	7.0	3.5	0.9
フルタイム×非就労	472	26.9	28.6	10.6	5.9	63.3	10.2	5.9	12.1	7.8	1.1
その他	12	33.3	25.0	33.3	-	66.7	16.7	-	8.3	8.3	-
ひとり親・親はいない・無回答	98	21.4	19.4	12.2	3.1	59.2	6.1	18.4	23.5	5.1	5.1

## II 就学前児童の保護者調査の結果

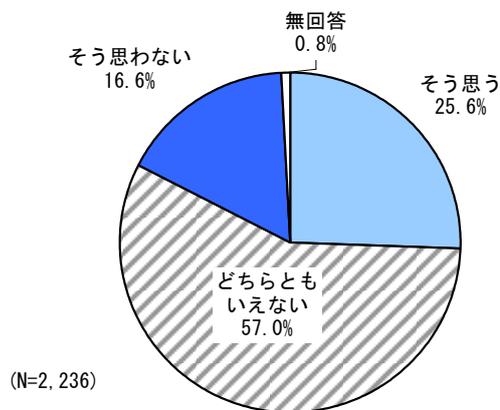
### (2) 地域における子どもや子育て家庭に対する支援

問48 あなたの地域は、子どもや子育て家庭などを支援する体制や雰囲気があると思いますか。  
(○は1つ)

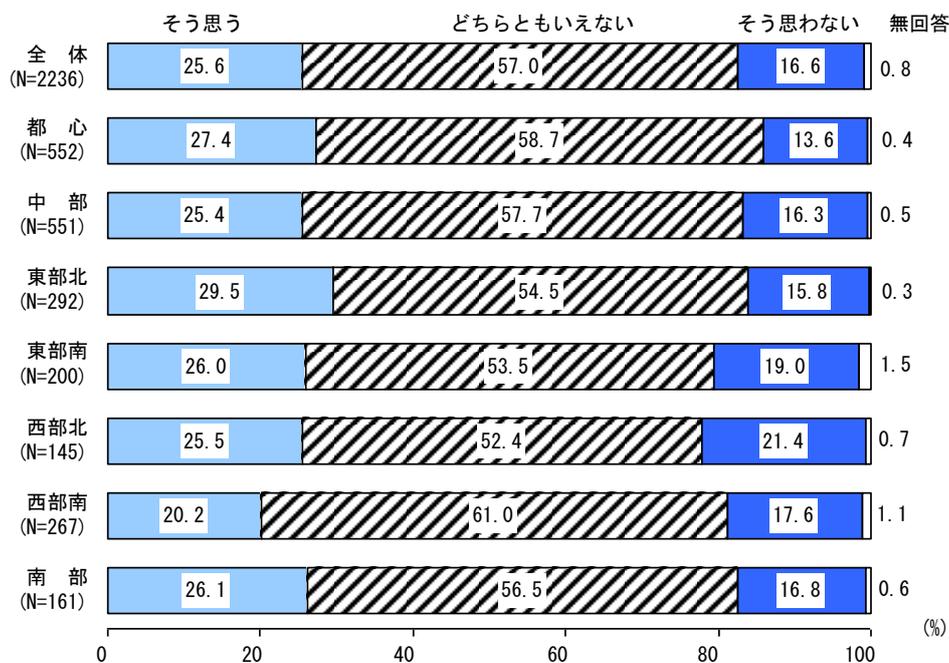
地域に子供や子育て家庭を支援する体制や雰囲気があると思うかについては、「どちらともいえない」が57.0%で最も多く、次いで「そう思う」25.6%で、「そう思わない」16.6%を上回っている。

区域別にみてもどの区域も「どちらともいえない」が多数を占めることに違いはみられない。「そう思う」の割合に着目すると、“東部北”が29.5%で最も高く、“西部南”が20.2%で最も低くなっている。逆に「そう思わない」の割合については、“西部北”で21.4%と2割を超えている。

【地域に子どもや子育て家庭を支援する体制や雰囲気があると思うか】



【地域に子どもや子育て家庭を支援する体制や雰囲気があると思うか（区域別）】

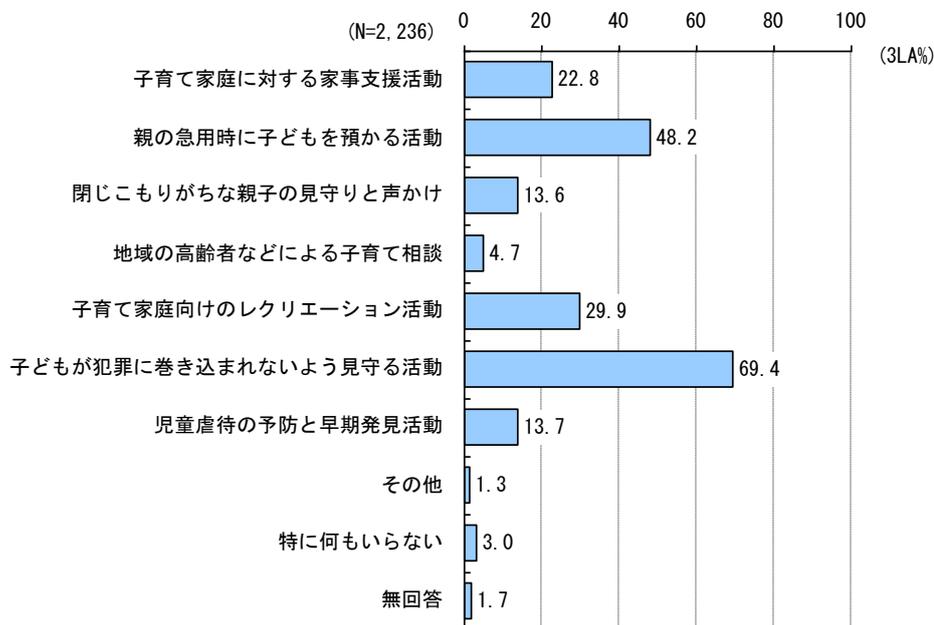


問49 地域において、子どもや子育て家庭に対する支援活動があればよいと思いますか。  
(〇は3つまで)

地域においてあればよいと思う子どもや子育て家庭に対する支援活動については、「子どもが犯罪に巻き込まれないよう見守る活動」が69.4%で最も多く、次いで「親の急用時に子どもを預かる活動」48.2%、「子育て家庭向けのレクリエーション活動」29.9%、「子育て家庭に対する家事支援活動」22.8%となっている。

就労タイプ別にみると、いずれも「子どもが犯罪に巻き込まれないよう見守る活動」と「親の急用時に子どもを預かる活動」が二大ニーズとなっている。

【地域においてあればよいと思う子どもや子育て家庭に対する支援活動】



【地域においてあればよいと思う子どもや子育て家庭に対する支援活動（就労タイプ別）】

	全体 (N)	子育て家庭に対する活動	親の急用時に子どもを預かる活動	閉じこもりがちな親子の見守りと声かけ	地域の高齢者などによる子育て相談	子育て家庭向けのレクリエーション活動	子どもが犯罪に巻き込まれないよう見守る活動	児童虐待の予防と早期発見活動	その他	特に何もいない	無回答
全体	2,236	22.8	48.2	13.6	4.7	29.9	69.4	13.7	1.3	3.0	1.7
フルタイム×フルタイム	580	28.3	41.7	12.1	4.7	31.9	71.2	13.8	1.4	2.9	1.9
フルタイム×パート・アルバイト	472	19.1	42.8	13.8	4.4	24.6	72.7	15.3	0.8	3.4	1.7
フルタイム×非就労	936	20.9	54.4	14.7	4.5	33.1	66.5	11.2	1.5	2.9	1.4
その他	32	18.8	40.6	12.5	9.4	18.8	65.6	18.8	-	6.3	6.3
ひとり親・親はいない	216	25.0	51.4	12.5	5.6	23.6	70.4	19.9	0.9	2.8	2.3

II 就学前児童の保護者調査の結果

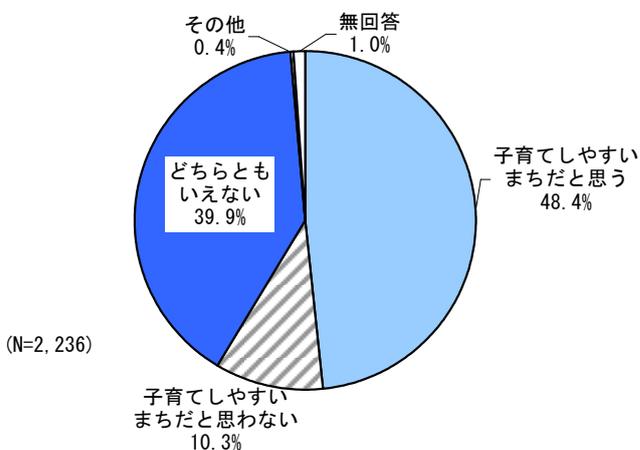
(3) 高松市における子育てのしやすさ評価

問50 高松市は子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

高松市は子育てしやすいまちだと思うかについては、「子育てしやすいまちだと思う」が48.4%に対して、「子育てしやすいまちだと思わない」が10.3%となっている。なお、「どちらともいえない」が39.9%みられる。前回調査時に比べると「子育てしやすいまちだと思う」の割合が10.6%上昇しており、目標として設定していた43%を達成している。

区域別にみると、どの区域についても「子育てしやすいまちだと思わない」は少数である。「子育てしやすいまちだと思う」の割合が高いのは、「都心」(53.8%)、「西部北」(52.4%)で、過半数を超えている。一方、「子育てしやすいまちだと思う」の割合が比較的低いのは、「南部」(40.4%)、「西部南」42.7%となっている。

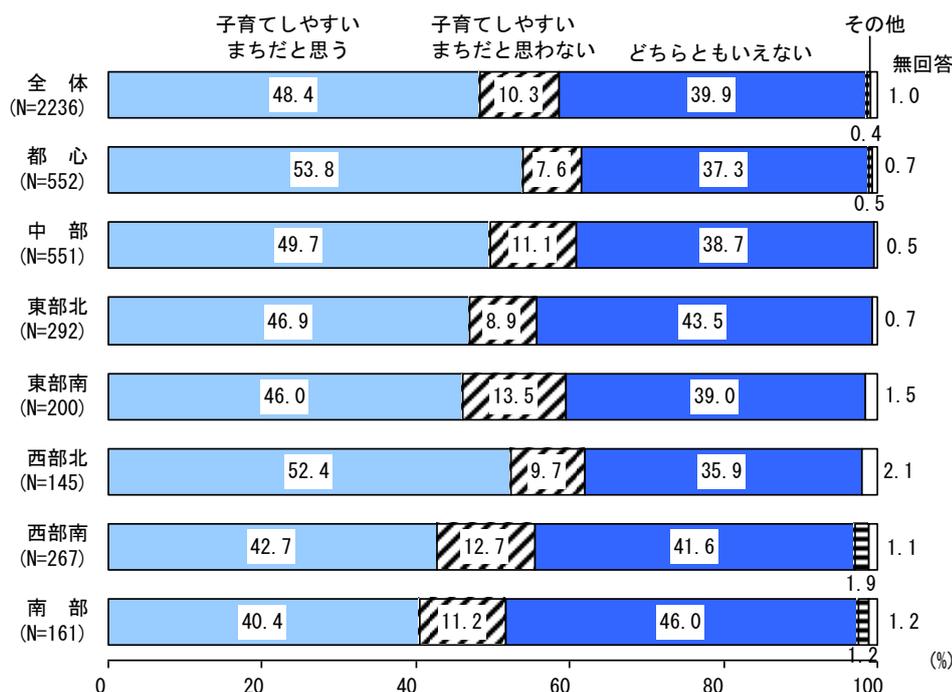
【高松市は子育てしやすいまちだと思うか】



【前回調査との対比】

	子育てしやすいまちだと思う
前回調査	37.8%
前回目標値	43%
今回調査	48.4%

【高松市は子育てしやすいまちだと思うか（区域別）】



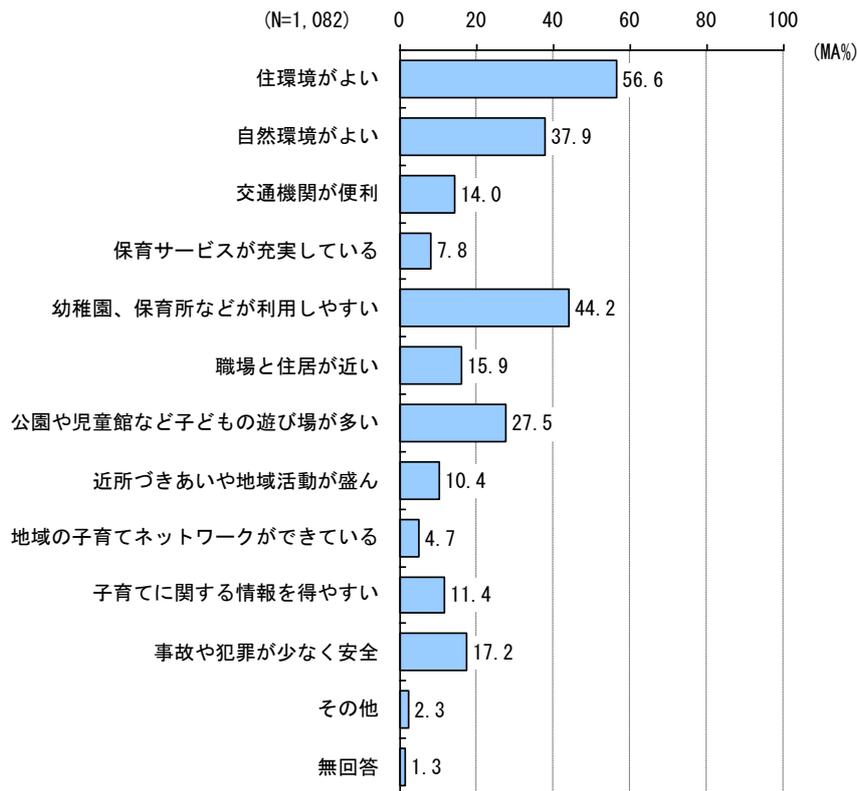
問50-1 問50で「1」を選ばれた方にうかがいます。

子育てしやすいまちだと思える理由は何ですか。(〇はいくつでも)

子育てしやすいまちだと思える理由については、「住環境がよい」が56.6%で最も多く、次いで「幼稚園、保育所などが利用しやすい」44.2%、「自然環境がよい」37.9%となっている。

区域別にみると、順位は異なるものの上位3位の項目は共通している。

【高松市が子育てしやすいまちだと思える理由】



【高松市が子育てしやすいまちだと思える理由（区域別）】

	全体 (N)	住環境がよい	自然環境がよい	交通機関が便利	保育サービスが充実している	幼稚園、保育所などが利用しやすい	職場と住居に近い	公園や児童館など子どもの遊び場が多い	近所づきあいや地域活動が盛ん	地域の子育てネットワークができています	子育てに関する情報を得やすい	事故や犯罪が少なく安全	その他	無回答
全体	1082	56.6	37.9	14.0	7.8	44.2	15.9	27.5	10.4	4.7	11.4	17.2	2.3	1.3
都心	297	61.6	32.3	14.5	9.4	43.8	20.9	33.7	6.4	4.4	13.1	16.2	3.0	1.0
中部	274	57.3	30.3	17.9	8.8	42.3	12.0	29.9	9.9	4.4	11.7	16.1	2.2	1.8
東部北	137	53.3	47.4	8.8	10.9	50.4	10.2	24.1	8.0	6.6	13.1	16.8	3.6	1.5
東部南	92	55.4	44.6	13.0	1.1	35.9	15.2	17.4	13.0	3.3	7.6	25.0	-	2.2
西部北	76	48.7	52.6	22.4	6.6	56.6	23.7	21.1	11.8	5.3	7.9	15.8	3.9	-
西部南	114	55.3	41.2	7.9	6.1	35.1	15.8	24.6	16.7	6.1	13.2	14.9	0.9	0.9
南部	65	43.1	44.6	7.7	4.6	46.2	15.4	26.2	15.4	3.1	6.2	26.2	1.5	1.5

## II 就学前児童の保護者調査の結果

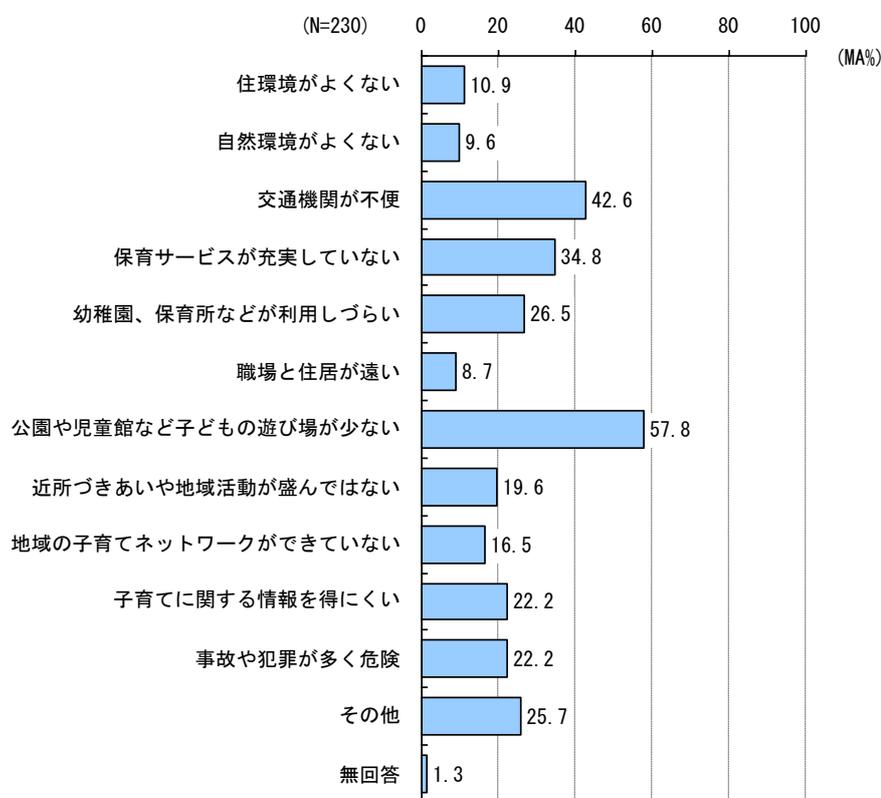
問50-2 問50で「2」を選ばれた方にうかがいます。

子育てしやすいまちだと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

子育てしやすいまちと思わない理由については、「公園や児童館など子どもの遊び場が少ない」が57.8%で最も多く、次いで「交通機関が不便」42.6%、「保育サービスが充実していない」34.8%、「幼稚園、保育所などが利用しづらい」26.5%となっている。

区域別にみると、どの区域でも「公園や児童館など子どもの遊び場が少ない」が最も多いことは共通している。他区域と異なる傾向をあげると、“東部北”で「保育サービスが充実していない」が50.0%と半数を占めている。

【高松市が子育てしやすいまちだと思わない理由】



【高松市が子育てしやすいまちだと思わない理由（区域別）】

	全体 (N)	住環境がよくない	自然環境がよくない	交通機関が不便	保育サービスが充実していない	幼稚園、保育所などが利用しづらい	職場と住居が遠い	公園や児童館など子どもの遊び場が少ない	近所づきあいや地域活動が盛んではない	地域の子育てネットワークができていない	子育てに関する情報を得にくい	事故や犯罪が多く危険	その他	無回答
全体	230	10.9	9.6	42.6	34.8	26.5	8.7	57.8	19.6	16.5	22.2	22.2	25.7	1.3
都心	42	9.5	7.1	52.4	35.7	35.7	2.4	61.9	14.3	16.7	26.2	21.4	28.6	-
中部	61	4.9	11.5	45.9	34.4	26.2	6.6	54.1	16.4	16.4	16.4	24.6	18.0	-
東部北	26	11.5	15.4	46.2	50.0	15.4	11.5	57.7	30.8	23.1	11.5	38.5	38.5	3.8
東部南	27	14.8	3.7	40.7	29.6	25.9	14.8	55.6	33.3	18.5	29.6	29.6	22.2	-
西部北	14	14.3	-	42.9	28.6	14.3	14.3	78.6	28.6	21.4	35.7	14.3	21.4	7.1
西部南	34	14.7	17.6	23.5	29.4	29.4	2.9	55.9	14.7	11.8	26.5	8.8	29.4	2.9
南部	18	16.7	5.6	55.6	38.9	22.2	27.8	61.1	-	16.7	16.7	11.1	27.8	-

(4) 高松市での子育て継続意向

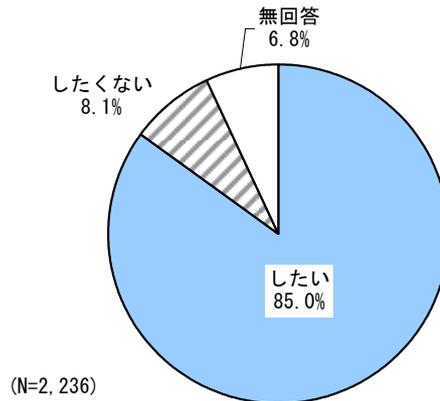
問51 今後も高松市で子育てをしていきたいですか。(○は1つ)

今後も高松市で子育てを「したい」が85.0%と8割以上を占めている。

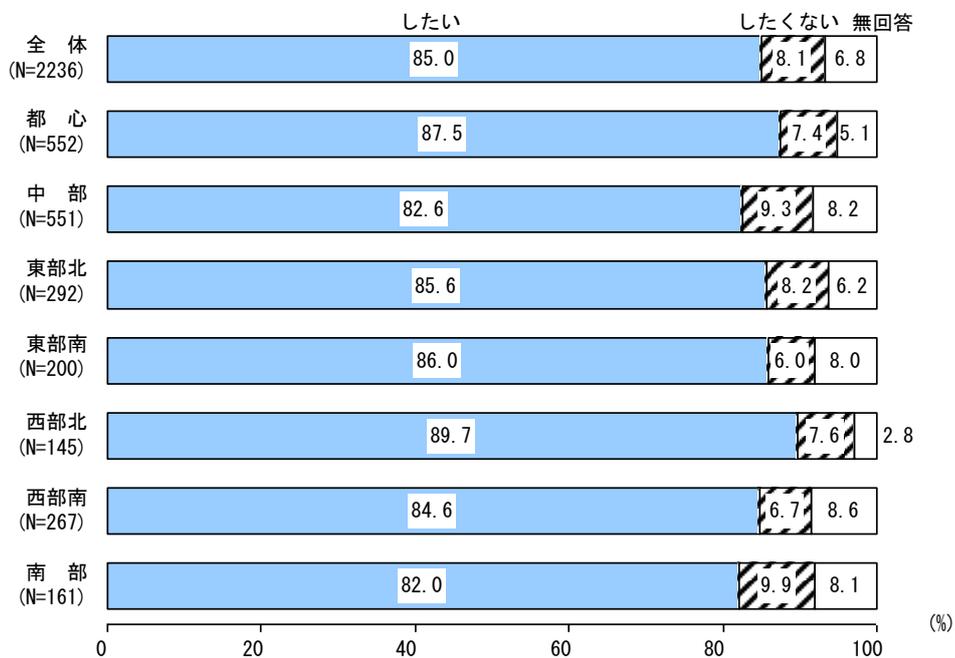
区域別にみても、特に「したくない」の割合が高い区域はみられない。

今後高松市で子育てを「したくない」と回答した181人についてその理由をみると、「地元でない」「住民意識」「医療」「子どもの居場所」などの意見があがっている。

【高松市での子育て継続意向】



【高松市での子育て継続意向 (区域別)】



## II 就学前児童の保護者調査の結果

### 【今後、高松市で子育てを「したくない」理由】

分類	代表的意見内容	件数	
地元でない	地元・両親のいるところに帰る。いずれ帰りたい。	19	29
	実家が遠い、親や知人が近くにいない。	10	
住民意識・ 地域コミュニティ	車の運転マナーが悪い。地域の人のモラルが低い、嫌い、 気に食わない。	14	25
	地域が閉鎖的。地域の人とのつきあいが無い。	5	
	住みにくい。子育てに向かない。	5	
	障がい者への理解が低い。	1	
医療	医療費の支援期間が短い。負担が大きい。	21	24
	病院が遠い。健診が少ない。	3	
子どもの居場所	公園が少ない、遊具が充実していない	9	19
	子どもを安全に遊ばせる場所がない	7	
	児童館、動物園、水族館がない	3	
子育て支援・子育て サービス	子育て支援に力を入れていない、子育て支援サービスに 魅力がない	10	12
	子育て支援サービスの利用料金に不満がある	2	
保育サービス	保育園に入りにくい、近くの保育園に入れない	8	11
	保育料が高い	2	
	保育園が汚い	1	
都市的利便性	交通機関が不便、車がないと移動が不便	7	11
	もっと都会のほうがいい	3	
	大型ショッピング施設がない	1	
住環境	自然が少ない	7	10
	環境が悪い、ビルが多く混雑している	3	
教育	公立幼稚園が少ない。3年保育がない。公立幼稚園の預 かり保育がない。私立幼稚園の補助額が少ない	4	6
	選べる小学校がない、小学校の教育内容が良くない	2	
就労環境	就職先がない、職場が遠い	2	3
	高校卒業後の進路が県内にない	1	
治安	事故・犯罪が多い	3	3
その他	仕方なく。高松市しかない。	11	28
	既に引っ越す予定、転勤する予定	9	
	特に高松市にこだわりはない	2	
	したいともしたくないとも言えない、どこで暮らしても 同じ	6	

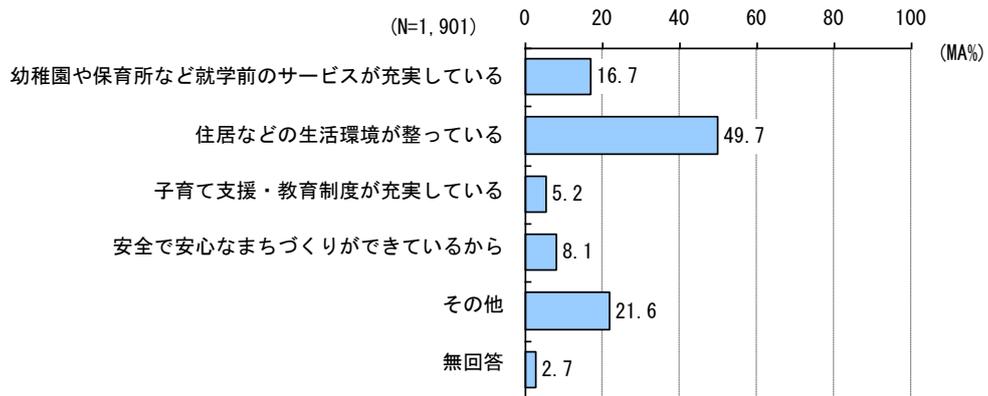
問51-1 問51で「1」に○をつけた方にうかがいます。

子育てをしていきたいと思う理由は何ですか。(○は1つ)

子育てをしていきたい理由については、「住居などの生活環境が整っている」が49.7%で最も多く、次いで「幼稚園や保育所など就学前のサービスが充実している」16.7%となっている。

「その他」が21.6%となっているが、その内容では「地元・親がいる・親戚がいる」「友人・知人がいる」「住み慣れている」「他を知らない」などの意見がある。

【高松市で子育てをしていきたい理由】



## 14 子育て支援サービスの認知度、行政への期待

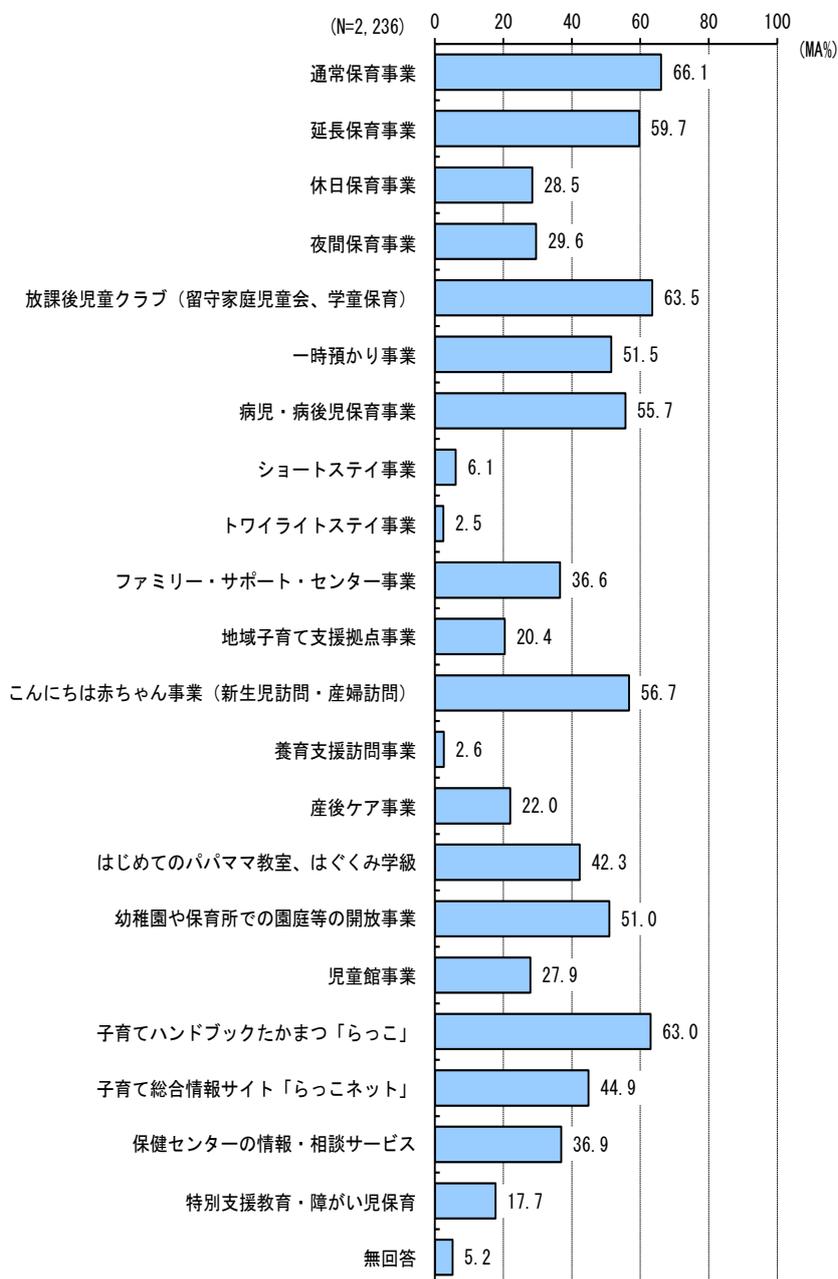
### (1) 子育て支援サービスの認知度

問52 高松市の子育て支援サービスについて、知っているものに○をつけてください。(○はいくつでも)

子育て支援サービスの認知度については、「通常保育事業」が66.1%で最も多く、次いで「放課後児童クラブ（留守家庭児童会、学童保育）」63.5%になっている。

年齢別にみると、0歳児・1歳児では「こんにちは赤ちゃん事業」が7割以上の認知度があり、年齢が上がるにつれて低下している。逆に、「放課後児童クラブ」は年齢が上がるにつれて認知度が上昇している。

【子育て支援サービスの認知度】



【子育て支援サービスの認知度（子どもの年齢別・区域別）】

	全体(N)	通常保育事業	延長保育事業	休日保育事業	夜間保育事業	放課後児童クラブ	一時預かり事業	病児・病後児保育事業	ショートステイ事業	トワイライトステイ事業	ファミリー・サポート・センター事業	地域子育て支援拠点事業	こんには赤ちゃん事業	養育支援訪問事業	産後ケア事業	室、はぐくみ学級	はじめのババママ教室	幼稚園や保育所での園庭等の開放事業	児童館事業	子育てハンドブック「まっらっこ」	子育て総合情報サイト「らっこネット」	保健センターの情報・相談サービス	特別支援教育・障がい児保育	無回答
全体	2,236	66.1	59.7	28.5	29.6	63.5	51.5	55.7	6.1	2.5	36.6	20.4	56.7	2.6	22.0	42.3	51.0	27.9	63.0	44.9	36.9	17.7	5.2	
年齢別	0歳児	349	64.2	53.6	29.5	28.9	51.6	50.4	48.4	5.2	1.1	30.4	26.4	74.8	4.0	21.8	53.0	44.7	24.6	68.5	51.9	36.1	14.6	4.6
	1歳児	372	64.0	59.4	32.5	28.0	59.7	53.8	54.6	4.3	1.9	37.1	26.6	72.8	3.0	27.7	53.8	53.0	29.0	72.8	55.6	40.9	15.6	3.8
	2歳児	364	71.4	66.2	31.3	34.6	65.4	58.8	59.1	5.2	2.2	36.8	21.2	61.3	1.9	25.3	40.1	55.8	29.9	68.7	49.5	40.4	18.4	4.1
	3歳児	346	66.5	58.4	26.9	28.0	63.3	47.7	54.6	5.5	2.6	36.4	17.9	55.8	2.3	19.4	41.9	54.3	26.9	63.6	43.1	37.6	17.1	7.5
	4歳児	386	64.5	58.0	28.2	27.7	64.8	49.0	58.8	7.3	2.6	37.8	18.1	41.7	3.4	22.3	34.2	49.7	26.9	60.9	40.7	34.2	18.4	6.5
5歳児	404	66.8	62.1	23.5	30.4	74.3	49.5	57.9	8.7	4.0	40.3	13.4	38.1	1.5	16.1	32.7	48.0	30.0	45.8	30.7	31.9	21.0	4.7	
区域別	都心	552	65.6	56.7	29.0	28.6	62.1	52.0	56.2	5.1	2.4	41.7	18.7	56.9	1.6	23.4	45.1	49.6	23.4	66.1	44.7	42.6	14.9	3.1
	中部	551	65.3	60.8	29.2	30.3	63.7	53.7	58.4	7.1	2.5	39.4	21.1	60.8	1.8	21.2	41.9	52.8	25.2	65.2	47.5	35.9	18.5	5.6
	東部北	292	66.1	58.6	25.7	26.0	62.3	51.4	57.9	5.8	1.7	39.7	22.3	54.8	4.5	22.6	45.5	57.5	29.8	64.0	45.5	36.3	19.9	4.8
	東部南	200	69.5	64.0	27.0	31.0	64.0	47.0	48.5	5.0	1.0	24.5	22.5	54.0	2.5	21.0	41.5	47.0	25.0	61.0	46.0	32.0	22.0	7.5
	西部北	145	62.8	59.3	31.7	37.9	62.1	50.3	52.4	6.9	3.4	36.6	22.1	56.6	4.1	20.7	37.9	52.4	25.5	66.9	46.2	31.0	17.9	5.5
	西部南	267	71.5	62.9	29.6	29.2	68.2	51.7	54.7	6.0	3.0	31.8	20.2	56.6	3.4	22.8	41.9	51.7	36.0	58.8	44.2	37.8	16.1	5.6
南部	161	62.7	59.6	28.6	29.8	65.8	50.9	56.5	5.6	2.5	26.1	20.5	50.9	3.7	19.9	35.4	45.3	41.0	53.4	35.4	34.8	18.0	7.5	

## II 就学前児童の保護者調査の結果

### (2) 高松市への期待

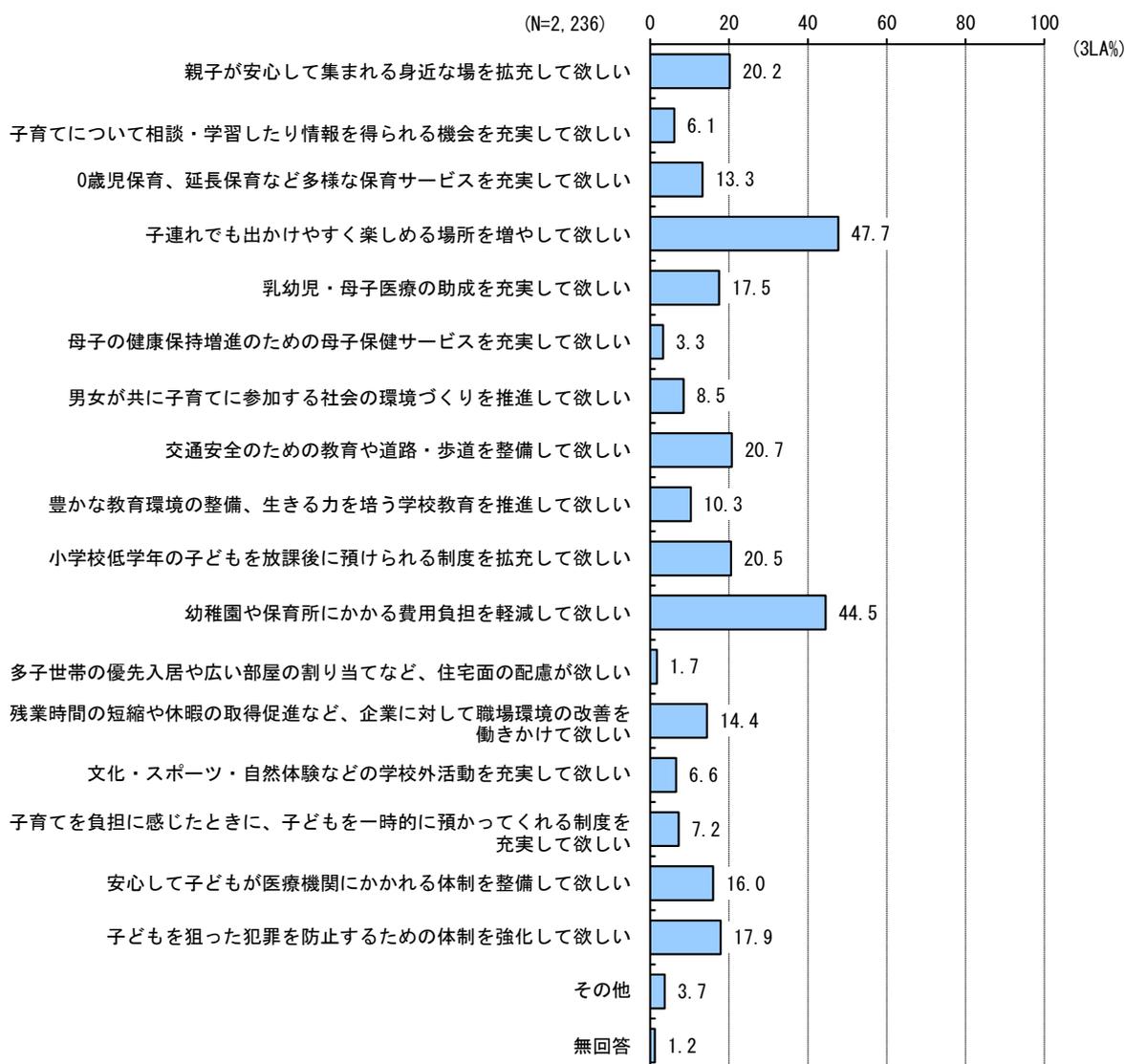
問53 子どもが健やかに生まれ育つ環境をつくるために、今後、高松市に対してどのようなことを期待しますか。(〇は3つまで)

高松市に期待することについては、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」が47.7%で最も多く、次いで「幼稚園や保育所にかかる費用負担を軽減して欲しい」44.5%となっている。以下、「交通安全のための教育や道路・歩道を整備して欲しい」20.7%、「小学校低学年の子どもを放課後に預けられる制度を拡充して欲しい」20.5%、「親子が安心して集まれる身近な場を拡充して欲しい」20.2%となっている。

子どもの年齢別にみると、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」と「幼稚園や保育所にかかる費用負担を軽減して欲しい」が上位2位を占めていることに変わりはない。5歳児で「小学校低学年の子どもを放課後に預けられる制度を拡充して欲しい」、「安心して子供が医療機関にかかれる体制を整備して欲しい」の割合が他に比べて高くなっている。

前回調査との比較では、「親子が安心して集まれる身近な場を拡充して欲しい」、「交通安全のための教育や道路・歩道を整備して欲しい」、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」などが、前回調査より増加となっている。

【今後、高松市に期待すること】



【今後、高松市に期待すること（子どもの年齢別・区域別）】

	全体 (N)	親子が安心して集まれる身近な場を拡充して欲しい	子育てについて相談・学習したて欲しい	子育てについて相談・学習したて欲しい	0歳児保育、延長保育など多様な保育サービスを充実して欲しい	子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい	乳幼児・母子医療の助成を充実して欲しい	子保健サービスを充実して欲しい	母子の健康保持増進のための母保健サービスを充実して欲しい	男女が共に子育てに参加する社会の環境づくりを推進して欲しい	交通安全のための教育や道路・歩道を整備して欲しい	豊かな教育環境の整備、生きる力を培う学校教育を推進して欲しい	小学校低学年の子どもを放課後に預けられる制度を拡充して欲しい	幼稚園や保育所にかかる費用負担を軽減して欲しい	多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮が欲しい	残業時間の短縮や休暇の取得促進などを働きかけて欲しい	文化・スポーツ・自然体験などの学校外活動を充実して欲しい	安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい	子どもを狙った犯罪を防止するための体制を強化して欲しい	その他	無回答
全体	2,236	20.2	6.1	13.3	47.7	17.5	3.3	8.5	20.7	10.3	20.5	44.5	1.7	14.4	6.6	7.2	16.0	17.9	3.7	1.2	
年齢別	0歳児	349	23.2	8.3	18.3	55.3	17.5	3.7	6.9	14.0	6.9	12.3	50.7	2.0	17.2	3.7	8.6	11.7	16.9	3.4	1.1
	1歳児	372	21.0	8.1	15.6	53.2	15.9	4.6	9.4	19.1	7.8	17.2	49.5	1.3	15.3	4.6	8.9	12.9	17.7	3.0	0.5
	2歳児	364	19.5	5.5	13.2	55.8	17.0	1.9	8.0	18.4	10.4	19.0	53.0	2.5	12.9	4.9	6.9	12.9	18.7	3.0	0.8
	3歳児	346	20.8	4.6	11.6	46.0	15.3	3.8	9.2	25.7	10.7	25.1	43.9	1.2	13.0	6.6	7.5	15.0	16.8	3.8	1.4
	4歳児	386	17.9	5.7	9.3	44.6	21.0	2.1	9.1	22.3	12.7	19.4	37.0	1.6	14.8	9.8	6.7	18.7	16.8	3.1	2.6
5歳児	404	19.1	4.2	11.9	33.9	17.6	3.7	8.2	23.5	12.9	28.5	34.4	1.7	13.6	9.2	5.4	23.8	20.5	5.7	0.7	
区域別	都心	552	22.5	6.9	11.2	50.0	15.6	4.2	9.6	22.6	13.0	18.3	40.9	2.0	14.7	5.4	8.2	15.0	15.6	3.3	0.7
	中部	551	20.1	5.3	11.6	51.9	17.2	3.3	6.0	25.2	9.8	22.7	49.5	1.8	14.0	5.4	5.8	13.4	18.1	3.4	0.7
	東部北	292	17.1	7.2	12.0	41.8	17.5	5.5	6.5	18.5	9.9	18.2	47.3	2.4	13.7	9.9	7.9	18.2	18.8	4.5	1.7
	東部南	200	18.5	7.0	13.5	51.5	18.0	3.0	10.5	16.5	8.5	22.0	40.0	2.0	14.5	6.5	4.5	18.0	16.0	5.5	2.5
	西部北	145	24.1	3.4	11.7	50.3	22.1	4.8	16.6	19.3	11.0	21.4	31.7	-	16.6	9.0	4.8	14.5	20.0	3.4	0.7
西部南	267	18.4	7.1	19.1	43.8	19.5	0.7	9.0	16.1	9.4	21.3	49.4	1.9	14.2	6.7	7.9	16.5	15.7	3.0	1.5	
南部	161	16.8	3.7	16.8	38.5	18.0	-	6.8	18.6	6.8	19.3	46.0	-	17.4	5.6	10.6	21.7	26.7	3.1	1.2	

【今後、高松市に期待すること（前回調査との比較）】

	全体	親子が安心して集まれる身近な場を拡充して欲しい	子育てについて相談・学習したり情報を得られる機会を充実して欲しい	0歳児保育、延長保育など多様な保育サービスを充実して欲しい	子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい	乳幼児・母子医療の助成を充実して欲しい	母子の健康保持増進のための母保健サービスを充実して欲しい	男女が共に子育てに参加する社会の環境づくりを推進して欲しい	交通安全のための教育や道路・歩道を整備して欲しい	豊かな教育環境の整備、生きる力を培う学校教育を推進して欲しい	小学校低学年の子どもを放課後に預けられる制度を拡充して欲しい	幼稚園や保育所にかかる費用負担を軽減して欲しい	多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮が欲しい	残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい	文化・スポーツ・自然体験などの学校外活動を充実して欲しい	安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい	子どもを狙った犯罪を防止するための体制を強化して欲しい	その他	無回答	
今回調査	2,236	20.2	6.1	13.3	47.7	17.5	3.3	8.5	20.7	10.3	20.5	44.5	1.7	14.4	6.6	7.2	16.0	17.9	3.7	1.2
後期計画	1,100	16.0	3.9	15.7	40.5	20.9	2.7	8.0	14.1	10.3	23.1	50.2	2.0	12.2	6.8	5.2	17.9	28.3	2.5	2.6
前期計画	1,366	14.6	5.0	8.9	43.6	18.0	2.6	8.8	19.5	10.5	23.9	45.1	2.9	12.3	7.0	10.7	20.9	39.5	2.6	0.7

## Ⅱ 就学前児童の保護者調査の結果

### Ⅲ. 小学生の保護者調査の結果



# 1 居住地域

## (1) 居住地域

問1 お住いの地区（小学校区）はどこですか。（○は1つ）

居住地域については、以下のとおりとなっている。

【小学校区と区域別】

区域	小学校区	件数	区域	小学校区	件数	区域
都心	新番丁	43	東部南	前田	15	100 (7.8%)
	亀阜	45		川添	21	
	栗林	66		川島	22	
	花園	16		十河	35	
	高松第一	38		東植田	2	
	木太	58		植田	5	
	女木	0		西部北	香西	
	男木	0	弦打		28	
	中央	38	鬼無		23	
	木太南	24	下笠居		12	
	木太北部	17	西部南	川岡	13	167 (13.1%)
中部	鶴尾	4		円座	38	
	太田	66		檀紙	30	
	林	32		国分寺北部	45	
	三溪	14		国分寺南部	41	
	仏生山	25	南部	上西	1	94 (7.4%)
	一宮	32		塩江	4	
	多肥	55		安原	3	
	太田南	34		大野	23	
東部北	古高松	37	浅野	20	26	
	屋島	30	川東	17		
	古高松南	34	香南	26		
	屋島東	9	無回答	26		
	屋島西	19	合計	1,272		
	牟礼	21				
	牟礼北	16				
	牟礼南	11				
	庵治	10				
	庵治第二	0				

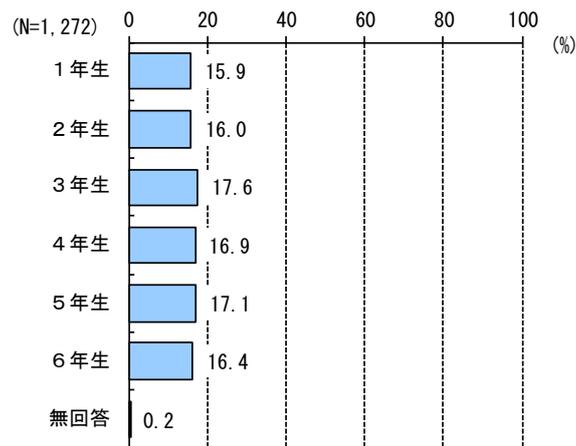
## 2 子どもと家族の状況

### (1) 子どもの学年

問1 あて名のお子さんの学年はどれですか。

子どもの学年は、「3年生」が17.6%で最も多く、次いで「5年生」が多くなっている。また、最も少なかったのは「1年生」で15.9%と、「1年生」から「6年生」までほぼ同水準となっている。

【お子さんの学年】

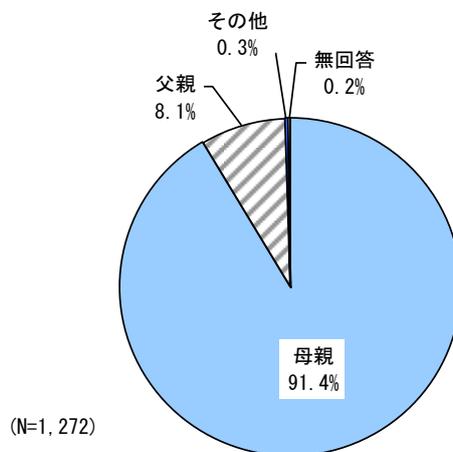


### (2) 回答者

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

回答者は、「母親」が91.4%で最も多く、次いで「父親」8.1%、「その他」0.3%となっている。

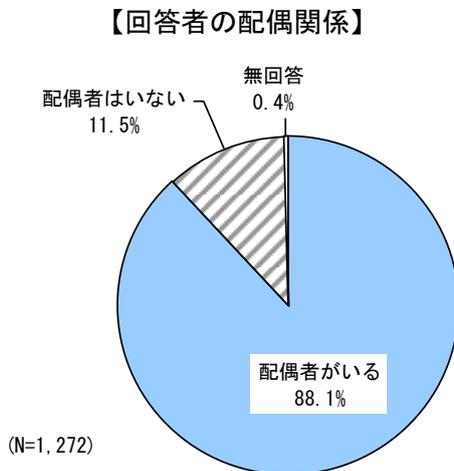
【回答者】



### (3) 回答者の配偶関係

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

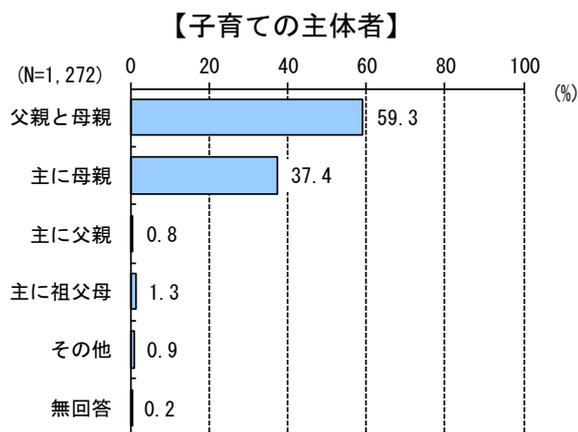
回答者の配偶関係では、「配偶者がいる」88.1%、「配偶者がいない」11.5%となっている。



### (4) 子育ての主体者

問5 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

子育ての主体者は、「父親と母親」が59.3%で最も多く、次いで「主に母親」37.4%となっている。



### 3 保護者の就労状況

#### (1) 母親の就労形態

問6 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。

##### (1) 母親【父子家庭の場合は記載不要】

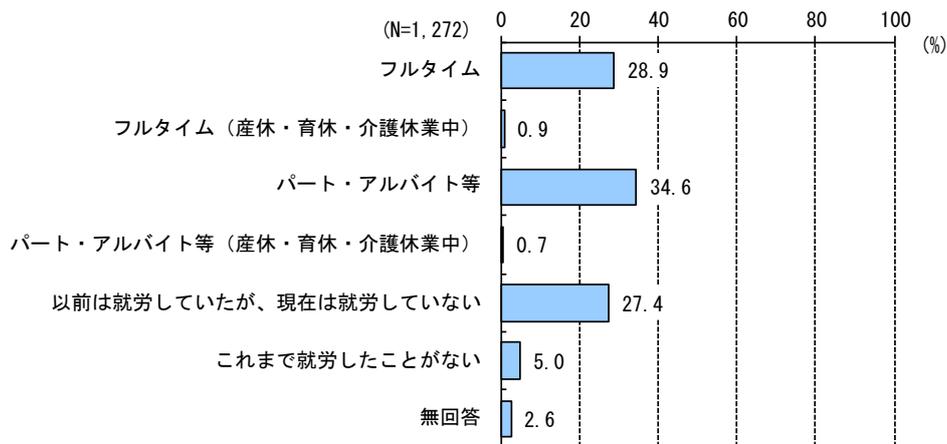
あてはまる番号1つに○をつけ、1～4に当てはまる方は、就労日数、就労時間（残業時間を含む）、家を出る時刻、帰宅時刻について、もっとも多いパターンで記入してください。

母親の就労形態では、「パート・アルバイト等」が34.6%で最も多く、次いで「フルタイム」28.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」27.4%となっている。

就労形態別に就労状況をみると、“フルタイム”では、「週5日」、「1日8時間」就労が多く、家を出る時刻では「8時」、帰宅時刻では「18時」が多くなっている。“パート・アルバイト等”では、「週5日」、「1日5時間」就労が多く、家を出る時刻は「8時」、帰宅時刻は「16時」が多くなっている。

“パート・アルバイト等”は“フルタイム”に比べて、帰宅時刻が若干早い傾向がみられる。

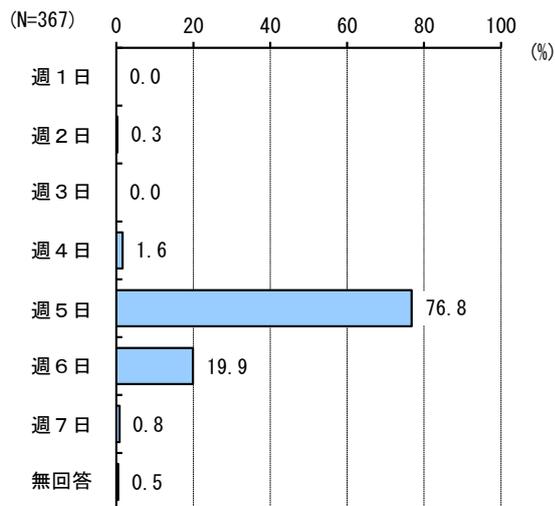
【母親の就労形態】



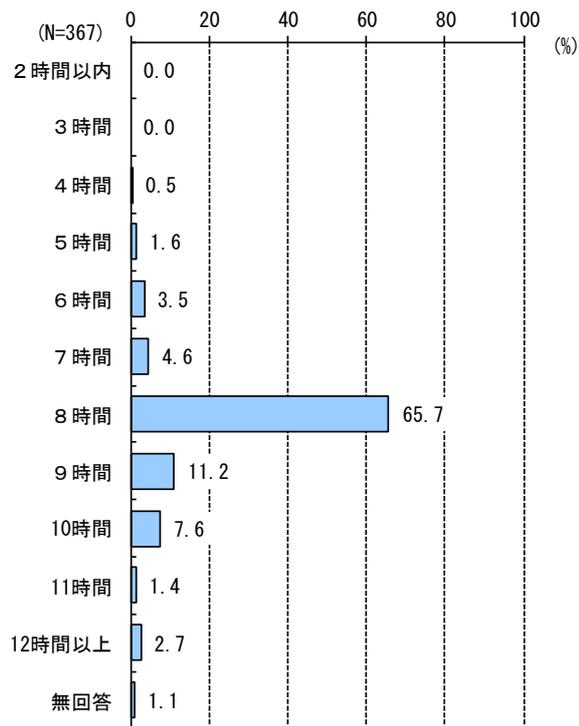
※「フルタイム」とは、働いている時間が1週5日程度・1日8時間程度の方

※「パートタイム」の表記にはアルバイト等を含み、働いている時間がフルタイムより短い方

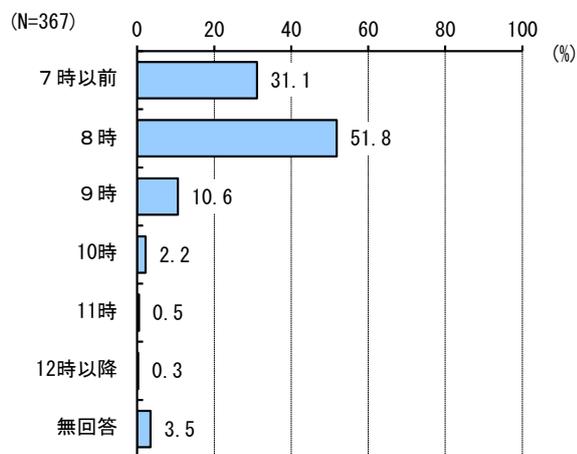
【フルタイム就労者の就労日数】



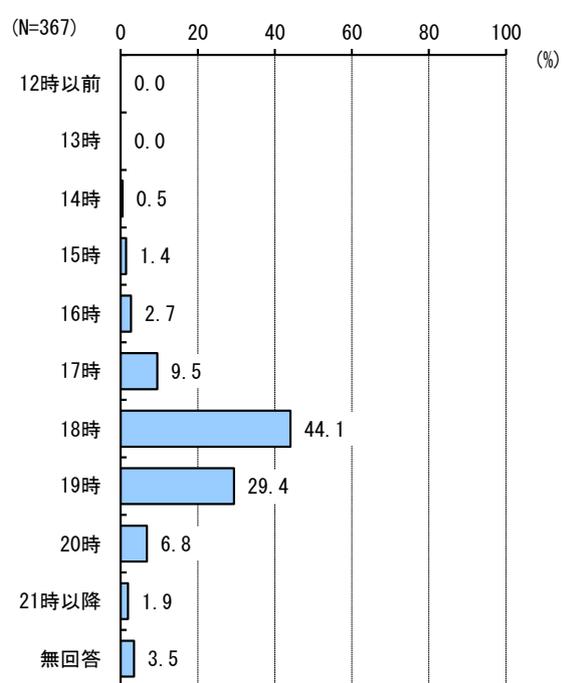
【フルタイム就労者の 1 日の就労時間】



【フルタイム就労者の自宅を出る時刻】

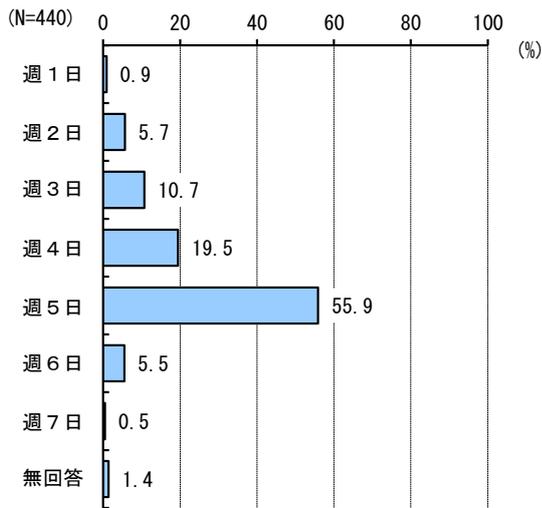


【フルタイム就労者の帰宅時刻】

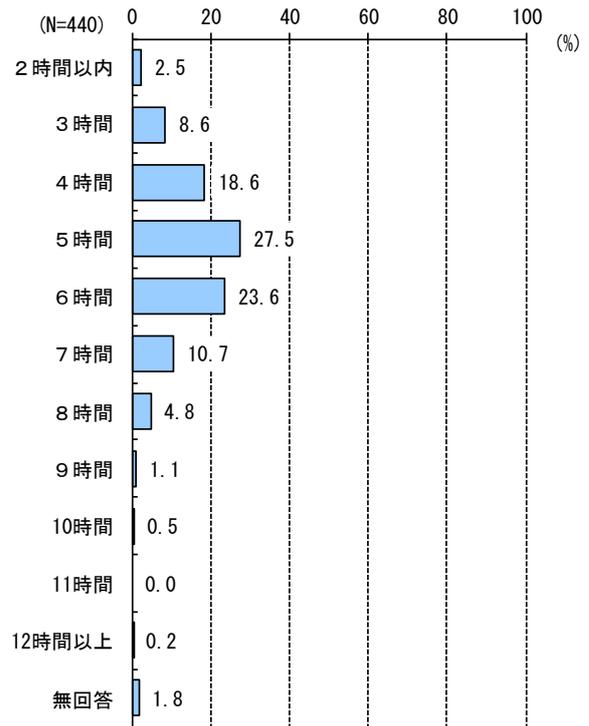


### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

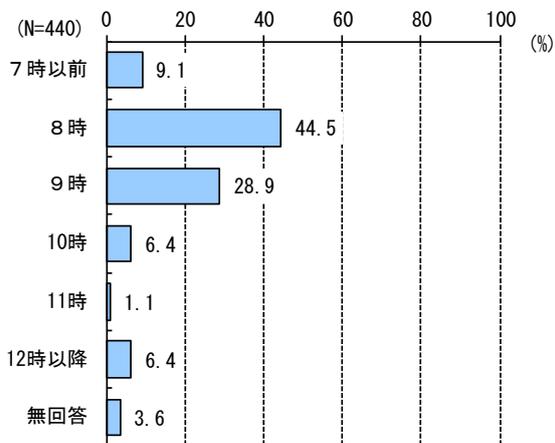
【パート・アルバイト等就労者の就労日数】



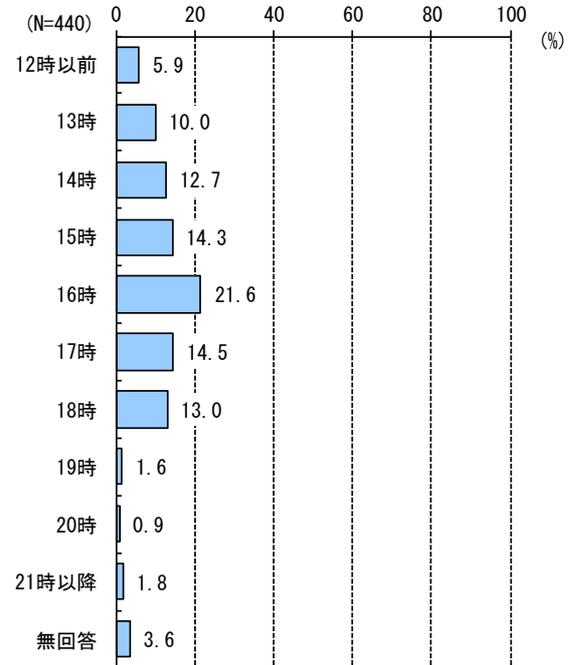
【パート・アルバイト等就労者の1日の就労時間】



【パート・アルバイト等就労者の自宅を出る時刻】



【パート・アルバイト等就労者の帰宅時刻】



(2) 父親の就労形態

(2) 父親【母子家庭の場合は記載不要】

あてはまる番号1つに○をつけ、1～4に当てはまる方は、就労日数、就労時間（残業時間を含む）、家を出る時刻、帰宅時刻について、もっとも多いパターンで記入してください。

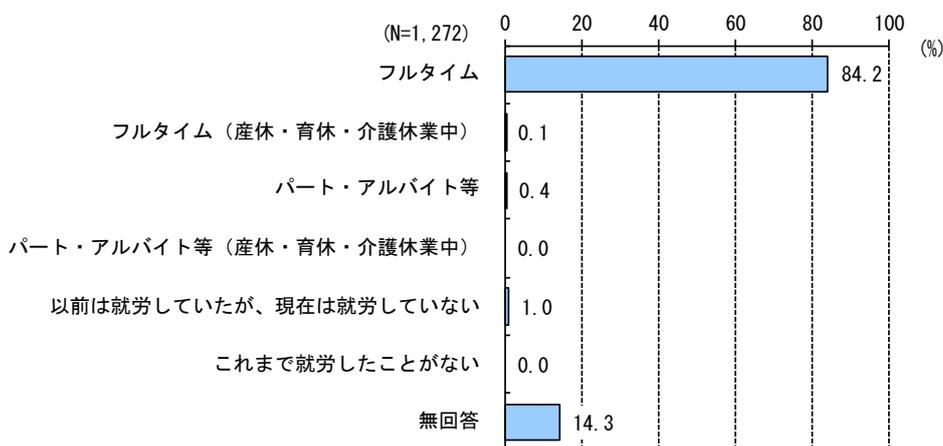
父親の就労形態では、“フルタイム”が84.2%と大半を占めている。

就労形態別に就労状況をみると、“フルタイム”の就労日数では、「週5日」が56.7%、次いで「週6日」37.3%となっている。

1日の就労時間では「8時間」が30.0%で最も多く、次いで「10時間」21.9%、「12時間以上」21.3%となっている。就労時間が10時間以上をあわせると51.5%と過半数を超えている。

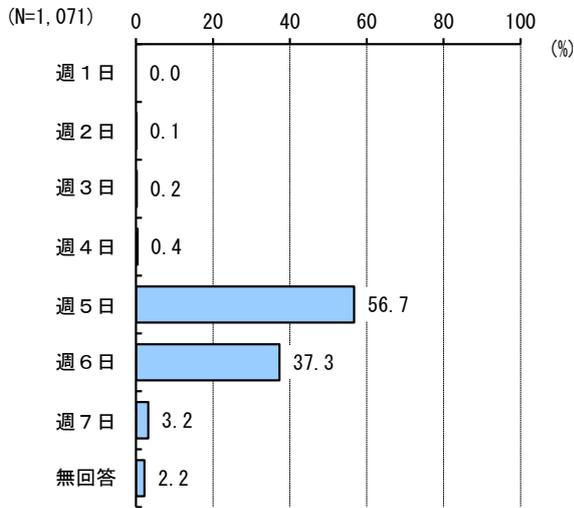
家を出る時刻は「7時以前」が53.1%で過半数を占め、帰宅時刻は「21時以降」が30.3%と最も多くなっている。

【父親の就労形態】

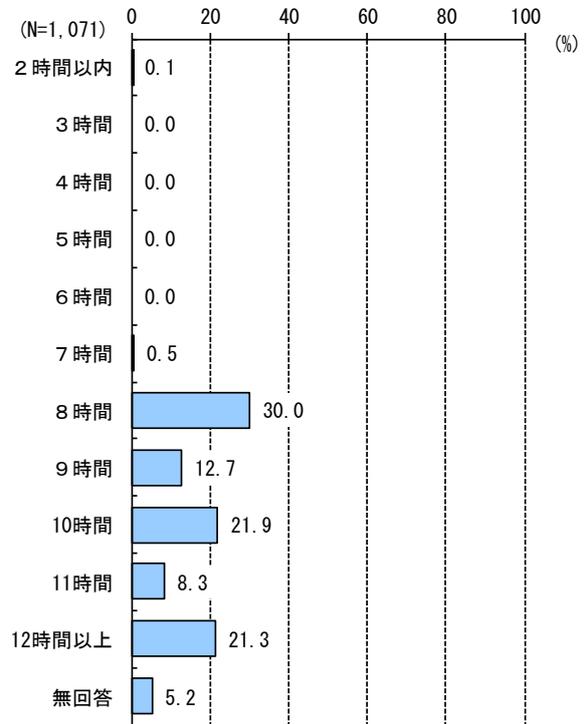


Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

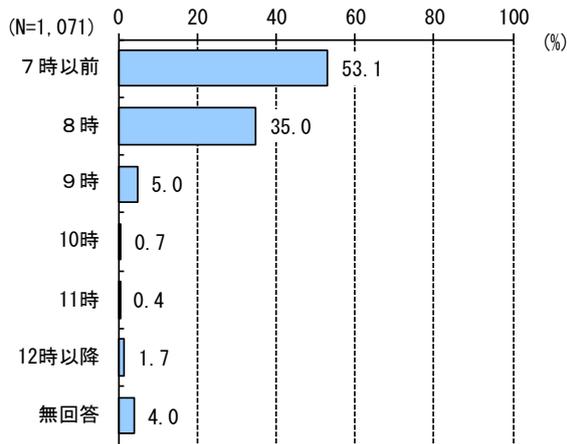
【フルタイム就労者の就労日数】



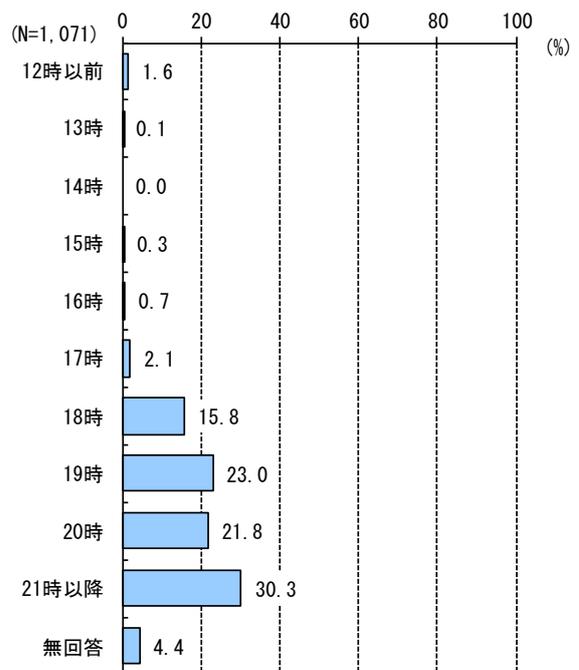
【フルタイム就労者の1日の就労時間】



【フルタイム就労者の自宅を出る時刻】



【フルタイム就労者の帰宅時刻】



(3) パート・アルバイト就労者のフルタイムへの転換希望

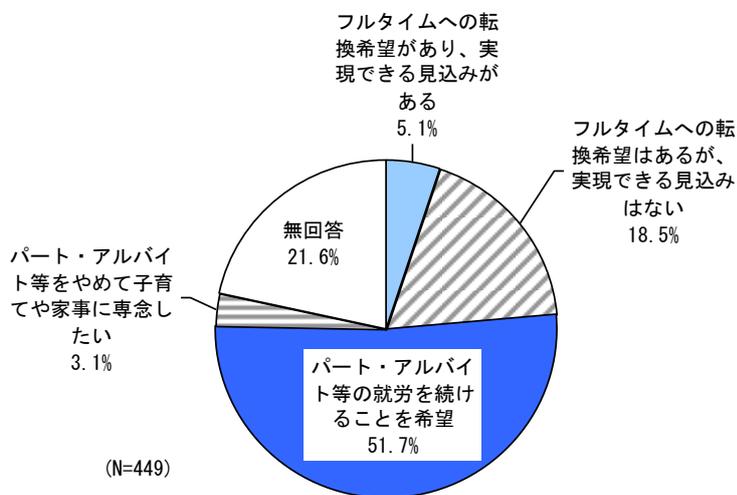
問6-1 問6の(1)または(2)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

パート・アルバイトで就労している父母のフルタイムへの転換希望については、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が51.7%と過半数を占めている。

これに次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」18.5%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」5.1%となっており、フルタイムへ転換したいと望んでいる母親の割合は2割台半ばとなっている。

父親は、回答者が5人であったため、掲載なし。

【パート・アルバイト等のフルタイムへの転換希望 (母親)】



### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

#### (4) 非就労者の就労希望

問6-2 問6の(1)または(2)で「5」または「6」に○をつけた方にうかがいます。

就労したいという希望はありますか。(○は1つ)

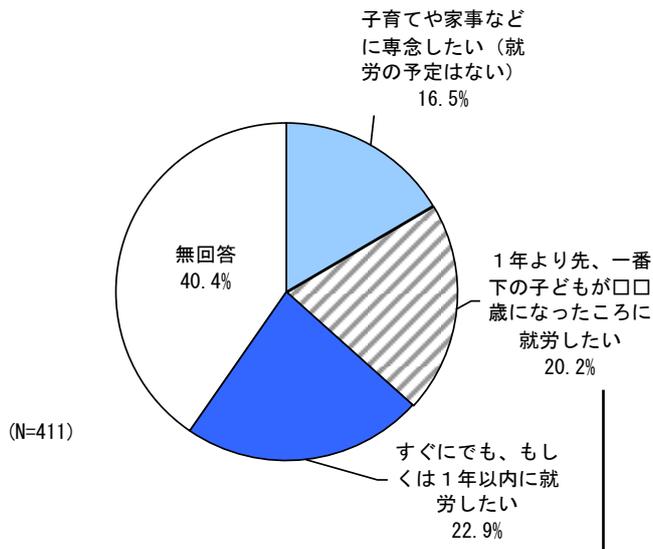
就労していない父母の就労希望については、母親では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が22.9%で最も多く、次いで「1年より先、一番下の子どもが( )歳になったころに就労したい」20.2%、「子育てや家事などに専念したい」16.5%となっている。

父親では、「すぐにでも、または1年以内に働きたい」が53.8%と最も多くなっている。

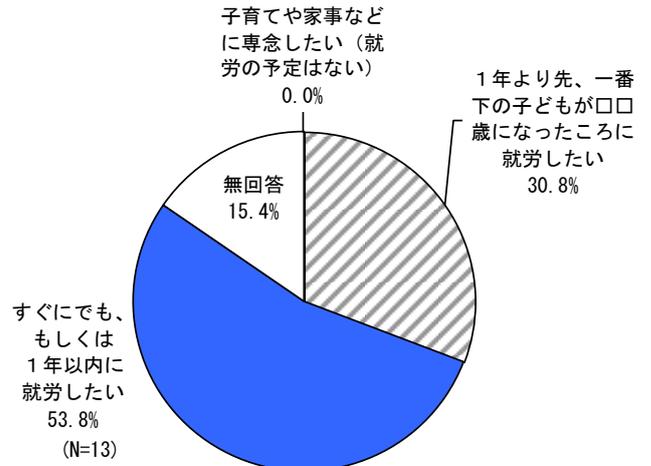
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた方の10.6%は「フルタイム」、88.3%は「パート・アルバイト等」を希望している。

「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」と答えた方の希望は子どもが「10歳以上」になったら就労したいと考えている方が約4割となっている。

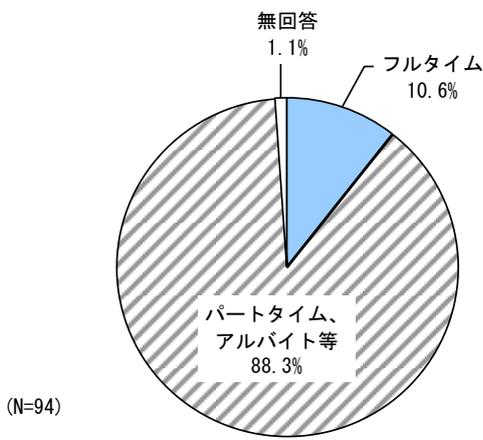
【非就労者の就労希望（母親）】



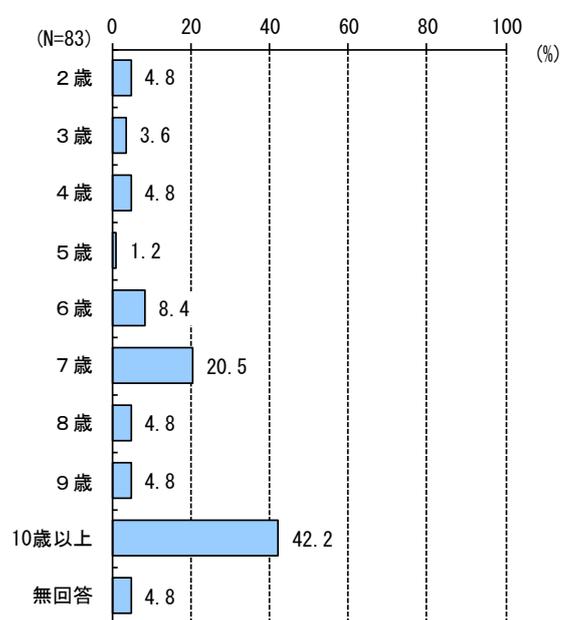
【非就労者の就労希望（父親）】



【すぐにでも就労したい人の希望する就労形態（母親）】



【一番下の子どもの年齢（母親）】



## 4 放課後や休日の過ごし方

### (1) 放課後や休日を過ごす場所

問7 あて名のお子さんは、放課後や休日等は、どこで過ごすことが多いですか。また、希望としては、どこで過ごさせたいですか。下の表から主なものの番号を3つまで選んでそれぞれの欄にご記入ください。

#### ■現状

放課後の過ごし方では、「自宅」が最も多く、次いで「学習塾や習いごとの教室」、「子どもの友達の家」となっている。

土曜日では「自宅」が最も多く、次いで「親族・知人の家」、「学習塾や習いごとの教室」となっている。

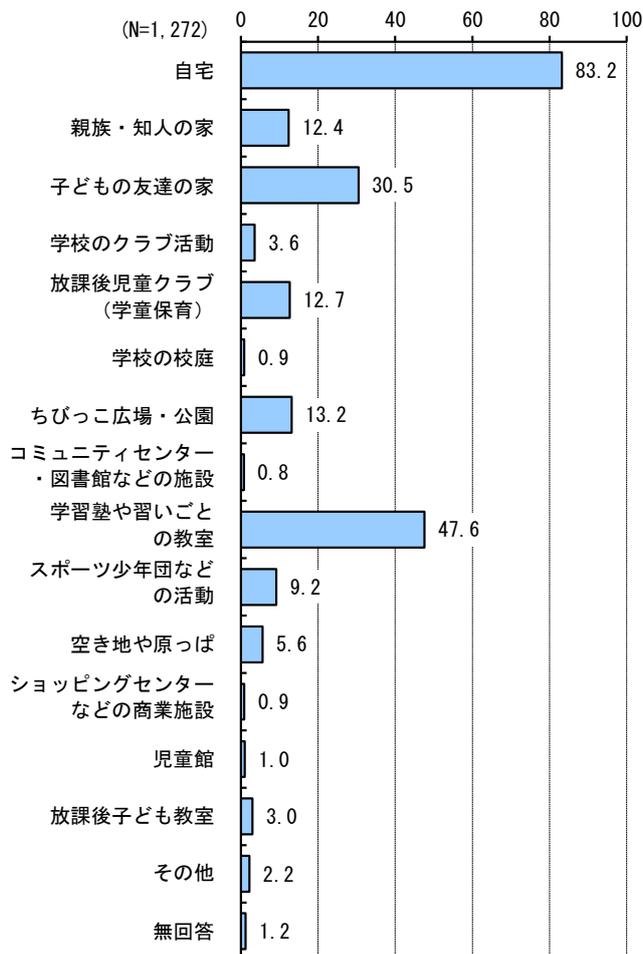
日曜日では「自宅」が最も多く、次いで「ショッピングセンターなどの商業施設」、「親族・知人の家」となっている。

#### ■希望

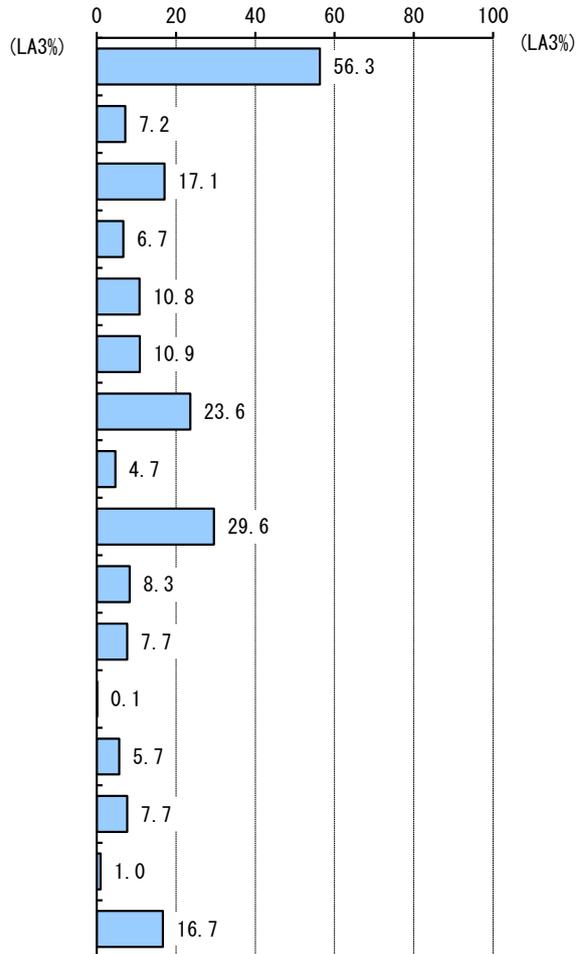
放課後では、「自宅」が最も多く、次いで「学習塾や習いごとの教室」、「ちびっこ広場・公園」となっている。

土曜日・日曜日ともに「自宅」が最も多く、次いで「ちびっこ広場・公園」、「スポーツ少年団などの活動」の順で多くなっている。

【放課後の過ごし方（現状）】



【放課後の過ごし方（希望）】



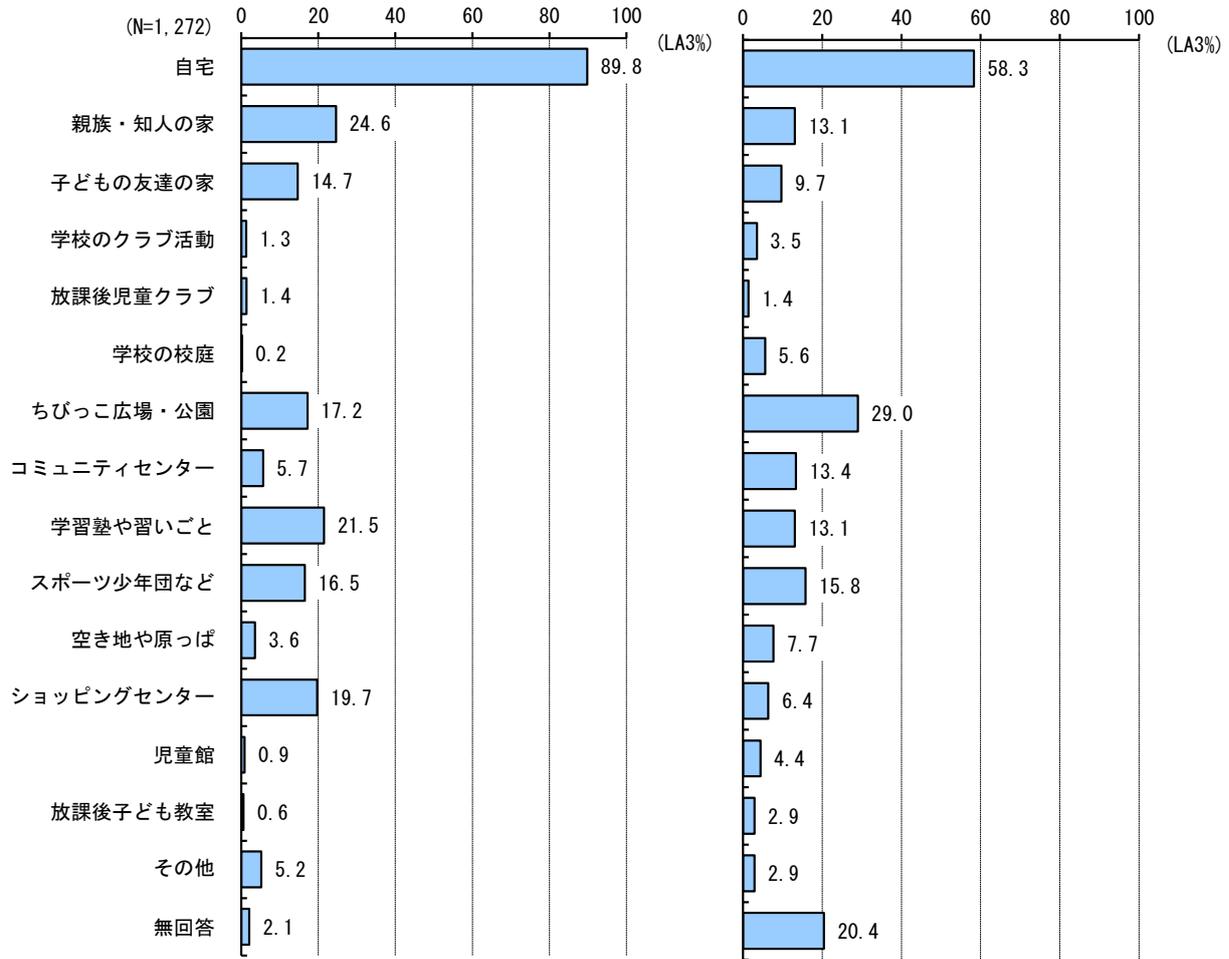
【放課後の過ごし方の現状と希望（学年別）】

	全体 (N)	放課後の過ごし方																
		自宅	親族・知人の家	子どもの友達の家	学校のクラブ活動	放課後児童クラブ（学童保育）	学校の校庭	ちびっこ広場・公園	図書館などの施設	コミュニティセンター・児童館などの施設	学習塾や習いごとの教室	スポーツ少年団などの活動	空き地や原っぱ	ショッピングセンターなどの商業施設	児童館	放課後子ども教室	その他	無回答
放課後の現状・学年別	全体	1,272	83.2	12.4	30.5	3.6	12.7	0.9	13.2	0.8	47.6	9.2	5.6	0.9	1.0	3.0	2.2	1.2
	1年生	202	75.7	15.3	25.7	-	28.2	0.5	8.4	1.0	42.6	3.0	6.4	1.5	1.0	5.0	2.0	1.0
	2年生	203	75.9	8.4	23.6	-	24.1	2.0	9.4	0.5	45.3	7.9	4.9	0.5	1.0	3.4	3.0	1.5
	3年生	224	82.1	12.1	28.6	1.8	18.3	0.4	14.3	1.3	45.5	8.9	6.3	1.8	0.4	4.0	3.1	0.4
	4年生	215	86.0	16.7	34.9	3.3	4.2	1.9	14.9	0.9	56.7	10.2	6.5	0.5	1.9	3.3	1.4	0.9
	5年生	217	88.0	12.9	32.7	10.1	0.9	0.5	17.5	0.5	44.7	12.4	5.5	0.9	0.9	1.8	2.8	0.9
	6年生	208	90.4	9.1	37.0	6.3	1.4	0.5	13.5	0.5	50.5	12.5	3.8	0.5	1.0	0.5	1.0	2.4
放課後の希望・学年別	全体	1,272	56.3	7.2	17.1	6.7	10.8	10.9	23.6	4.7	29.6	8.3	7.7	0.1	5.7	7.7	1.0	16.7
	1年生	202	55.9	8.9	17.3	1.5	17.3	6.4	27.2	4.0	30.2	4.0	9.4	-	5.9	7.9	0.5	14.9
	2年生	203	52.2	5.4	11.8	4.4	19.7	7.4	26.1	3.9	29.1	7.9	11.3	-	3.9	4.4	3.0	15.8
	3年生	224	58.0	6.3	18.3	8.5	12.9	10.7	21.9	4.5	29.9	11.2	4.9	0.4	6.7	12.1	1.3	14.3
	4年生	215	57.7	10.7	17.7	5.1	7.9	14.9	24.7	4.7	31.6	7.4	8.8	-	7.0	8.8	-	16.3
	5年生	217	56.7	6.5	18.9	11.1	6.0	12.9	20.7	6.0	24.9	7.4	6.0	-	4.6	6.0	0.5	19.8
	6年生	208	57.2	5.3	18.8	9.1	1.4	12.0	20.7	5.3	32.7	11.5	6.3	-	5.8	6.3	1.0	18.8

Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

【土曜日の過ごし方（現状）】

【土曜日の過ごし方（希望）】

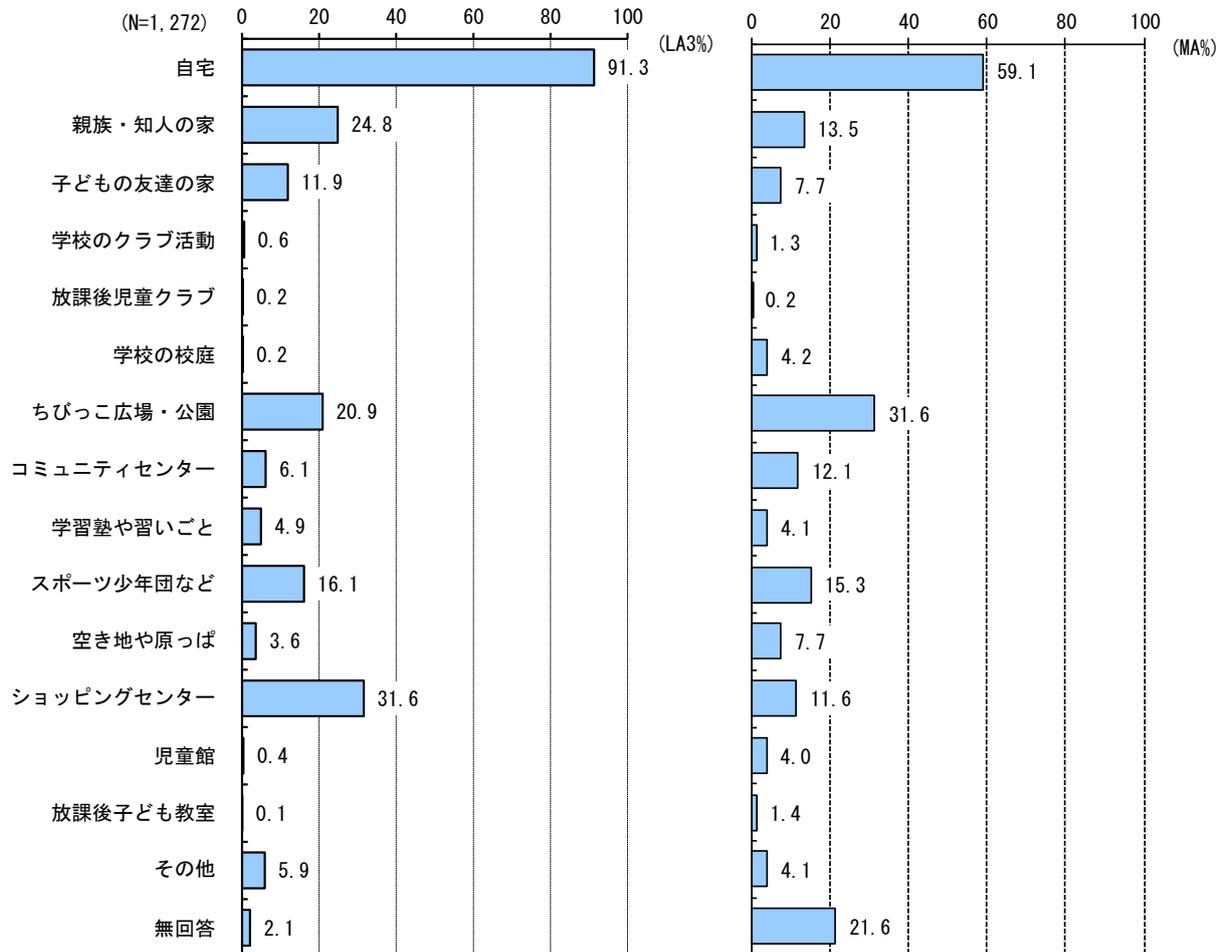


【土曜日の過ごし方の現状と希望（学年別）】

	全体 (N)	自宅	親族・知人の家	子どもの友達の家	学校のクラブ活動	放課後児童クラブ (学童保育)	学校の校庭	ちびっこ広場・公園	コミュニティセンター・図書館などの施設	学習塾や習いごとの教室	スポーツ少年団などの活動	空き地や原っぱ	ショッピングセンターなどの商業施設	児童館	放課後子ども教室	その他	無回答	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
土曜日の現状・学年別	全体	1,272	89.8	24.6	14.7	1.3	1.4	0.2	17.2	5.7	21.5	16.5	3.6	19.7	0.9	0.6	5.2	2.1
	1年生	202	89.1	26.7	8.4	-	2.5	-	20.8	6.9	24.3	5.9	5.9	25.2	1.5	1.5	8.4	1.5
	2年生	203	88.2	29.6	9.4	1.0	2.5	-	21.2	9.9	19.7	9.4	3.4	22.2	-	0.5	4.9	2.0
	3年生	224	91.1	22.8	14.7	1.8	2.2	1.3	16.1	4.0	25.4	17.4	3.6	22.8	1.8	0.9	4.5	1.3
	4年生	215	89.3	27.4	15.8	1.4	0.9	-	19.1	6.5	19.5	18.1	4.2	20.0	0.5	0.9	4.2	3.3
	5年生	217	93.5	22.1	16.6	2.8	-	-	14.7	3.7	21.2	23.0	3.7	12.9	1.4	-	5.1	0.9
6年生	208	87.0	19.2	23.1	1.0	0.5	-	11.5	3.4	19.2	24.0	1.0	14.9	0.5	-	3.8	3.8	
土曜日の希望・学年別	全体	1,272	58.3	13.1	9.7	3.5	1.4	5.6	29.0	13.4	13.1	15.8	7.7	6.4	4.4	2.9	2.9	20.4
	1年生	202	56.9	13.9	6.9	0.5	1.5	3.5	35.1	13.4	16.3	8.4	9.4	6.4	4.5	1.5	4.5	21.3
	2年生	203	56.2	15.8	5.4	2.0	3.4	3.0	37.4	13.3	12.3	9.4	11.8	3.9	3.9	2.5	3.9	20.2
	3年生	224	67.4	12.1	11.2	5.4	1.8	3.6	24.1	12.1	13.8	17.9	5.4	8.9	4.9	4.5	2.7	17.0
	4年生	215	58.6	14.4	10.2	2.3	1.4	6.5	32.6	10.2	10.2	17.7	7.4	8.4	4.2	4.7	1.9	20.5
	5年生	217	54.4	13.8	12.4	3.7	0.5	7.8	22.6	12.4	11.5	18.4	4.6	4.6	3.7	2.8	2.8	24.9
6年生	208	55.8	8.7	12.0	7.2	-	8.7	23.6	19.2	14.4	22.1	8.2	5.8	5.3	1.4	1.9	17.8	

【日曜日の過ごし方（現状）】

【日曜日の過ごし方（希望）】



【日曜日の過ごし方の現状と希望（学年別）】

	全体 (N)	自宅	親族・知人の家	子どもの友達の家	学校のクラブ活動	放課後児童クラブ (学童保育)	学校の校庭	ちびっこ広場・公園	図書館などの施設	コミュニティセンター・図書館などの施設	学習塾や習いごとの教室	スポーツ少年団などの活動	空き地や原っぱ	ショッピングセンターなどの商業施設	児童館	放課後子ども教室	その他	無回答
		現状	1,272	91.3	24.8	11.9	0.6	0.2	0.2	20.9	6.1	4.9	16.1	3.6	31.6	0.4	0.1	5.9
希望	1,272	59.1	13.5	7.7	1.3	0.2	4.2	31.6	12.1	4.1	15.3	7.7	11.6	4.0	1.4	4.1	21.6	
日曜日の現状・学年別	全体	1,272	91.3	24.8	11.9	0.6	0.2	20.9	6.1	4.9	16.1	3.6	31.6	0.4	0.1	5.9	2.1	
	1年生	202	90.6	23.8	5.9	-	-	26.2	7.4	5.9	5.9	5.4	38.1	0.5	0.5	8.9	1.5	
	2年生	203	92.6	27.6	7.4	0.5	-	31.0	7.4	3.9	7.9	4.4	32.5	-	-	5.4	2.0	
	3年生	224	93.8	24.6	11.2	0.4	0.4	22.8	6.3	5.8	15.6	1.8	36.2	0.9	-	5.8	1.8	
	4年生	215	87.4	28.8	14.9	0.9	-	21.9	7.0	4.2	19.1	4.2	30.2	0.5	-	5.6	2.8	
	5年生	217	93.1	23.0	15.7	1.4	-	13.4	5.5	2.8	24.4	4.1	24.9	0.5	-	5.1	0.9	
日曜日の希望・学年別	全体	1,272	59.1	13.5	7.7	1.3	0.2	31.6	12.1	4.1	15.3	7.7	11.6	4.0	1.4	4.1	21.6	
	1年生	202	58.4	14.4	4.5	-	-	40.6	7.9	5.0	8.4	7.4	16.3	4.5	1.0	6.4	20.8	
	2年生	203	58.6	14.3	4.4	1.0	0.5	41.9	14.3	4.9	8.4	13.8	9.4	3.0	1.5	4.9	21.7	
	3年生	224	67.9	12.5	8.5	1.8	-	29.5	12.5	2.7	17.0	5.4	12.1	5.4	0.4	3.6	19.2	
	4年生	215	56.3	14.9	9.3	0.9	0.5	32.1	9.8	3.7	17.2	7.9	13.0	4.7	2.8	2.8	22.3	
	5年生	217	54.4	14.7	9.2	1.4	-	24.0	15.2	2.8	19.4	4.1	8.3	3.2	0.9	4.6	25.3	
6年生	208	59.1	10.6	10.1	2.4	-	23.1	13.0	5.8	20.2	8.2	10.6	3.4	1.9	2.4	19.7		

### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

#### (2) 放課後児童クラブの利用

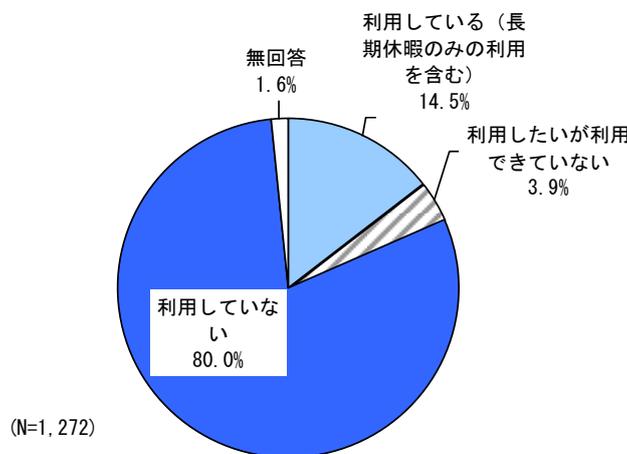
問8 あて名のお子さんについて、現在、放課後児童クラブ（学童保育）を利用していますか。  
 (○は1つ)

放課後児童クラブの利用状況では、「利用していない」が80.0%で最も多くなっている。

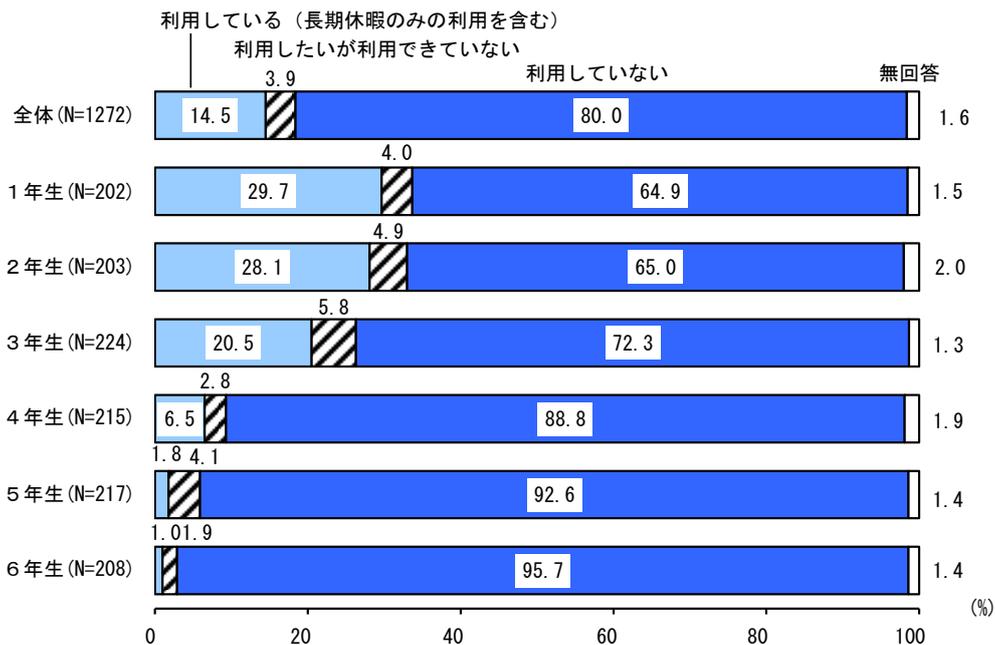
「利用したいができていない」は、学年別にみると3年生が5.8%で最も多く、区域別では、“西部南”、“南部”が多く5%を超えている。

就労タイプ別にみると、「利用したいができていない」と答えた方は共働き世帯に多く約5%を占めている。

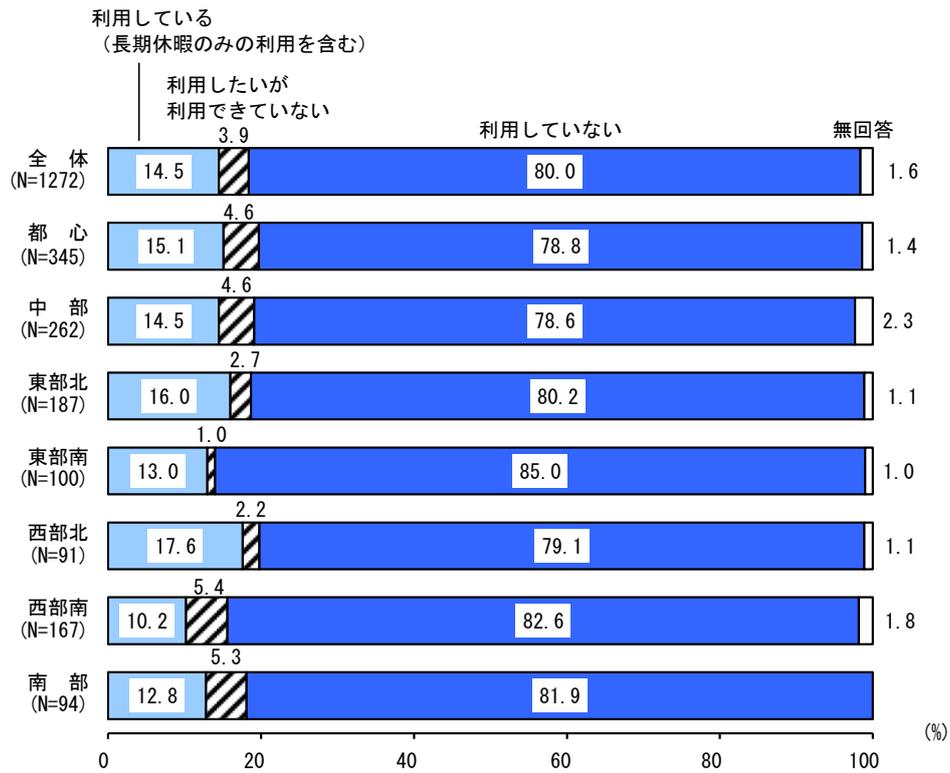
【放課後児童クラブの利用状況】



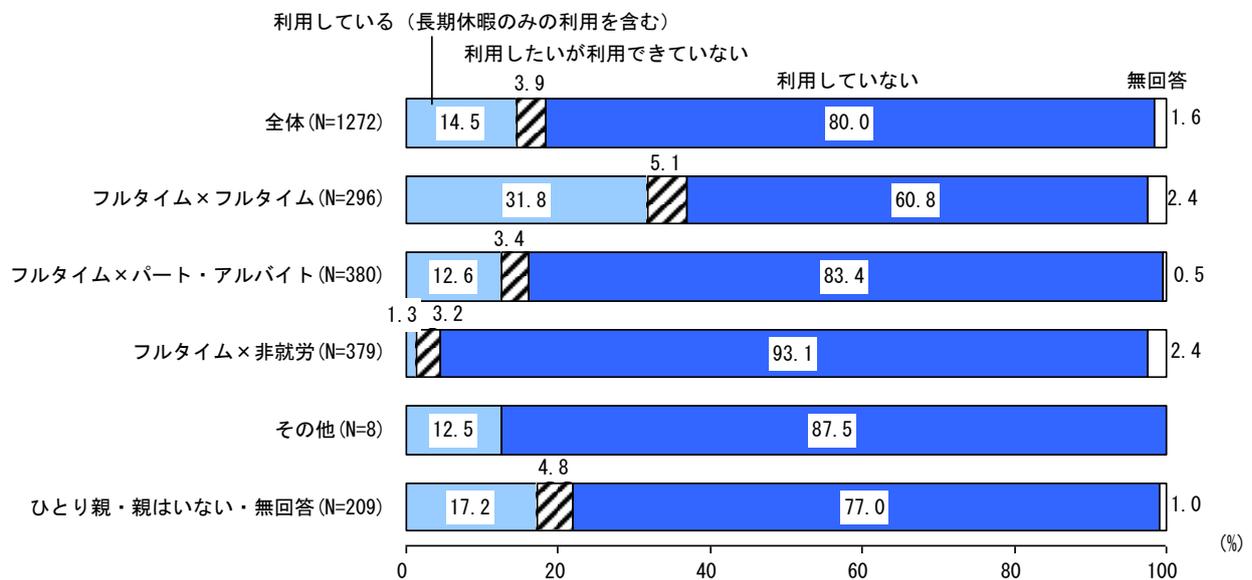
【放課後児童クラブの利用状況（学年別）】



【放課後児童クラブの利用状況（区域別）】



【放課後児童クラブの利用状況（就労タイプ別）】



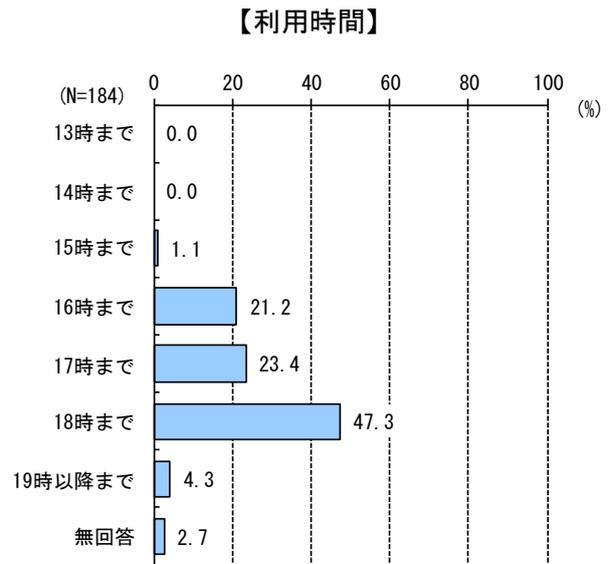
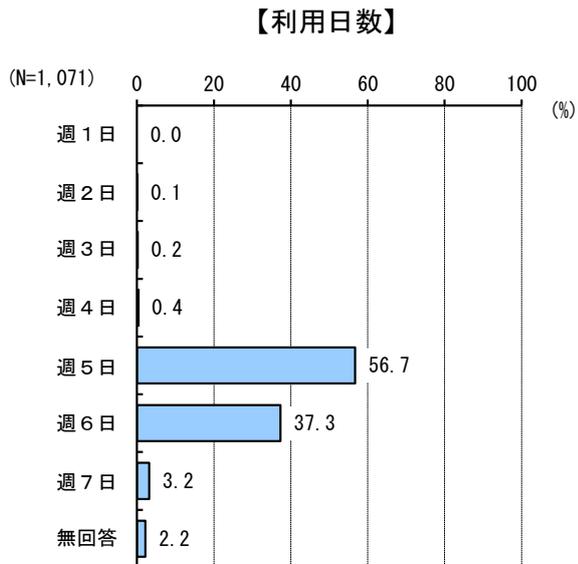
### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

問8-1 問8で「1」に○をつけた方にうかがいます。

(1) 利用日数はどのくらいですか。おおむね何時まで利用していますか。

利用日数では、「週5日」が56.7%で最も多く、次いで「週6日」37.3%となっている。

利用時間は「18時まで」が47.3%で最も多く、「17時まで」が23.4%、「16時まで」が21.2%となっている。

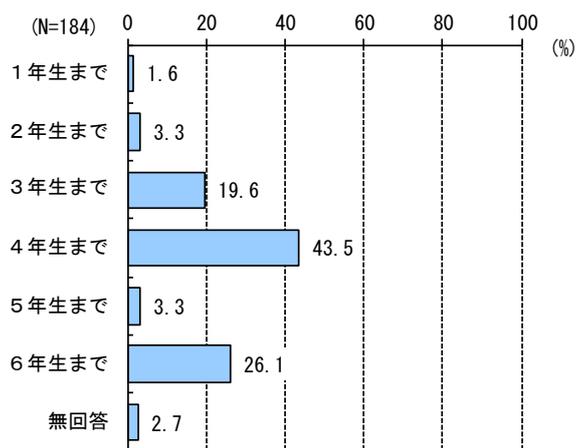


問8-1 問8で「1」に○をつけた方にうかがいます。  
 (2) 何年生まで利用したいとお考えですか。

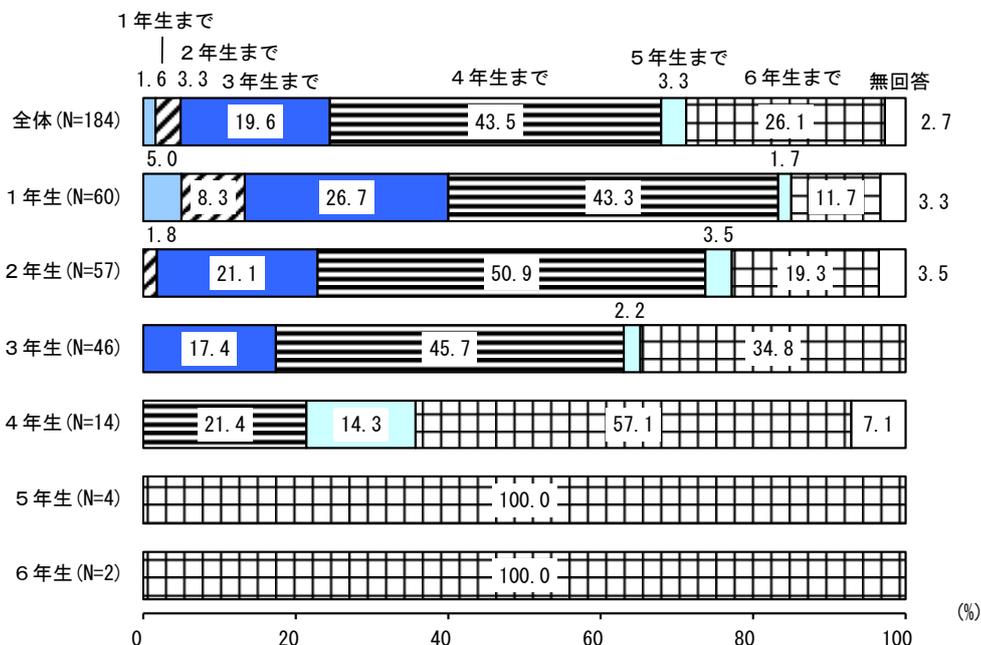
放課後児童クラブ（学童保育）の利用を希望する学年では、「4年生まで」が43.5%で最も多く、次いで「6年生まで」26.1%、「3年生まで」19.6%となっている。

学年別にみると、学年が上がるにつれて「6年生まで」が増加傾向となっている。

【利用を希望する学年】



【利用を希望する学年（学年別）】



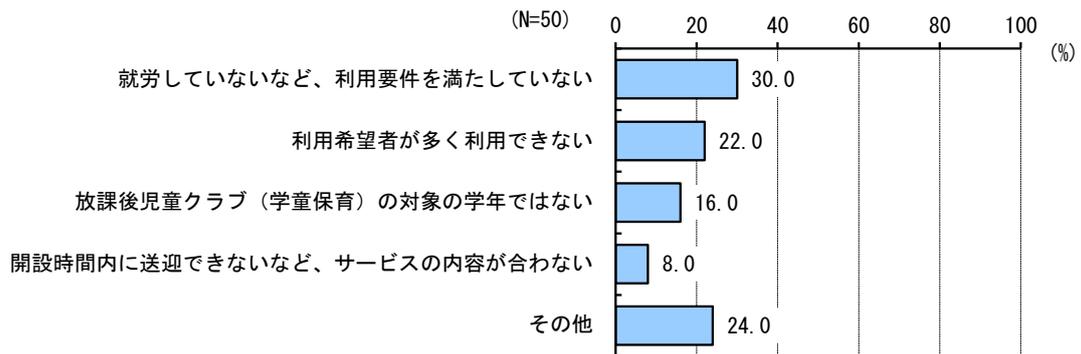
### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

問8-2 問8で「2」に○をつけた方にうかがいます。

放課後児童クラブ（学童保育）が利用できていないのはなぜですか。（○はいくつでも）

放課後児童クラブ（学童保育）が利用できていない理由では、「就労していないなど、利用要件を満たしていない」が30.0%で最も多く、次いで「利用希望者が多く利用できない」22.0%、「放課後児童クラブ（学童保育）の対象の学年ではない」16.0%となっている。

【利用できていない理由】

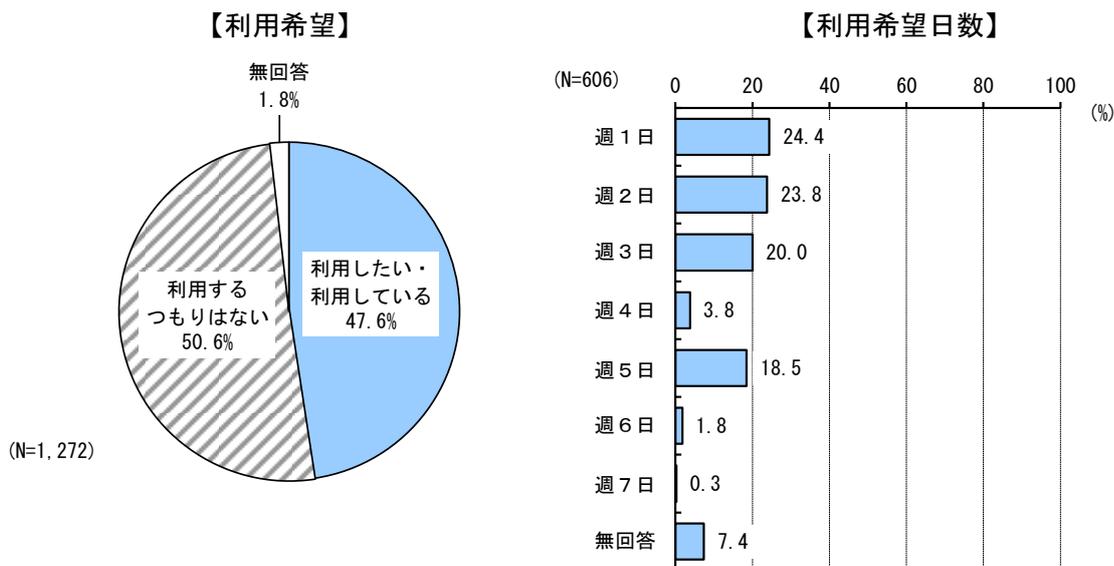


(3) 放課後子ども教室の利用希望

問9 あなたのお子さんが住んでいる校区で『放課後子ども教室』を実施していれば、利用したいとお考えですか。利用するには、保険料等の自己負担があります。(○は1つ)

放課後子ども教室では、「利用したい・利用している」47.6%、「利用するつもりはない」50.6%とほぼ回答が拮抗している。

利用希望日数では、「週1日」が24.4%で最も多く、次いで「週2日」23.8%、「週3日」20.0%となっている。



## 5 病気の際の対応

### (1) 病児・病後児保育施設の利用状況

問10 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかった時に、病児・病後児保育施設を利用しましたか。(○は1つ)

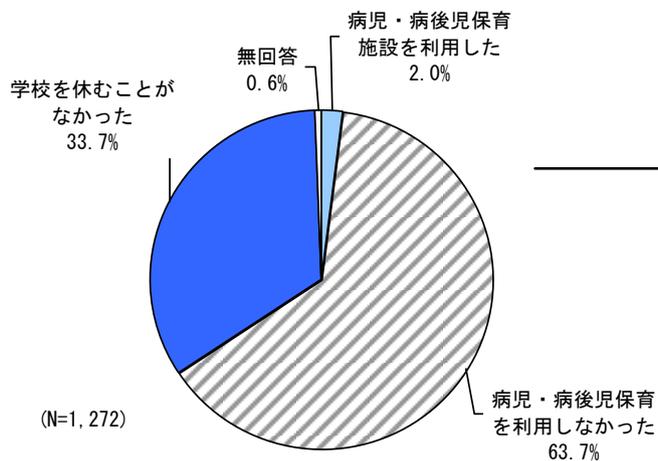
病児・病後児保育施設の利用状況では、「病児・病後児保育を利用しなかった」が63.7%で最も多く、次いで「学校を休むことがなかった」が33.7%となっている。

利用日数では、「年2日」が38.5%で最も多く、次いで「年1日」、「年3日」がともに19.2%となっている。

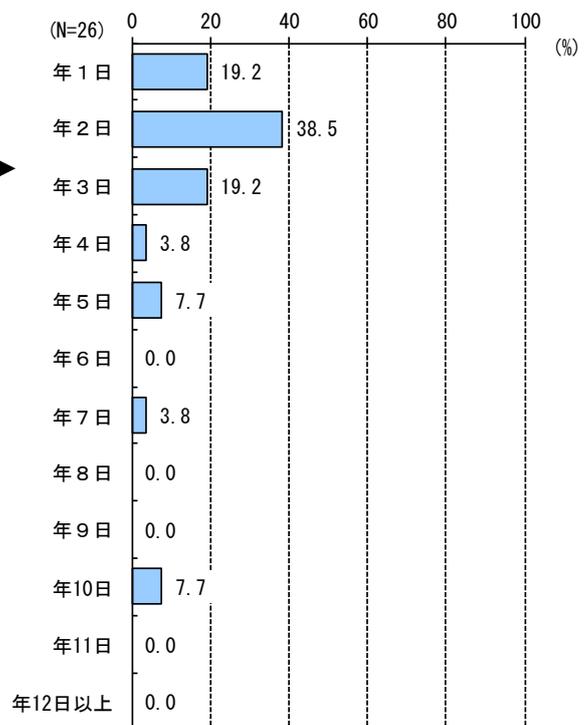
学年別にみると、「病児・病後児保育施設を利用しなかった」が各学年とも約6割を占めている。

区域別にみると、「病児・病後児保育施設を利用した」は“南部”(4.3%)に多く、次いで、“中部”(3.1%)、“西部北”(2.2%)となっている。

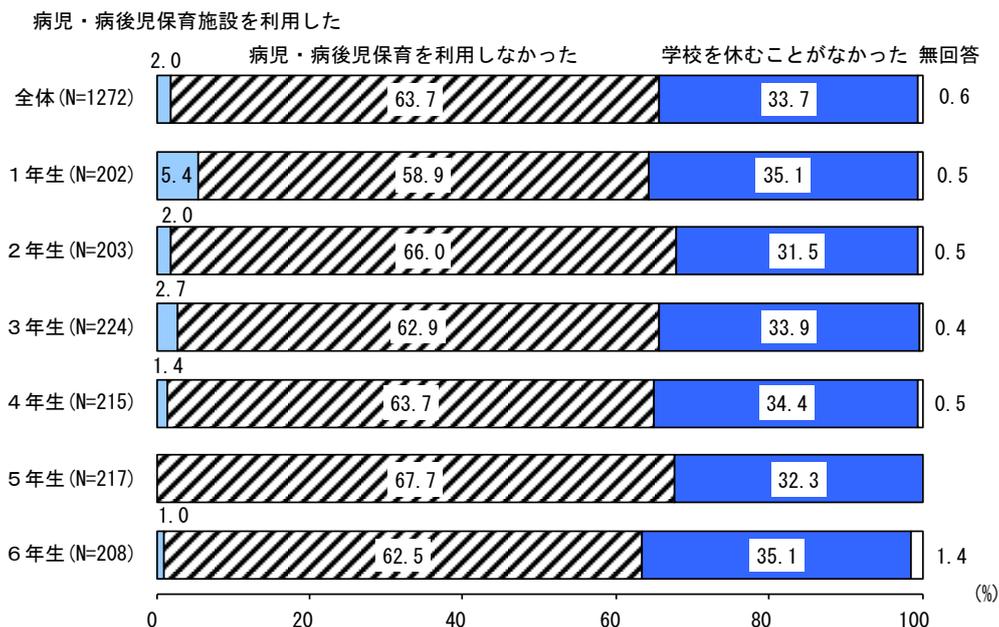
【病児・病後児保育施設の利用状況】



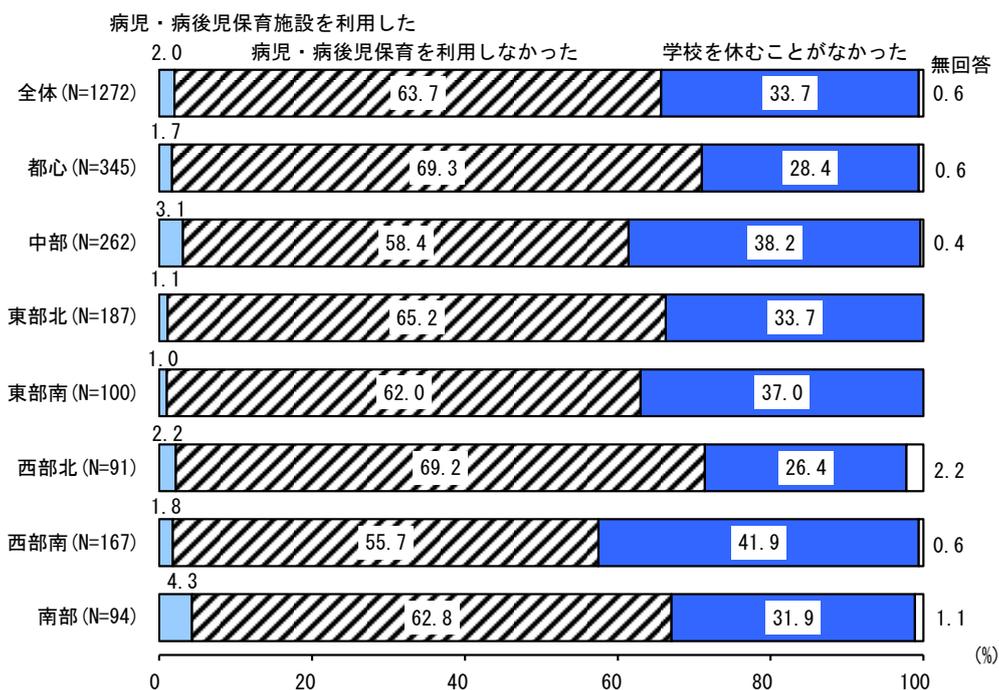
【病児・病後児保育施設の利用状況 (利用日数)】



【病児・病後児保育施設の利用状況（学年別）】



【病児・病後児保育施設の利用状況（区域別）】



### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

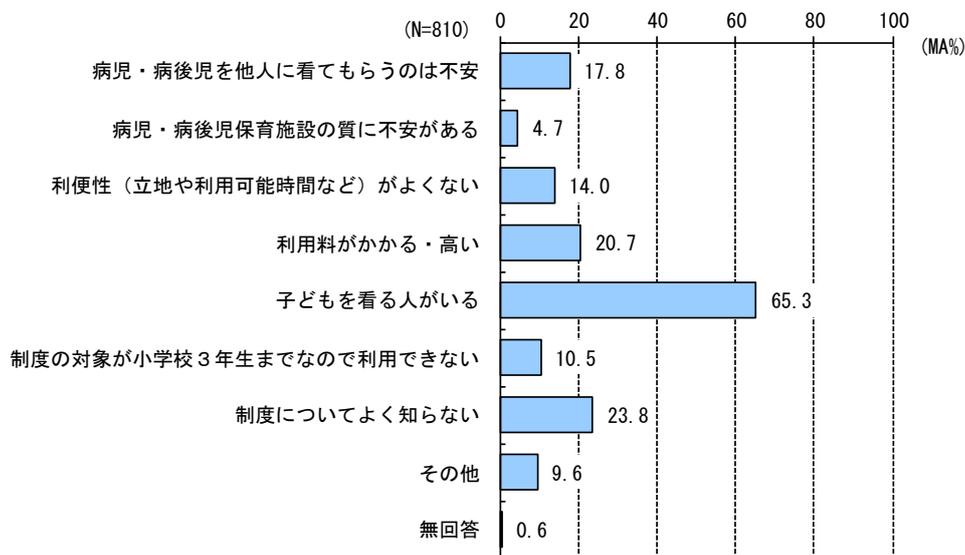
問10-1 問10で「2」に○をつけた方にかがいます。

病児・病後児保育施設を利用しなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設を利用しなかった理由では、「子どもを看る人がいる」が65.3%で最も多く、次いで「制度についてよく知らない」23.8%、「利用料がかかる・高い」20.7%となっている。

学年別にみると、どの学年も「子どもを看る人がいる」が最も多くなっている。次いで、3～6年生では「制度についてよく知らない」が多くなっている。

【利用しなかった理由】



【利用しなかった理由（学年別）】

	全体 (N)	病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	病児・病後児保育施設の質に不安がある	利便性（立地や利用可能時間など）がよくない	利用料がかかる・高い	子どもを看る人がいる	制度の対象が小学校3年生までなので利用できない	制度についてよく知らない	その他	無回答	
全体	810	17.8	4.7	14.0	20.7	65.3	10.5	23.8	9.6	0.6	
学年別	1年生	119	30.3	10.9	19.3	31.9	-	25.2	6.7	-	
	2年生	134	23.1	3.0	17.2	30.6	0.7	28.4	12.7	0.7	
	3年生	141	17.0	4.3	16.3	16.3	68.8	-	17.7	12.8	-
	4年生	137	10.2	5.8	14.6	21.9	70.1	20.4	21.9	6.6	-
	5年生	147	16.3	3.4	10.2	14.3	61.2	21.8	28.6	6.1	1.4
	6年生	130	11.5	1.5	6.9	11.5	59.2	18.5	21.5	13.1	1.5

(2) 病児・病後児保育施設を利用しなかった場合の対処方法

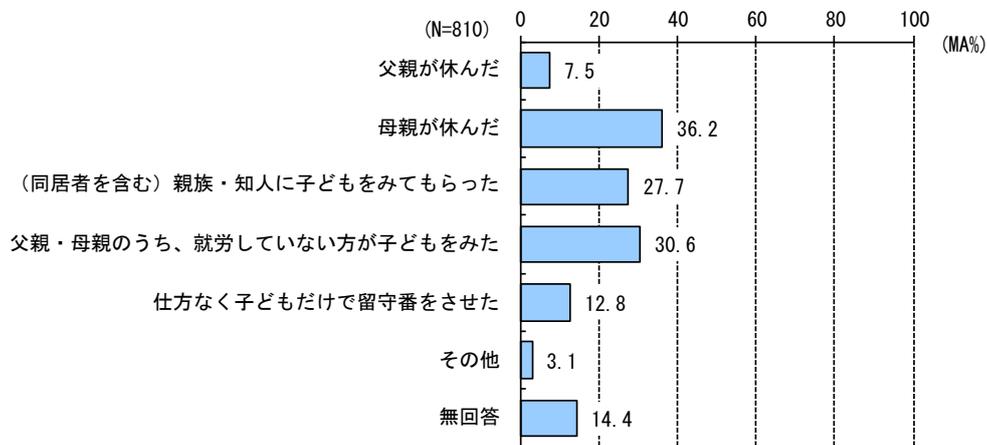
問10-2 問10で「2」に○をつけた方にうかがいます。

病児・病後児保育施設を利用しなかった場合の対処方法と、この1年間でお子さんが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童クラブなどの預かりサービスが利用できなかった場合の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。

病児・病後児保育施設を利用しなかった場合の対処方法では、「母親が休んだ」が36.2%で最も多く、次いで「父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた」30.6%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」27.7%となっている。母親が休んだ日数は「年2日」が最も多くなっている。

学年別にみると、各学年とも「母親が休んだ」が多くなっている。

【病児・病後児保育施設を利用しなかった場合の対処方法】



【病児・病後児保育施設を利用しなかった日数 (対処方法別)】

	全体 (N)	年1日	年2日	年3日	年4日	年5日	年6日	年7日	年8日	年9日	年10日	年11日	年12日以上	無回答	平均 (日)
父親が休んだ	61	41.0	31.1	16.4	-	6.6	-	-	-	-	3.3	-	-	1.6	2.2
母親が休んだ	293	20.8	25.3	18.1	4.8	10.6	0.7	3.1	-	0.3	9.2	-	4.1	3.1	4.0
親族・知人にみてもらった	224	23.7	22.3	18.3	2.2	13.8	1.3	3.6	0.9	-	5.8	-	2.2	5.8	3.9
父親または母親のうち就労していない方がみた	248	17.7	18.1	18.1	7.7	8.1	0.8	6.5	0.8	0.4	9.3	-	6.5	6.0	5.4
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	104	38.5	27.9	13.5	1.9	10.6	-	1.9	-	-	1.0	-	2.9	1.9	2.7
その他	25	36.0	20.0	16.0	4.0	8.0	-	-	-	-	-	-	-	16.0	2.1

【病児・病後児保育施設を利用しなかった場合の対処方法 (学年別)】

	全体 (N)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答	
全体	810	7.5	36.2	27.7	30.6	12.8	3.1	14.4	
学年別	1年生	119	10.9	36.1	38.7	29.4	5.9	2.5	15.1
	2年生	134	9.0	36.6	27.6	35.8	9.7	1.5	12.7
	3年生	141	7.8	37.6	27.7	28.4	7.8	2.8	16.3
	4年生	137	3.6	29.9	28.5	36.5	13.1	4.4	10.9
	5年生	147	8.8	42.2	23.1	27.9	19.7	2.0	15.6
	6年生	130	5.4	34.6	22.3	25.4	20.0	4.6	16.2

## 6 一時預かりについて

### (1) 一時預かりの利用状況

問11 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（○は1つ）

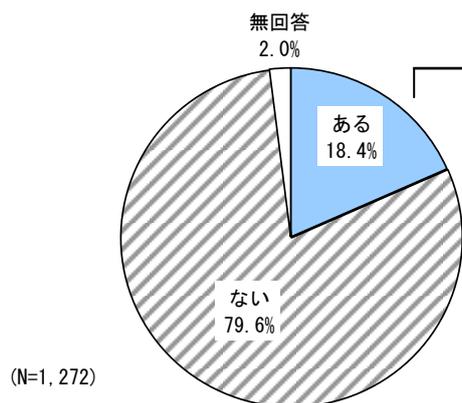
家族以外の誰かに一時的に預けたことが、「ある」は18.4%となっており、子どもを預けた回数は「年12日以上」が28.2%で最も多くなっている。

子どもを一時的に預けた理由としては、「就労」が最も多く、次いで「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」、「冠婚葬祭、子どもの親の病気」となっている。

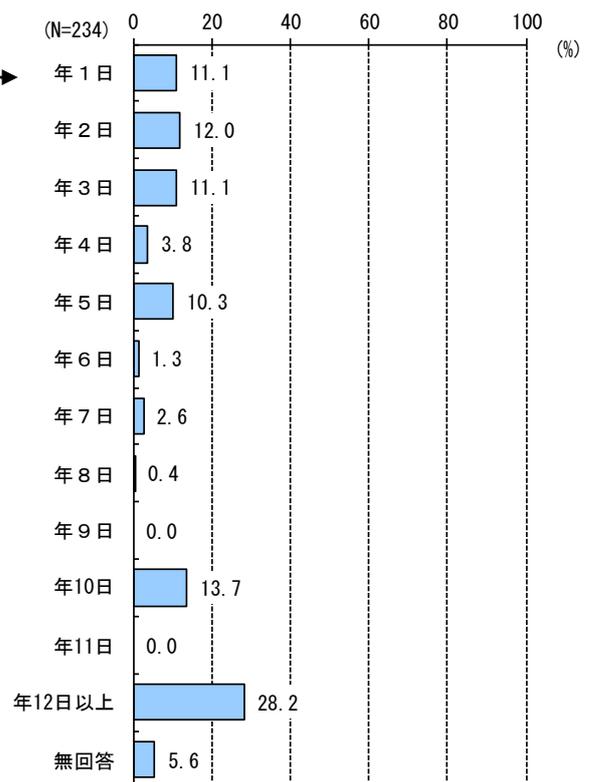
「預けたことがある」について、学年別にみると、1年生が最も多く、次いで2年生、4年生が多く、区域別では、“西部南”が最も多く、次いで“中部”、“東部南”となっている。

預けた日数については、「就労」では「年12日以上」が最も多く、「私用・リフレッシュ目的」、「冠婚葬祭、学校行事、子どもの親の通院等」では年1日が最も多くなっている。

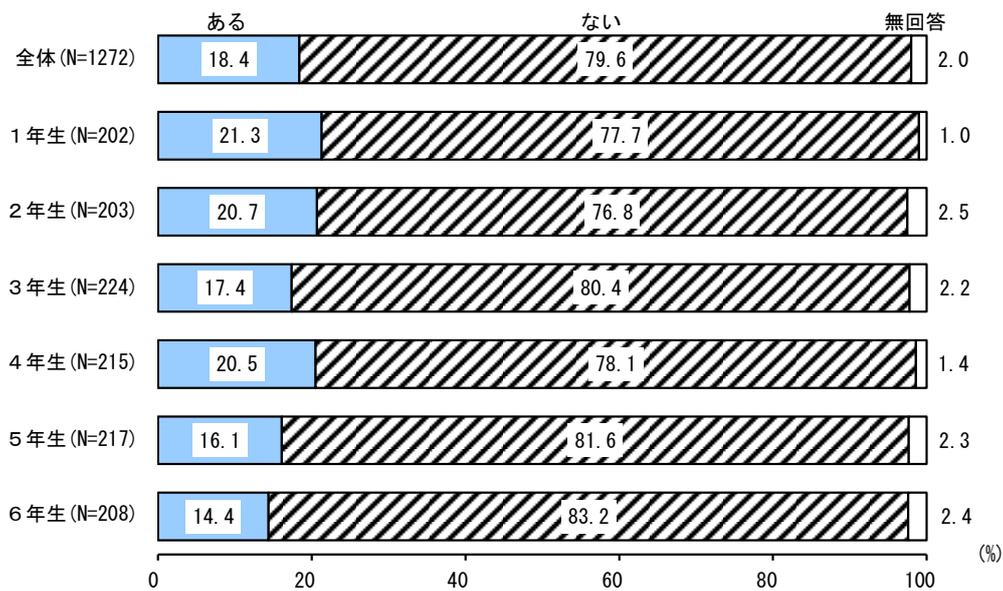
【家族以外の誰かに一時的に預けたことの有無】



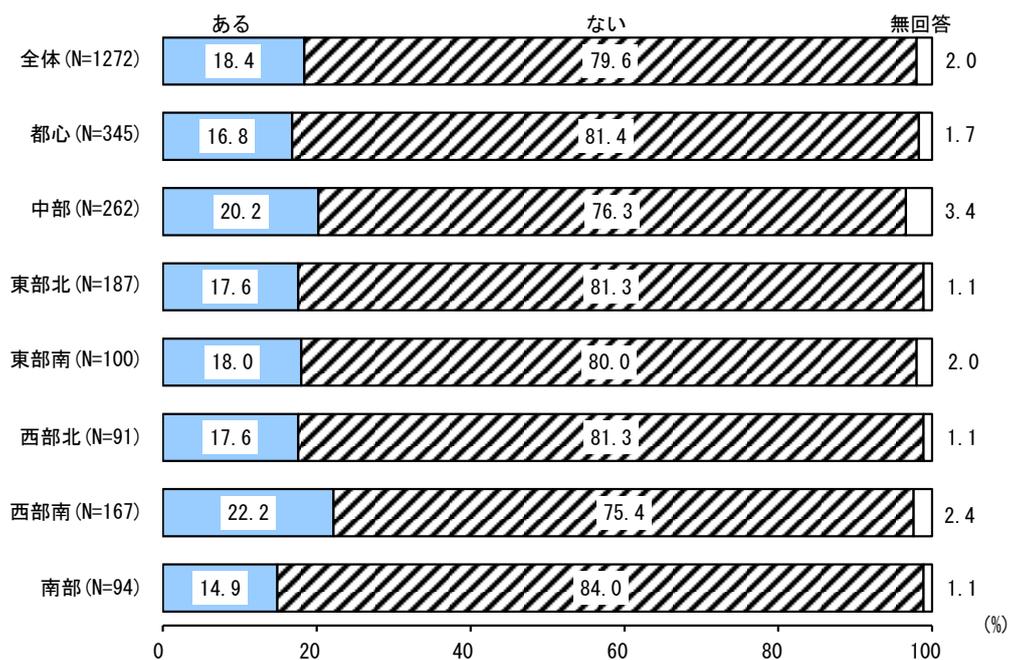
【預けた日数】



【家族以外の誰かに一時的に預けたことの有無（学年別）】

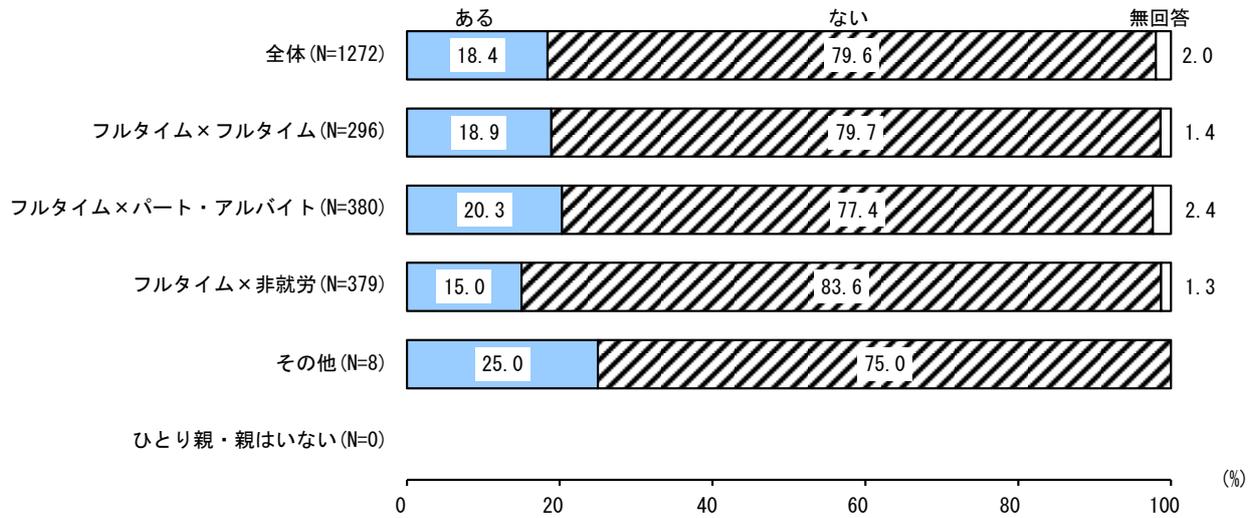


【家族以外の誰かに一時的に預けたことの有無（区域別）】

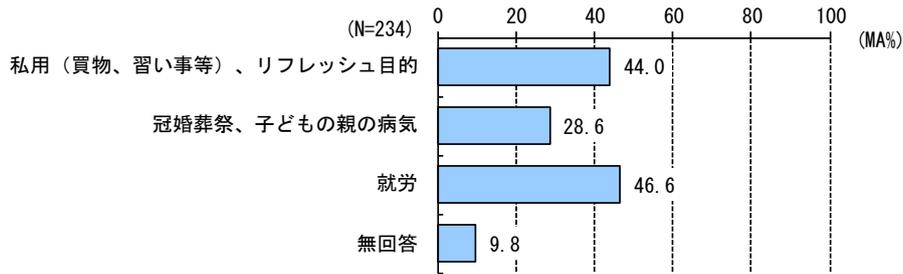


Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

【家族以外の誰かに一時的に預けたことの有無（就労タイプ別）】



【預けた理由】



【預けた日数】

	全体 (N)	年1日	年2日	年3日	年4日	年5日	年6日	年7日	年8日	年9日	年10日	年11日	年12日以上	無回答	平均 (日)
私用・リフレッシュ目的	123	14.6	16.3	15.4	4.9	14.6	0.8	1.6	2.4	-	10.6	-	16.3	2.4	9.0
冠婚葬祭、子供行事、子ども親の通院等	74	27.0	20.3	14.9	4.1	12.2	2.7	2.7	-	-	5.4	-	6.8	4.1	4.3
就労	128	10.9	8.6	6.3	1.6	10.2	-	2.3	1.6	0.8	14.1	-	41.4	2.3	21.0
合計	251	10.8	11.2	11.2	3.6	9.6	1.2	2.8	0.4	-	13.5	-	30.7	5.2	16.8

(2) 一時預かりの利用希望

問12 お子さんを一時的に預けることができる施設等について、今後の利用意向はどうか。

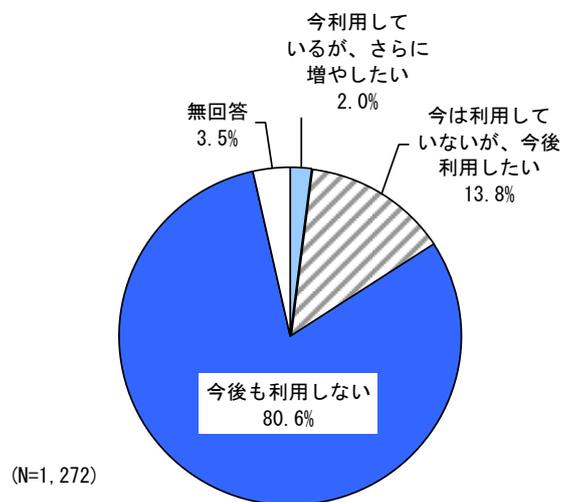
(○は1つ)

一時預かり施設等の利用意向では、「今後も利用しない」が80.6%で最も多く、次いで「今は利用していないが、今後利用したい」13.8%、「今利用しているが、さらに増やしたい」2.0%となっている。

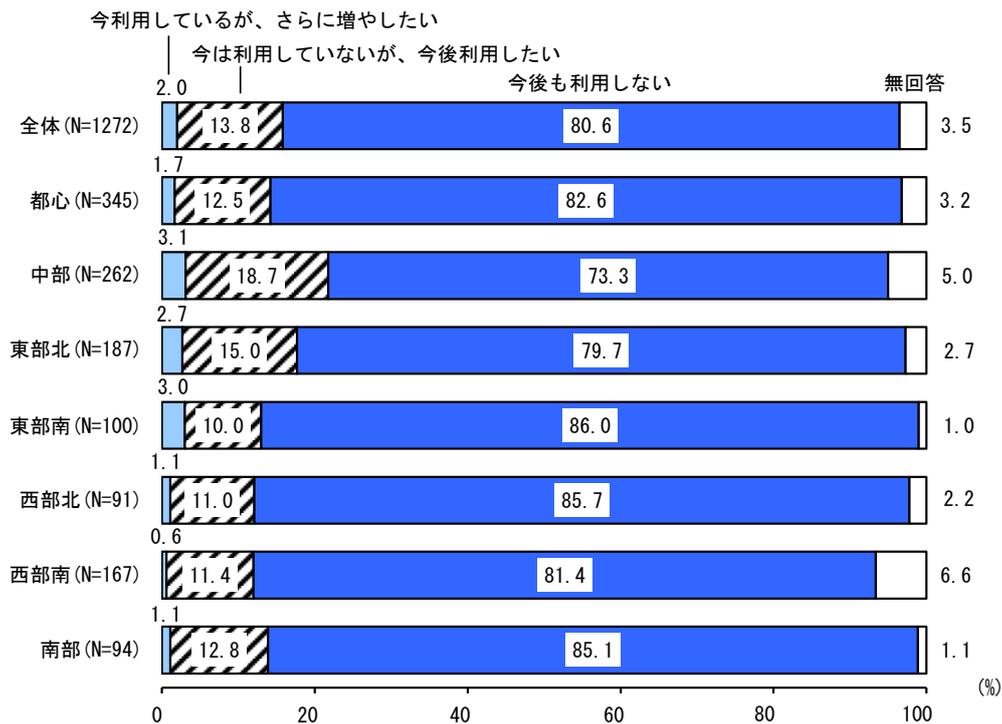
さらに増やしたい日数では、「現状のまま・無回答」が69.2%で最も多く、次いで「さらに月1日」11.5%となっている。

今後利用したい日数では、「月1日」が36.4%で最も多く、次いで「月2日」23.9%となっている。

【一時預かり施設等の利用意向】

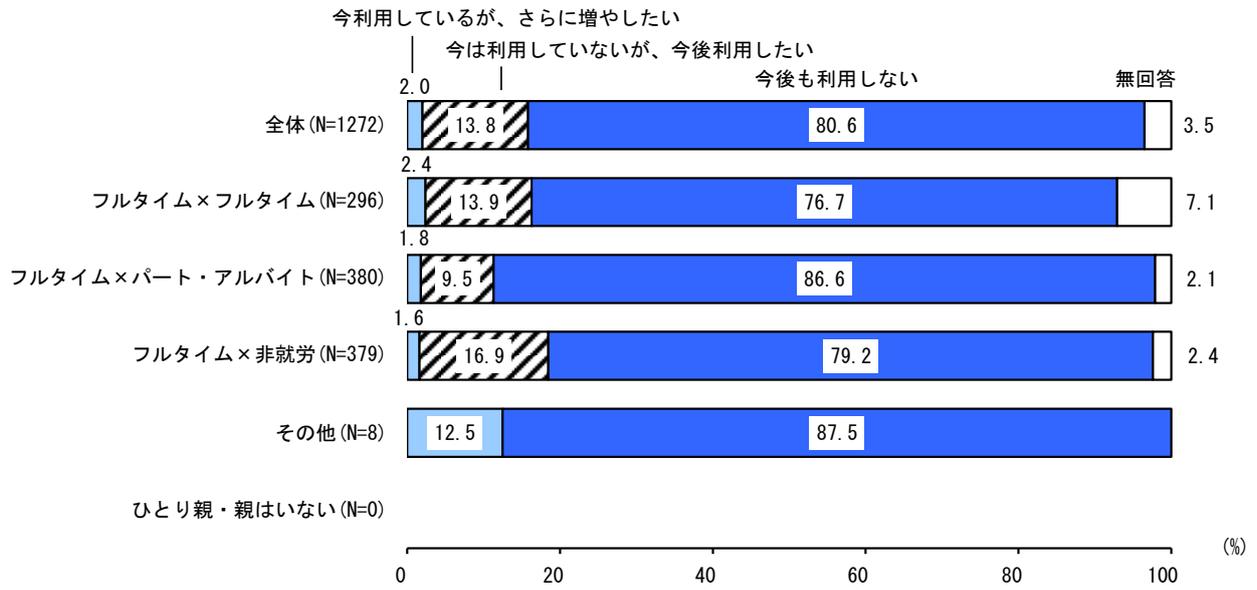


【一時預かり施設等の利用意向（区域別）】

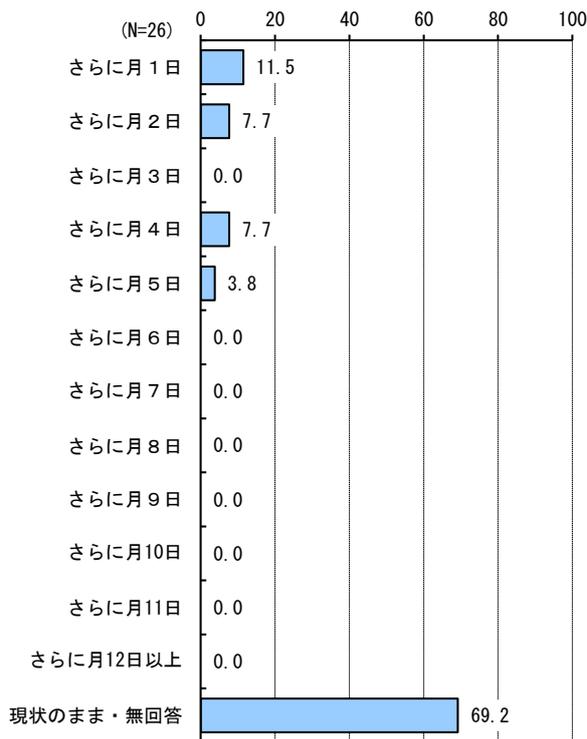


Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

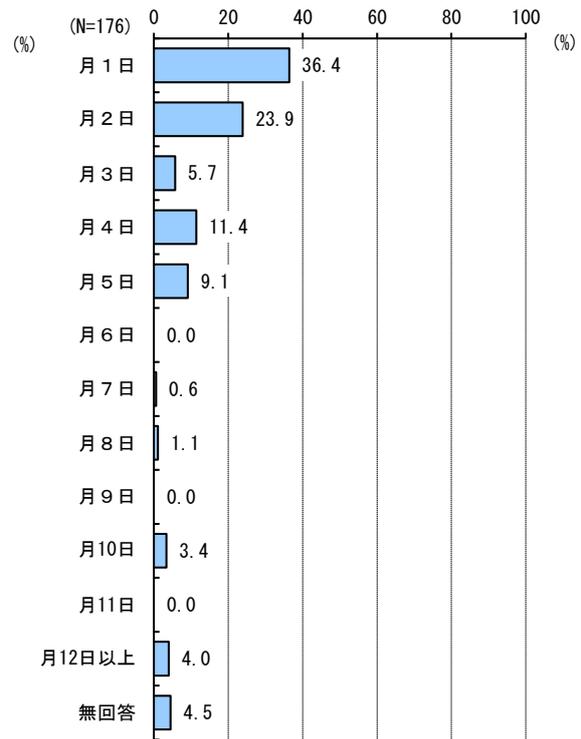
【一時預かり施設等の利用意向（就労タイプ別）】



【さらに増やしたい日数】



【今は利用していないが、今後利用したい日数】



(3) 宿泊を伴う預かりの状況

問13 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

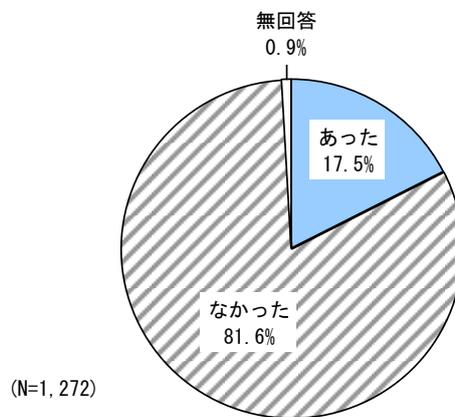
泊りがけで子どもを預けたことは、「あった」が17.5%となっている。

この1年間の対処方法では、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が最も多く、約9割を占めている。

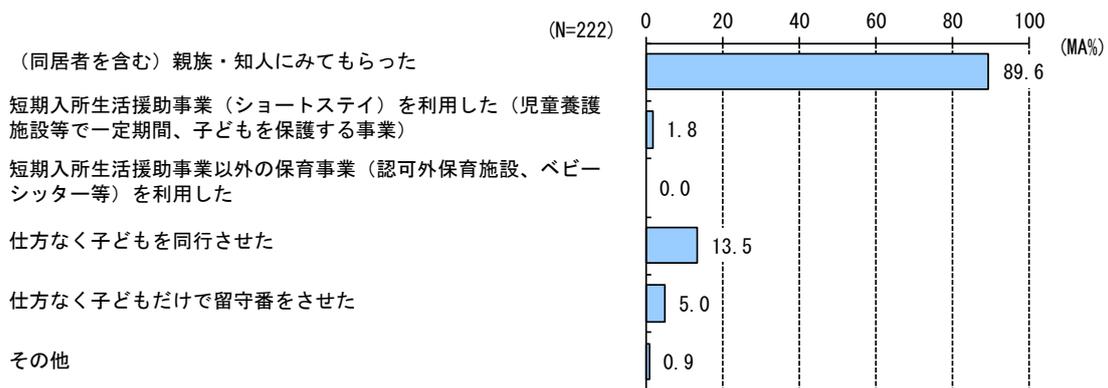
学年別にみると、2年生(21.2%)、5年生(20.3%)に「あった」が多くなっている。

各対処方法とも「年1泊」が最も多くなっている。

【泊りがけで子どもを預けたことの有無】

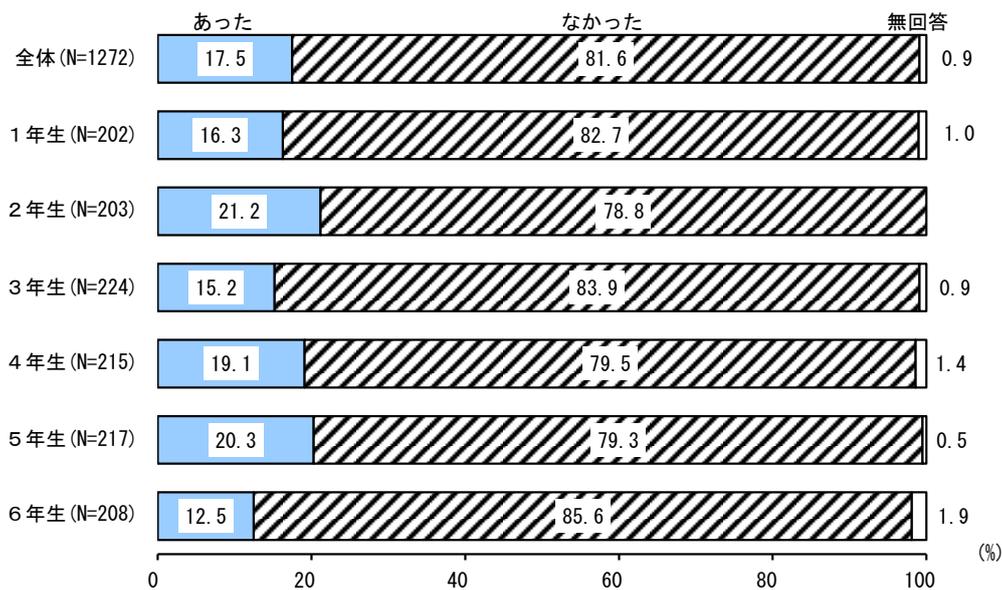


【この1年間の対処方法】



### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

【泊りがけで子どもを預けたことの有無（学年別）】



【泊りがけで子どもを預けた日数（対処方法別）】

	全体 (N)	年1泊	年2泊	年3泊	年4泊	年5泊	年6泊	年7泊	年8泊	年9泊	年10泊	年11泊	年12泊以上	無回答	平均 (日)
親族・知人にみてもらった	199	28.1	17.6	16.1	4.5	11.6	1.5	3.5	-	-	5.5	-	8.5	3.0	5.4
短期入所生活援助事業を利用した	4	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	2.7
その他の保育事業を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仕方なく子どもを同行させた	30	46.7	30.0	10.0	-	-	-	-	-	-	6.7	-	-	6.7	2.2
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	11	45.5	9.1	-	9.1	9.1	-	-	-	-	9.1	-	9.1	9.1	4.3
その他	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	2.0

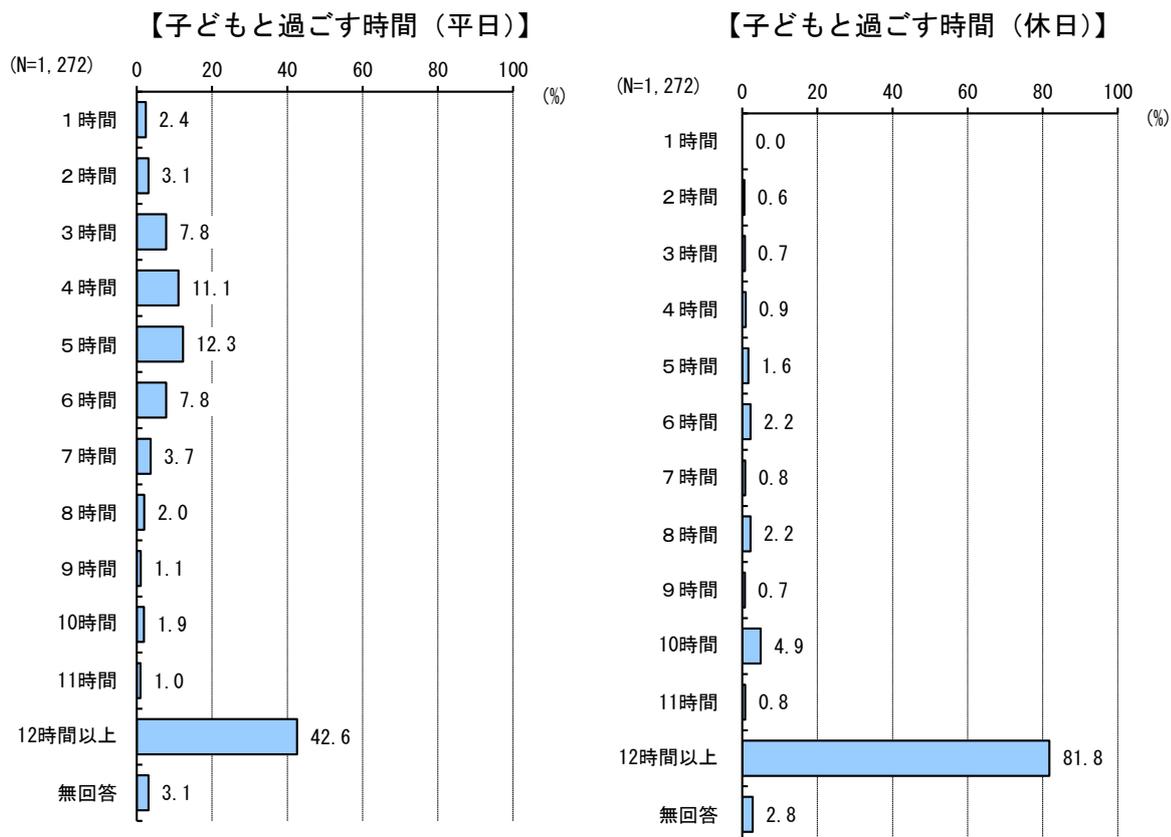
# 7 仕事と子育てについて

## (1) 子どもと一緒に過ごす時間

問14 あなたは、あて名のお子さんと、平日および休日どのくらい一緒に過ごしていますか。

子どもと過ごす時間では、平日、休日ともに「12時間以上」が最も多いが、平日と休日を比べると、休日の方が子どもと過ごす時間は長くなっている。

就労タイプ別にみると、平日は、“フルタイム×フルタイム”や“フルタイム×パート・アルバイト”などいわゆる共働きでは子どもと過ごす時間は短くなっている。



### 【子どもと過ごす時間 (就労タイプ別)】

平日

	全体(N)	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間以上	無回答	平均(時)
全体	1,272	2.4	3.1	7.8	11.1	12.3	7.8	3.7	2.0	1.1	1.9	1.0	42.6	3.1	9時間14分
フルタイム×フルタイム	296	4.1	6.4	14.9	17.9	9.1	2.4	0.7	1.0	0.3	3.7	1.7	36.8	1.0	7時間40分
フルタイム×パート・アルバイト	380	1.6	2.4	4.7	9.7	17.4	11.3	3.7	2.6	2.1	1.3	1.1	39.2	2.9	9時間24分
フルタイム×非就労	379	2.4	0.8	3.4	6.9	10.3	9.2	5.8	2.1	1.3	1.1	0.5	53.6	2.6	10時間37分
その他	8	-	-	-	-	37.5	25.0	12.5	-	-	-	-	25.0	-	8時間00分
ひとり親・親はいない・無回答	209	1.9	3.8	11.5	12.0	10.5	5.7	3.8	2.4	-	1.9	1.0	37.8	7.7	8時間46分

休日

	全体(N)	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間以上	無回答	平均(時間)
全体	1,272	-	0.6	0.7	0.9	1.6	2.2	0.8	2.2	0.7	4.9	0.8	81.8	2.8	18時間14分
フルタイム×フルタイム	296	-	0.7	1.0	1.4	2.0	3.0	1.0	3.0	0.3	3.7	-	82.4	1.4	17時間38分
フルタイム×パート・アルバイト	380	-	1.1	0.8	1.3	1.1	1.6	0.8	3.2	0.5	6.1	1.6	79.2	2.9	17時間54分
フルタイム×非就労	379	-	0.3	0.5	-	0.8	1.8	0.8	1.3	-	4.5	0.8	86.8	2.4	19時間04分
その他	8	-	12.5	-	-	-	-	-	12.5	-	-	-	75.0	-	14時間00分
ひとり親・親はいない・無回答	209	-	-	0.5	1.0	3.3	2.9	0.5	0.5	2.9	5.3	0.5	77.0	5.7	18時間22分

### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

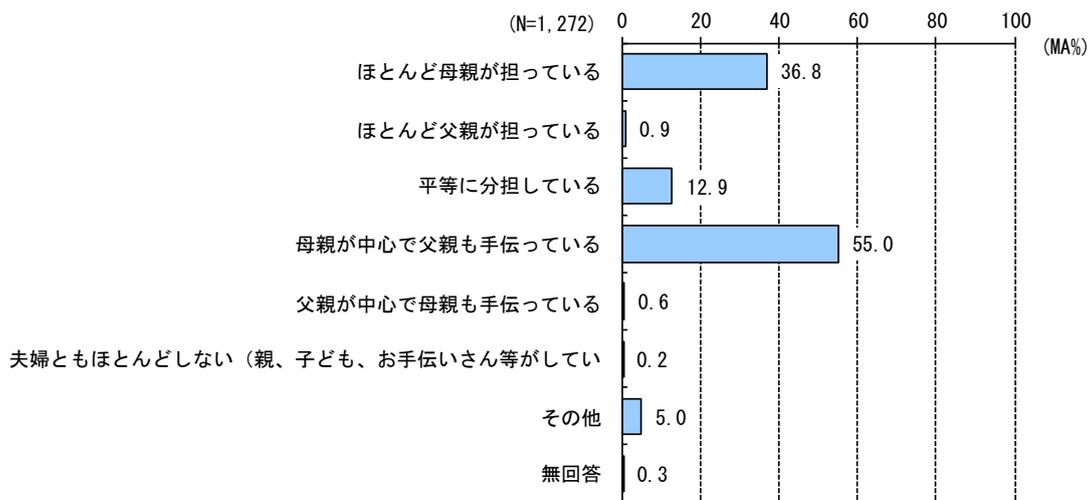
#### (2) 家庭における父親と母親の役割

問15 子育てにおける、あなたの家庭の父親と母親の役割についてどう思いますか。(〇はいくつでも)

父親と母親の役割について思うことでは、「母親が中心で父親も手伝っている」が55.0%で最も多く、次いで「ほとんど母親が担っている」36.8%、「平等に分担している」12.9%となっており、その他の項目は1割未満となっている。

就労タイプ別にみると、すべての就労タイプで「母親が中心で父親も手伝っている」が最も多くなっている。

【父親と母親の役割について思うこと】



【父親と母親の役割について思うこと (就労タイプ別)】

	全体 (N)	ほとんど母親が担っている	ほとんど父親が担っている	平等に分担している	母親が中心で父親も手伝っている	父親が中心で母親も手伝っている	夫婦ともほとんどしない (親、子ども、お手伝いさん等がしている)	その他	無回答
全 体	1,272	36.8	0.9	12.9	55.0	0.6	0.2	5.0	0.3
フルタイム×フルタイム	296	25.3	0.3	25.7	52.7	1.4	0.3	5.4	0.3
フルタイム×パート・アルバイト	380	33.2	0.3	11.3	65.3	0.8	-	3.2	0.3
フルタイム×非就労	379	33.8	-	9.5	66.8	-	-	1.1	-
その他	8	-	-	25.0	75.0	-	-	-	-
ひとり親・親はいない 無回答	209	66.5	4.8	3.3	17.2	0.5	0.5	15.3	1.0

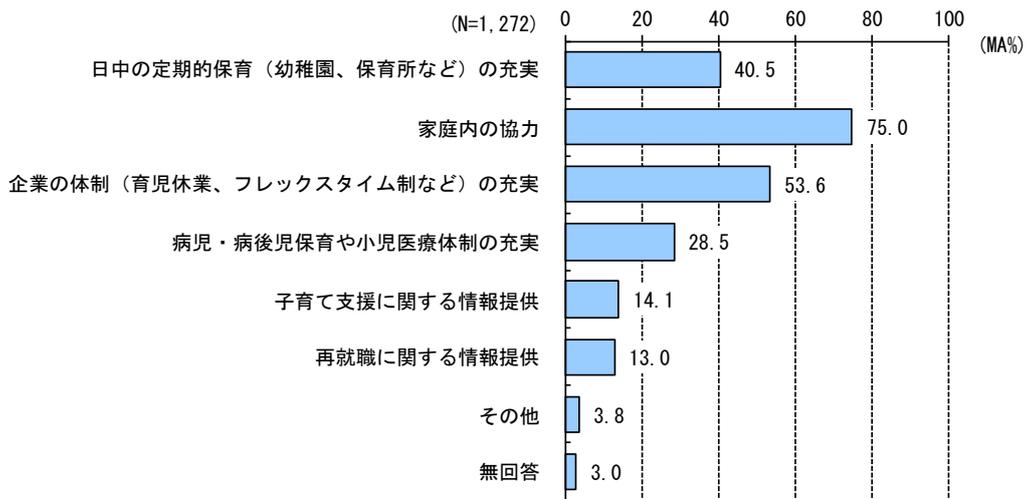
(3) 子育てをしながら仕事をする上で必要なこと

問16 あなたにとって、子育てをしながら仕事をする上で必要なことは何ですか。(〇は3つまで)

子育てをしながら仕事をする上で必要なことでは、「家庭内の協力」が75.0%で最も多く、次いで「企業の体制（育児休業、フレックスタイム制など）の充実」53.6%、「日中の定期的保育（幼稚園、保育所など）の充実」40.5%となっている。

就労タイプ別にみると、すべての就労タイプで「家庭内の協力」が最も多くなっている。

【子育てをしながら仕事をする上で必要なこと】



【子育てをしながら仕事をする上で必要なこと（就労タイプ別）】

	全体 (N)	日中の定期的保育（幼稚園、保育所など）の充実	家庭内の協力	企業の体制（育児休業、フレックスタイム制など）の充実	病児・病後児保育や小児医療体制の充実	子育て支援に関する情報提供	再就職に関する情報提供	その他	無回答
全体	1,272	40.5	75.0	53.6	28.5	14.1	13.0	3.8	3.0
フルタイム×フルタイム	296	54.4	84.5	61.5	26.0	10.1	1.0	3.0	1.0
フルタイム×パート・アルバイト	380	35.8	81.6	48.2	27.4	13.2	13.2	4.7	2.1
フルタイム×非就労	379	40.6	72.8	56.7	33.8	12.9	21.4	2.1	4.2
その他	8	37.5	87.5	25.0	12.5	-	12.5	-	-
ひとり親・親はいない 無回答	209	29.2	53.1	47.8	24.9	23.9	14.4	6.2	5.3

Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

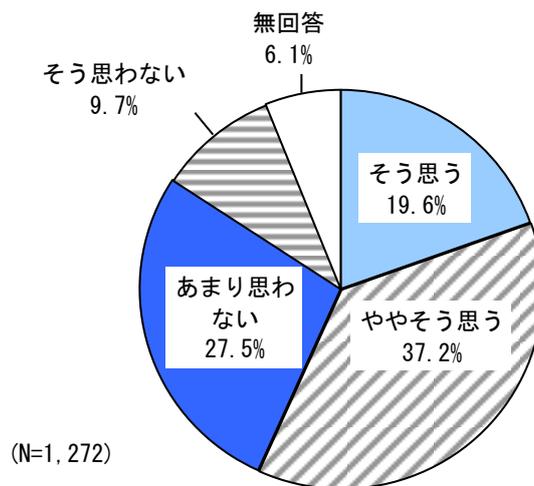
(4) 仕事と生活の調和

問17 あなたは、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれていると感じますか。  
 (○は1つ)

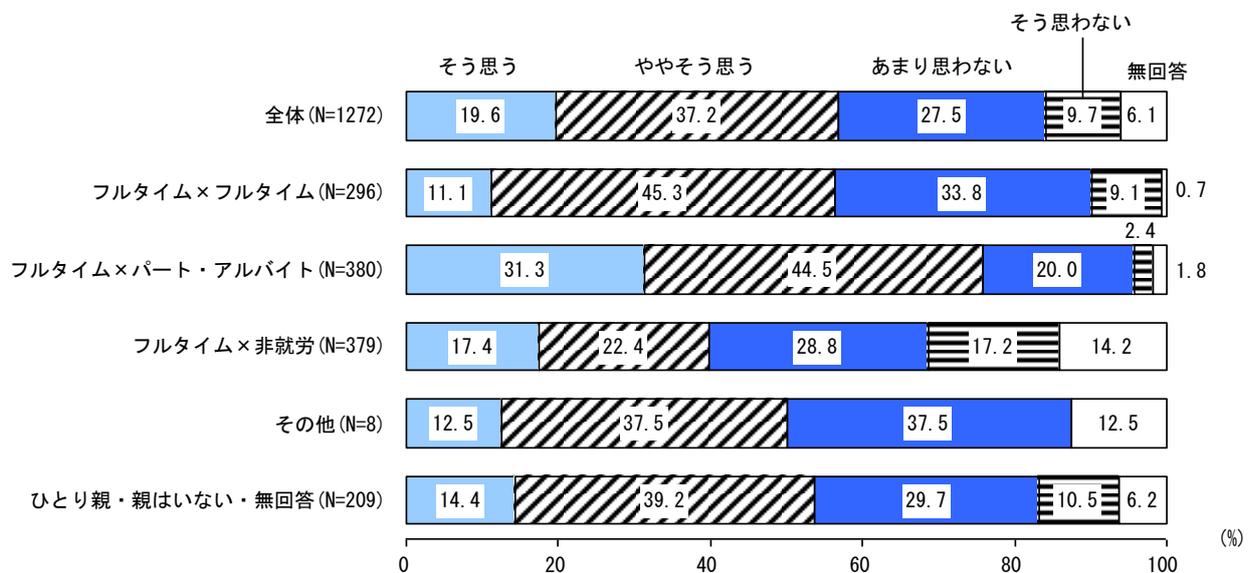
仕事と生活の調和がとれているかでは、「ややそう思う」が37.2%で最も多く、次いで「あまり思わない」27.5%、「そう思う」19.6%、「そう思わない」9.7%となっている。

就労タイプ別にみると、「フルタイム×パート・アルバイト」で「思う」が最も多くなっている。

【仕事と生活の調和がとれていると感じるか】



【仕事と生活の調和がとれていると感じるか（就労タイプ別）】



## 8 児童の虐待について

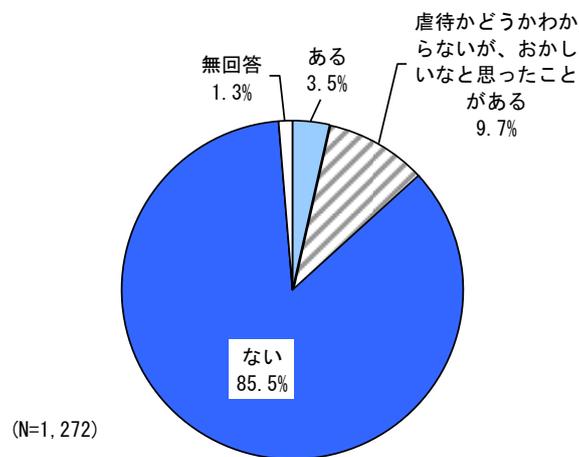
### (1) 児童虐待の見聞

問18 最近、マスメディア等で、子どもの虐待について取り上げられていますが、あなたの身近なところで、児童の虐待を見たり聞いたりしたことがありますか。(○は1つ)

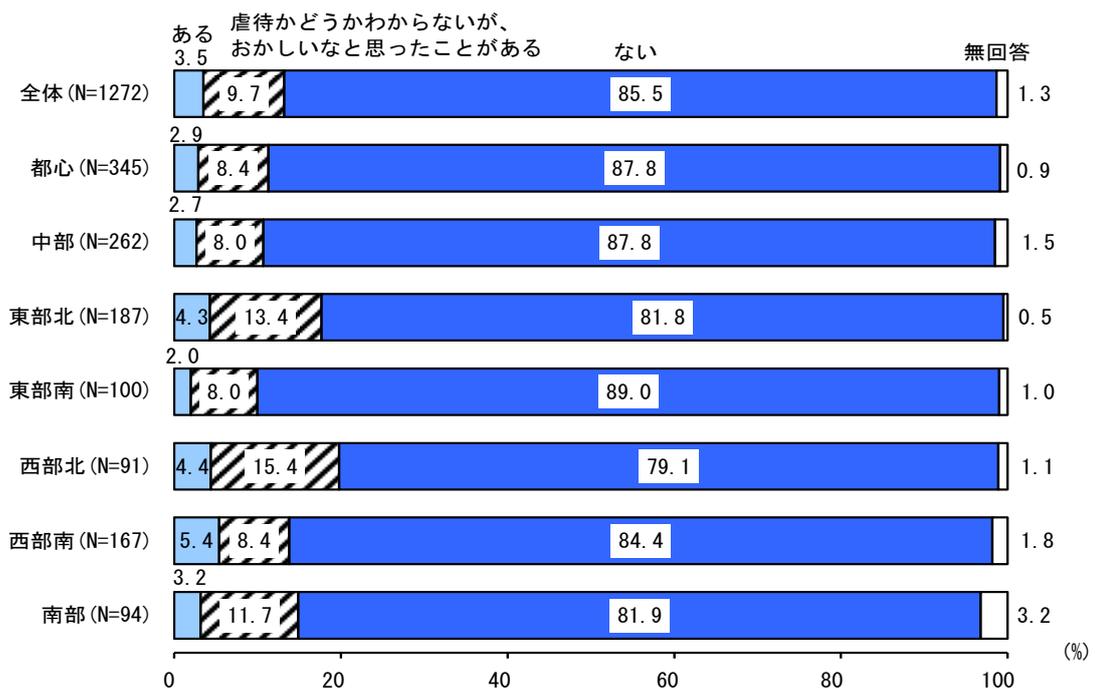
身近なところで、児童の虐待を見たり聞いたりしたことは、「ない」が85.5%で最も多く、次いで「虐待かどうか分からないが、おかしいなと思ったことがある」9.7%、「ある」3.5%となっている。

区域別にみると、“西部北”で、「ある」または、「虐待かどうか分からないが、おかしいなと思ったことがある」の合計が19.8%と他区域よりも多くなっている。

【身近なところでの児童虐待の見聞】



【身近なところでの児童虐待の見聞（区域別）】



### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

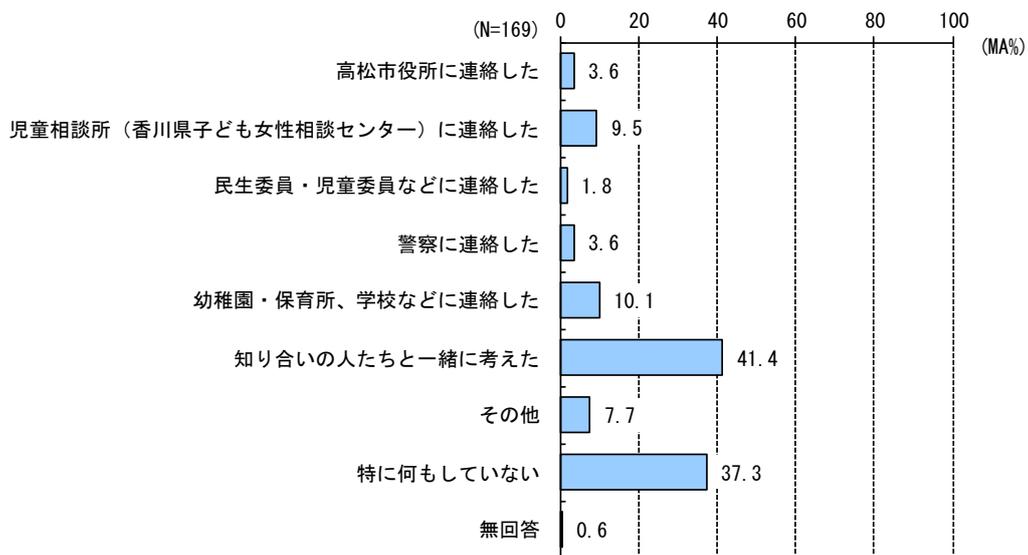
問18-1 問18で「1」もしくは「2」に○をつけた方にうかがいます。

その時、どのように対応しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

児童虐待を見聞したときの対応では、「知り合いの人たちと一緒に考えた」が41.4%で最も多く、次いで「特に何もしていない」37.3%、「幼稚園・保育所、学校などに連絡した」10.1%となっており、その他の項目は1割未満となっている。

区域別にみると、「特に何もしていない」が“都心”、“東部南”、“西部北”、“南部”で最も多くなっている。

【児童虐待を見聞したときの対応】



【児童虐待を見聞したときの対応（区域別）】

	全体 (N)	高松市役所に連絡した	児童相談所（香川県子ども女性相談センター）に連絡した	民生委員・児童委員などに連絡した	警察に連絡した	幼稚園・保育所、学校などに連絡した	知り合いの人たちと一緒に考えた	その他	特に何もしていない	無回答		
全体	169	3.6	9.5	1.8	3.6	10.1	41.4	7.7	37.3	0.6		
区域別	都心	39	2.6	2.6	-	-	10.3	38.5	5.1	41.0	-	
	中部	28	3.6	10.7	-	-	7.1	3.6	42.9	3.6	-	
	東部北	33	6.1	12.1	6.1	6.1	6.1	45.5	9.1	36.4	-	
	東部南	10	-	20.0	-	-	20.0	40.0	10.0	40.0	-	
	西部北	18	5.6	11.1	-	-	5.6	16.7	33.3	11.1	38.9	5.6
	西部南	23	-	-	-	-	-	13.0	52.2	8.7	34.8	-
	南部	14	-	14.3	-	-	-	7.1	28.6	14.3	42.9	-

(2) 相談機関の認知度・利用経験

問19 香川県内の子どもに関する相談先について、A～Bのそれぞれに「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

A：知っている B：これまでに利用したことがある

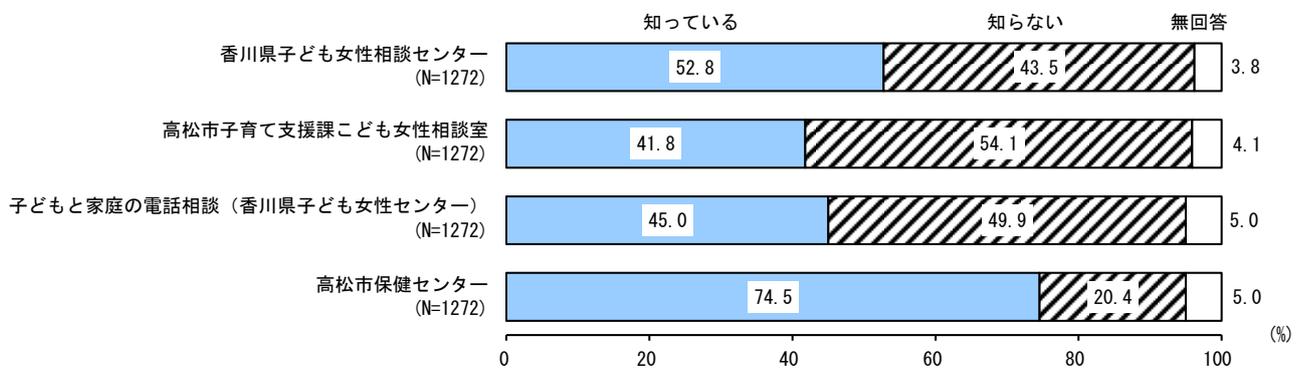
■ 認知度

相談先の認知度は、「高松市保健センター」が74.5%で最も多く、次いで「香川県子ども女性相談センター」52.8%となっている。

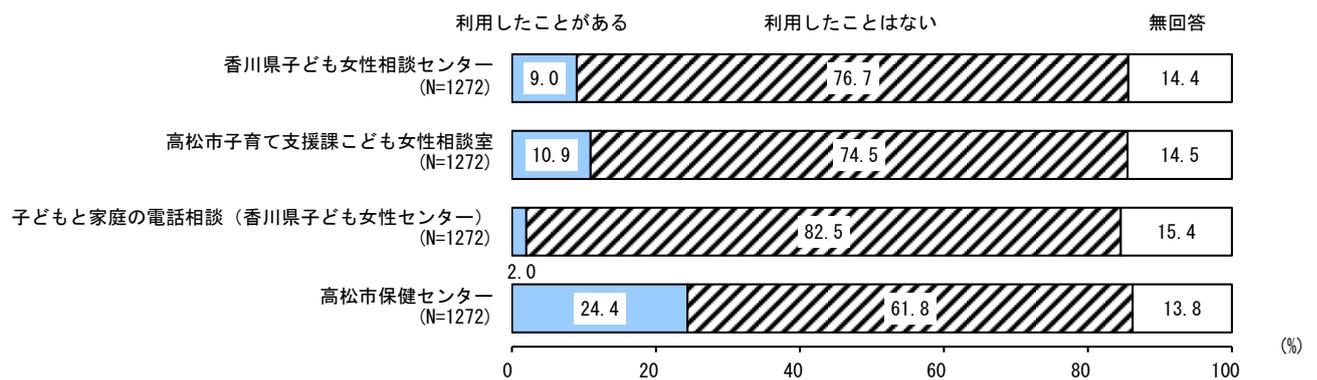
■ 利用経験

相談先の利用経験は、「高松市保健センター」が24.4%で最も多く、一方、「子どもと家庭の電話相談」は2.0%にとどまっている。

【相談先の認知度】



【相談先の利用経験】

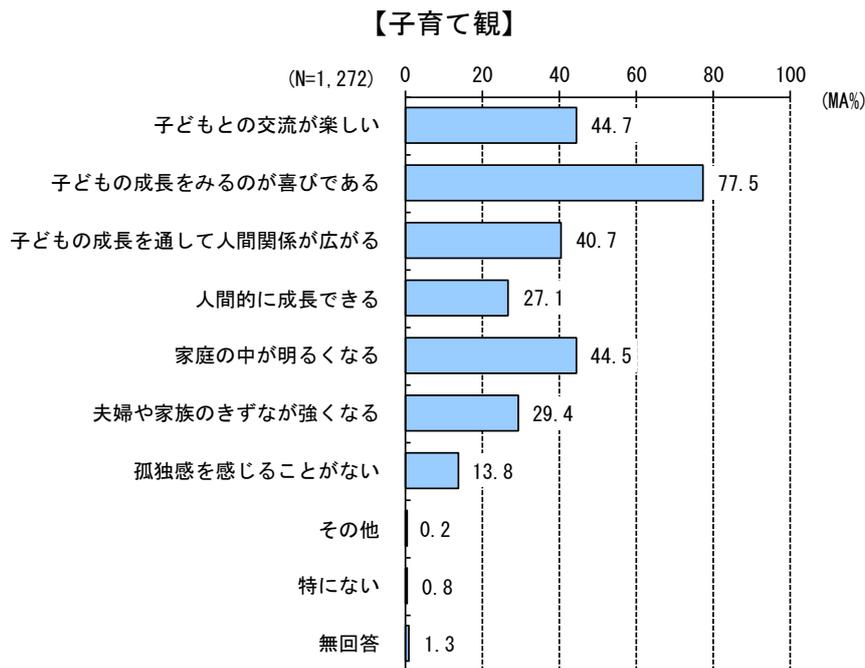


## 9 子育て全般について

### (1) 子育て観

問20 子育ての良さや喜びについてうかがいます。(〇は3つまで)

子育ての良さや喜びについて思うことでは、「子どもの成長をみるのが喜びである」が77.5%で最も多く、次いで「子どもとの交流が楽しい」44.7%、「家庭の中が明るくなる」44.5%となっている。すべての学年、就労タイプ別で「子どもの成長をみるのが喜びである」が最も多くなっている。



**【子育て観（年齢別・就労タイプ別）】**

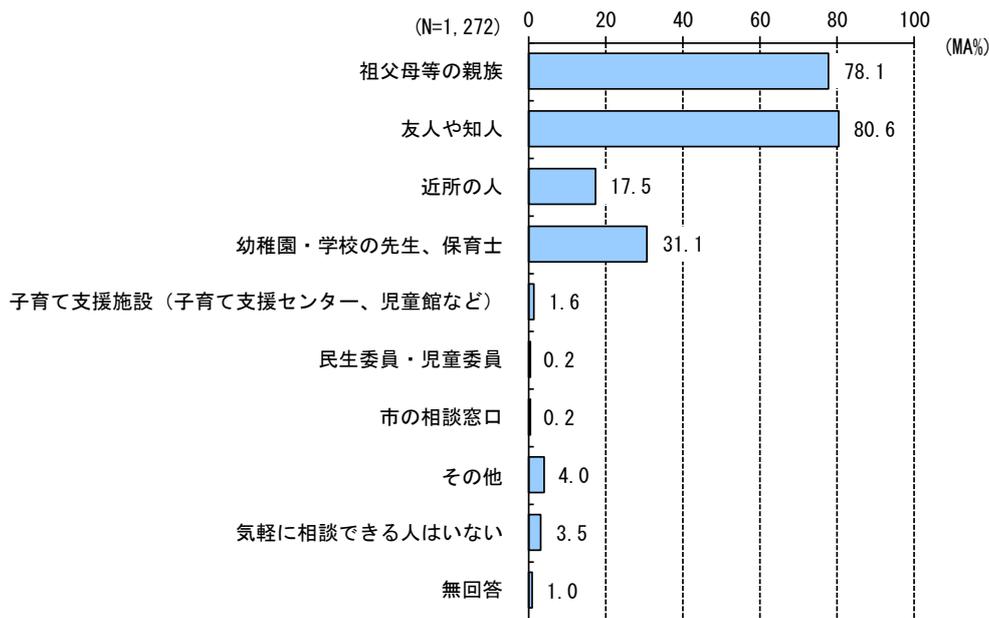
		全体 (N)	子どもとの交流が楽しい	子どもの成長をみるのが喜びである	子どもの成長を通して人間関係が広がる	人間的に成長できる	家庭の中が明るくなる	夫婦や家族のきずなが強くなる	孤独感を感じることがない	その他	特にない	無回答
全体		1,272	44.7	77.5	40.7	27.1	44.5	29.4	13.8	0.2	0.8	1.3
学年別	1年生	202	41.1	77.7	44.6	27.2	50.5	26.7	11.9	0.5	0.5	1.0
	2年生	203	44.3	76.8	37.9	23.2	40.4	36.5	15.8	-	1.0	1.5
	3年生	224	44.2	81.7	40.2	25.9	42.4	31.7	11.2	0.4	0.9	0.9
	4年生	215	44.2	77.2	37.7	31.2	48.8	28.8	12.1	0.5	0.5	1.4
	5年生	217	48.4	77.9	41.9	27.2	43.3	26.7	14.3	-	0.5	1.8
	6年生	208	45.7	73.1	42.3	28.4	41.3	26.0	17.3	-	1.4	1.0
就労タイプ別	フルタイム×フルタイム	296	40.2	76.4	39.5	29.4	48.6	35.1	12.8	0.3	0.7	0.7
	フルタイム×パート・アルバイト	380	46.8	80.0	43.7	27.1	41.6	28.4	11.6	0.3	0.8	1.1
	フルタイム×非就労	379	45.6	76.8	38.5	25.6	47.2	33.5	11.3	0.3	0.5	1.3
	その他	8	25.0	100.0	25.0	12.5	75.0	50.0	12.5	-	-	-
	ひとり親・親はいない 無回答	209	45.9	75.1	41.6	27.3	37.8	14.8	23.4	-	1.4	2.4

(2) 気軽に相談できる相手

問21 あて名のお子さんの子育て（教育を含む。）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。  
 (〇はいくつでも)

気軽に相談できる相手では、「友人や知人」が80.6%で最も多く、次いで「祖父母等の親族」78.1%、「幼稚園・学校の先生、保育士」31.1%となっている。  
 すべての学年、区域別で「友人や知人」「祖父母等の親族」が多くなっている。

【気軽に相談できる相手】



【気軽に相談できる相手（学年別・区域別）】

	全体 (N)	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	幼稚園・学校の先生、保育士	子育て支援施設（子育て支援センター、児童館など）	民生委員・児童委員	市の相談窓口	その他	気軽に相談できる人はいない	無回答	
全体	1,272	78.1	80.6	17.5	31.1	1.6	0.2	0.2	4.0	3.5	1.0	
学年別	1年生	202	84.2	81.7	20.8	33.7	2.0	0.5	-	4.5	2.0	0.5
	2年生	203	74.9	77.8	18.7	31.5	1.0	-	0.5	4.4	3.9	1.0
	3年生	224	79.0	82.1	19.2	31.7	1.8	-	0.4	2.2	2.7	1.3
	4年生	215	76.3	81.4	17.7	34.9	1.9	0.5	-	5.6	3.7	0.9
	5年生	217	80.6	82.0	14.3	28.6	0.5	-	0.5	4.1	2.8	1.4
	6年生	208	73.6	77.9	14.4	26.0	2.4	-	-	3.4	5.8	1.0
区域別	都心	345	75.4	81.7	15.4	31.3	0.9	-	-	4.6	3.5	1.2
	中部	262	76.0	80.2	19.1	27.9	0.8	0.4	0.8	4.6	4.2	1.1
	東部北	187	82.4	79.1	23.5	32.1	3.2	-	-	4.3	2.7	-
	東部南	100	83.0	80.0	14.0	29.0	3.0	-	-	4.0	4.0	1.0
	西部北	91	82.4	74.7	14.3	29.7	2.2	-	1.1	3.3	3.3	-
	西部南	167	76.0	79.6	17.4	31.1	1.2	-	-	2.4	3.6	1.8
	南部	94	79.8	85.1	17.0	38.3	2.1	1.1	-	4.3	2.1	2.1

### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

#### (3) 日頃悩んでいること

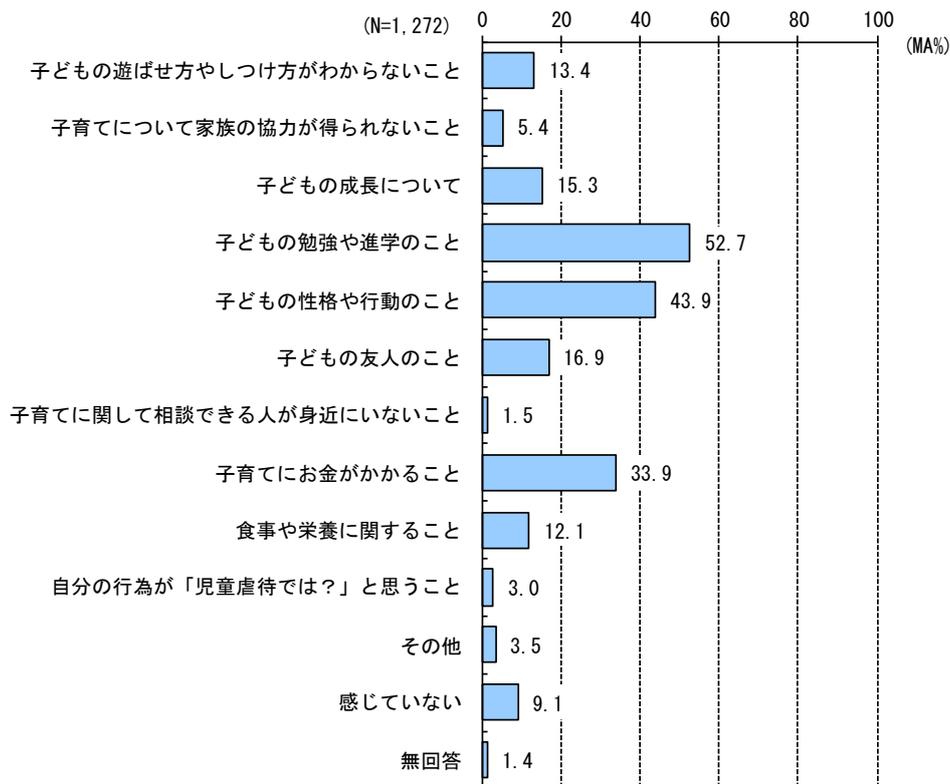
問22 子育てに関して、日頃悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。

(〇は3つまで)

日ごろ悩んでいることでは、「子どもの勉強や進学のこと」が52.7%で最も多く、次いで「子どもの性格や行動のこと」43.9%、「子育てにお金がかかること」33.9%となっている。

学年別にみると、低学年では「子どもの性格や行動のこと」が最も多く、学年が上がるにつれて「子どもの勉強や進学のこと」、「子育てにお金がかかること」が増加傾向となっている。

【日ごろ悩んでいること】



【日ごろ悩んでいること（学年別）】

	全体(N)	子どもの遊ばせ方やしつけ方がわからないこと	子育てについて家族の協力が得られないこと	子どもの成長について	子どもの勉強や進学のこと	子どもの性格や行動のこと	子どもの友人のこと	子育てに関して相談できる人が身近にいないこと	子育てにお金がかかること	食事や栄養に関すること	自分の行為が「児童虐待では？」と思うこと	その他	感じていない	無回答	
全体	1,272	13.4	5.4	15.3	52.7	43.9	16.9	1.5	33.9	12.1	3.0	3.5	9.1	1.4	
学年別	1年生	202	18.3	5.9	15.8	42.1	44.1	16.8	1.0	33.7	13.4	5.4	2.0	11.4	2.0
	2年生	203	17.7	7.4	15.8	49.3	49.8	14.8	1.5	32.5	16.7	3.0	4.4	6.4	0.5
	3年生	224	16.1	5.8	15.6	50.9	46.4	17.9	0.9	31.3	12.5	2.7	4.5	7.6	1.3
	4年生	215	11.2	5.1	18.6	53.5	44.7	17.2	1.9	33.0	12.1	3.3	3.3	8.8	1.9
	5年生	217	9.7	6.5	14.3	54.4	45.2	16.6	0.9	35.9	8.3	1.8	4.1	8.8	1.8
	6年生	208	8.2	1.9	11.1	64.9	33.7	17.8	2.9	36.5	10.1	1.9	2.9	12.0	1.0

# 10 子どもの教育と健全育成について

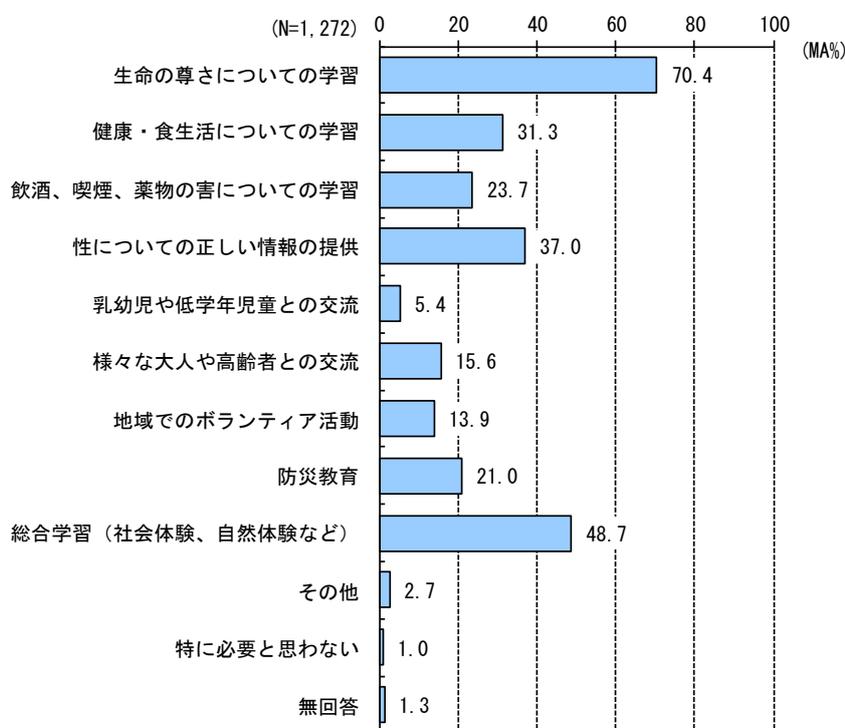
## (1) 子どもの成長過程で必要と思われる取組

問23 今後、お子さんの成長過程で、必要と思われる取り組みについてお答えください。(〇は3つまで)

子どもの成長過程で、必要と思われる取組では、「生命の尊さについての学習」が70.4%で最も多く、次いで「総合学習（社会体験、自然体験など）」48.7%、「性についての正しい情報の提供」37.0%となっている。

学年別にみると、すべての学年で「生命の尊さについての学習」が最も多く、次いで、5年生を除いては「総合学習（社会体験、自然体験など）」、5年生では「性についての正しい情報の提供」となっている。

【子どもの成長過程で、必要と思われる取り組み】



【子どもの成長過程で、必要と思われる取り組み（学年別）】

	全体 (N)	生命の尊さについての学習	健康・食生活についての学習	飲酒、喫煙、薬物の害についての学習	性についての正しい情報の提供	乳幼児や低学年児童との交流	様々な大人や高齢者との交流	地域でのボランティア活動	防災教育	総合学習（社会体験、自然体験など）	その他	特に必要と思わない	無回答	
全体	1,272	70.4	31.3	23.7	37.0	5.4	15.6	13.9	21.0	48.7	2.7	1.0	1.3	
学年別	1年生	202	76.7	31.7	18.3	29.2	9.4	14.4	12.9	20.8	61.4	2.5	0.5	0.5
	2年生	203	68.0	30.0	21.2	32.5	4.9	16.7	15.8	23.6	54.7	2.5	1.0	0.5
	3年生	224	69.2	30.4	21.9	29.5	7.6	15.6	12.9	23.2	48.2	2.2	2.7	1.8
	4年生	215	67.0	35.8	24.2	45.1	2.8	13.0	14.4	20.0	46.5	3.3	-	1.4
	5年生	217	71.0	28.6	28.1	44.7	4.1	18.9	14.3	18.4	37.8	3.7	0.5	2.3
	6年生	208	70.2	31.7	28.4	40.9	3.8	14.4	13.5	20.2	43.8	1.4	1.4	1.4

### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

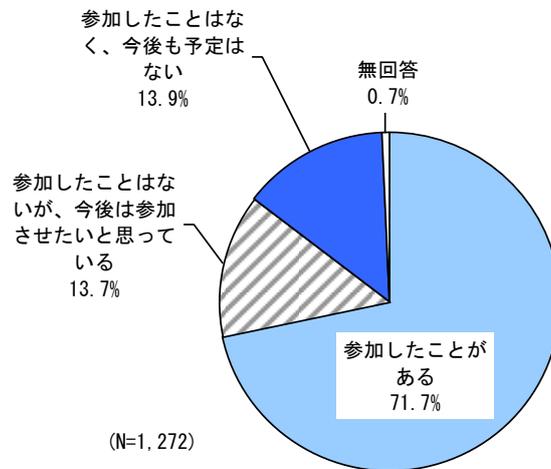
#### (2) 子どもの地域活動・グループ活動への参加

問24 あて名のお子さんは、地域活動やグループ活動などに参加されたことがありますか。(○は1つ)

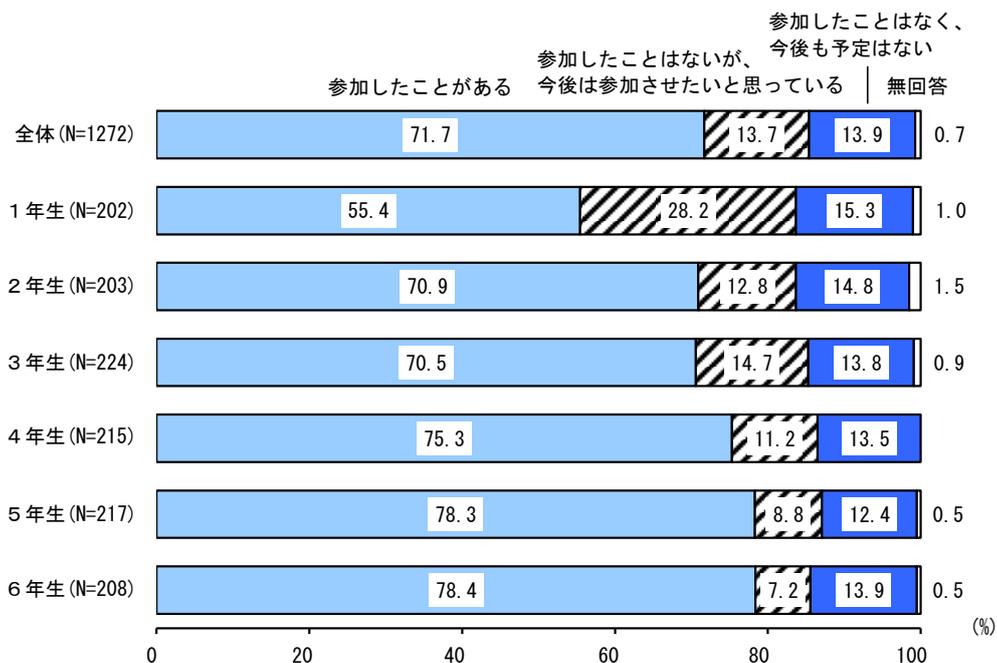
地域活動やグループ活動への参加の有無では、「参加したことがある」が71.7%で最も多く、次いで「参加したことはなく、今後も予定はない」13.9%、「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」13.7%となっている。

学年別にみると、学年が上がるにつれて「参加したことがある」が増加傾向にある。1年生では、「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」が28.2%と他の学年より多くなっている。

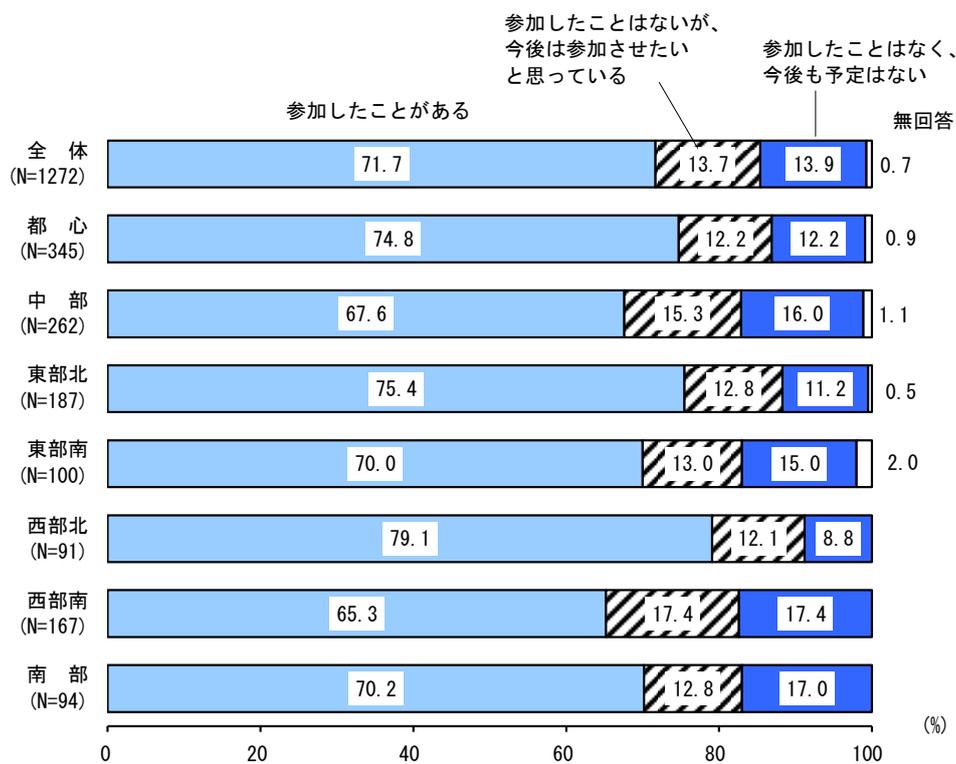
【地域活動やグループ活動への参加】



【地域活動やグループ活動への参加（学年別）】



【地域活動やグループ活動への参加（区域別）】



### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

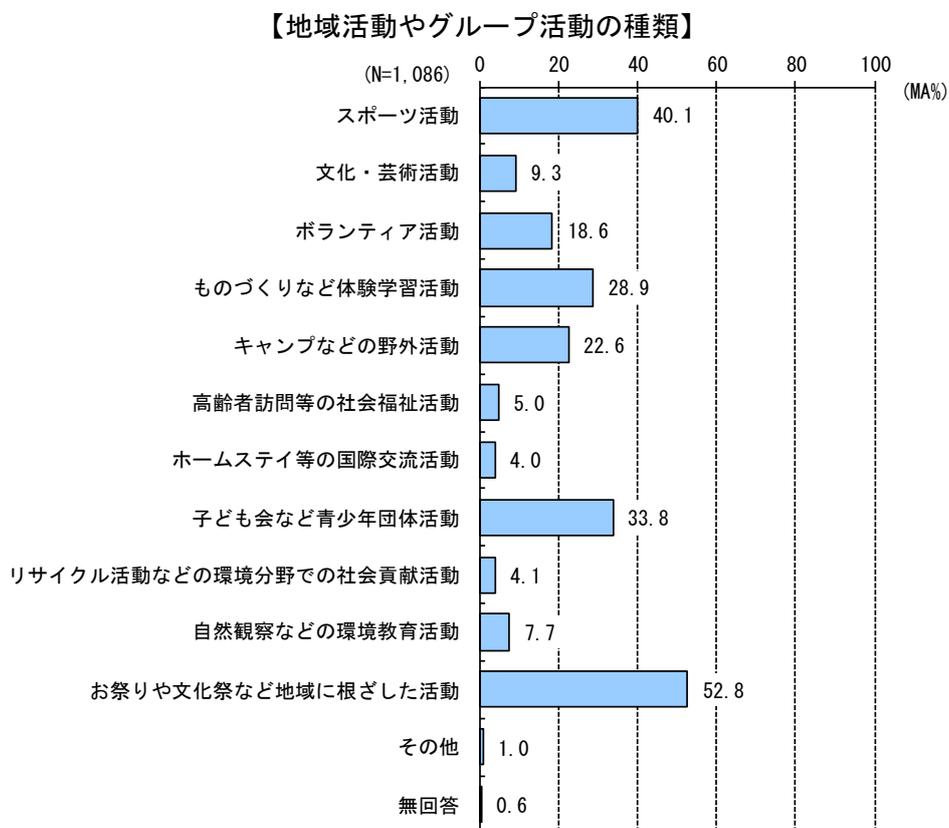
問24-1 問24で「1」もしくは「2」に○をつけた方にうかがいます。

参加したことがある、もしくは参加したいと思っている地域活動やグループ活動の種類は何ですか。(○は3つまで)

参加したことがある、もしくは参加したいと思っている地域活動やグループ活動の種類について、「お祭りや文化祭など地域に根ざした活動」が 52.8%で最も多く、次いで「スポーツ活動」40.1%、「子ども会など青少年団体活動」33.8%となっている。

学年別にみると、すべての学年で「お祭りや文化祭など地域に根ざした活動」が最も多く、次いで、2年生を除いては「スポーツ活動」、2年生では「子ども会など青少年団体活動」となっている。

区域別でも同様の結果となっている。



【地域活動やグループ活動の種類（学年別・区域別）】

	全 体	ス ポ ー ツ 活 動	文 化 ・ 芸 術 活 動	ポ ラ ン テ ィ ア 活 動	も の づ く り な ど 体 験 学 習 活 動	キ ャ ン プ な ど の 野 外 活 動	高 齢 者 訪 問 等 の 社 会 福 祉 活 動	ホ ー ム ス テ ィ 等 の 国 際 交 流 活 動	子 ど も 会 な ど 青 少 年 団 体 活 動	で の 社 会 貢 献 活 動	リ サ イ ク ル 活 動 な ど の 環 境 分 野	自 然 観 察 な ど の 環 境 教 育 活 動	お 祭 り や 文 化 祭 な ど 地 域 に 根 ざ した 活 動	そ の 他	無 回 答
全 体	1,086	40.1	9.3	18.6	28.9	22.6	5.0	4.0	33.8	4.1	7.7	52.8	1.0	0.6	
学 年 別	1年生	169	33.7	8.9	17.2	29.6	22.5	1.2	3.0	28.4	4.1	13.0	54.4	1.8	1.8
	2年生	170	34.1	8.2	16.5	26.5	18.2	1.8	3.5	45.9	4.7	8.8	51.8	0.6	1.2
	3年生	191	41.4	9.4	18.3	29.8	22.0	6.8	6.8	33.5	5.8	4.7	54.5	1.0	-
	4年生	186	41.9	8.6	21.0	31.7	24.2	7.0	3.8	30.6	3.2	7.0	52.2	-	-
	5年生	189	44.4	10.6	20.1	30.2	22.8	5.3	3.7	33.3	2.6	5.8	51.3	1.6	-
	6年生	178	43.8	10.1	18.5	25.3	25.3	7.3	2.8	32.0	3.9	7.3	52.8	0.6	0.6
区 域 別	都 心	300	40.3	9.7	13.7	23.0	19.7	3.7	3.7	39.0	4.0	6.7	59.7	1.3	0.7
	中 部	217	35.5	8.8	20.3	30.0	23.0	5.5	6.9	30.0	3.2	8.3	50.2	0.9	-
	東部北	165	37.0	12.1	23.6	29.1	17.6	6.7	1.2	40.0	3.0	11.5	55.8	0.6	0.6
	東部南	83	36.1	7.2	26.5	37.3	24.1	6.0	2.4	38.6	2.4	4.8	51.8	-	-
	西部北	83	45.8	13.3	14.5	22.9	24.1	7.2	2.4	47.0	7.2	3.6	51.8	-	-
	西部南	138	44.9	8.0	19.6	29.7	30.4	5.1	4.3	23.9	2.2	8.7	44.2	2.2	1.4
	南 部	78	43.6	5.1	16.7	44.9	20.5	2.6	3.8	12.8	9.0	6.4	48.7	1.3	1.3

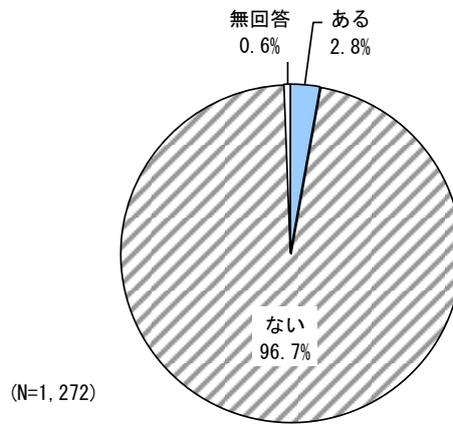
## 11 子どもの安全、防犯について

### (1) 不審者などの被害

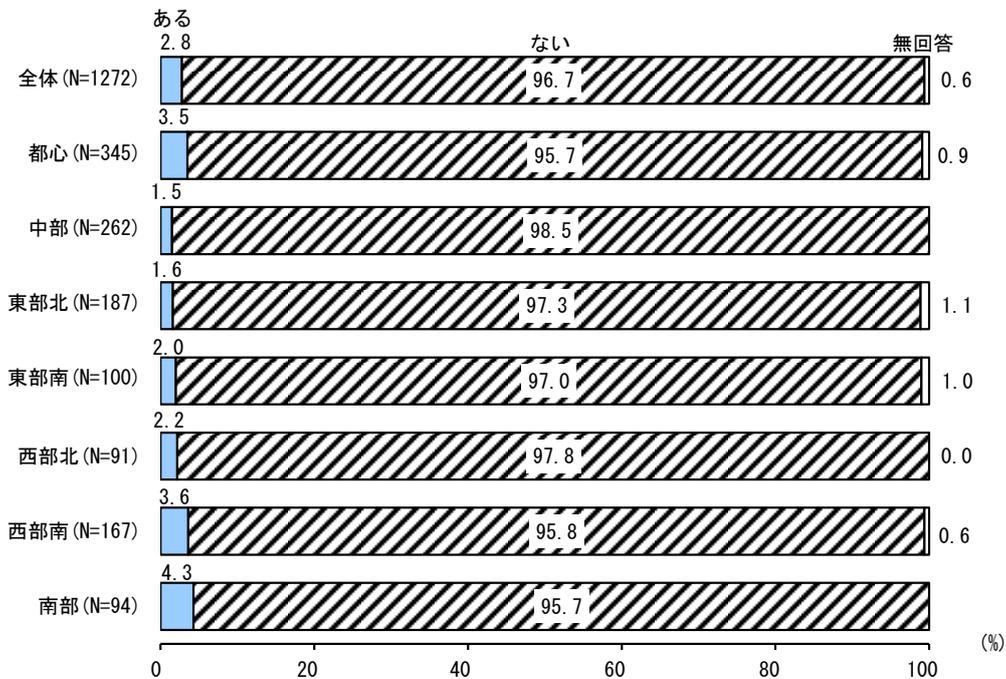
問25 あて名のお子さんが、最近1年間のなかで不審者などの被害にあったことがありますか。  
(○は1つ)

最近1年間のなかで不審者などの被害にあったことが、「ある」は2.8%となっている。  
区域別にみると、“南部”で「ある」が、4.3%と他区域より多くなっている。

【最近1年間のなかで不審者などの被害にあったこと】



【最近1年間のなかで不審者などの被害にあったこと (区域別)】

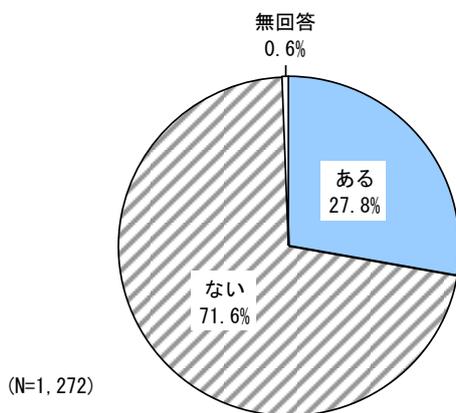


問26 あなたは、最近1年間の中で知り合いから不審者などの被害の話をきいたことがありますか。  
(○は1つ)

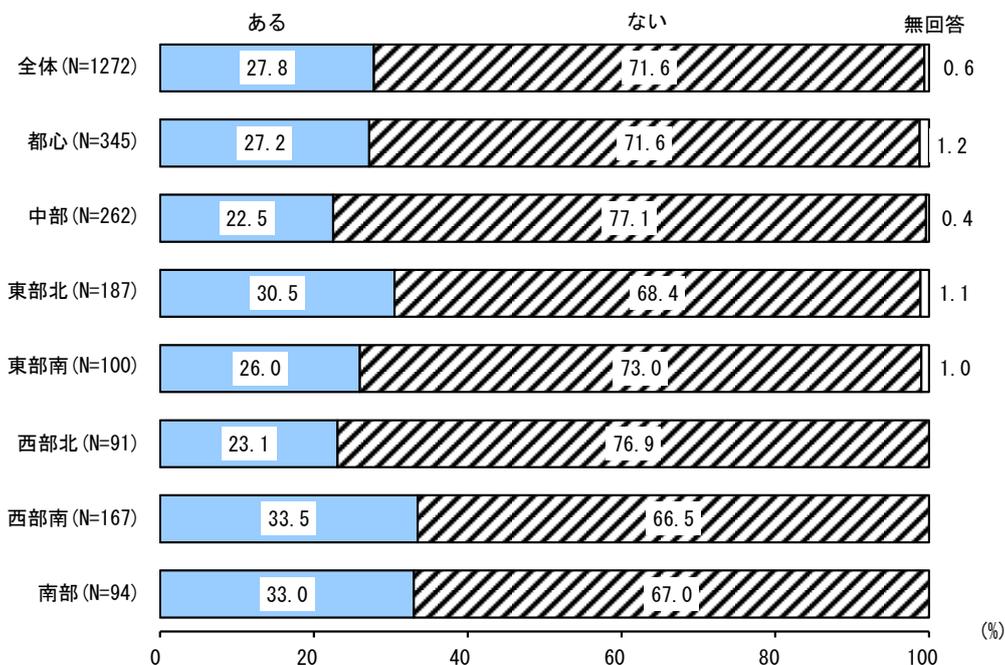
最近1年間の中で知り合いから不審者などの被害の話をきいたことが、「ある」は27.8%となっている。

区域別にみると、“西部南”(33.5%)、“南部”(33.0%)、“東部北”(30.5%)で3割以上となっている。

【最近1年間のなかで知り合いから不審者などの被害の話をきいたこと】



【最近1年間のなかで知り合いから不審者などの被害の話をきいたこと (区域別)】



### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

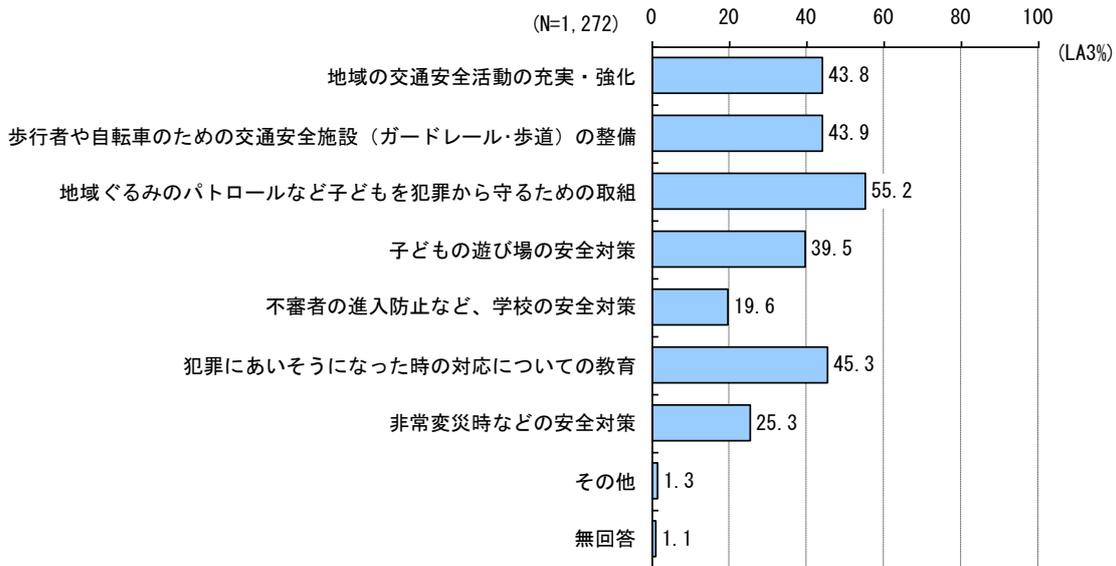
#### (2) 子どもの安全を守るために重要と思われること

問27 子どもの安全を守るために、特に重要と思われることは次のうちどれですか。(○は3つまで)

子どもの安全を守るために、特に重要と思われることでは、「地域ぐるみのパトロールなど子どもを犯罪から守るための取組」が55.2%で最も多く、次いで「犯罪にあいそうになった時の対応についての教育」45.3%となっている。

学年別にみると、すべての学年で「地域ぐるみのパトロールなど子どもを犯罪から守るための取組」が最も多くなっている。区域別でも同様の結果となっている。

【子どもの安全を守るために、特に重要と思われること】



【子どもの安全を守るために、特に重要と思われること（学年別・区域別）】

	全体 (N)	地域の交通安全活動の充実・強化	歩行者や自転車のための交通安全施設（ガードレール・歩道）の整備	地域ぐるみのパトロールなど子どもを犯罪から守るための取組	子どもの遊び場の安全対策	不審者の進入防止など、学校の安全対策	犯罪にあいそうになった時の対応についての教育	非常変災時などの安全対策	その他	無回答	
全体	1,272	43.8	43.9	55.2	39.5	19.6	45.3	25.3	1.3	1.1	
学年別	1年生	202	46.5	47.5	55.9	34.7	21.8	41.6	28.7	1.5	1.0
	2年生	203	41.9	42.9	56.7	43.8	20.7	48.3	24.1	0.5	1.0
	3年生	224	42.0	46.9	55.4	41.5	14.7	43.3	26.8	0.4	0.9
	4年生	215	40.5	47.0	53.5	36.7	18.1	49.3	28.4	0.9	1.4
	5年生	217	47.5	38.2	58.5	39.2	20.3	44.7	22.6	3.2	1.4
	6年生	208	43.8	41.3	51.0	40.9	22.6	44.7	21.6	1.0	1.0
区域別	都心	345	41.7	39.7	53.6	43.2	17.7	45.5	27.5	1.4	1.4
	中部	262	48.5	49.6	49.6	49.2	18.3	40.1	21.8	0.4	0.8
	東部北	187	41.7	39.6	59.9	36.4	20.3	44.9	28.3	1.6	2.1
	東部南	100	42.0	45.0	60.0	26.0	21.0	53.0	28.0	-	1.0
	西部北	91	51.6	42.9	57.1	30.8	20.9	48.4	27.5	2.2	-
	西部南	167	41.9	50.3	58.7	35.3	20.4	47.3	21.6	1.8	0.6
	南部	94	41.5	42.6	51.1	31.9	26.6	43.6	23.4	2.1	1.1

## 12 子どもの遊び場について

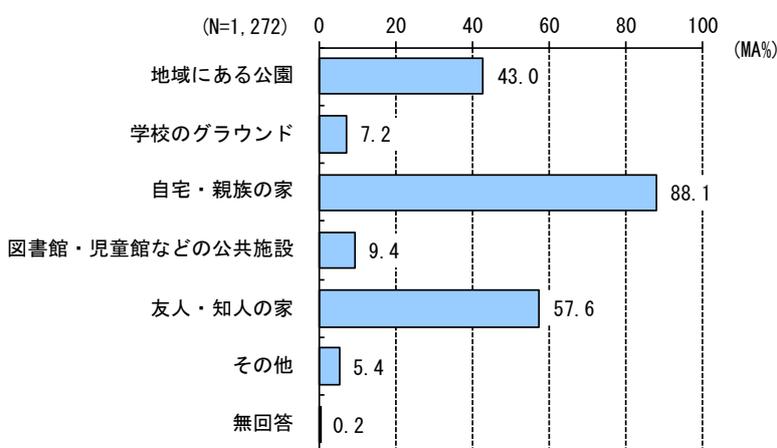
### (1) 主な遊び場

問28 お子さんの普段の主な遊び場はどこですか。(〇は3つまで)

子どもの主な遊び場では、「自宅・親族の家」が88.1%で最も多く、次いで「友人・知人の家」57.6%、「地域にある公園」43.0%となっている。

学年別・区域別にみると、「自宅・親族の家」が最も多く、次いで「友人・知人の家」となっている。

【子どもの普段の主な遊び場】



【子どもの普段の主な遊び場（学年別・区域別）】

		全体 (N)	地域にある公園	学校のグラウンド	自宅・親族の家	図書館・児童館などの公共施設	友人・知人の家	その他	無回答
全 体		1,272	43.0	7.2	88.1	9.4	57.6	5.4	0.2
学 年 別	1 年生	202	44.1	7.4	93.1	11.9	43.1	7.9	0.5
	2 年生	203	41.4	6.9	88.2	10.8	47.3	7.4	-
	3 年生	224	46.9	8.5	91.5	8.9	57.1	4.0	-
	4 年生	215	42.8	8.8	85.1	7.9	61.9	7.0	-
	5 年生	217	41.5	5.1	85.3	10.1	65.4	4.1	0.5
	6 年生	208	40.4	6.3	85.6	6.7	70.2	2.4	-
区 域 別	都 心	345	56.2	6.1	85.8	6.7	57.4	6.1	0.3
	中 部	262	48.5	4.6	87.8	8.8	60.3	6.9	-
	東 部 北	187	44.9	5.9	85.0	6.4	62.0	5.9	-
	東 部 南	100	18.0	9.0	91.0	7.0	49.0	4.0	1.0
	西 部 北	91	34.1	9.9	95.6	12.1	52.7	1.1	-
	西 部 南	167	24.6	11.4	89.2	13.8	57.5	7.2	-
	南 部	94	40.4	7.4	89.4	20.2	59.6	2.1	-

Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

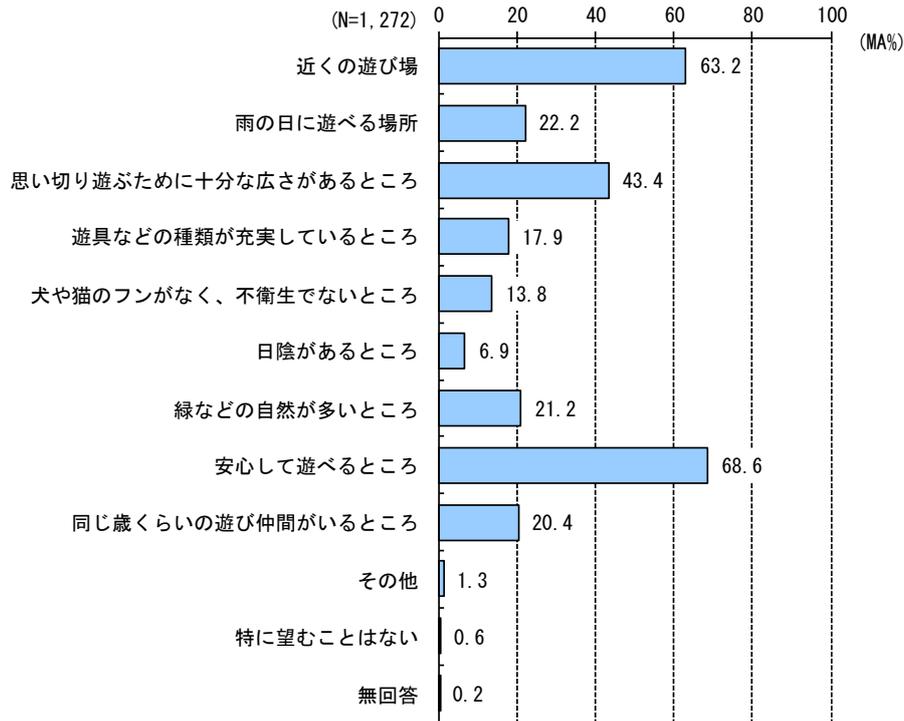
(2) 子どもの遊び場について望ましいと思うこと

問29 あなたが、子どもの遊び場について望ましいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

子どもの遊び場について望ましいと思うことでは、「安心して遊べる場所」が68.6%で最も多く、次いで「近くの遊び場」63.2%となっている。

学年別・区域別にみても、「安心して遊べる場所」、「近くの遊び場」が多くなっている。

【子どもの遊び場について望ましいと思うこと】



【子どもの遊び場について望ましいと思うこと (学年別・区域別)】

	全体 (N)	近くの遊び場	雨の日に遊べる場所	思い切り遊ぶために十分な広さがあるところ	遊具などの種類が充実しているところ	犬や猫のフンがなく、不衛生でないところ	日陰があるところ	緑などの自然が多いところ	安心して遊べる場所	同じ歳くらいの遊び仲間がいるところ	その他	特に望むことはない	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体	1,272	63.2	22.2	43.4	17.9	13.8	6.9	21.2	68.6	20.4	1.3	0.6	0.2
学年別	1年生	202	67.3	21.3	40.6	24.8	16.3	8.4	64.9	23.8	-	-	0.5
	2年生	203	63.5	21.7	46.8	24.1	16.3	8.9	61.6	20.2	1.0	0.5	-
	3年生	224	63.4	21.9	45.1	14.7	11.6	8.5	72.8	23.2	0.4	-	-
	4年生	215	65.1	24.7	42.3	15.3	12.6	6.0	70.7	17.2	2.8	0.5	-
	5年生	217	63.6	21.2	43.8	14.7	14.3	2.8	71.4	20.7	0.9	0.5	0.5
	6年生	208	55.8	22.6	41.8	14.9	11.5	7.2	69.7	17.8	1.4	1.9	-
区域別	都心	345	65.2	23.8	39.4	14.8	18.3	7.0	69.9	21.4	1.4	0.3	0.3
	中部	262	67.6	24.0	44.3	19.8	11.8	6.5	66.8	17.6	1.9	0.4	-
	東部北	187	59.4	22.5	43.9	20.3	12.8	7.0	67.9	18.7	1.1	1.1	-
	東部南	100	58.0	18.0	50.0	16.0	9.0	11.0	70.0	25.0	1.0	-	1.0
	西部北	91	62.6	23.1	39.6	27.5	11.0	6.6	64.8	25.3	-	-	-
	西部南	167	59.3	21.6	49.7	18.0	12.6	6.0	63.5	20.4	1.2	0.6	-
	南部	94	62.8	18.1	40.4	12.8	12.8	4.3	80.9	21.3	1.1	2.1	-

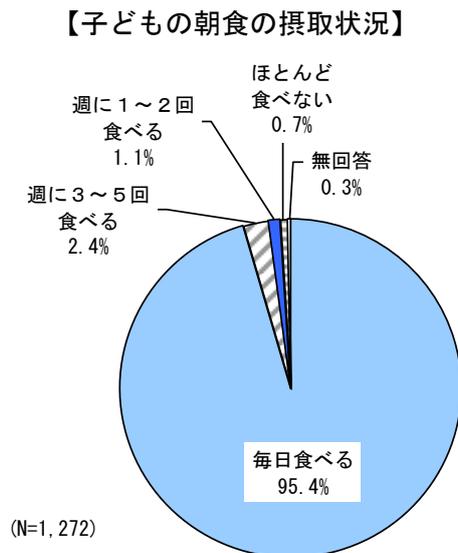
## 13 子どものふだんの様子

### (1) 食生活

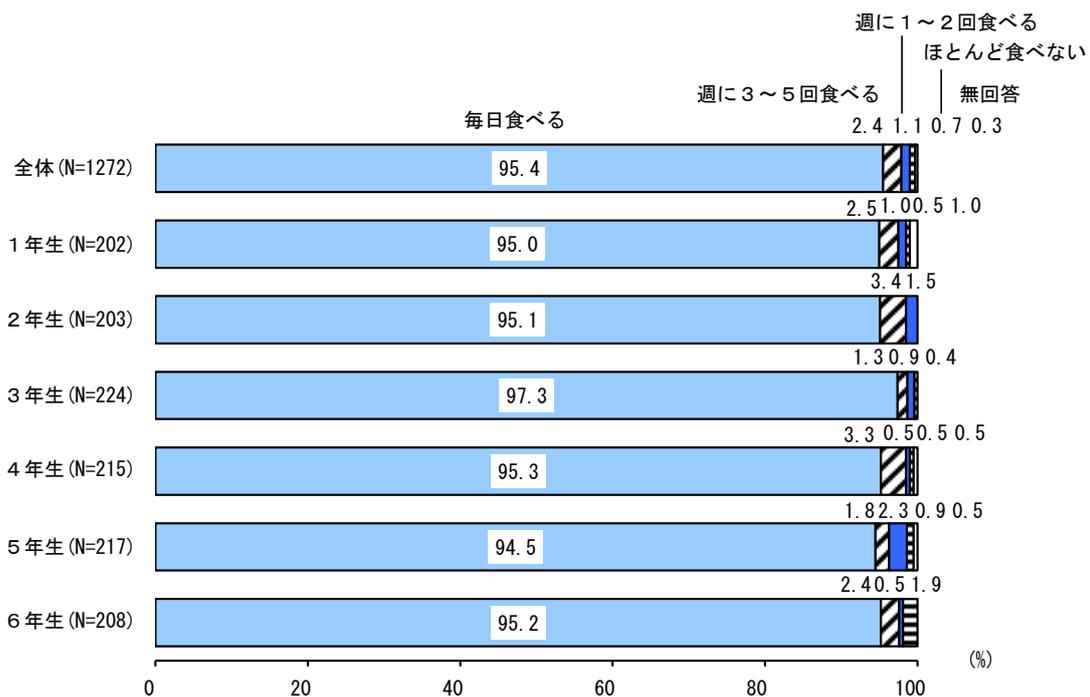
問30 お子さんは朝食をどのように食べていますか。(○は1つ)

子どもの朝食の摂取状況では、「毎日食べる」が95.4%で最も多く、「ほとんど食べない」は0.7%となっている。

学年別にみると、「毎日食べる」が最も多く9割以上を占めているが、6年生では「ほとんど食べない」が1.9%となっている。



【子どもの朝食の摂取状況 (学年別)】



### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

問30-1 問30で「2」～「4」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

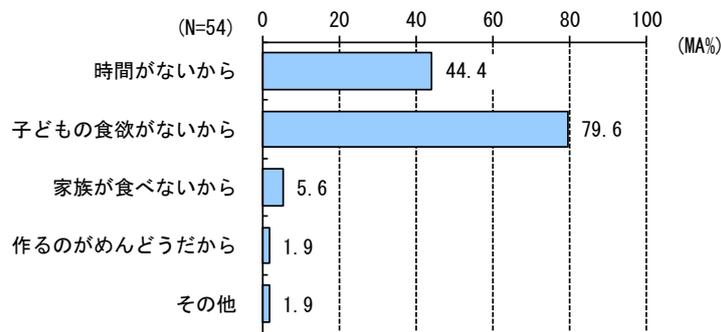
朝食を定期的に食べない理由はどれですか。(○は3つまで)

朝食を定期的に食べない理由では、「子どもの食欲がないから」が79.6%で最も多く、次いで「時間がないから」44.4%となっている。

学年別・就労タイプ別にみると、「子どもの食欲がないから」、「時間がないから」が多くなっている。

“フルタイム×フルタイム”では、「時間がないから」が高くなっている。

【朝食を定期的に食べない理由】



【朝食を定期的に食べない理由（学年別・就労タイプ別）】

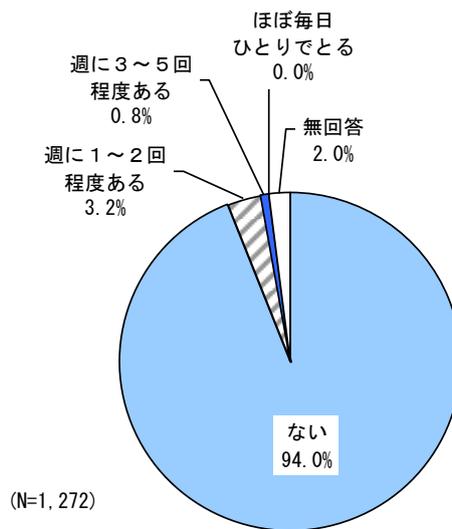
		全体 (N)	時間がないから	子どもの食欲がないから	家族が食べないから	作るのがめんどうだから	その他
全 体		54	44.4	79.6	5.6	1.9	1.9
学 年 別	1年生	8	25.0	100.0	12.5	-	-
	2年生	10	40.0	90.0	-	-	-
	3年生	6	33.3	83.3	-	-	-
	4年生	9	33.3	66.7	-	11.1	11.1
	5年生	11	63.6	90.9	9.1	-	-
	6年生	10	60.0	50.0	10.0	-	-
就 労 タ イ プ 別	フルタイム×フルタイム	9	77.8	66.7	-	-	-
	フルタイム×パート・アルバイト	15	33.3	93.3	6.7	-	6.7
	フルタイム×非就労	7	42.9	57.1	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-
	ひとり親・親はいない・無回答	23	39.1	82.6	8.7	4.3	-

問31 お子さんはひとりだけで夕食をとることがありますか。(○は1つ)

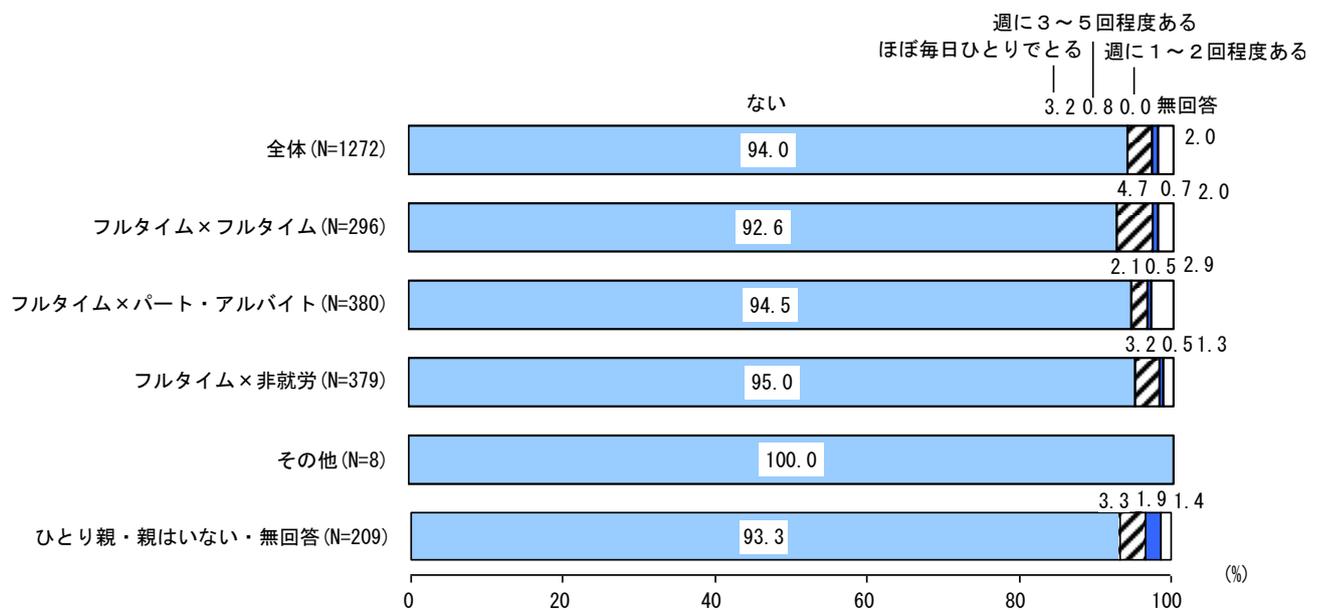
ひとりだけで夕食をとることが「ない」は94.0%で最も多くなっている。

就労タイプ別にみると、「ない」が最も多くなっているが、“フルタイム×フルタイム”で、「週に3～5回程度ある」が4.7%と多くなっている。

【ひとりだけで夕食をとること】



【ひとりだけで夕食をとること (就労タイプ別)】



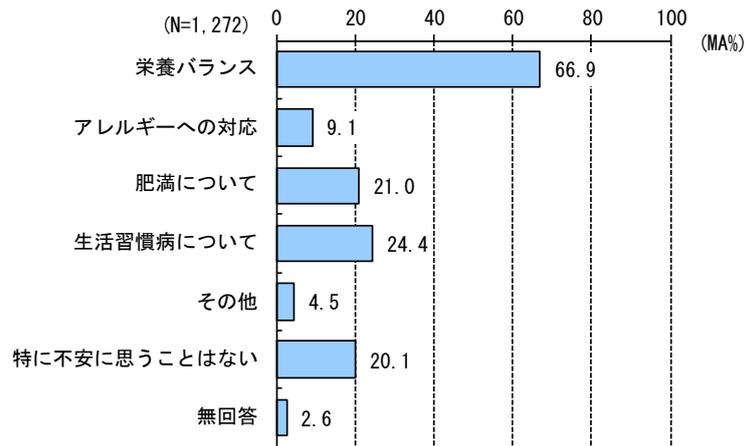
### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

問32 日ごろの食生活のなかで不安に思っていることはありますか。(〇は3つまで)

日ごろの食生活のなかで不安に思っていることでは、「栄養バランス」が66.9%で最も多く、次いで「生活習慣病について」24.4%となっている。

学年別にみると、全ての学年で、「栄養バランス」が最も多く、6割以上を占めている。

【日ごろの食生活のなかで不安に思っていること】



【日ごろの食生活のなかで不安に思っていること（学年別）】

		全体 (N)	栄養バランス	アレルギーへの対応	肥満について	生活習慣病について	その他	特に不安に思うことはない	無回答
全 体		1,272	66.9	9.1	21.0	24.4	4.5	20.1	2.6
学 年 別	1 年 生	202	72.8	10.4	17.8	21.8	4.0	18.8	1.5
	2 年 生	203	72.4	8.4	22.7	23.2	5.4	16.7	3.0
	3 年 生	224	62.5	7.6	22.8	22.3	4.0	21.0	2.7
	4 年 生	215	63.7	11.2	20.0	28.4	4.2	20.5	3.3
	5 年 生	217	60.8	8.3	18.9	21.2	3.7	26.3	3.2
	6 年 生	208	70.7	9.1	24.0	30.3	4.8	16.8	1.9

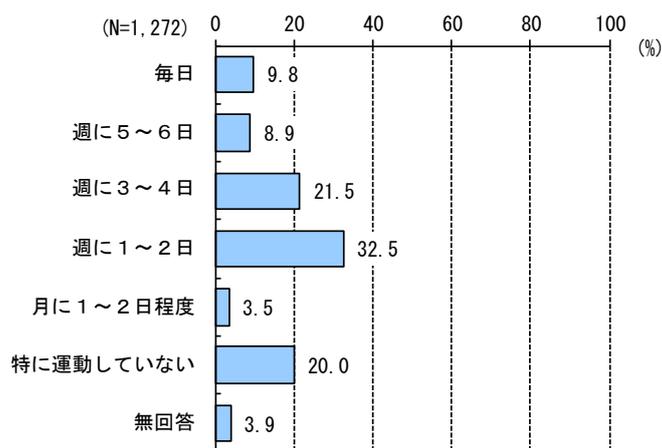
(2) 運動習慣

問33 お子さんは学校の授業以外で、1日30分以上の運動やスポーツをしていますか。(○は1つ)  
(外遊びや習い事なども含みます。)

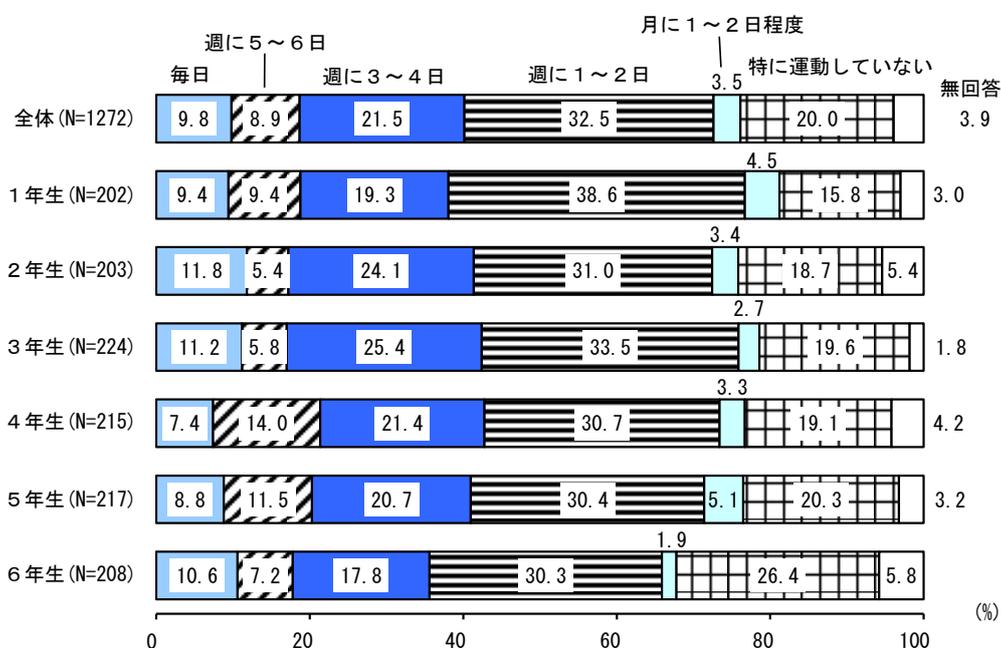
お子さんは学校の授業以外で、1日30分以上の運動やスポーツをしているかどうかでは、「週に1～2日」が32.5%で最も多く、次いで「週に3～4日」21.5%となっている。

学年別にみると、学年が上がるにつれて、「特に運動していない」が増加傾向となっている。

【子どもの運動習慣】



【子どもの運動習慣 (学年別)】

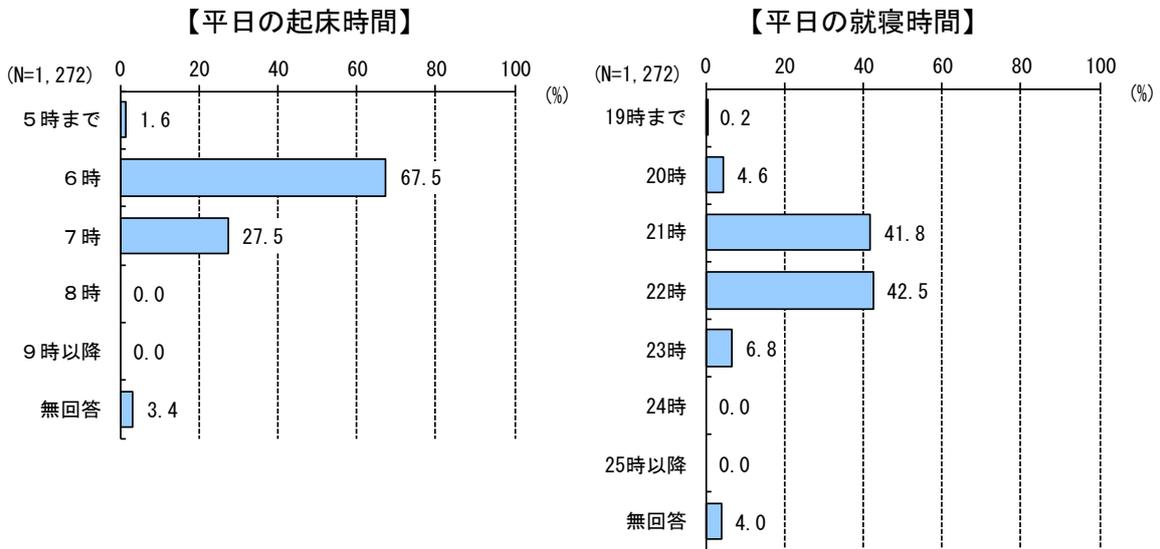


Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

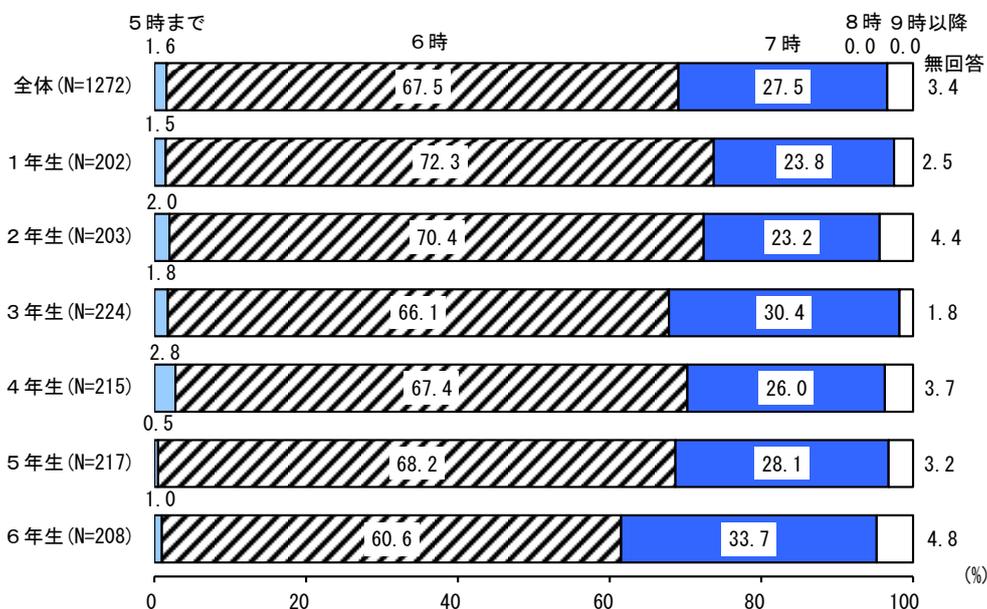
(3) 睡眠、休養

問34 お子さんは、平日は何時ごろに寝て、何時ごろに起きますか。

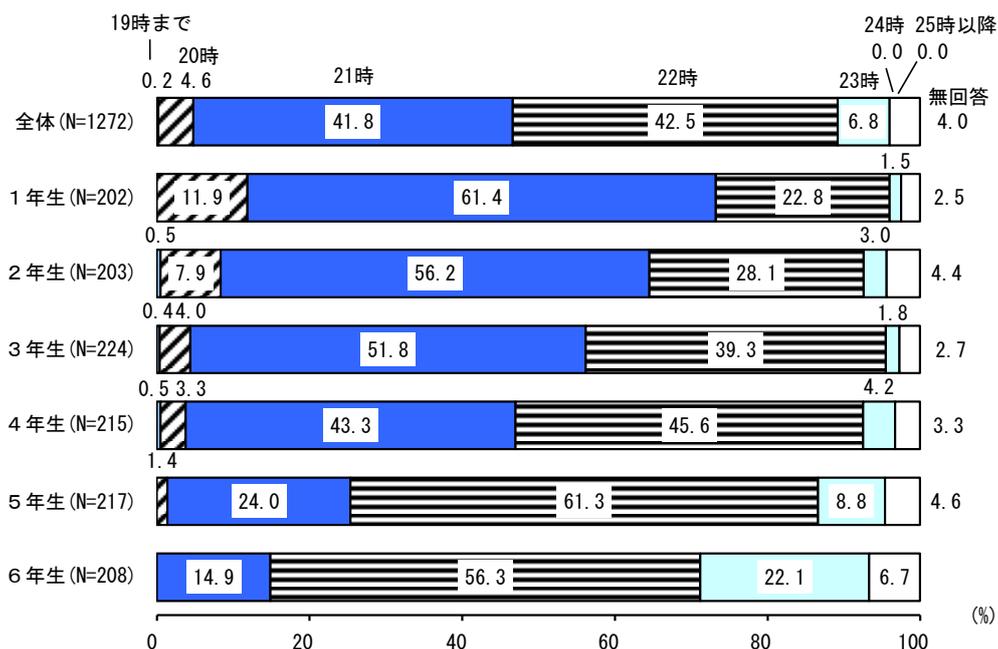
平日の起床時間では、「6時」が67.5%で最も多く、次いで「7時」27.5%となっている。  
 平日の就寝時間では、「22時」が42.5%で最も多く、次いで「21時」41.8%となっている。  
 学年別にみると、起床時間、就寝時間ともに、学年が上がるにつれて遅くなる傾向にある。



【平日の起床時間（学年別）】



【平日の就寝時間（学年別）】

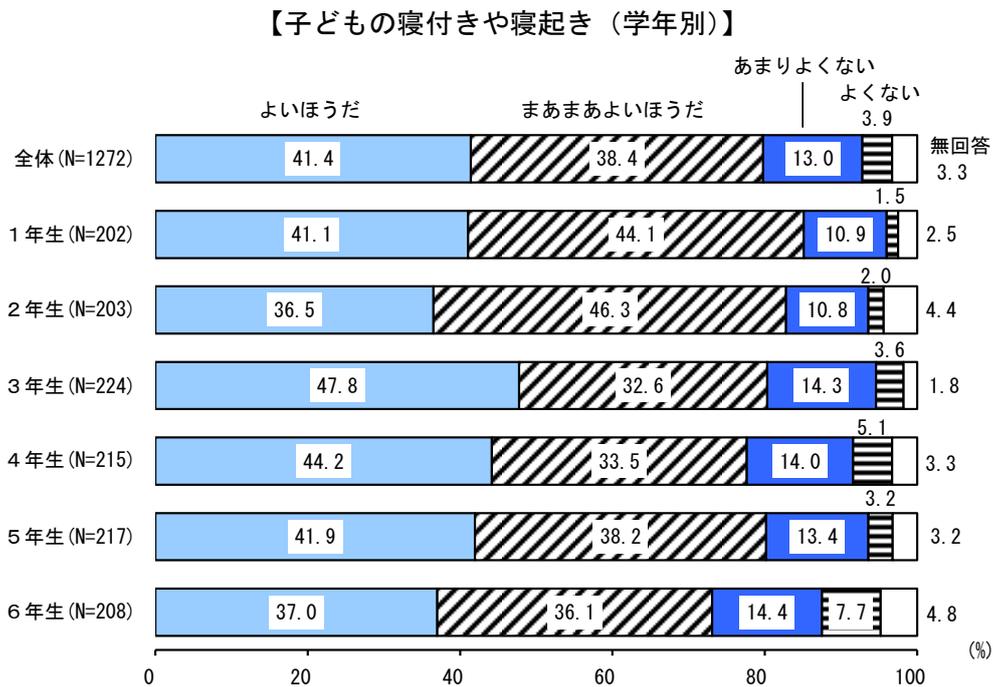
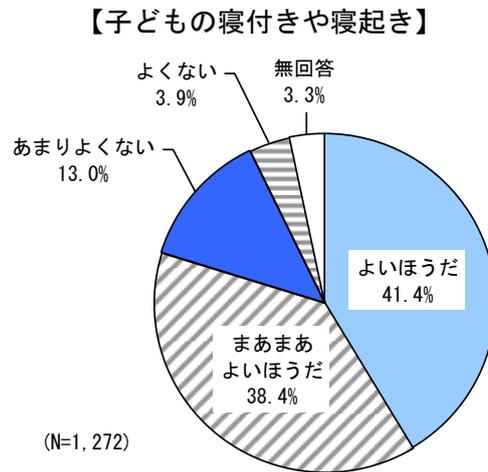


### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

問35 お子さんは、寝付きや寝起きが良い方ですか。(〇は1つ)

子どもの寝付きや寝起きに関しては、「よいほうだ」が41.4%で最も多く、次いで「まあまあよいほうだ」38.4%、「あまりよくない」13.0%となっている。

学年別にみると、3年生以降で、「よいほうだ」が減少傾向にある。

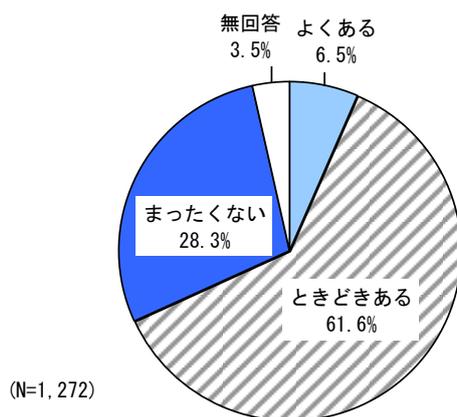


問36 お子さんは、イライラしたり、ふさぎこんだりすることがありますか。(○は1つ)

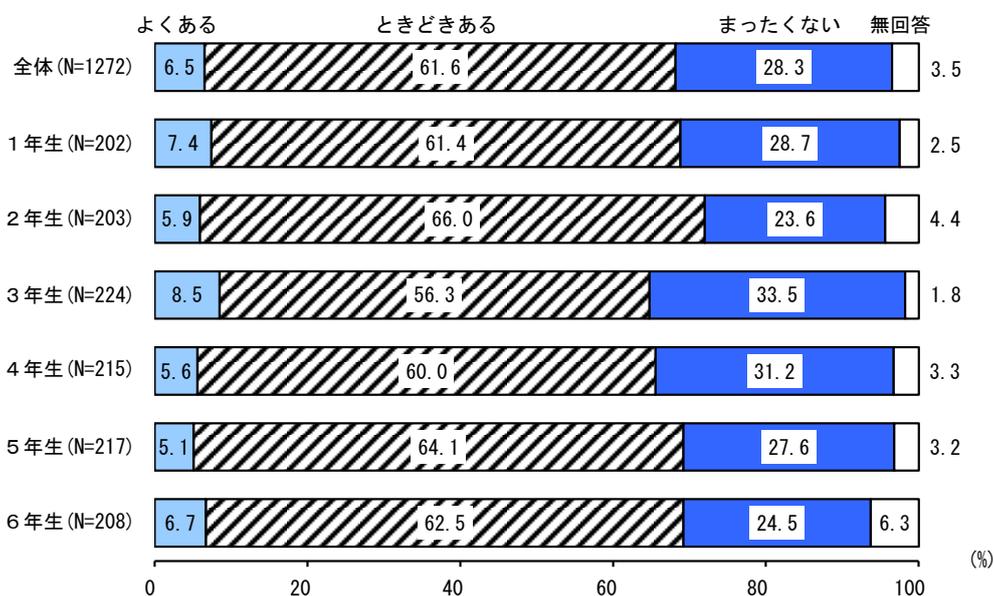
子どもがイライラしたり、ふさぎこんだりすることの有無では、「ときどきある」が61.6%で最も多く、次いで「まったくない」28.3%、「よくある」6.5%となっている。

学年別にみると、「よくある」が、3年生(8.5%)、1年生(7.4%)に多くなっている。

【子どもがイライラしたり、ふさぎこんだりすること】



【子どもがイライラしたり、ふさぎこんだりすること(学年別)】



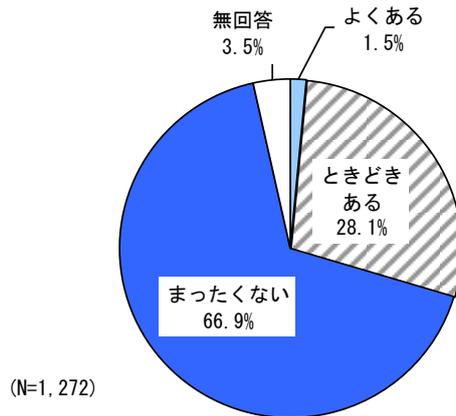
### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

問37 お子さんは、「学校へ行きたくない」とか「学校を休みたい」と言うことがありますか。  
(○は1つ)

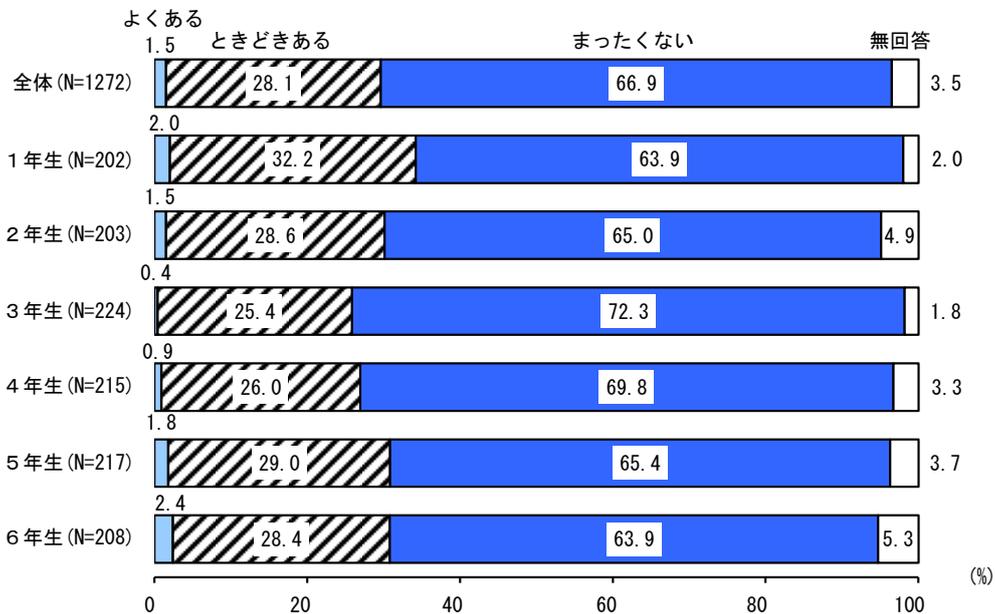
「学校へ行きたくない」とか「学校を休みたい」と言うことがあるかでは、「まったくない」66.9%が最も多く、次いで「ときどきある」28.1%となっている。

「よくある」「ときどきある」をあわせた割合が、1年生が34.2%と高くなっている。

【「学校へ行きたくない」と言うこと】



【「学校へ行きたくない」と言うこと (学年別)】

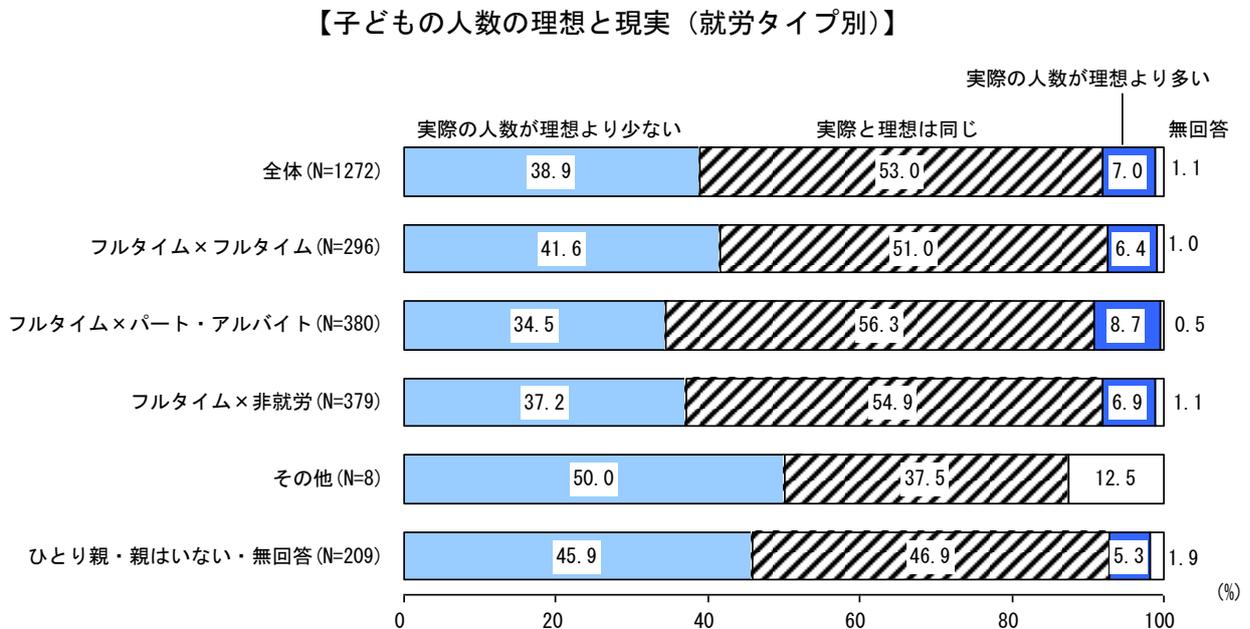
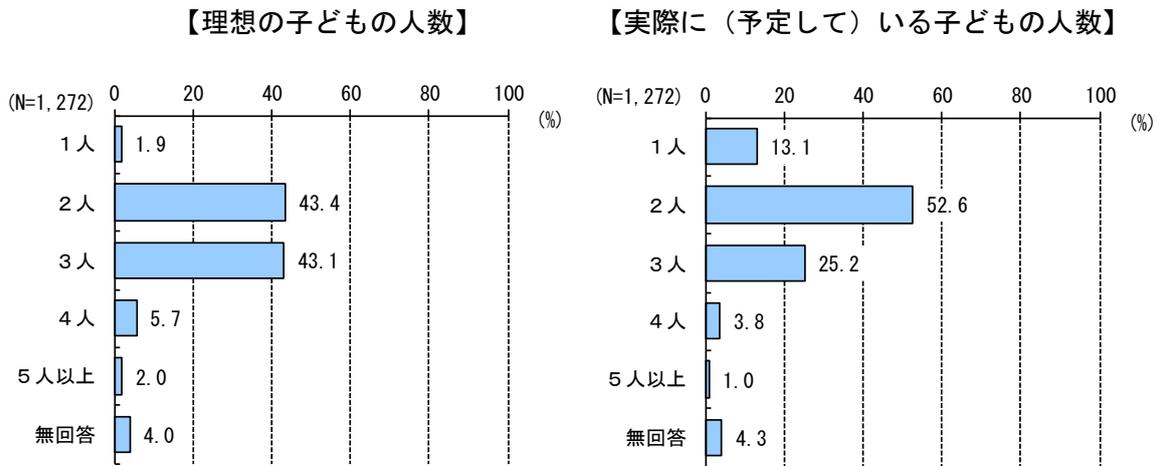


# 14 少子化問題、施策全般について

## (1) 子どもの人数

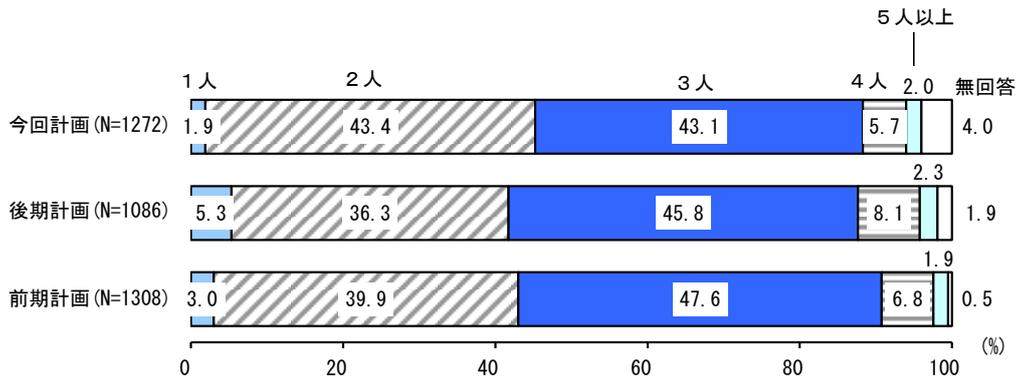
問38 あなたが、欲しいと思っている子どもは何人ですか。また、実際に（予定して）いる子どもは何人ですか。（それぞれに○を1つ）

理想の子どもの人数では、「2人」が43.4%で最も多く、次いで「3人」43.1%となっている。  
 実際にいる子どもの人数では、「2人」が52.6%で最も多く、次いで「3人」25.2%となっている。  
 子どもの人数の理想と現実を就労タイプ別にみると、“フルタイム×フルタイム”で「実際の人数が理想より少ない」が41.6%と高くなっている。

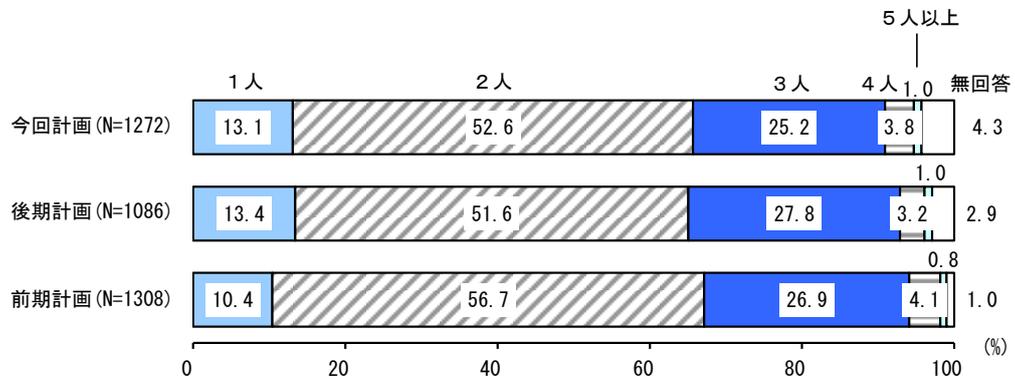


Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

【理想の子どもの人数（前回調査との比較）】



【実際に（予定して）いる子どもの人数（前回調査との比較）】

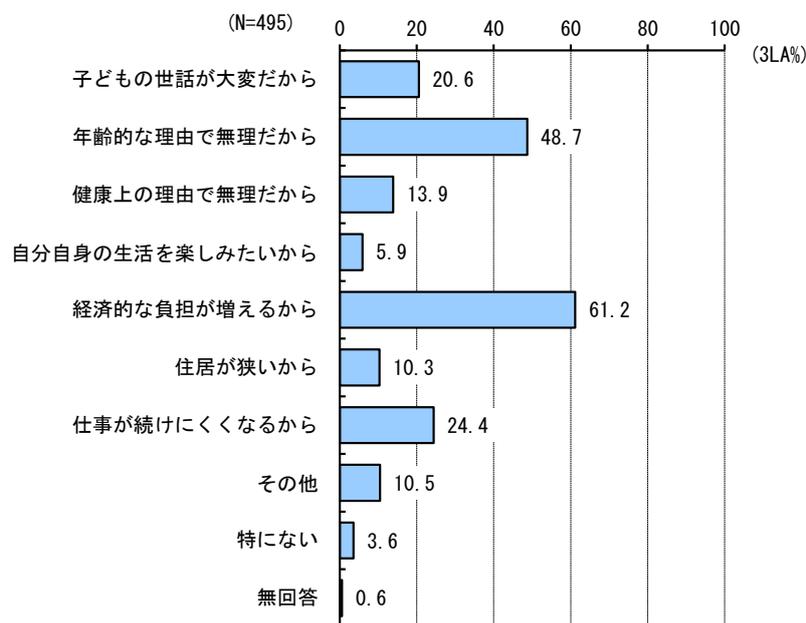


問39 問38で理想とする子どもの人数よりも、実際に（予定して）いる子どもの人数が少ない方にうかがいます。その理由は何ですか。（〇は3つまで）

理想とする子どもの人数よりも実際に（予定して）いる子どもの人数が少ない理由では、「経済的な負担が増えるから」が61.2%で最も多く、次いで「年齢的な理由で無理だから」48.7%となっている。

就労タイプ別にみると、“フルタイム×フルタイム”以外では、「経済的な負担が増えるから」が最も多くなっている。

【理想とする子どもの人数よりも実際に（予定して）いる子どもの人数が少ない理由】



【理想とする子どもの人数よりも実際に（予定して）いる子どもの人数が少ない理由（就労タイプ別）】

	全体 (N)	子どもの世が大変だから	年齢的な理由で無理だから	健康上の理由で無理だから	自分自身の生活を楽しみたいから	経済的な負担が増えるから	住居が狭いから	仕事が続けにくくなるから	その他	特にない	無回答
	495	20.6	48.7	13.9	5.9	61.2	10.3	24.4	10.5	3.6	0.6
フルタイム×フルタイム	123	21.1	58.5	10.6	3.3	56.9	8.1	43.1	6.5	1.6	1.6
フルタイム×パート・アルバイト	131	20.6	49.6	16.0	8.4	67.2	12.2	25.2	3.8	3.8	-
フルタイム×非就労	141	25.5	49.6	19.1	5.7	62.4	10.6	9.2	8.5	3.5	-
その他	4	-	25.0	-	-	100.0	25.0	25.0	-	-	-
ひとり親・親はいない・無回答	96	13.5	34.4	8.3	6.3	55.2	9.4	21.9	28.1	6.3	1.0

### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

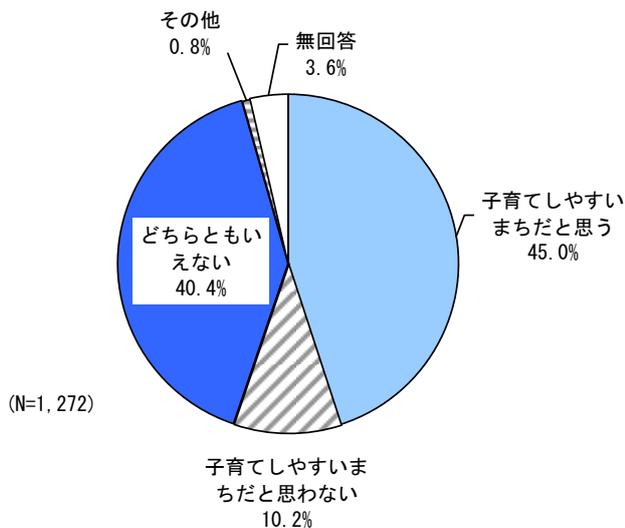
#### (2) 高松市における子育てのしやすさ評価

問40 高松市は子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

高松市は子育てしやすいまちだと思うかどうかでは、「子育てしやすいまちだと思う」が45.0%で最も多く、次いで「どちらともいえない」40.4%となっている。前回調査時と比べると「子育てしやすいまちだと思う」の割合が1.4%上昇しているものの、設定していた目標値49%には至っていない。

区域別にみると、「子育てしやすいまちだと思う」は“都心”が51.0%で最も多く、“東部南”が35.0%で最も少なくなっている。

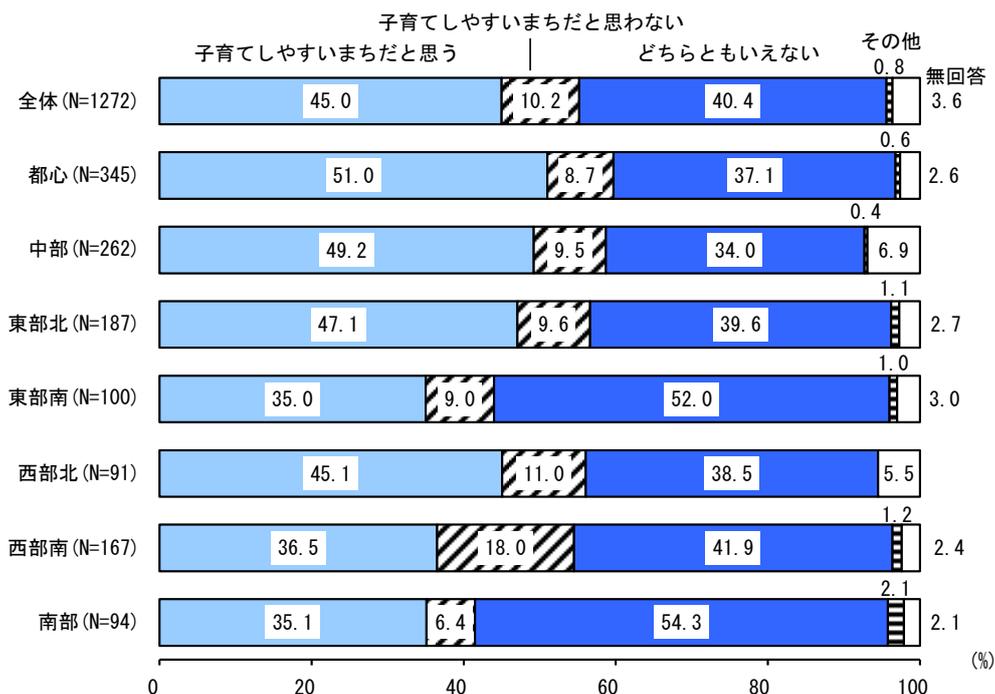
【高松市は子育てしやすいまちと思うかどうか】



【前回調査との対比】

	子育てしやすいまちだと思う
前回調査	43.6%
前回目標値	49%
今回調査	45.0%

【高松市は子育てしやすいまちと思うかどうか（区域別）】



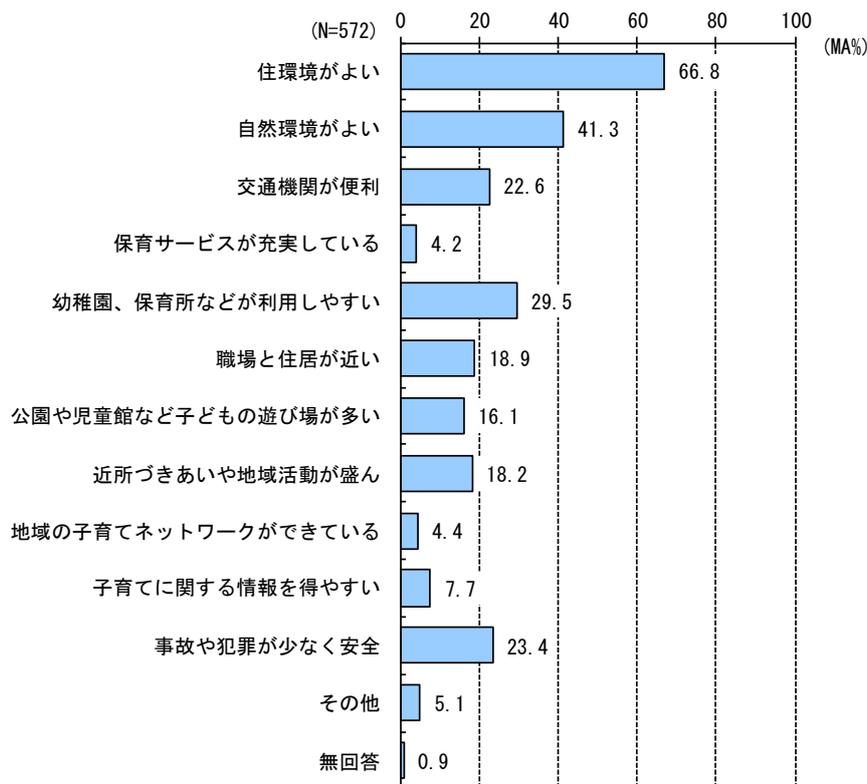
問40-1 問40で「1」に○をつけた方にうかがいます。

子育てしやすいまちだと思える理由は何ですか。(○はいくつでも)

子育てしやすいまちだと思える理由では、「住環境がよい」が66.8%で最も多く、次いで「自然環境が良い」41.3%となっている。

区域別にみると、“西部北”、“南部”が「自然環境が良い」、その他の区域では「住環境がよい」が最も多くなっている。

【子育てしやすいまちだと思える理由】



【子育てしやすいまちだと思える理由（区域別）】

		全体 (N)	住環境がよい	自然環境がよい	交通機関が便利	保育サービスが充実している	幼稚園、保育所などが利用しやすい	職場と住居が近い	公園や児童館など子どもの遊び場が多い	近所づきあいや地域活動が盛ん	地域の子育てネットワークができている	子育てに関する情報を得やすい	事故や犯罪が少なく安全	その他	無回答
全体		572	66.8	41.3	22.6	4.2	29.5	18.9	16.1	18.2	4.4	7.7	23.4	5.1	0.9
区域別	都心	176	74.4	31.8	33.0	4.5	23.3	23.3	18.2	22.2	6.8	8.0	22.7	7.4	0.6
	中部	129	73.6	38.8	17.8	3.1	27.1	14.0	18.6	8.5	1.6	7.8	21.7	6.2	0.8
	東部北	88	67.0	54.5	25.0	5.7	39.8	17.0	9.1	21.6	5.7	11.4	14.8	1.1	1.1
	東部南	35	54.3	37.1	22.9	-	34.3	22.9	17.1	20.0	2.9	8.6	45.7	2.9	2.9
	西部北	41	43.9	58.5	14.6	2.4	34.1	24.4	17.1	26.8	2.4	9.8	29.3	7.3	-
	西部南	61	67.2	41.0	13.1	3.3	32.8	16.4	14.8	19.7	3.3	3.3	23.0	1.6	-
	南部	33	45.5	51.5	6.1	12.1	24.2	9.1	12.1	15.2	3.0	3.0	27.3	3.0	-

### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

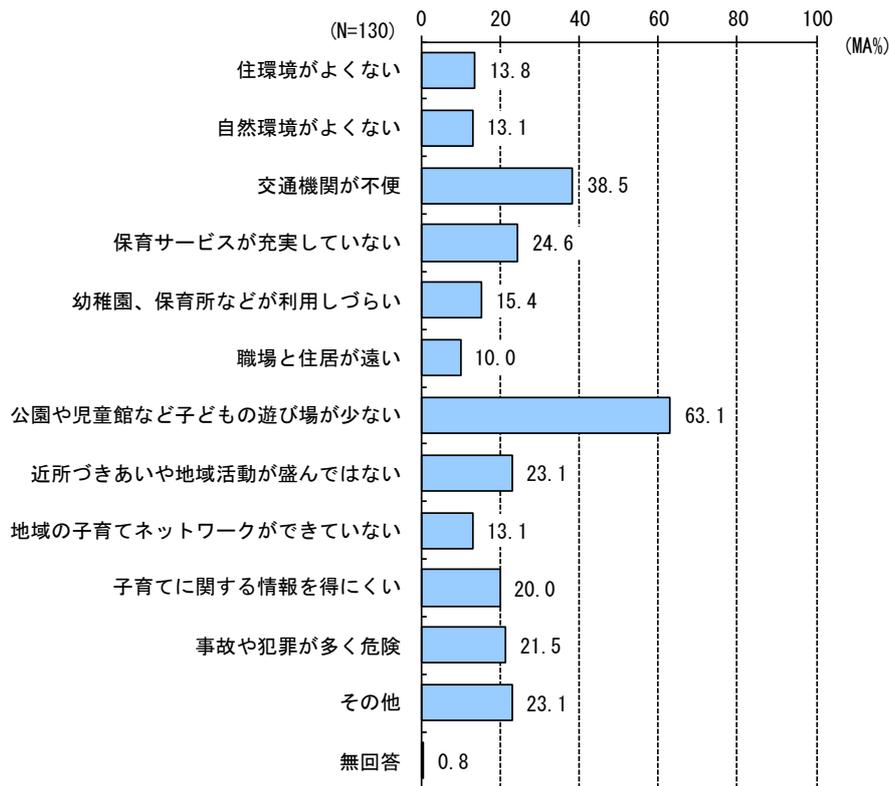
問40-2 問40で「2」に○をつけた方にうかがいます。

子育てしやすいまちだと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

子育てしやすいまちだと思わない理由では、「公園や児童館など子どもの遊び場が少ない」が63.1%で最も多く、次いで「交通機関が不便」38.5%となっている。

区域別にみると、“南部”では「保育サービスが充実していない」、その他の区域では「公園や児童館など子どもの遊び場が少ない」が最も多くなっている。

【子育てしやすいまちだと思わない理由】



【子育てしやすいまちだと思わない理由（区域別）】

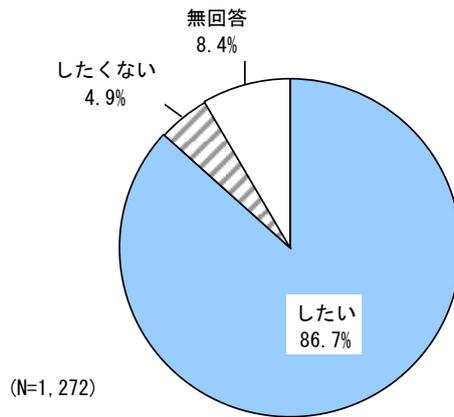
	全体(N)	住環境がよくない	自然環境がよくない	交通機関が不便	保育サービスが充実していない	幼稚園、保育所などが利用しづらい	職場と住居が遠い	公園や児童館など子どもの遊び場が少ない	近所づきあいや地域活動が盛んではない	地域の子育てネットワークができていない	子育てに関する情報を得にくい	事故や犯罪が多く危険	その他	無回答	
全体	130	13.8	13.1	38.5	24.6	15.4	10.0	63.1	23.1	13.1	20.0	21.5	23.1	0.8	
区域別	都心	30	23.3	26.7	16.7	23.3	6.7	6.7	63.3	16.7	6.7	23.3	30.0	26.7	-
	中部	25	4.0	4.0	40.0	12.0	20.0	4.0	52.0	44.0	16.0	4.0	28.0	16.0	-
	東部北	18	22.2	11.1	44.4	27.8	27.8	27.8	66.7	11.1	22.2	38.9	22.2	27.8	5.6
	東部南	9	22.2	22.2	44.4	22.2	22.2	11.1	88.9	11.1	-	11.1	33.3	22.2	-
	西部北	10	20.0	20.0	40.0	10.0	-	10.0	50.0	40.0	10.0	20.0	10.0	30.0	-
	西部南	30	6.7	6.7	50.0	30.0	6.7	3.3	66.7	23.3	16.7	23.3	10.0	16.7	-
	南部	6	-	-	50.0	83.3	50.0	33.3	66.7	-	16.7	16.7	16.7	50.0	-

問41 今後も高松市で子育てをしていきたいですか。(○は1つ)  
「2」に○をつけた方は理由をご記入ください。

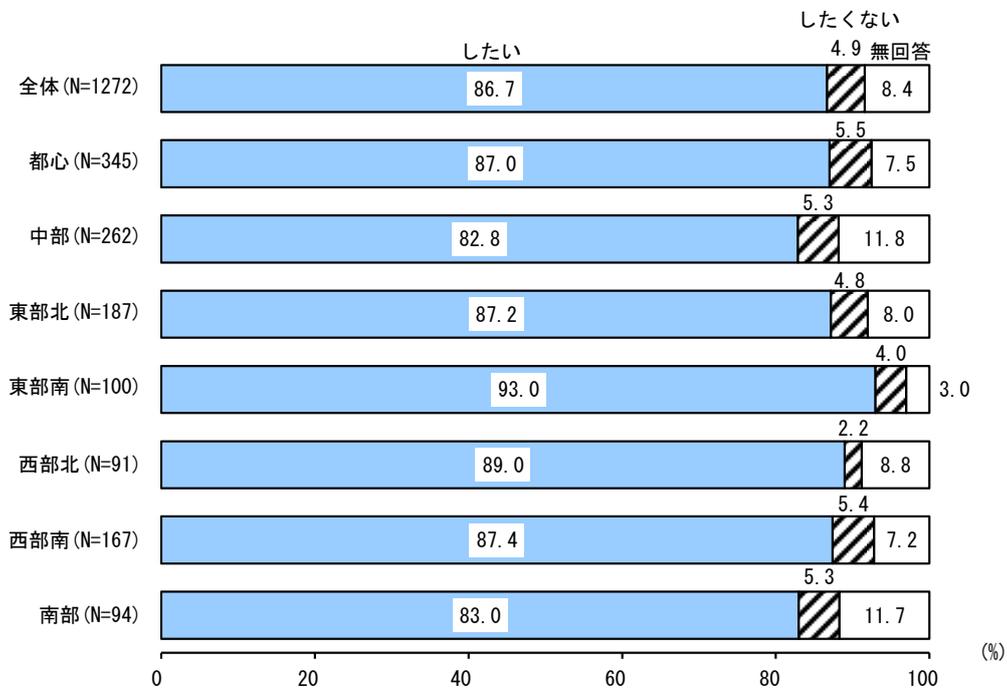
今後も高松市で子育てをしたいかどうかでは、「したい」が86.7%、「したくない」が4.9%となっている。

区域別にみると、「したくない」「無回答」をあわせた割合は、「中部」、「南部」が他の区域より多くなっている。

【今後も高松市で子育てをしたいかどうか】



【今後も高松市で子育てをしたいかどうか (区域別)】



### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

#### (3) 高松市への期待

問42 子どもが健やかに生まれ育つ環境をつくるために、今後、高松市に対してどのようなことを期待しますか。(〇は3つまで)

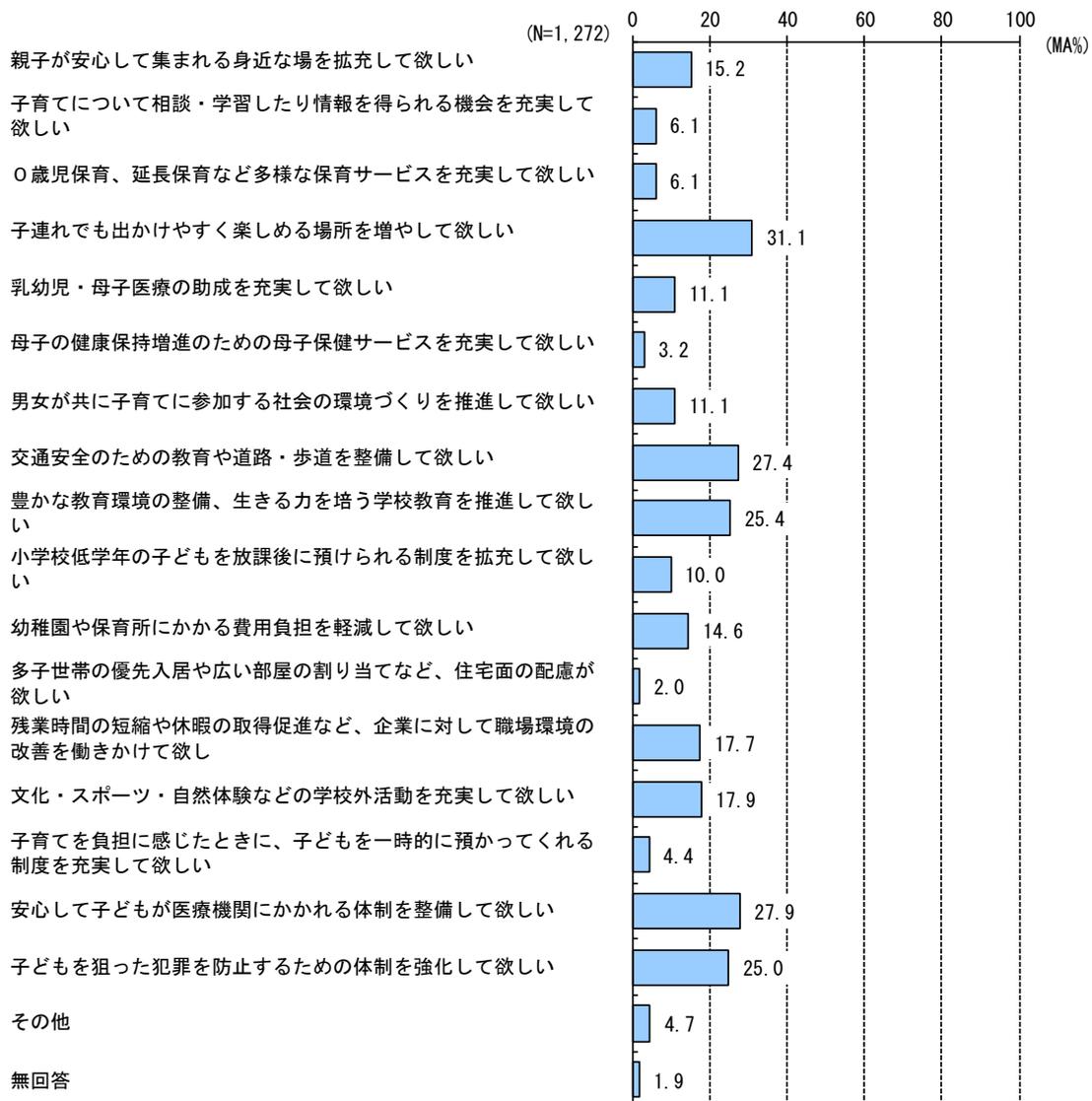
高松市に期待することでは、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」が31.1%で最も多く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備して欲しい」27.9%、「交通安全のための教育や道路・歩道を整備して欲しい」27.4%となっている。

学年別では、低学年で、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」が最も多く、高学年では、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備して欲しい」「子どもを狙った犯罪を防止するための体制を強化して欲しい」が多くなっている。

区域別では、“西部北”、“西部南”、“南部”で、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備して欲しい」が多くなっている。

前回調査との比較では、「親子が安心して集まれる身近な場を拡充して欲しい」、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」、「男女が共に子育てに参加する社会の環境づくりを推進して欲しい」などが前回調査結果より増加となっている。

#### 【今後、高松市に期待すること】



【今後、高松市に期待すること（学年別・区域別）】

	全 体	15.2	6.1	6.1	31.1	11.1	3.2	11.1	27.4	25.4	10.0	14.6	2.0	17.7	17.9	4.4	27.9	25.0	4.7	1.9	
学年別	1年生	202	17.3	3.5	5.9	36.6	17.3	2.0	11.4	32.2	23.3	15.8	16.3	1.5	16.8	13.9	5.0	29.2	19.8	7.4	1.0
	2年生	203	16.7	7.9	5.4	36.0	12.8	3.9	8.4	26.1	25.1	13.3	17.7	1.0	17.7	16.7	6.4	26.1	19.7	2.0	1.5
	3年生	224	13.8	5.4	6.7	37.9	11.6	3.1	10.7	30.4	22.3	12.1	16.1	2.7	16.1	14.7	4.5	30.8	24.6	4.9	0.9
	4年生	215	14.9	4.7	3.7	25.6	9.8	4.2	14.4	27.4	27.9	7.0	11.6	2.3	18.1	21.4	2.3	29.3	30.2	4.7	2.3
	5年生	217	12.4	6.5	8.8	24.4	11.5	2.8	13.8	23.0	25.8	7.8	12.4	2.3	21.7	21.2	4.6	23.0	32.3	4.6	3.7
	6年生	208	15.9	9.1	6.3	26.0	3.8	3.4	7.7	24.5	27.9	3.8	13.9	1.9	15.9	19.7	3.8	29.3	23.1	4.8	1.9
区域別	都心	345	13.9	4.6	9.0	31.9	10.4	2.9	10.1	26.4	25.8	9.6	11.0	1.2	15.4	23.2	2.9	29.0	29.6	3.5	2.3
	中部	262	13.7	6.9	3.8	29.0	11.1	3.1	9.2	34.4	24.8	13.7	14.1	1.9	19.8	14.5	7.3	20.6	21.0	7.3	1.5
	東部北	187	13.9	4.8	8.6	26.7	14.4	3.7	11.2	25.1	27.3	9.6	19.8	4.3	20.9	17.1	5.3	24.6	21.9	2.7	3.2
	東部南	100	18.0	10.0	6.0	36.0	10.0	4.0	15.0	18.0	28.0	5.0	17.0	3.0	14.0	21.0	4.0	28.0	18.0	7.0	1.0
	西部北	91	19.8	5.5	2.2	36.3	7.7	2.2	14.3	23.1	18.7	8.8	16.5	1.1	15.4	22.0	5.5	37.4	23.1	5.5	2.2
	西部南	167	16.8	7.8	4.2	29.9	12.0	4.2	15.0	28.1	26.9	10.8	14.4	1.2	17.4	11.4	3.0	30.5	28.7	4.2	1.2
南部	94	13.8	5.3	6.4	35.1	9.6	3.2	5.3	28.7	23.4	6.4	14.9	1.1	19.1	17.0	2.1	36.2	27.7	5.3	1.1	

【今後、高松市に期待すること（前回調査との比較）】

	全 体	15.2	6.1	6.1	31.1	11.1	3.2	11.1	27.4	25.4	10.0	14.6	2.0	17.7	17.9	4.4	27.9	25.0	4.7	1.9
今回計画	1,272	15.2	6.1	6.1	31.1	11.1	3.2	11.1	27.4	25.4	10.0	14.6	2.0	17.7	17.9	4.4	27.9	25.0	4.7	1.9
後期計画	1,086	13.4	5.8	6.4	26.1	12.0	2.5	9.4	21.0	21.5	10.5	17.6	1.7	13.0	16.5	4.6	29.0	30.3	3.2	9.2
前期計画	1,308	10.4	8.3	3.8	28.6	10.2	3.2	10.9	32.5	26.3	11.2	13.1	2.8	11.3	17.6	8.5	23.5	60.6	6.7	0.6

### Ⅲ 小学生の保護者調査の結果

## IV. 中学生・高校生調査の結果



# 1 属性

## (1) 性別

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

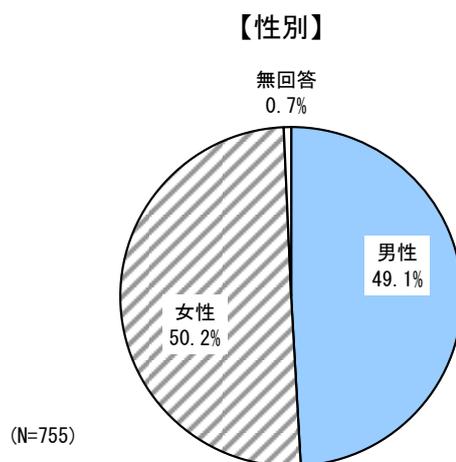
### ■全体

性別については、「男性」49.1%、「女性」50.2%となっている。

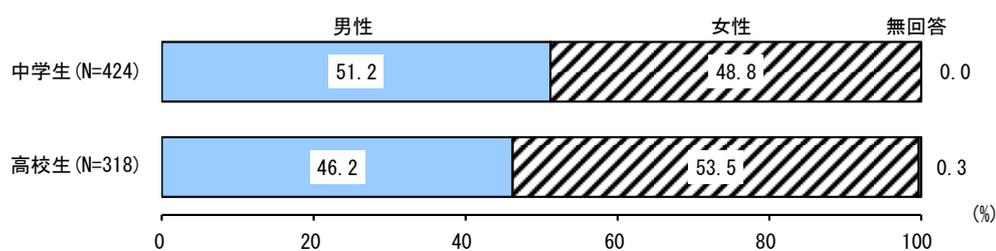
### ■中学生・高校生別

中学生では、「男性」51.2%、「女性」48.8%となっている。

高校生では、「男性」46.2%、「女性」53.5%となっている。



【性別（中学生・高校生別）】



IV 中学生・高校生調査の結果

(2) 学年

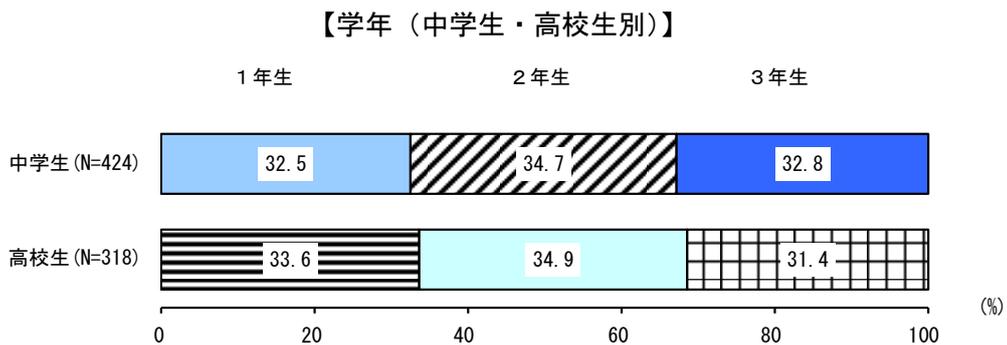
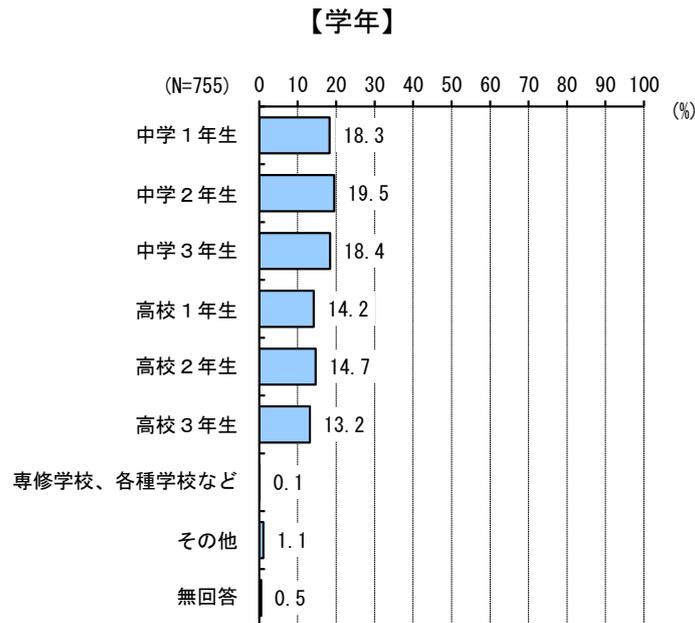
問2 あなたの学年はどれですか。(○は1つ)

■全体

学年については、「中学2年生」が19.5%と最も多く、次いで「中学3年生」18.4%、「中学1年生」18.3%となっている。

■中学生・高校生別

中学生・高校生ともに「2年生」が若干多いが、概ね学年で均等になっている。



(3) 同居・近居の状況

問3 同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてうかがいます。  
 (〇はいくつでも)

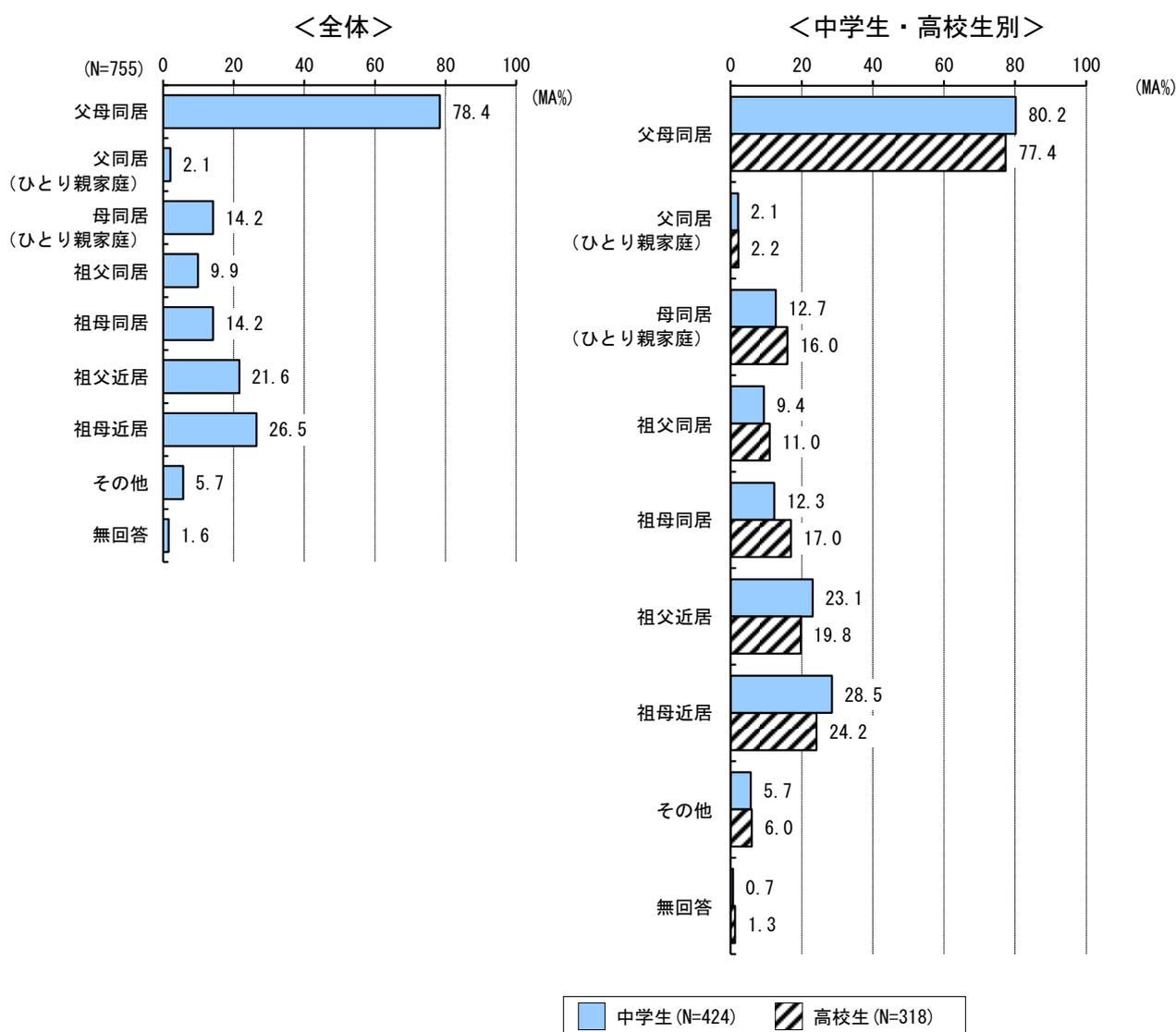
■全体

同居・近居の状況については、「父母同居」が78.4%で最も多く、次いで「祖母近居」26.5%、「祖父近居」21.6%となっている。

■中学生・高校生別

中学生・高校生ともに、「父母同居」が最も多く、次いで「祖母近居」となっており、全体と同様の傾向となっている。

【同居・近居の状況】



IV 中学生・高校生調査の結果

(4) 居住地域

問4 あなたのお住まいはどの地区(小学校区)ですか。(○は1つ)

■全体

人口が最も多い「都心」が29.5%と最も多くなっている。

【居住地域(小学校区・区域)】

区域	小学校区	件数	区域	小学校区	件数	区域	
都心	新番丁	25	223 (29.5%)	東部南	前田	5	59 (7.8%)
	亀阜	31			川添	13	
	栗林	46			川島	19	
	花園	16			十河	15	
	高松第一	28			東植田	2	
	木太	40			植田	5	
	女木	-		西部北	香西	21	59 (7.8%)
	男木	-			弦打	19	
	中央	17			鬼無	12	
	木太南	10			下笠居	7	
	中部	木太北部		10	146 (19.3%)	西部南	川岡
鶴尾		4	円座	21			
太田		41	檀紙	10			
林		16	国分寺北部	24			
三溪		6	国分寺南部	19			
仏生山		18	南部	上西	-	60 (7.9%)	
一宮		25		塩江	4		
多肥		27		安原	2		
太田南	9	大野	12				
東部北	古高松	33	120 (15.9%)	浅野	13		60 (7.9%)
	屋島	27		川東	21		
	古高松南	7		香南	8		
	屋島東	1		無回答	7		
	屋島西	15					
	牟礼	18					
	牟礼北	8					
	牟礼南	5					
	庵治	6					
	庵治第二	-					
				合計	755		

## 2 ふだんの生活について

### (1) 睡眠・休養

問5 あなたは、平日は何時ごろに寝て、何時ごろに起きますか。

#### ■全体

就寝時刻については、「24時」35.8%と「23時」35.4%が多くなっている。24時以降はあわせると47.9%とほぼ5割を占めている。

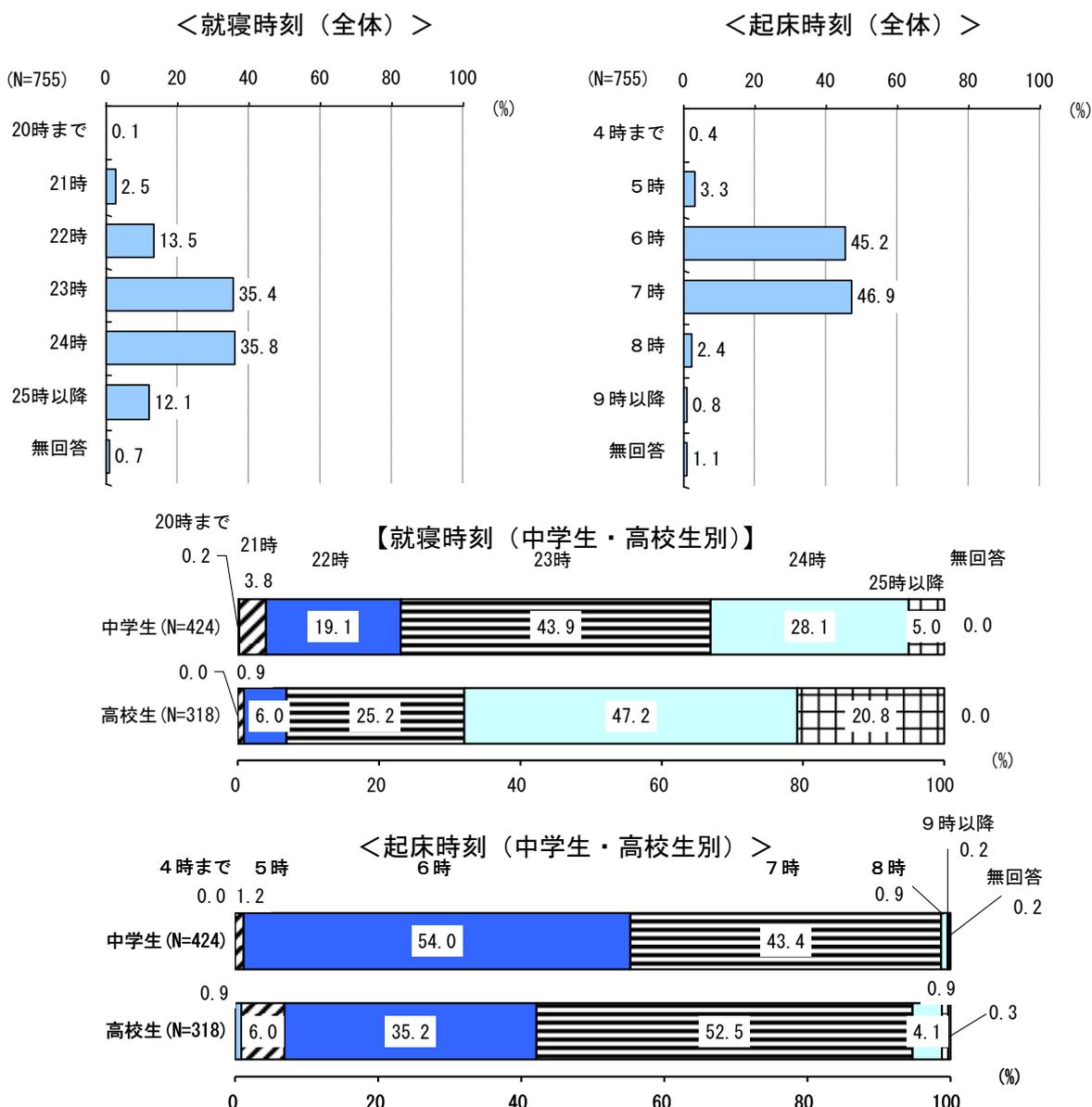
起床時間では、「7時」が46.9%で最も多く、次いで、「6時」が45.2%となっている。

#### ■中学生・高校生別

就寝時刻については、中学生では「23時」が43.9%、高校生では「24時」が47.2%で最も多くなっている。24時以降に就寝する割合は、中学生では33.1%であるが、高校生になると68.0%と倍増している。

起床時刻については、中学生では「6時」が54.0%、高校生では「7時」が52.5%で最も多くなっている。

【平日の就寝時刻、起床時間】



#### IV 中学生・高校生調査の結果

問6 あなたは、睡眠で十分に休養がとれていると思いますか。(○は1つ)

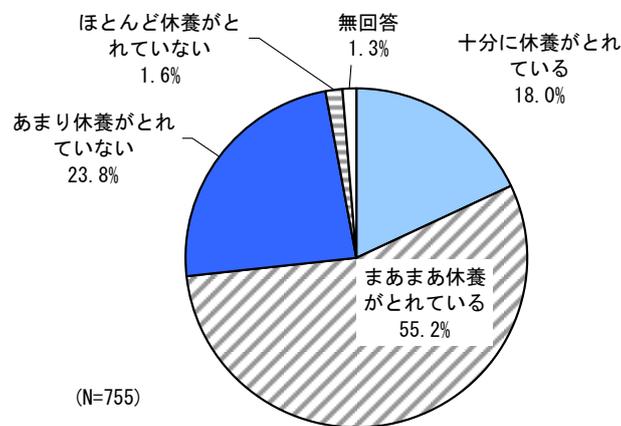
##### ■全体

睡眠による休養の状況については、「まあまあ休養がとれている」が55.2%で最も多く、次いで「あまり休養がとれていない」23.8%となっている。「十分」と「まあまあ」をあわせた「休養がとれている」は73.2%であるのに対して、「あまり」と「ほとんど」をあわせた「休養がとれていない」は25.4%と、休養がとれている中高生の方が多くなっている。

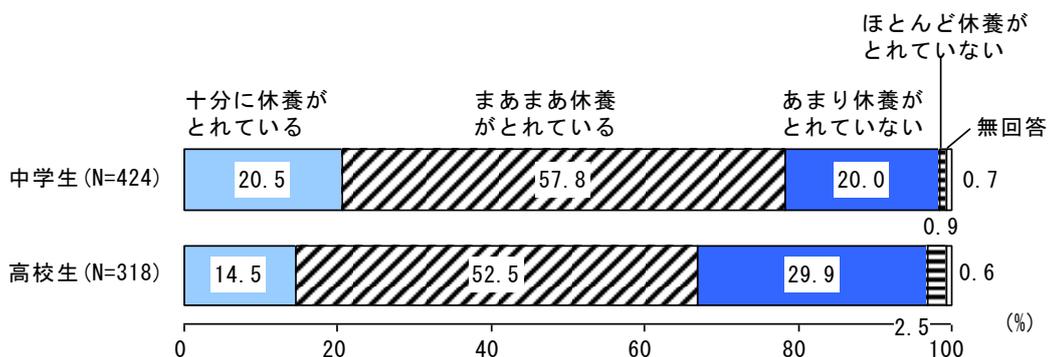
##### ■中学生・高校生別

「十分」と「まあまあ」をあわせた「休養がとれている」割合は、中学生で78.3%、高校生で67.0%となっている。高校生は中学生に比べて睡眠で休養がとれていない状況である。

【睡眠による休養の取得状況】



【睡眠による休養の取得状況（中学生・高校生別）】



(2) 食生活

問7 あなたは、朝食・夕食をどのように食べていますか。(○は1つ)

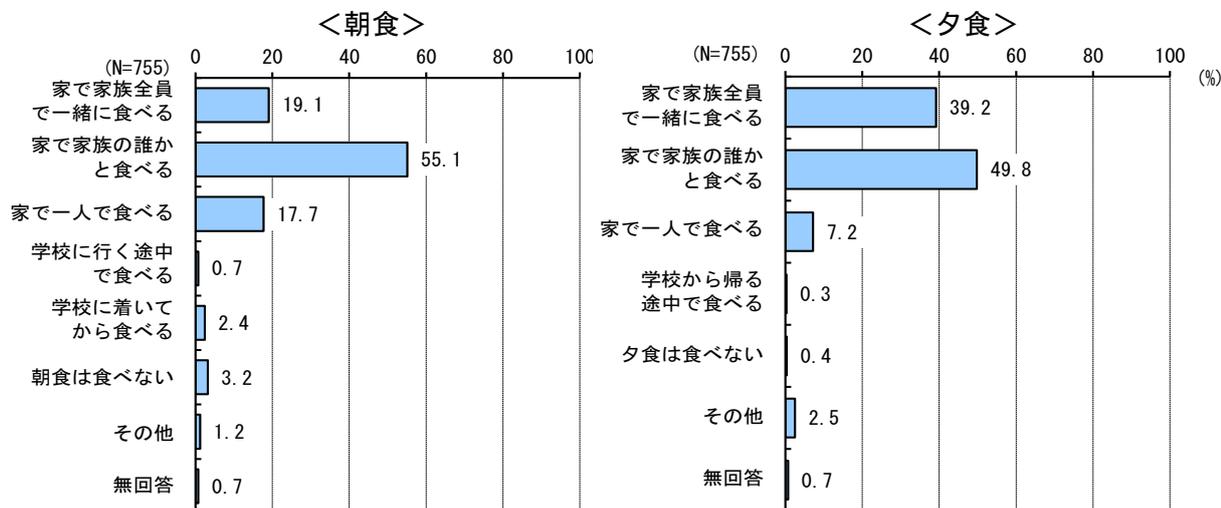
■全体

朝食・夕食ともに「家で家族の誰かと食べる」が各々55.1%、49.8%で最も多く、次いで「家で家族全員と一緒に食べる」となっている。「家で一人で食べる」は、朝食で17.7%、夕食で7.2%である。

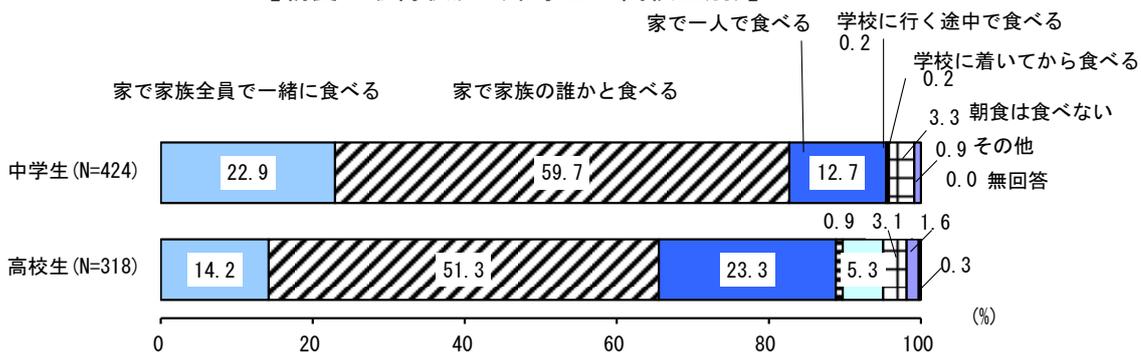
■中学生・高校生別

朝食については、中学生・高校生ともに「家で誰かと食べる」が最も多いことは共通しているが、次いで、中学生では「家で家族全員と一緒に食べる」が多いのに対して、高校生では「家で一人で食べる」となっている。夕食については「一人で食べる」(孤食)は朝食に比べて少ないものの、高校生では1割強みられる。

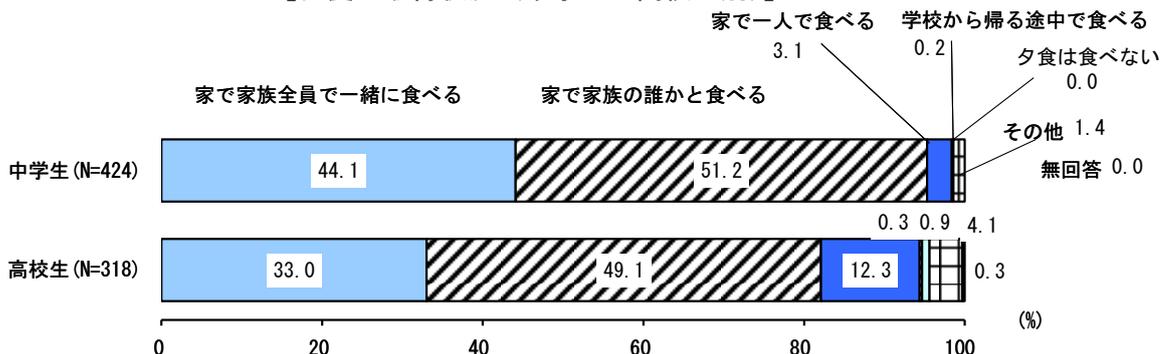
【朝食・夕食の取得状況 (全体)】



【朝食の取得状況 (中学生・高校生別)】



【夕食の取得状況 (中学生・高校生別)】



IV 中学生・高校生調査の結果

(3) 放課後の過ごし方

問8 あなたは、放課後（平日の余暇）を主にどのように過ごしていますか。（○は3つまで）

■全体

放課後（平日）の過ごし方については、「部活動をする」が58.4%で最も多く、次いで「勉強や習い事をする」46.0%となっている。

■中学生・高校生別

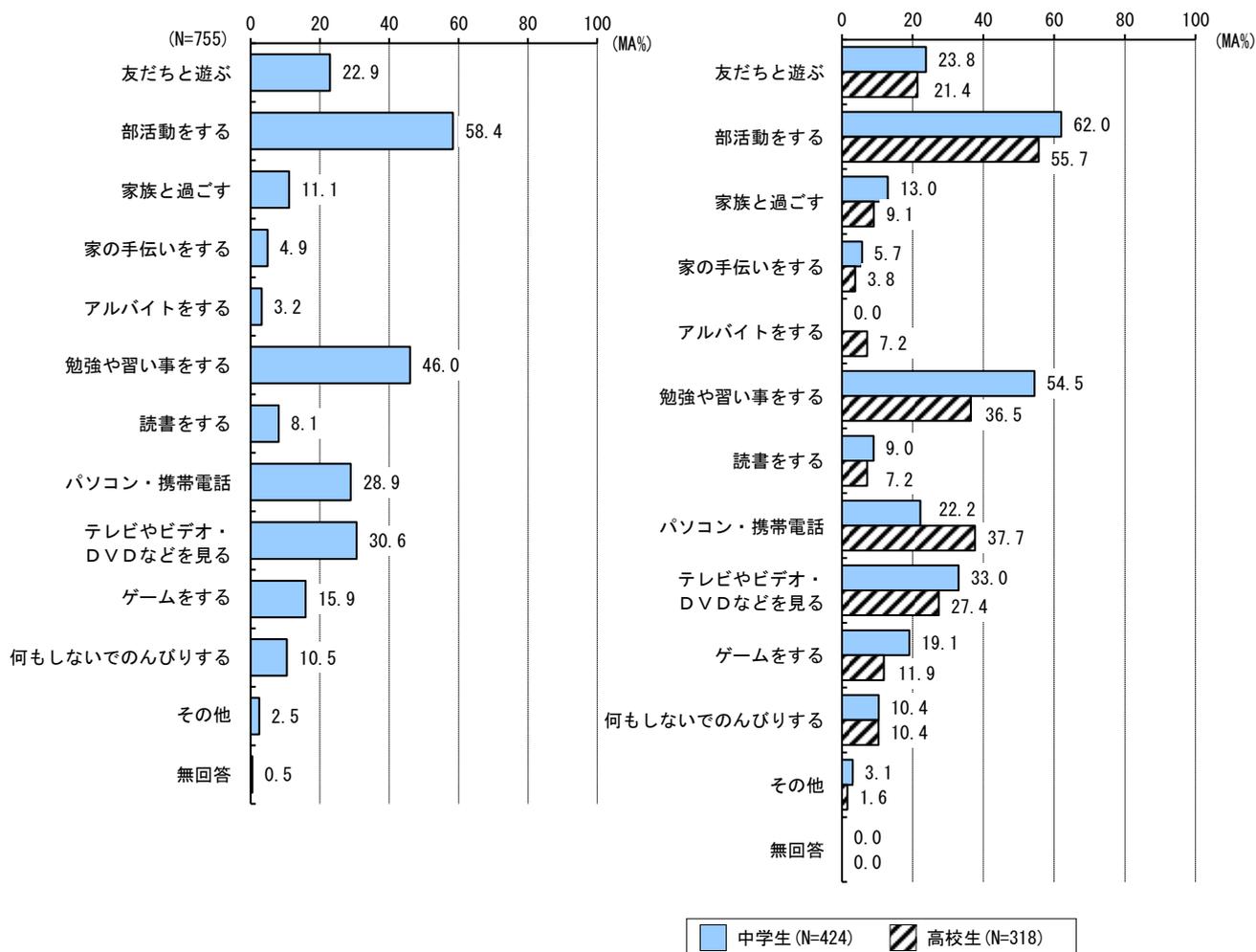
中学生では、「部活動をする」が62.0%で最も多く、次いで「勉強や習い事をする」54.5%となっている。

高校生では、「部活動をする」が55.7%で最も多く、次いで「パソコン・携帯電話」37.7%となっている。

【放課後（平日）に遊ぶ場合の過ごし方】

<全体>

<中学生・高校生別>



問8-1 問8で「1」に○をつけた方にうかがいます。

友だちと遊ぶ場合、どんなことをして過ごしていますか。(○は3つまで)

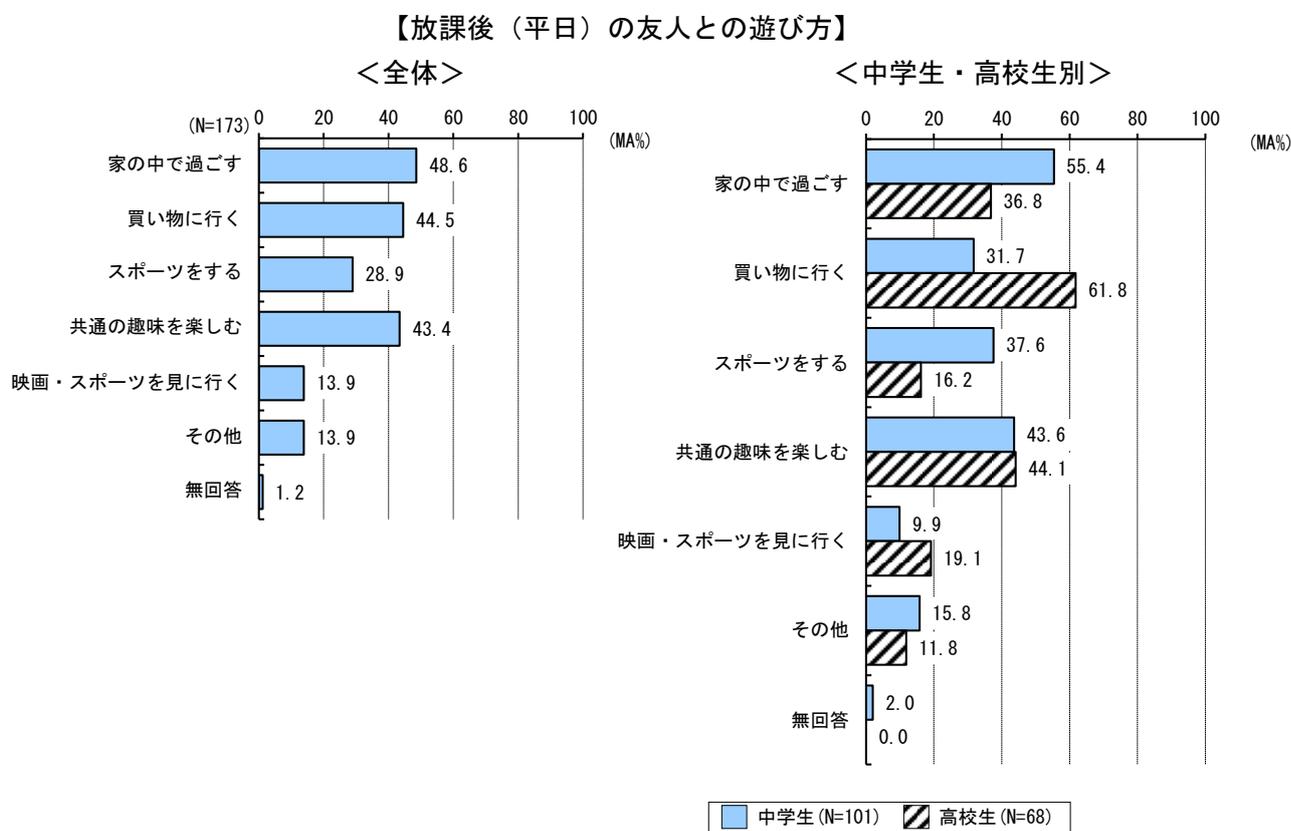
■全体

放課後（平日）の友人との遊び方では、「家の中で過ごす」が48.6%で最も多く、次いで「買い物に行く」44.5%、「共通の趣味を楽しむ」43.4%となっている。

■中学生・高校生別

中学生では、「家の中で過ごす」が55.4%で最も多く、次いで「共通の趣味を楽しむ」43.6%となっている。

高校生では、「買い物に行く」が61.8%で最も多く、次いで「共通の趣味を楽しむ」44.1%となっている。



(4) 休日の過ごし方

問9 あなたは、休日を主にどのように過ごしていますか。(〇は3つまで)

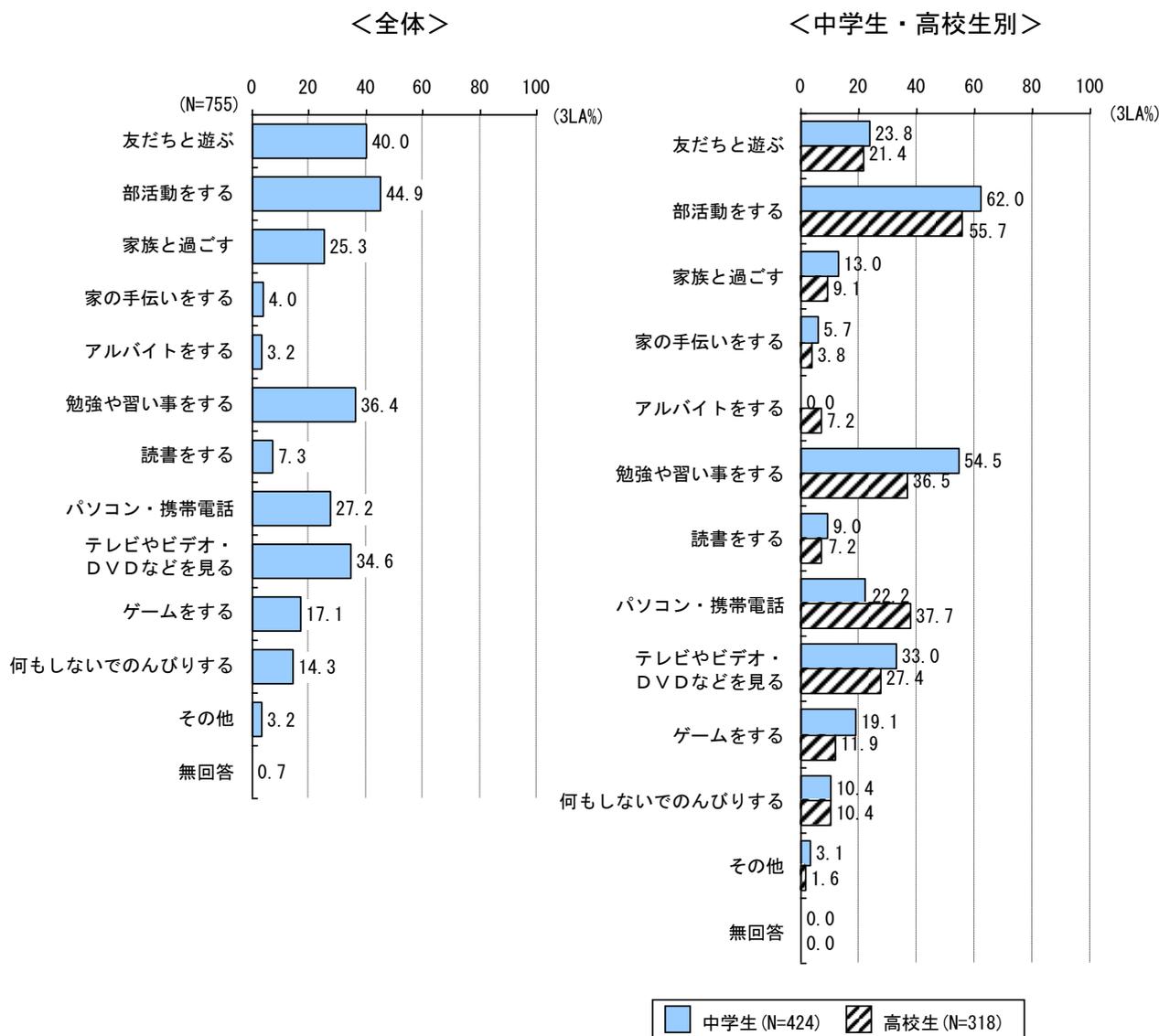
■全体

休日の過ごし方については、「部活動をする」が44.9%で最も多く、次いで「友だちと遊ぶ」が40.0%、「勉強や習い事をする」が36.4%となっている。

■中学生・高校生別

中学生・高校生ともに「部活動をする」が最も多く、次いで「勉強や習い事をする」になっている。「勉強や習い事をする」は中学生が5割を超えているのに対して、高校生では約3割5分と比較的少なくなっている。逆に「パソコン・携帯電話」は高校生が37.7%に対して、中学生では22.2%と少ないという違いがみられる。

【休日の過ごし方】



問9-1 問9で「1」に○をつけた方にうかがいます。  
 友だちと遊ぶ場合、どんなことをして過ごしていますか。(○は3つまで)

■全体

休日の友人との遊び方については、「買い物に行く」が58.6%で最も多く、次いで「家の中で過ごす」46.4%、「共通の趣味を楽しむ」41.4%となっている。平日と比べると、「買い物に行く」や「映画・スポーツを見に行く」の割合が高くなっている。

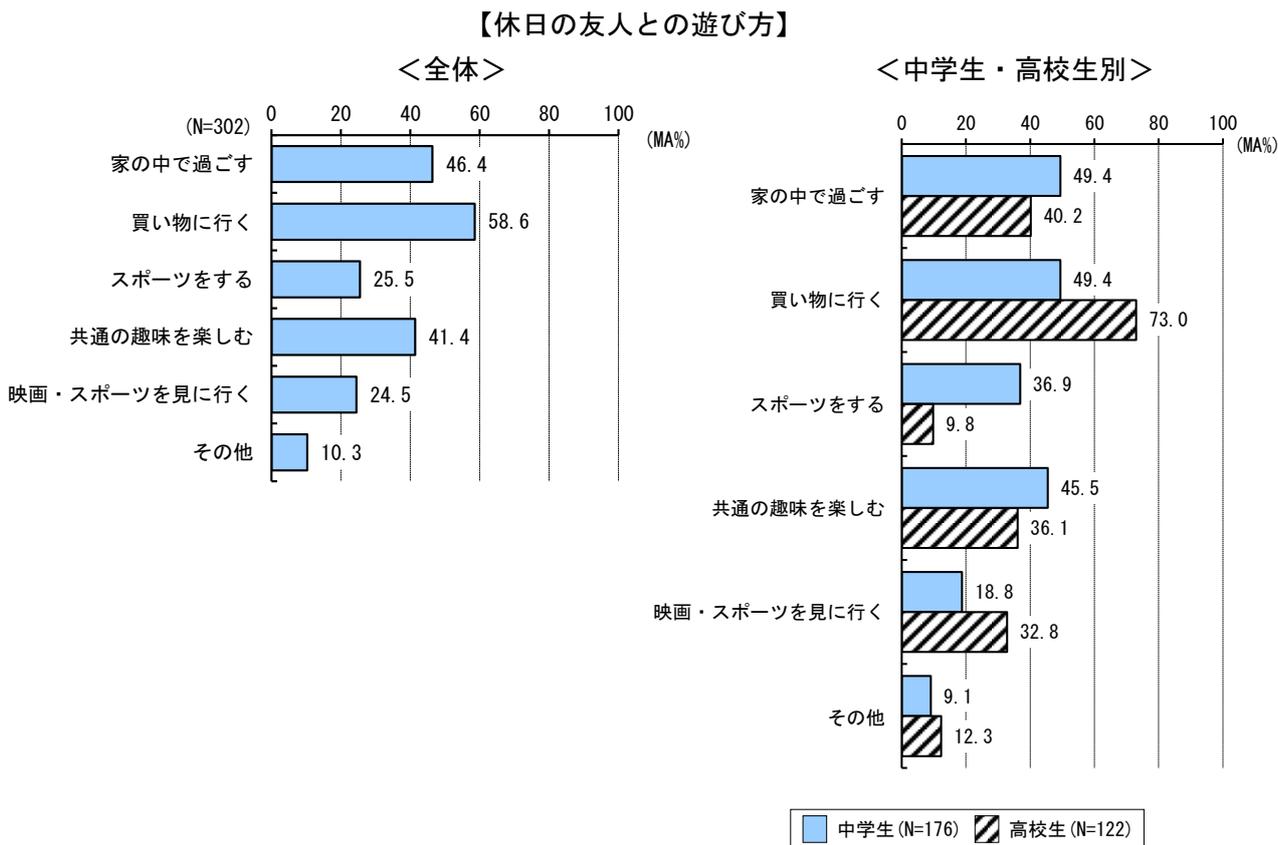
■中学生・高校生別

中学生では、「買い物に行く」「家の中で過ごす」が49.4%で最も多く、次いで「共通の趣味を楽しむ」45.5%となっている。

高校生では、「買い物に行く」が73.0%で最も多く、次いで「家の中で過ごす」40.2%となっている。

平日と比べると、中学生・高校生ともに「買い物に行く」や「映画・スポーツを見に行く」の割合が高くなり、逆に「スポーツをする」は低くなっている。

また、「買い物に行く」割合は、中学生に比べて高校生では顕著に高くなっている。



IV 中学生・高校生調査の結果

(5) 運動習慣

問10 学校の授業以外で、1日30分以上の運動やスポーツをしていますか。(○は1つ)  
(部活動や習い事なども含みます。)

■全体

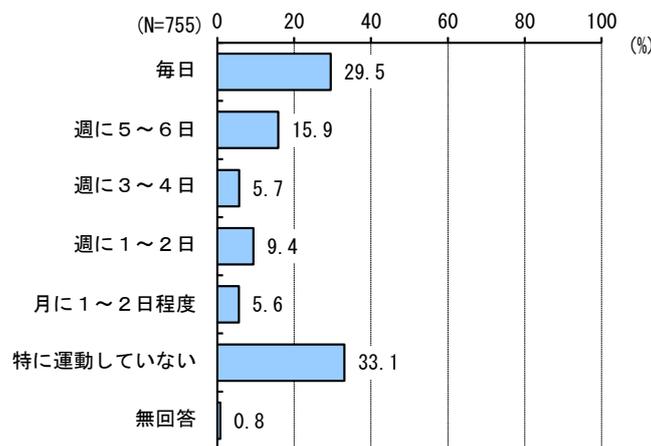
学校の授業以外で、1日30分以上の運動する頻度については、「特に運動していない」が33.1%で最も多く、次いで「毎日」29.5%となっており、両極に分かれている。

■中学生・高校生別

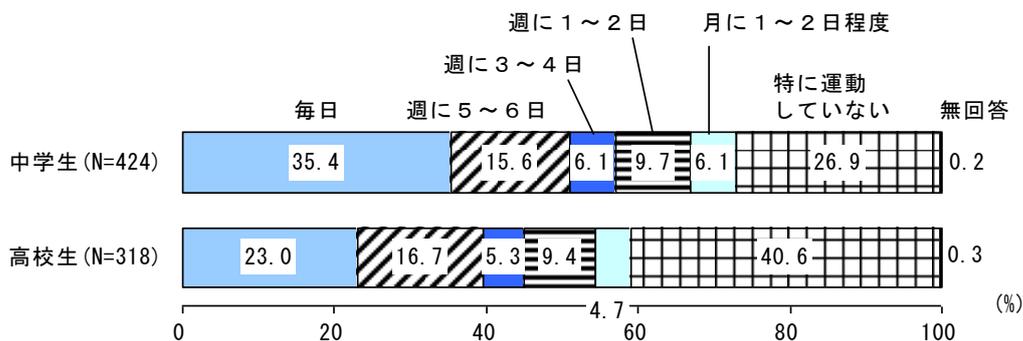
中学生では、「毎日」が35.4%で最も多く、次いで「特に運動していない」26.9%となっている。  
高校生では、「特に運動していない」が40.6%で最も多く、次いで「毎日」23.0%となっている。  
高校生は中学生より運動頻度が低くなっている。

【学校の授業以外で、1日30分以上の運動をする頻度】

<全体>



<中学生・高校生別>



(6) 居心地のよい場所

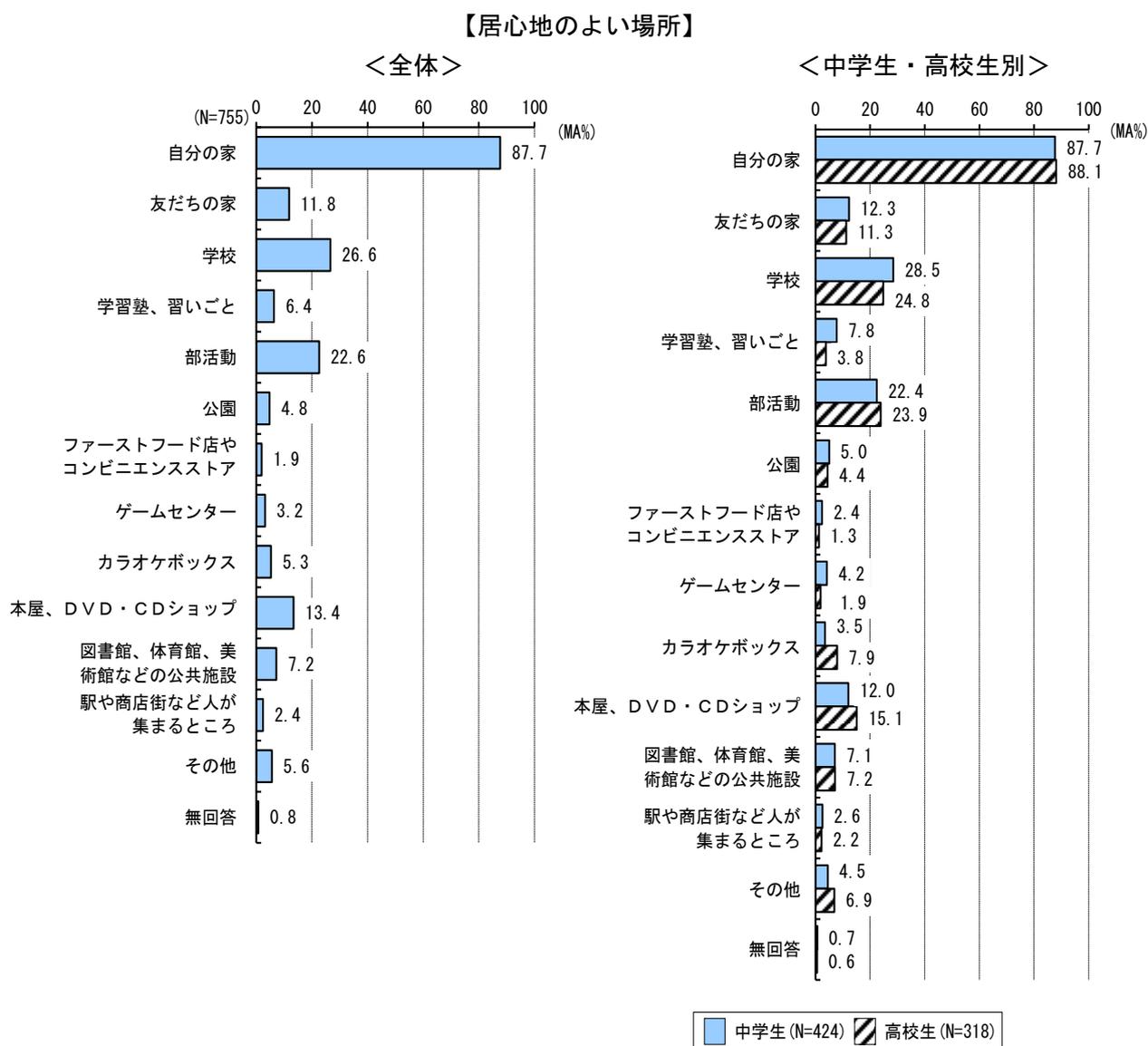
問11 あなたが、居心地のよい場所はどこですか。(〇は3つまで)

■全体

居心地の良い場所については、「自分の家」が87.7%で最も多く、次いで「学校」26.6%、「部活動」22.6%となっている。

■中学生・高校生別

中学生・高校生ともに「自分の家」が約9割を占めており、全体的に中学生と高校生の差は少なくなっている。



#### IV 中学生・高校生調査の結果

##### (7) 悩みの状況

問12 これまでに2週間以上、気分が落ち込んだり、ひどく不安になったり、興味や楽しみがもてなかったことはありましたか。(○は1つ)

##### ■全体

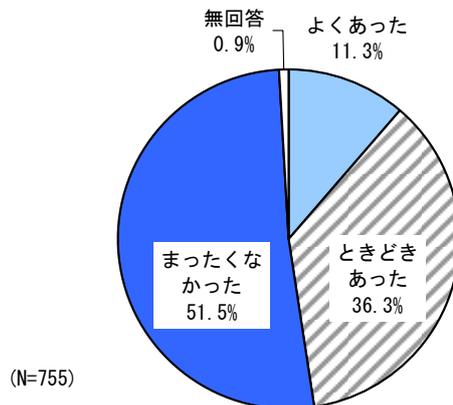
2週間以上、気分が落ち込んだり、ひどく不安になったり、興味や楽しみがもてなかったこと(うつサイン)については、「まったくなかった」が51.5%で最も多く、次いで「ときどきあった」36.3%となっている。「よくあった」と「ときどきあった」をあわせると約5割を占めている。

##### ■中学生・高校生別

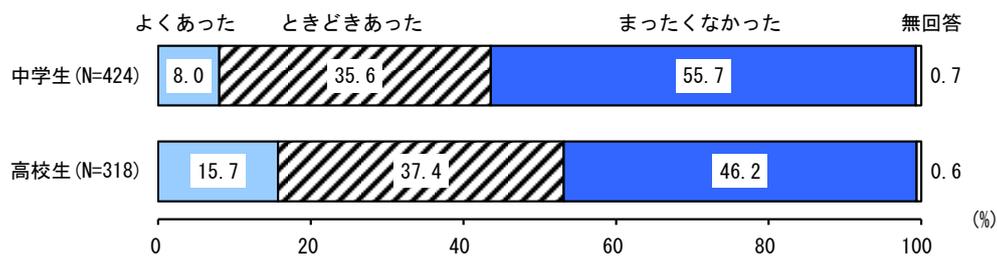
中学生・高校生ともに「まったくなかった」が最も多いことは共通しているが、『うつサイン』が「よくあった」のは高校生で15.7%となっている。

#### 【2週間以上、気分が落ち込んだり、ひどく不安になったこと(うつサイン)】

##### <全体>



##### <中学生・高校生別>



問13 あなたが、現在、悩んでいるのはどのようなことについてですか。(〇は3つまで)

■全体

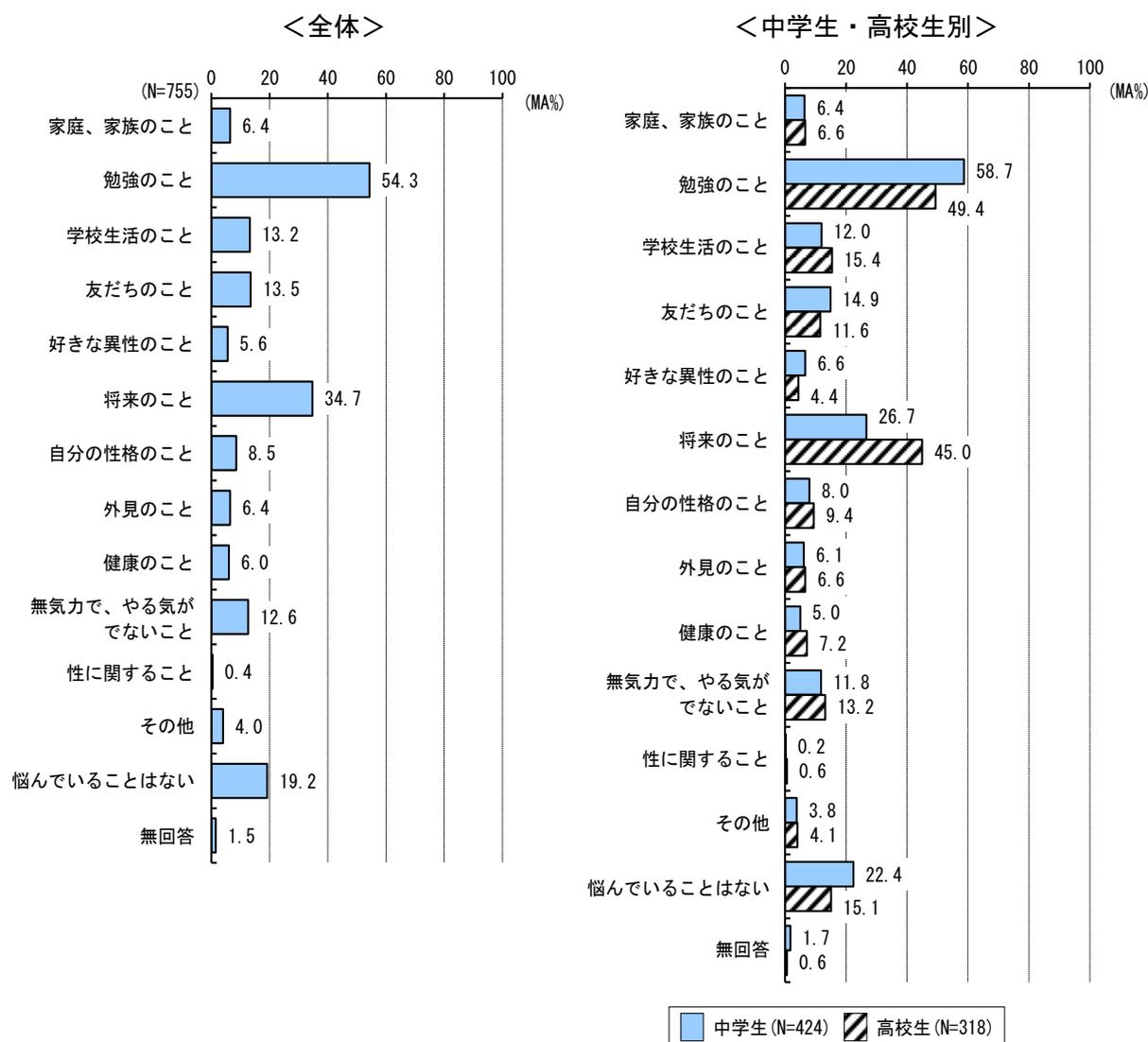
現在の悩みごとについては、「悩んでいることはない」は19.2%で、概ね8割の中高生が悩みを持っていることになる。

悩みの内容では、「勉強のこと」が54.3%で最も多く、次いで「将来のこと」34.7%となっている。

■中学生・高校生別

中学生・高校生ともに全体と同様に、「勉強のこと」と「将来のこと」が多いが、「勉強のこと」については中学生の方が、「将来のこと」については高校生の方が割合が高くなっている。

【現在の悩みごと】



問14 あなたは、悩みごとができた場合、主に誰に相談していますか。(〇は3つまで)

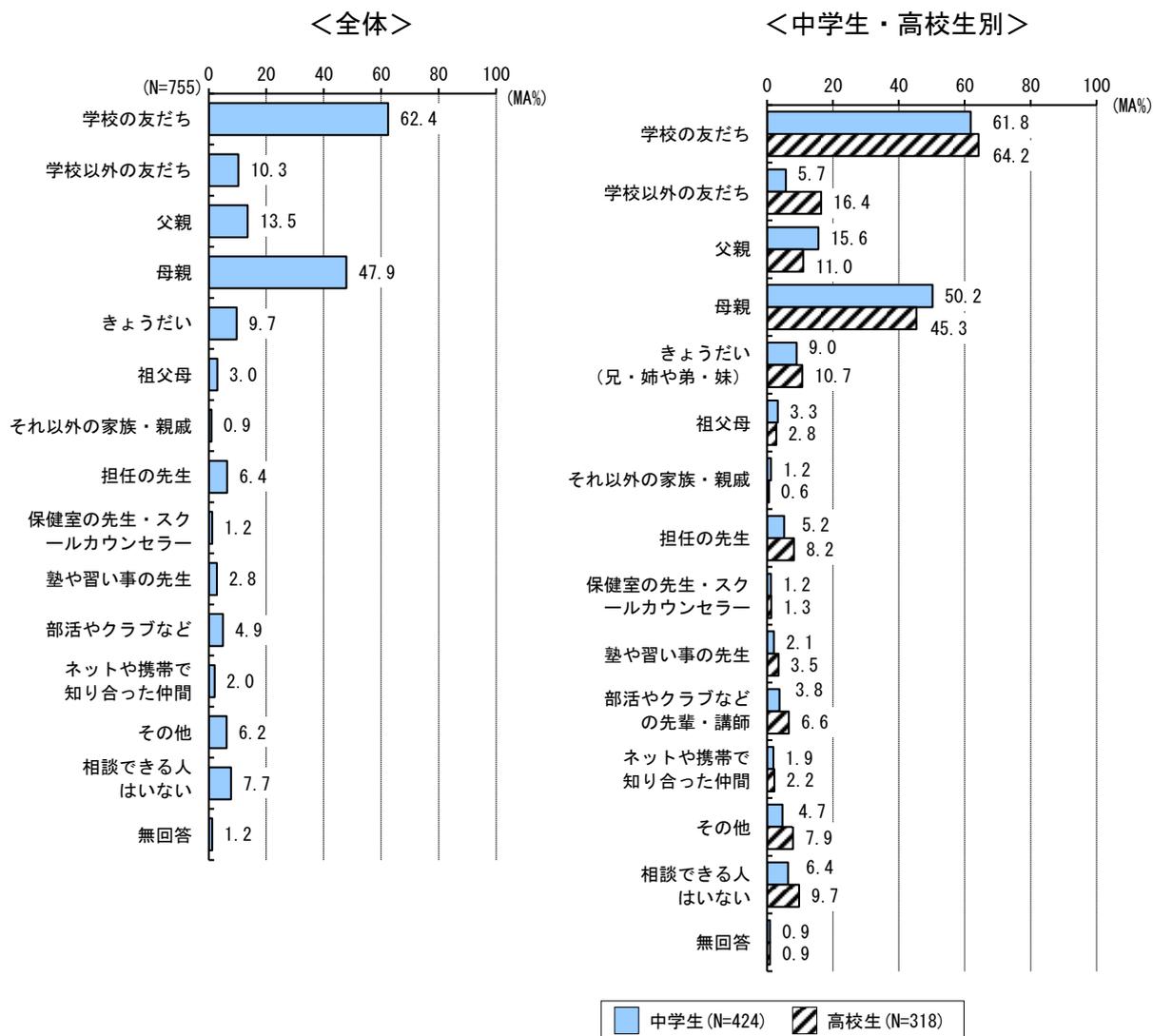
■全体

主な相談相手については、「学校の友だち」が62.4%で最も多く、次いで「母親」47.9%となっている。「父親」は13.5%と「母親」に比べて少ない。

■中学生・高校生別

中学生・高校生ともに「学校の友だち」が最も多く、次いで「母親」となっている。中学生と高校生を比べると、“友だち”の割合は高校生の方が高く、“父母”の割合は中学生の方が高くなっている。

【主に相談する相手】



**(8) 生活に関する意識**

問15 あなたの生活への意識についてうかがいます。(それぞれあてはまる番号1つに○)
--

**■全体**

生活に関する意識について8つの項目について尋ねた。

『①夜更かししないよう心がけている』については、「ややあてはまる」が34.4%で最も多いものの「あまりあてはまらない」31.5%と拮抗している。「あてはまる」と「ややあてはまる」をあわせた割合は55.5%である。

『②食事や栄養のバランスに気をつけている』については、「ややあてはまる」が42.3%で最も多く、次いで「あまりあてはまらない」24.8%となっている。「あてはまる」と「ややあてはまる」をあわせた割合は66.7%である。

『③食事はきちんと3食とるようにしている』については、「あてはまる」が73.1%と多く、「あてはまる」と「ややあてはまる」をあわせた割合が88.9%となっている。

『④大人になっても喫煙はしないだろう』については、「あてはまる」が82.9%と大半を占めており、「あてはまる」と「ややあてはまる」をあわせた割合は93.6%となっている。

『⑤薬物の危険性を理解している』については、「あてはまる」が89.5%と大半を占め、「ややあてはまる」をあわせた割合は100%近くに達している。

『⑥避妊の知識はある』については、「あてはまる」が最も多いものの、その割合は43.6%と過半を割り込んでいる。「ややあてはまる」をあわせた割合は68.0%である。

『⑦周囲の大人は、自分の気持ちを尊重してくれている』については、「ややあてはまる」が48.1%で最も多く「あてはまる」は33.8%と8項目の中も少ない方である。「ややあてはまる」と「あてはまる」をあわせた割合は81.9%である。

『⑧周囲の大人は、自分を一人の人間として扱ってくれる』については、「あてはまる」が56.2%で最も多く、「ややあてはまる」と「あてはまる」をあわせた割合は91.0%となっている。

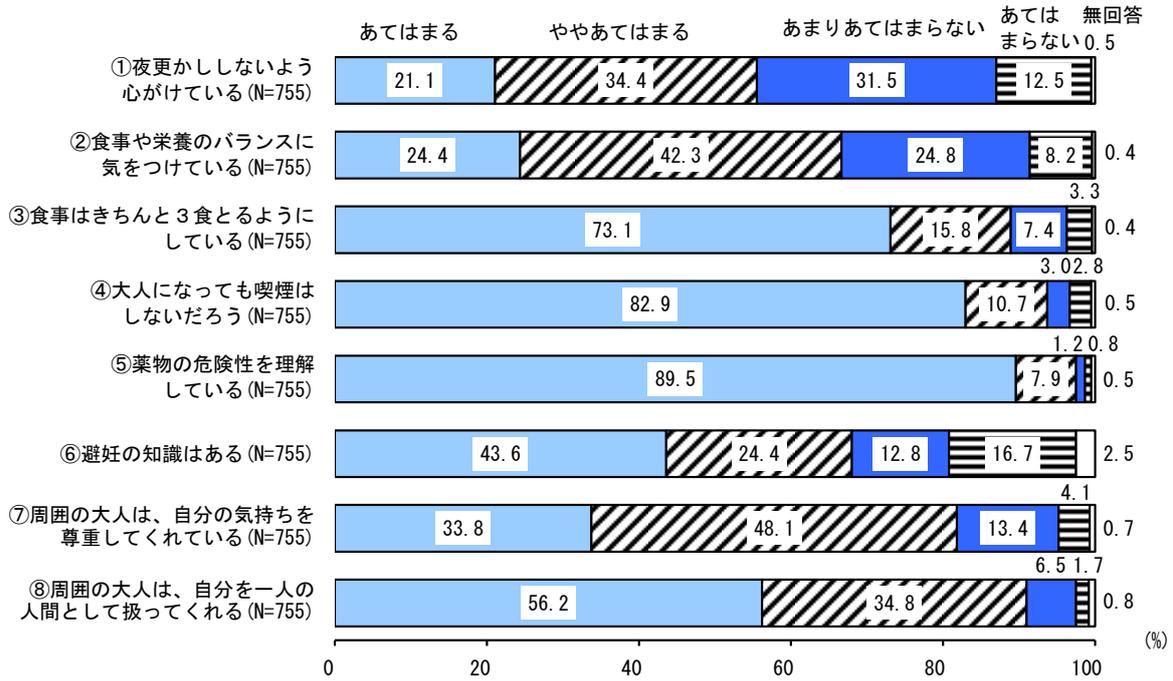
**■中学生・高校生別**

中学生・高校生ともに概ね全体と同様の傾向となっているが、『⑥避妊の知識はある』について「あてはまる」は、高校生では57.9%（「ややあてはまる」をあわせると87.8%）であるのに対して、中学生では32.5%（同52.8%）と少ない。

IV 中学生・高校生調査の結果

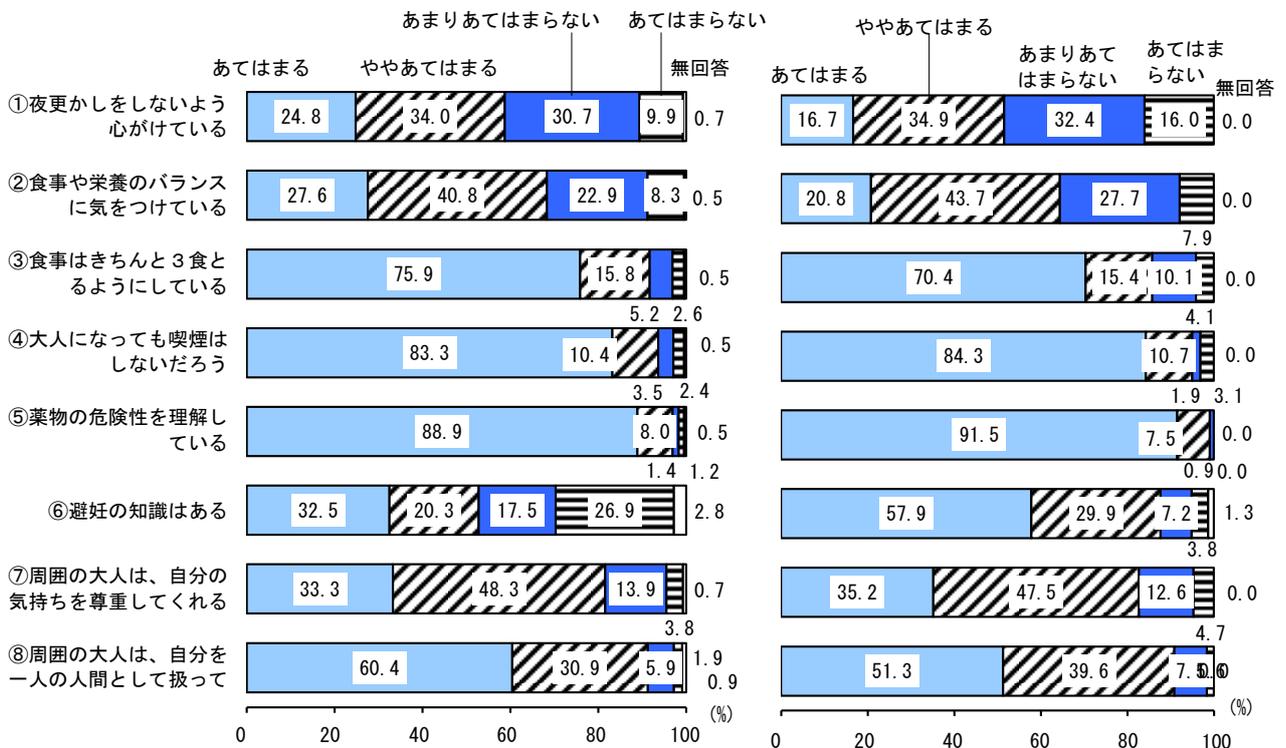
【生活に関する意識】

<全体>



<中学生 (N=424)>

<高校生 (N=318)>



### 3 家庭について

#### (1) 家族とのコミュニケーション

問16 あなたは、一日に何時間ぐらい家族と過ごす時間がありますか。(数字を記入)

##### ■全体

1日のうち家族と過ごす時間については、「5時間」が18.1%で最も多く、次いで「4時間」17.4%、「3時間」16.4%となっている。“3～5時間”をあわせると51.9%と過半数を占めている。平均は5時間12分である。

##### ■中学生・高校生別

中学生では、「5時間」が19.8%で最も多く、平均は5時間36分となっている。

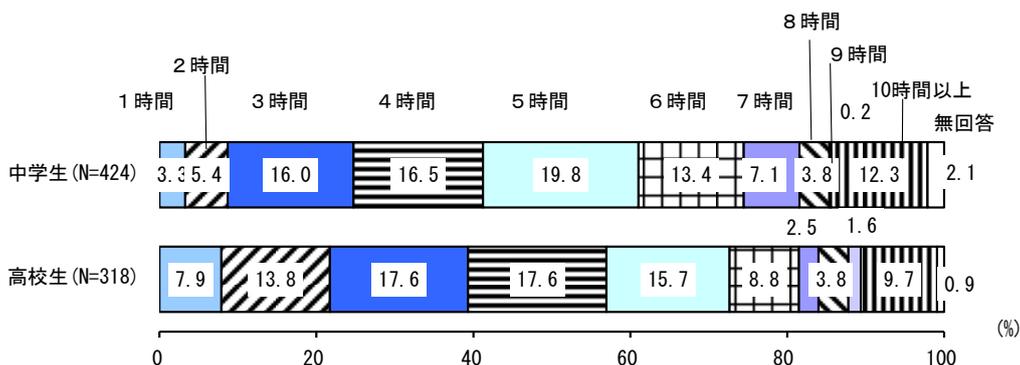
高校生では、「3時間」と「4時間」が17.6%で最も多く、平均は4時間48分となっている。

家族と過ごす時間については、高校生は中学生より、平均で1日に48分短くなっている。

【1日のうち家族と過ごす時間】



<中学生・高校生別>



#### IV 中学生・高校生調査の結果

問17 あなたは、ふだん家で家族と会話をしますか。(〇は1つ)

##### ■全体

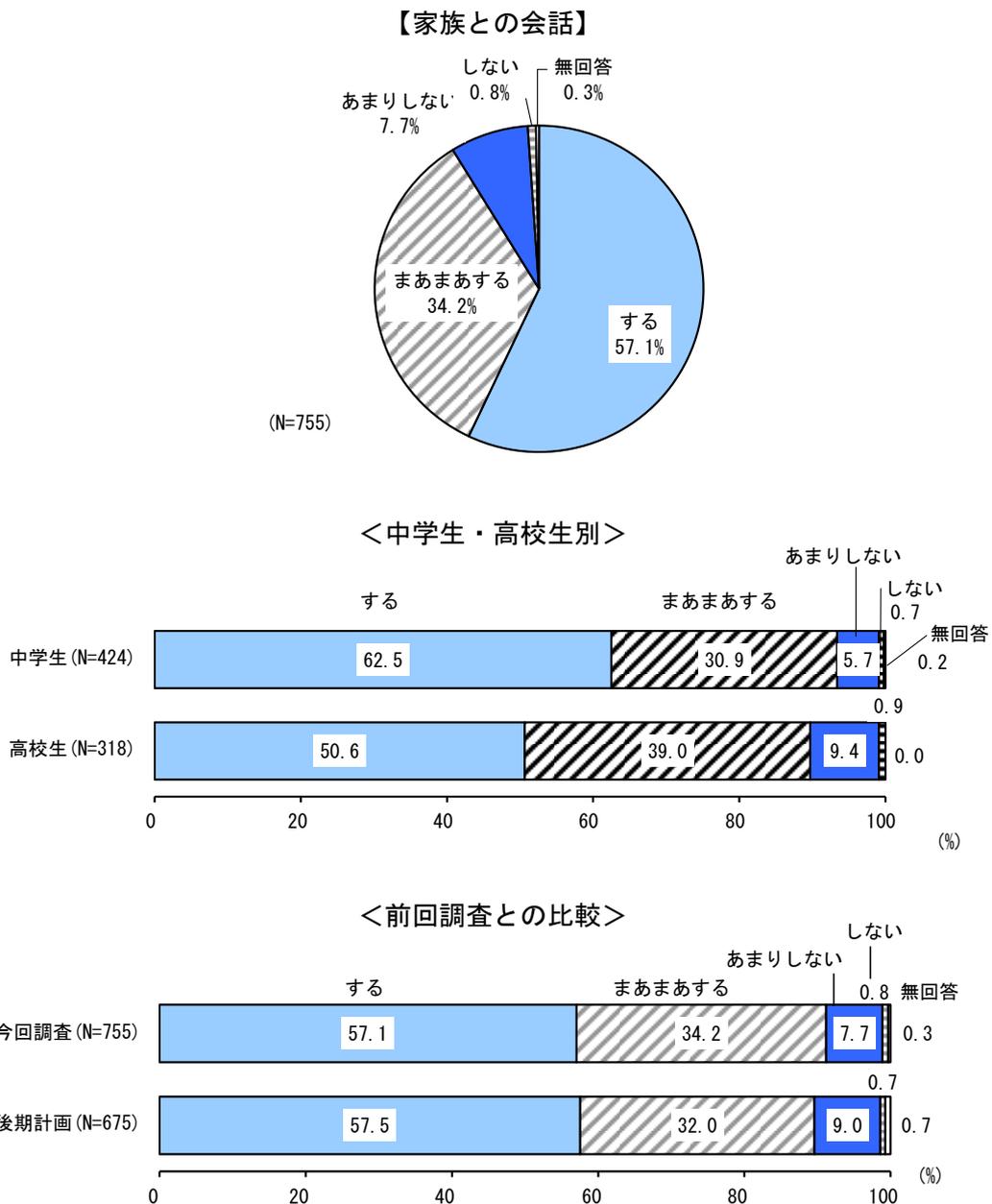
家族と会話を「する」のは57.1%で、「まああする」34.2%をあわせると9割以上が会話をしている。

##### ■中学生・高校生別

中学生の62.5%、高校生の50.6%が家族と会話を「する」と回答しているが、中学生に比べて高校生の方が会話の頻度は低くなっている。

##### ■前回調査との比較

後期計画調査・今回調査ともに、会話を「する」が最も多く、概ね傾向は共通しているが、「まああする」をあわせた割合は、今回調査の方が1.8ポイント高くなっている。



問17-1 問17で「3」または「4」に○をつけた方にかがいます。

家族とあまり会話をしないのはなぜですか。(○は3つまで)

■全体

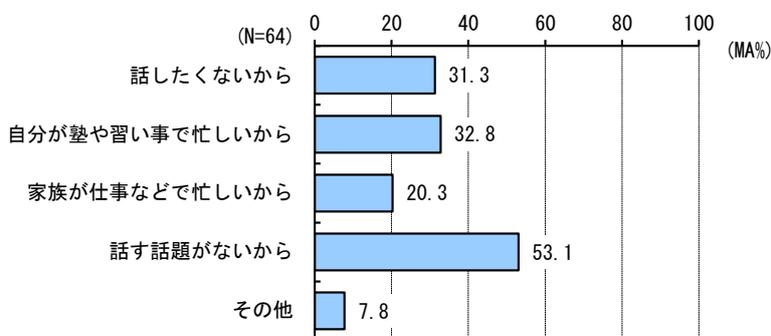
会話をしない理由については、「話す話題がないから」が53.1%で最も多く、次いで「自分が塾や習い事で忙しいから」32.8%と「話したくないから」31.3%となっている。

■中学生・高校生別

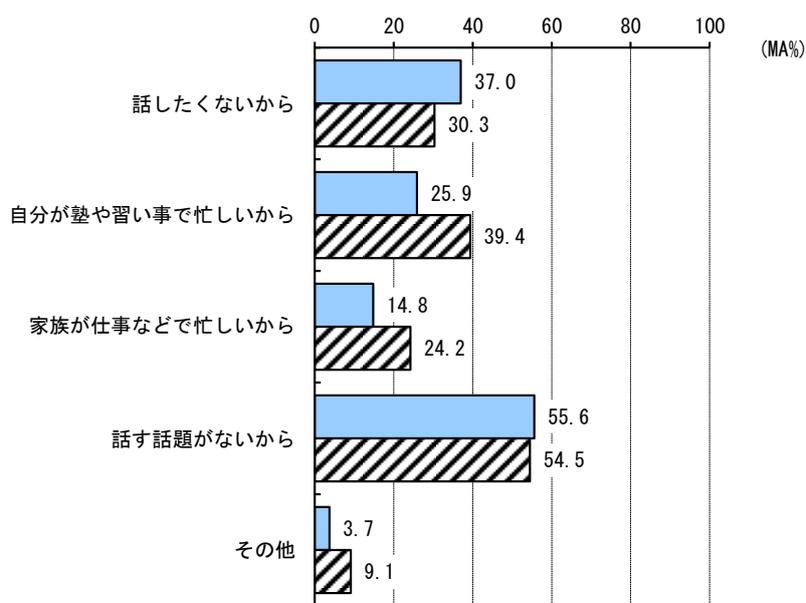
中学生・高校生ともに「話す話題がないから」が各々55.6%、54.5%で最も多く、次いで、中学生では「話したくないから」37.0%、高校生では「自分が塾や習い事で忙しいから」39.4%となっている。

【会話をしない理由】

<全体>



<中学生・高校生別>



■ 中学生 (N=424)    ■ 高校生 (N=318)

IV 中学生・高校生調査の結果

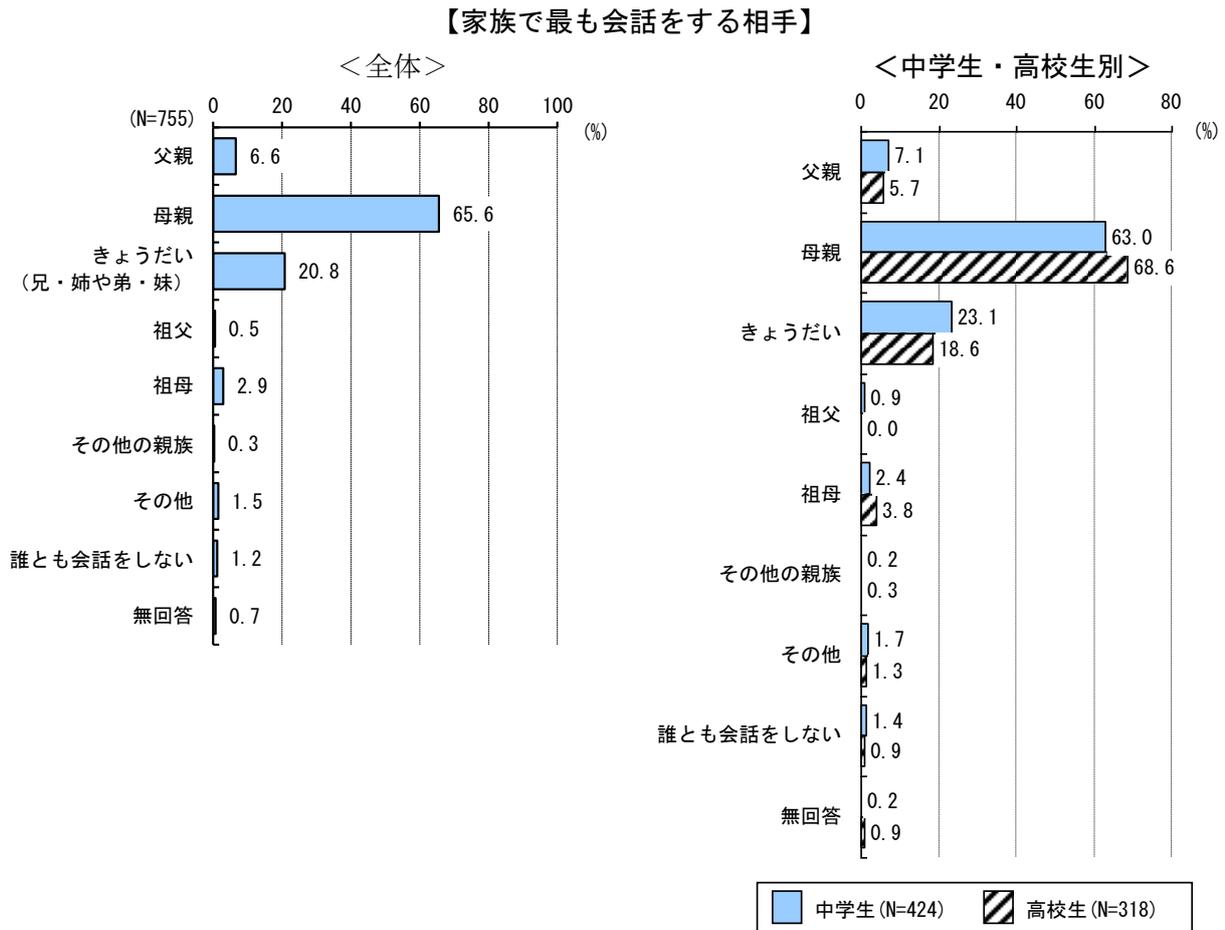
問18 あなたは家族の誰と一番話をしますか。(○は1つ)

■全体

家族で最も会話をする相手については、「母親」が65.6%で最も多く、次いで「きょうだい」20.8%となっている。「父親」は6.6%と少ない。

■中学生・高校生別

中学生・高校生ともに「母親」が最も多く、次いで「きょうだい」となっている。



(2) 家庭での役割

問19 あなたの家庭での役割は何ですか。(○は3つまで)

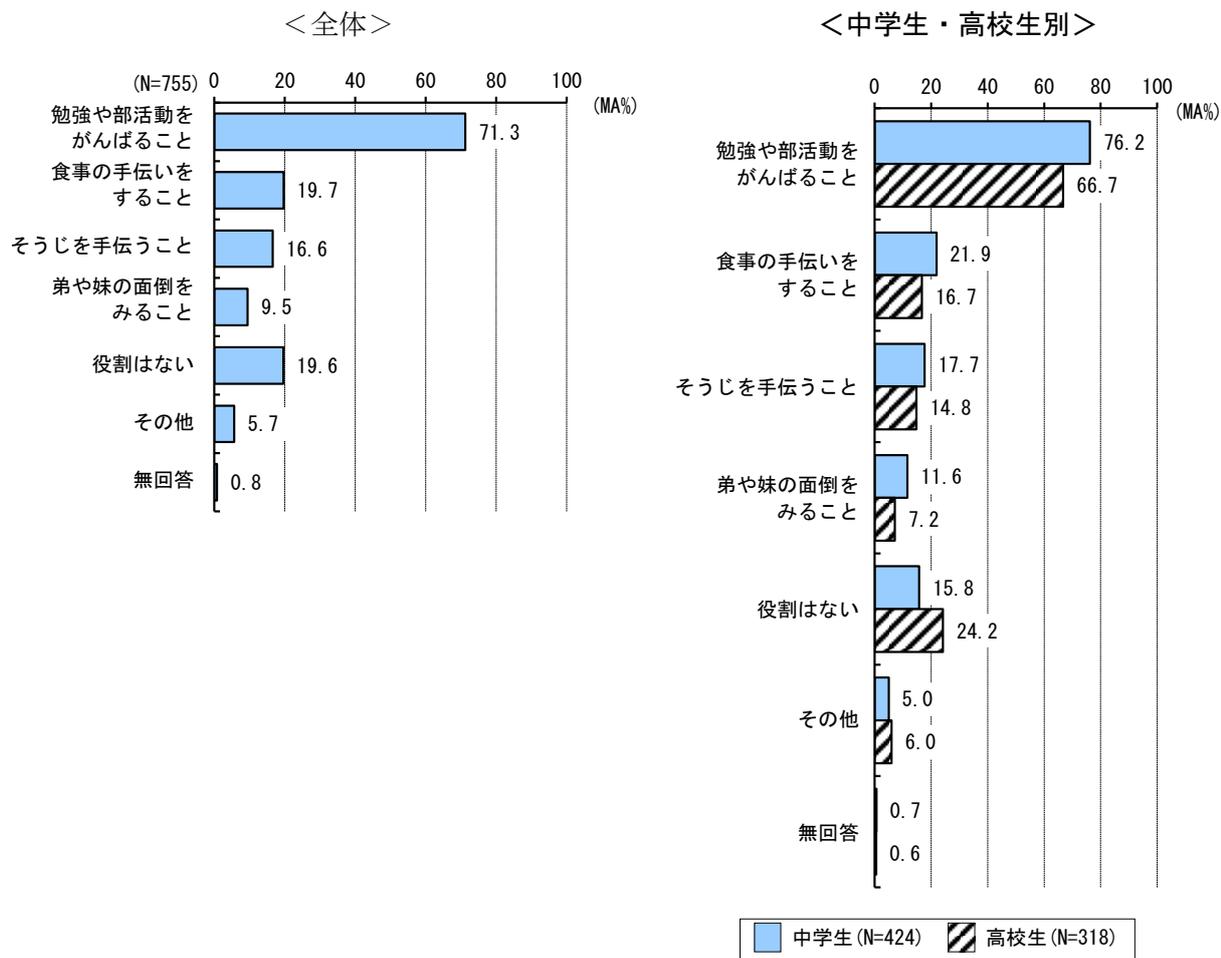
■全体

家庭内での自分の役割については、「勉強や部活動がんばること」が71.3%と多くなっている。

■中学生・高校生別

中学生・高校生ともに「勉強や部活動がんばること」が飛びぬけて多くなっている。次いで中学生では「食事の手伝いをする事」21.9%となっている。一方、高校生では「役割はない」が24.2%で2番目に多くなっている。

【家庭内での役割】



IV 中学生・高校生調査の結果

(3) 父親・母親についての意識

問20 あなたのお父さん、お母さんについてお聞きします。①～⑤についてどのように感じますか。  
 (父親、母親それぞれについて、○は1つ)

1) 父親について

■全体

父親の様子について5項目で尋ねている。

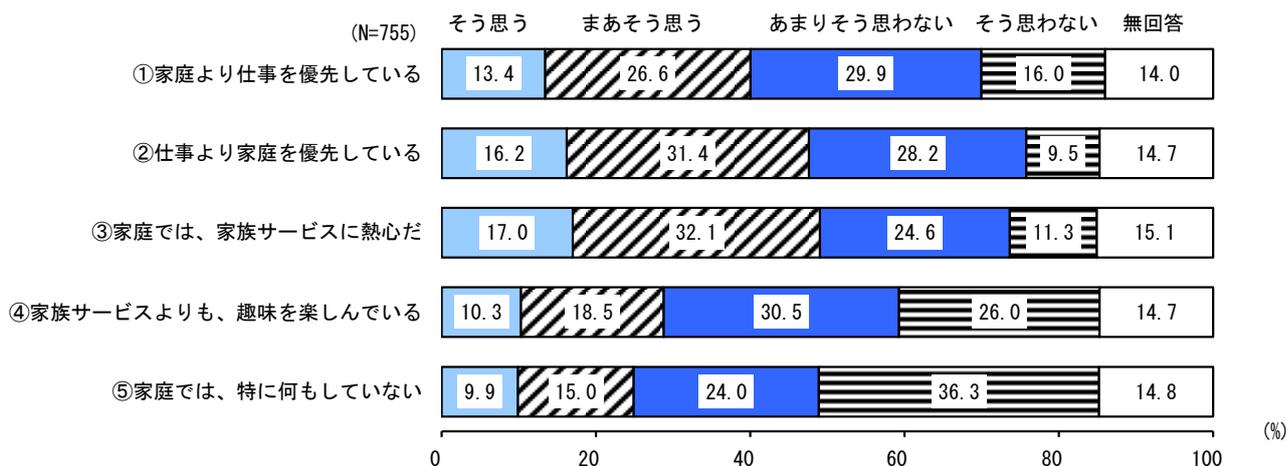
「そう思う」と「まあそう思う」をあわせた肯定する割合が高い順にみると、『③家庭では、家族サービスに熱心だ』49.1%、『②仕事より家庭を優先している』47.6%、『①家庭より仕事を優先している』40.0%、『④家族サービスよりも、趣味を楽しんでいる』28.8%、『⑤家庭では、特に何もしていない』24.9%となっている。

■中学生・高校生別

中学生・高校生ともに全体と概ね同様の傾向となっている。

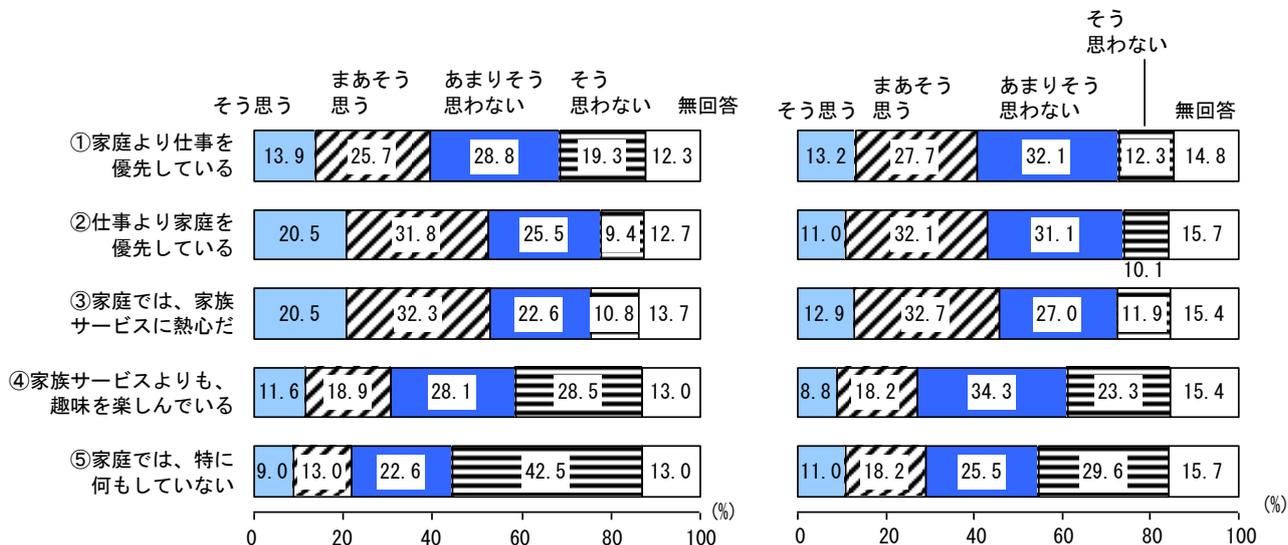
【父親について】

<全体>



<中学生 (N=424) >

<高校生 (N=318) >



2) 母親について

■全体

母親の様子について、父親と同様の5項目で尋ねている。

「そう思う」と「まあそう思う」をあわせた肯定する割合が高い順にみると、『②仕事より家庭を優先している』80.0%、『③家庭では、家族サービスに熱心だ』69.7%、『①家庭より仕事を優先している』17.7%、『④家族サービスよりも、趣味を楽しんでいる』14.9%、『⑤家庭では、特に何もしていない』6.3%となっている。

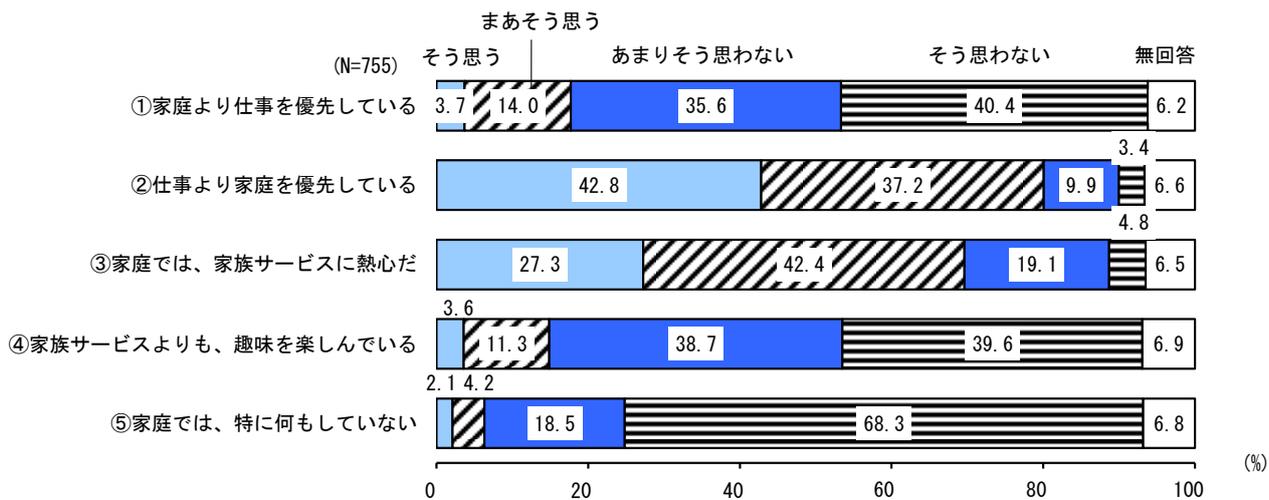
父親と比べると、『②仕事より家庭を優先している』と『③家庭では、家族サービスに熱心だ』について肯定する割合がかなり高く、逆に、『①家庭より仕事を優先している』『④家族サービスよりも、趣味を楽しんでいる』『⑤家庭では、特に何もしていない』は父親よりも低くなっており、母親の方が家庭を大切にしていると評価している様子がわかる。

■中学生・高校生別

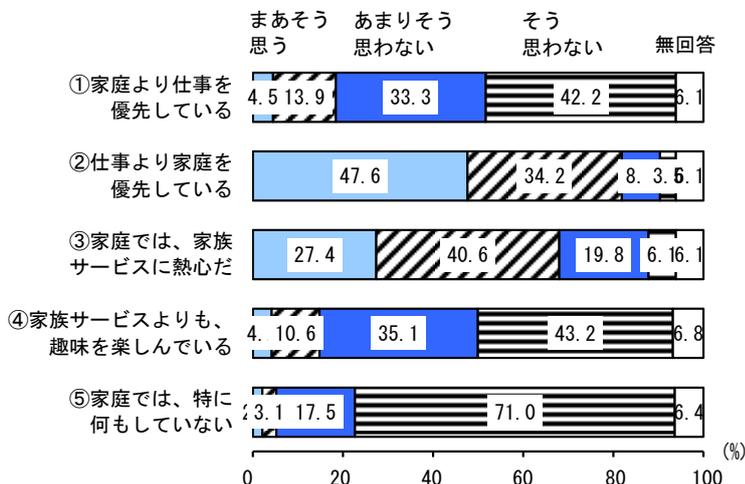
中学生・高校生ともに全体とほぼ同じ傾向になっているが、中学生より高校生の方が若干きびしい目でみている。

【母親について】

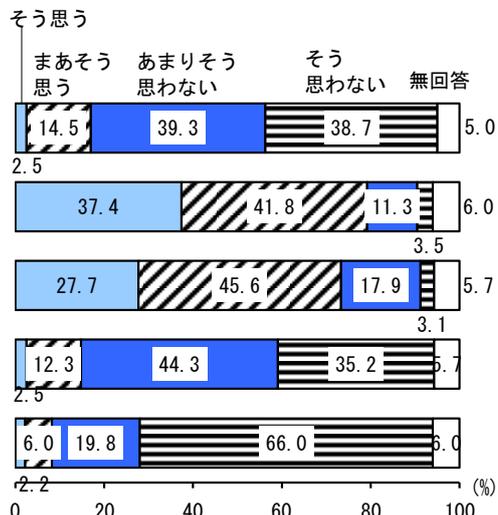
<全体>



<中学生 (N=424)>



<高校生 (N=318)>



## 4 学校の生活

### (1) 学校生活について

問21 あなたは、学校生活が楽しいですか。(○は1つ)

■全体

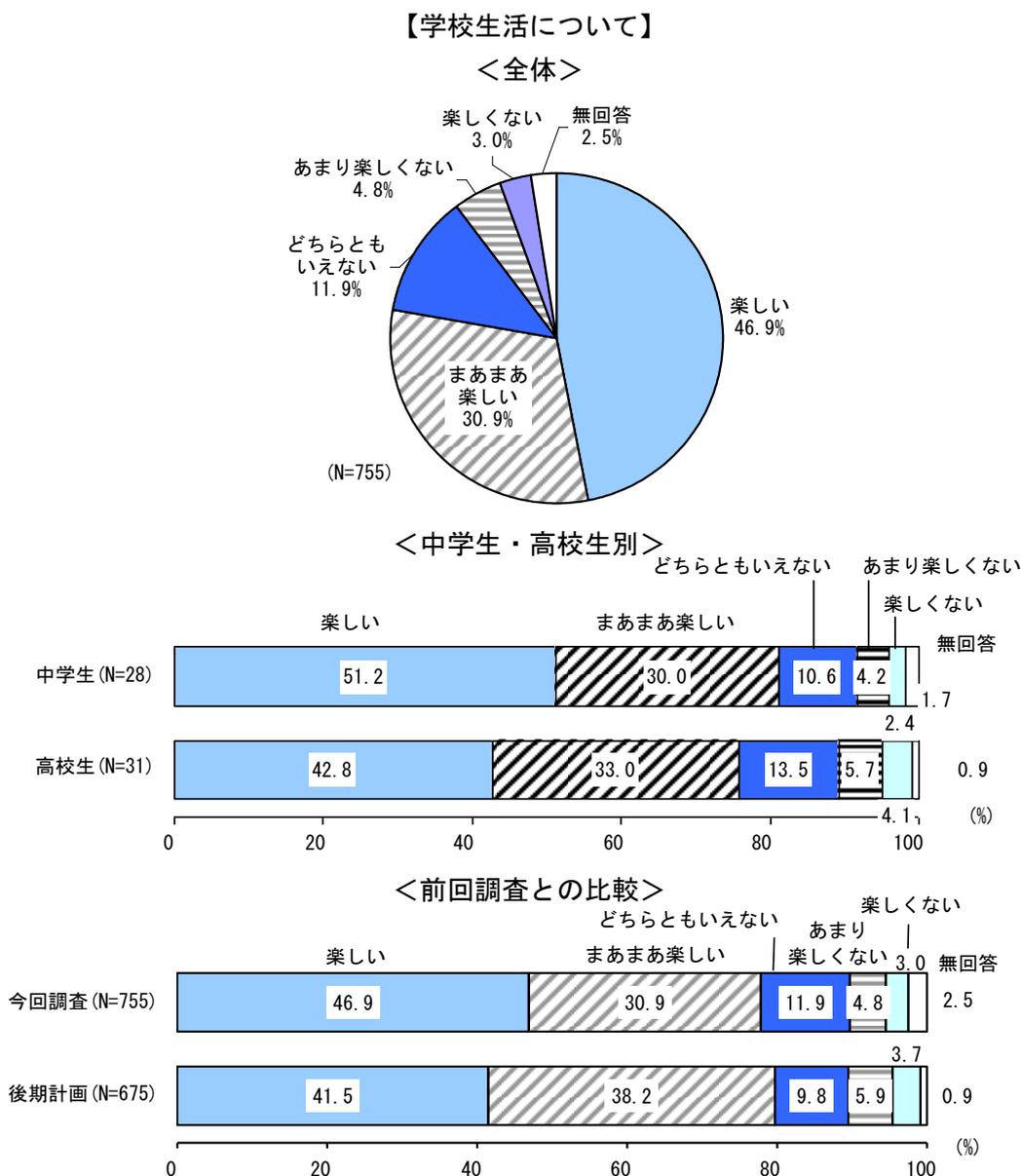
学校生活については、「楽しい」が46.9%で最も多く、次いで「まあまあ楽しい」30.9%となっており、両者をあわせると約8割が楽しいと回答している。

■中学生・高校生別

中・高校生ともに、「楽しい」が最も多く、次いで「まあまあ楽しい」になっているが、両者を合わせた割合は、中学生の方が高校生よりも高くなっている。

■前回調査との比較

後期計画調査・今回調査ともに、学校生活が楽しいという回答が多数を占めているが、積極的に「楽しい」と肯定する割合は、後期計画調査よりも今回調査の方が高くなっている。



問21-1 問21で「4」または「5」に○をつけた方にかがいます。

学校生活を楽しめない理由は何ですか。(○は3つまで)

■全体

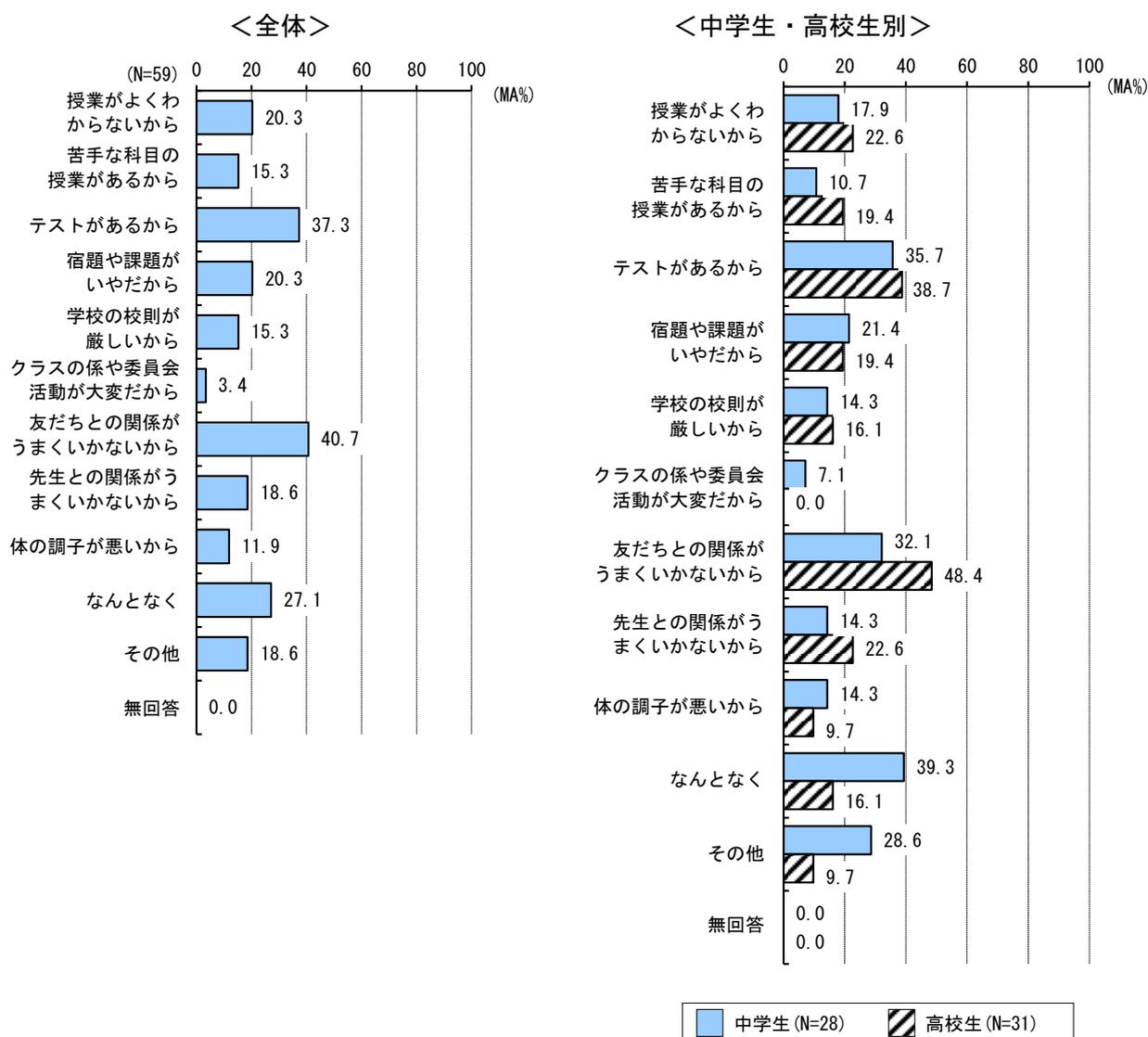
学校が楽しめない理由では、「友だちとの関係がうまくいかないから」が40.7%で最も多く、次いで「テストがあるから」37.3%となっている。

■中学生・高校生別

中学生では、「なんとなく」が39.3%で最も多く、次いで「テストがあるから」35.7%となっている。

高校生では、「友だちとの関係がうまくいかないから」が48.4%で最も多く、次いで「テストがあるから」38.7%となっている。

【学校生活を楽しめない理由】



## 5 地域とのつながり

### (1) 地域活動・ボランティア活動への参加

問22 あなたは、地域活動(学校以外で行う地域の活動やボランティア活動など)に参加していますか。また、今後参加したいと思いますか。(○は1つ)

#### ■全体

地域活動の参加については、「これまでに参加したことがあり、今後も参加したい」が32.3%で最も多く、次いで「これまでに参加したことがなく、今後も参加するつもりはない」25.3%となっている。

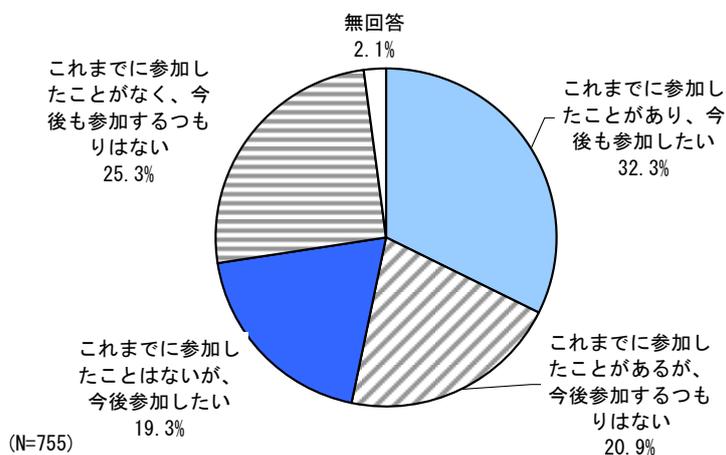
「これまでに参加したことがあり、今後も参加したい」と「これまでに参加したことがあるが、今後参加するつもりはない」をあわせた参加経験者は53.2%と5割を超えている。また、「これまでに参加したことがあり、今後も参加したい」と「これまでに参加したことはないが、今後参加したい」をあわせた参加希望者は51.6%となっている。

#### ■中学生・高校生別

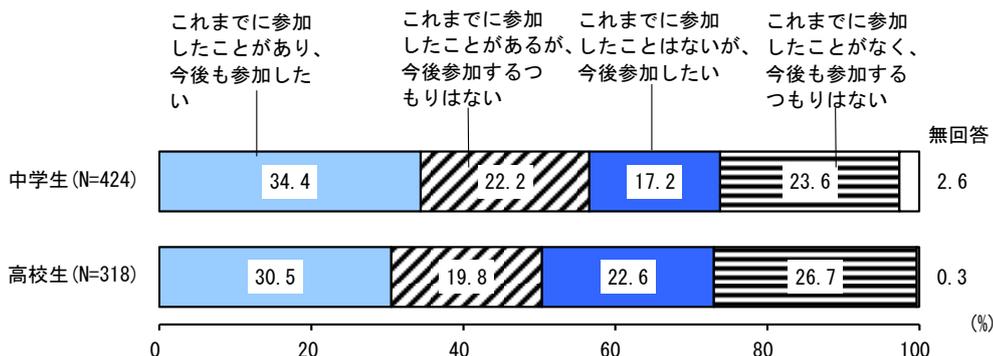
「これまでに参加したことがあり、今後も参加したい」と「これまでに参加したことがあるが、今後参加するつもりはない」をあわせた参加経験者は、中学生が56.6%に対して、高校生では50.3%となっている。また、「これまでに参加したことがあり、今後も参加したい」と「これまでに参加したことはないが、今後参加したい」をあわせた参加希望者は、中学生が51.6%に対して、高校生では53.1%となっている。

【地域活動の参加状況・参加意欲】

#### <全体>



#### <中学生・高校生別>



(2) 小さな子どもとのふれあい

問23 あなたは、小さな子ども（小学校に入る前の乳幼児）とふれあう機会がありますか。（○は3つまで）

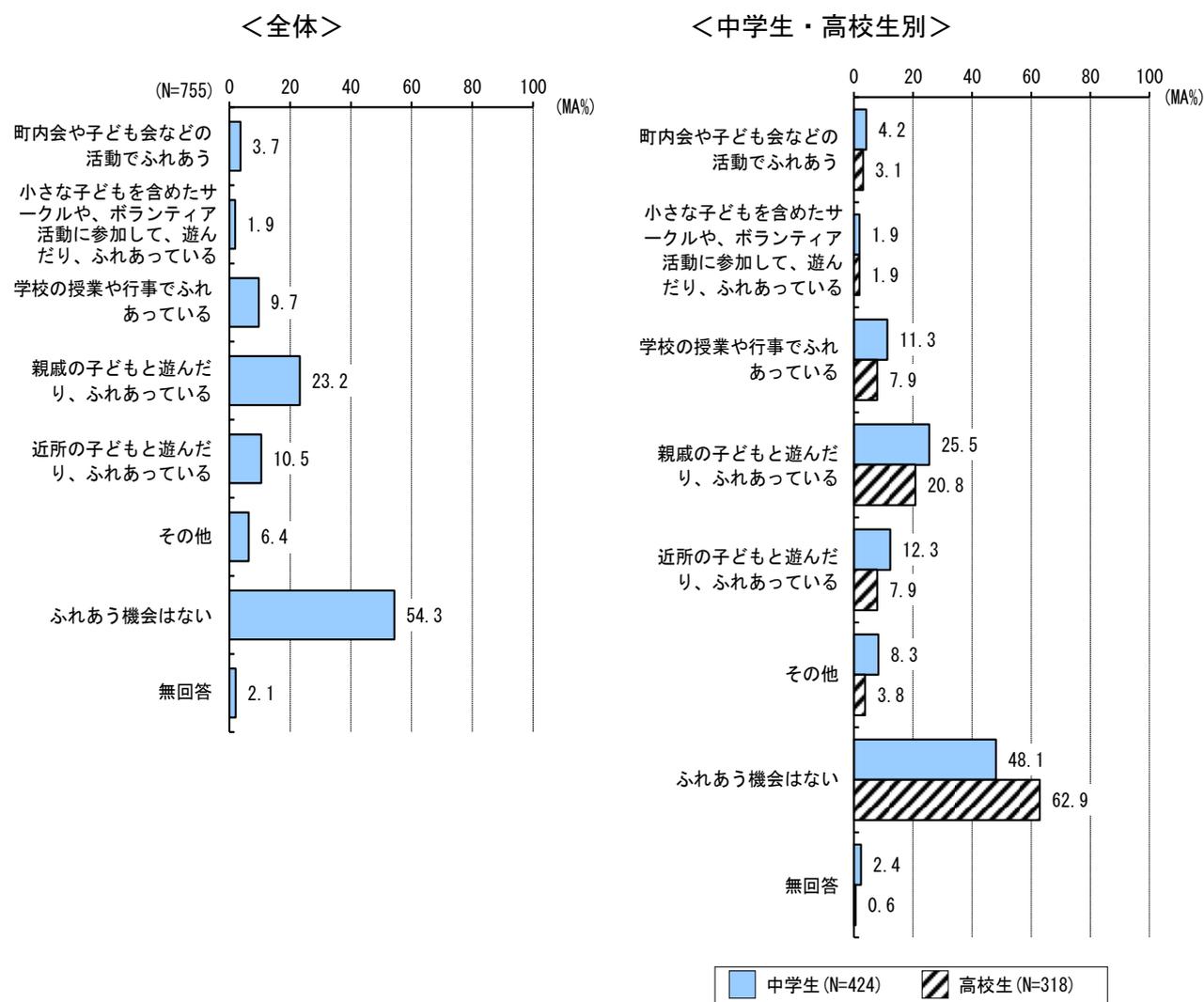
■全体

小さな子どもとふれあう機会については、「ふれあう機会はない」が54.3%で最も多く、次いで「親戚の子どもと遊んだり、ふれあっている」23.2%となっている。

■中学生・高校生別

中学生・高校生ともに「ふれあう機会はない」が最も多く、次いで「親戚の子どもと遊んだり、ふれあっている」となっており、町内会や近所など地域でふれあっている中高生は少ない。

【小さな子どもとふれあう機会】



問24 家族や地域社会など、自分のまわりの小さな子どもについてどう思いますか。(○は3つまで)

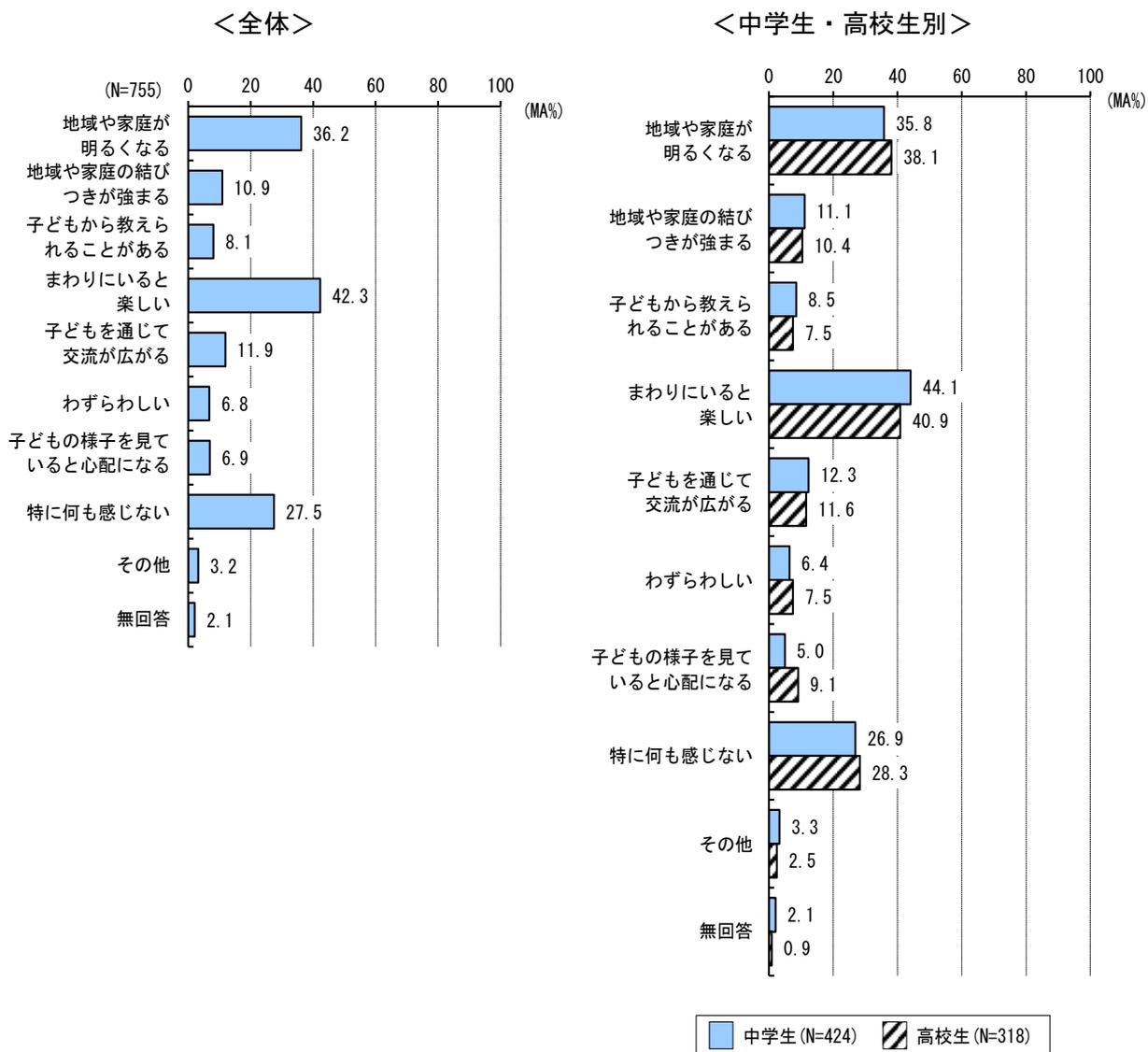
■全体

小さな子どもについては、「まわりにいると楽しい」が42.3%で最も多く、次いで「地域や家庭が明るくなる」36.2%、「特に何も感じない」27.5%となっている。

■中学生・高校生別

中学生・高校生ともに「まわりにいると楽しい」が最も多く、ほぼ全体と同様の傾向となっている。

【小さな子供について】



(3) 地域の大人による見守り

問25 あなたの地域では、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じますか。(〇は1つ)

■全体

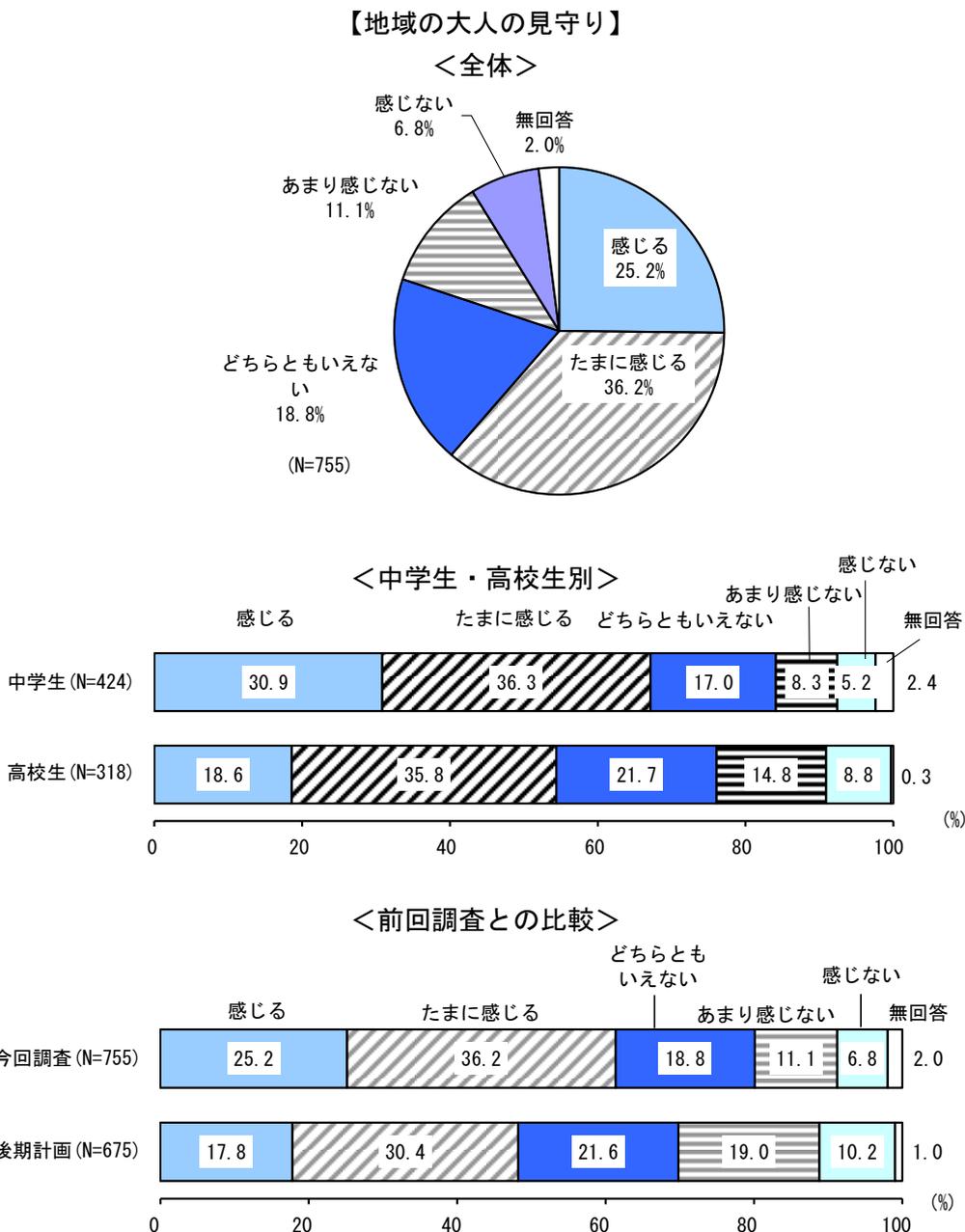
地域の大人の見守りについては、「たまに感じる」が36.2%で最も多く、次いで「感じる」25.2%となっており、両者をあわせると6割以上が大人の見守りを感じている。

■中学生・高校生別

中学生・高校生ともに「たまに感じる」が最も多くなっているが、これに「感じる」をあわせた見守りを感じている割合は、高校生より中学生の方が高くなっている。

■前回調査との比較

今回調査は後期計画調査に比べて「感じる」や「たまに感じる」の割合が高くなっており、大人の見守りを感じている中学生・高校生が増えている。



## 6 将来について

### (1) 結婚観

問26 あなたは、将来、結婚したいと思いますか。(○は1つ)

#### ■全体

将来の結婚については、「ぜひ結婚したい」が37.0%で最も多く、次いで「できるだけ結婚したい」31.1%となっており、結婚希望は多い。

#### ■中学生・高校生別

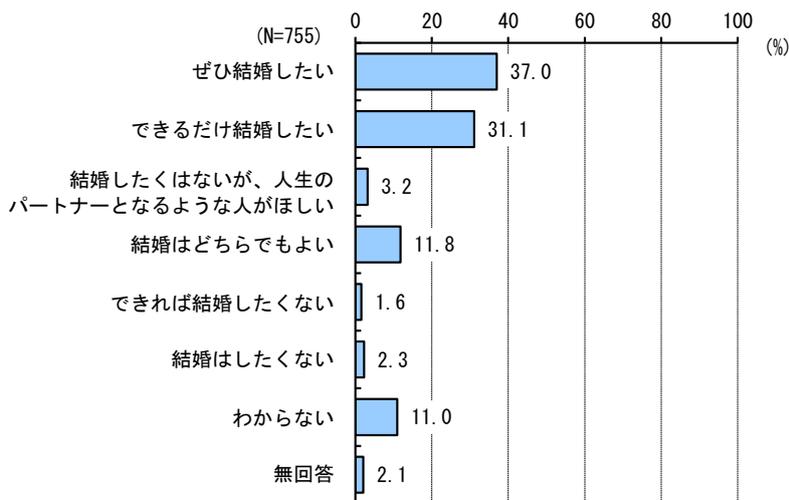
中学生・高校生ともに結婚を希望する人が多いが、中学生より高校生の方が、より強く結婚を希望している。

#### ■前回調査との比較

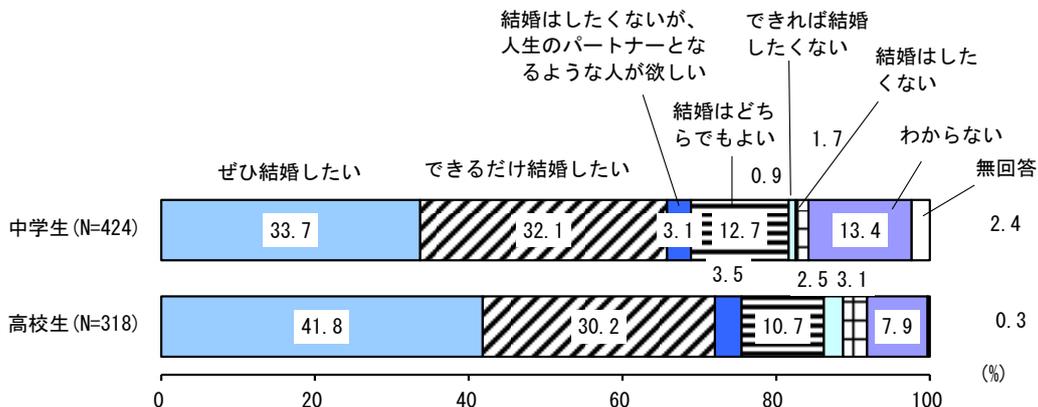
後期計画調査に比べて「ぜひ結婚したい」が6.0ポイント減少し、結婚したいと考えている人が微減傾向となっている。

【将来の結婚について】

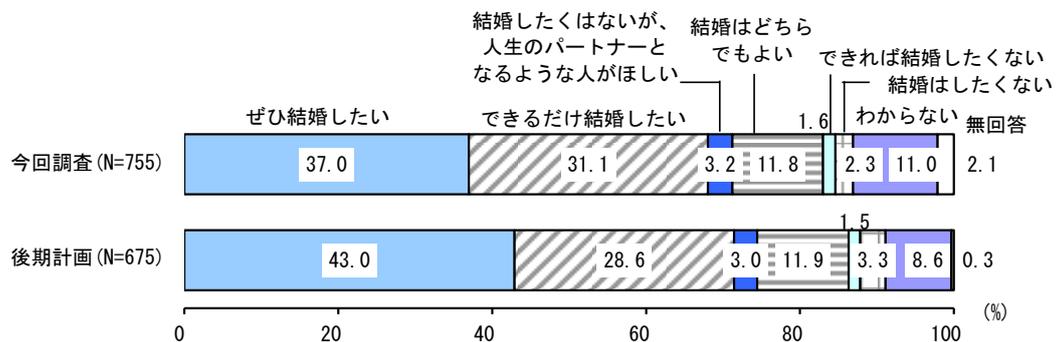
<全体>



<中学生・高校生別>



＜前回調査との比較＞



問27 あなたは、結婚にどんなイメージを持っていますか。(〇は3つまで)

■全体

結婚のイメージについて、「好きな人とずっといっしょにいられる」が47.4%で最も多く、次いで「子どもが持てる」37.6%となっている。

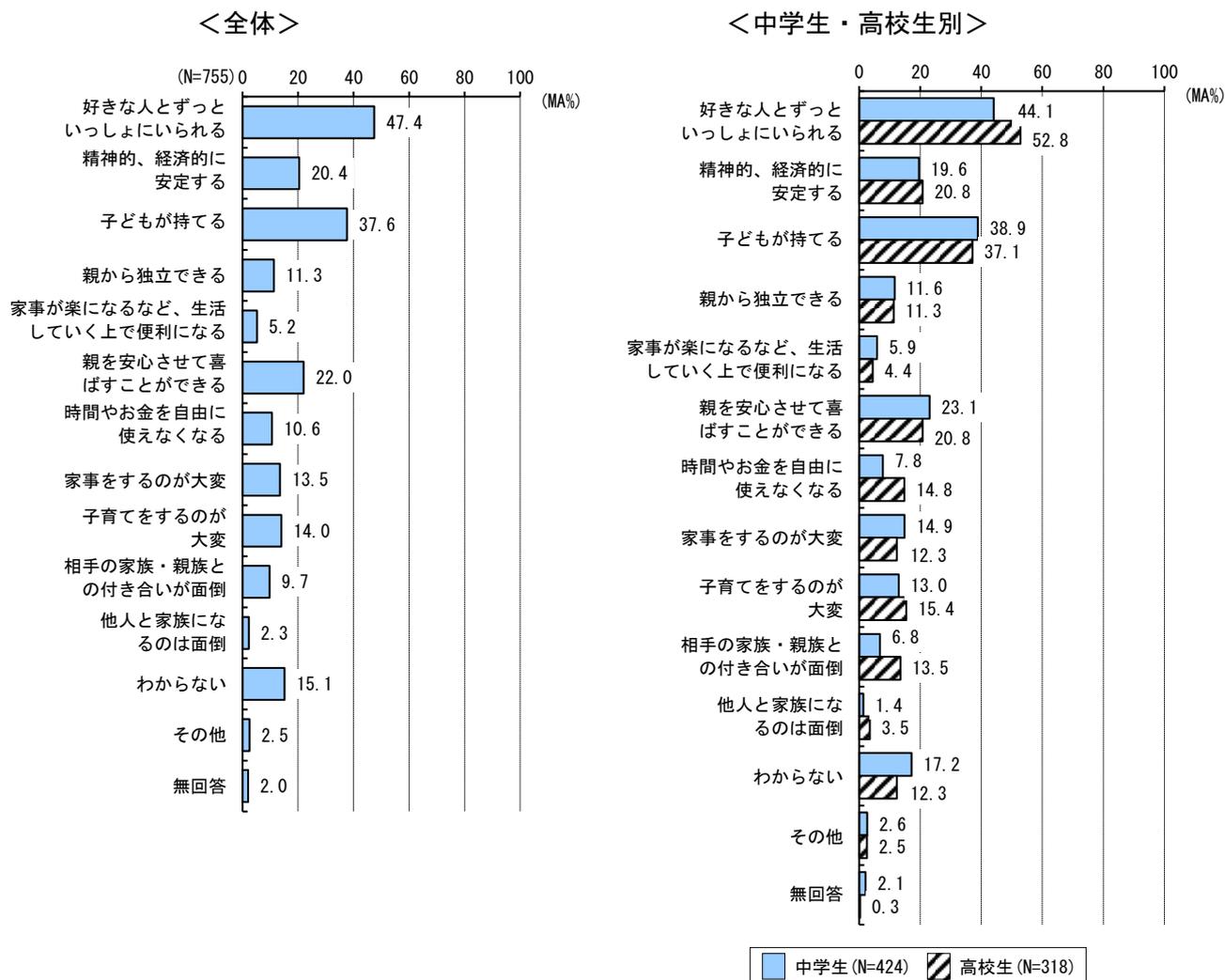
■中学生・高校生別

中学生・高校生ともに「好きな人とずっといっしょにいられる」が最も多いことは共通しているが、その割合は中学生より高校生の方が高くなっている。また、中学生・高校生ともに、次いで「子どもが持てる」となっている。

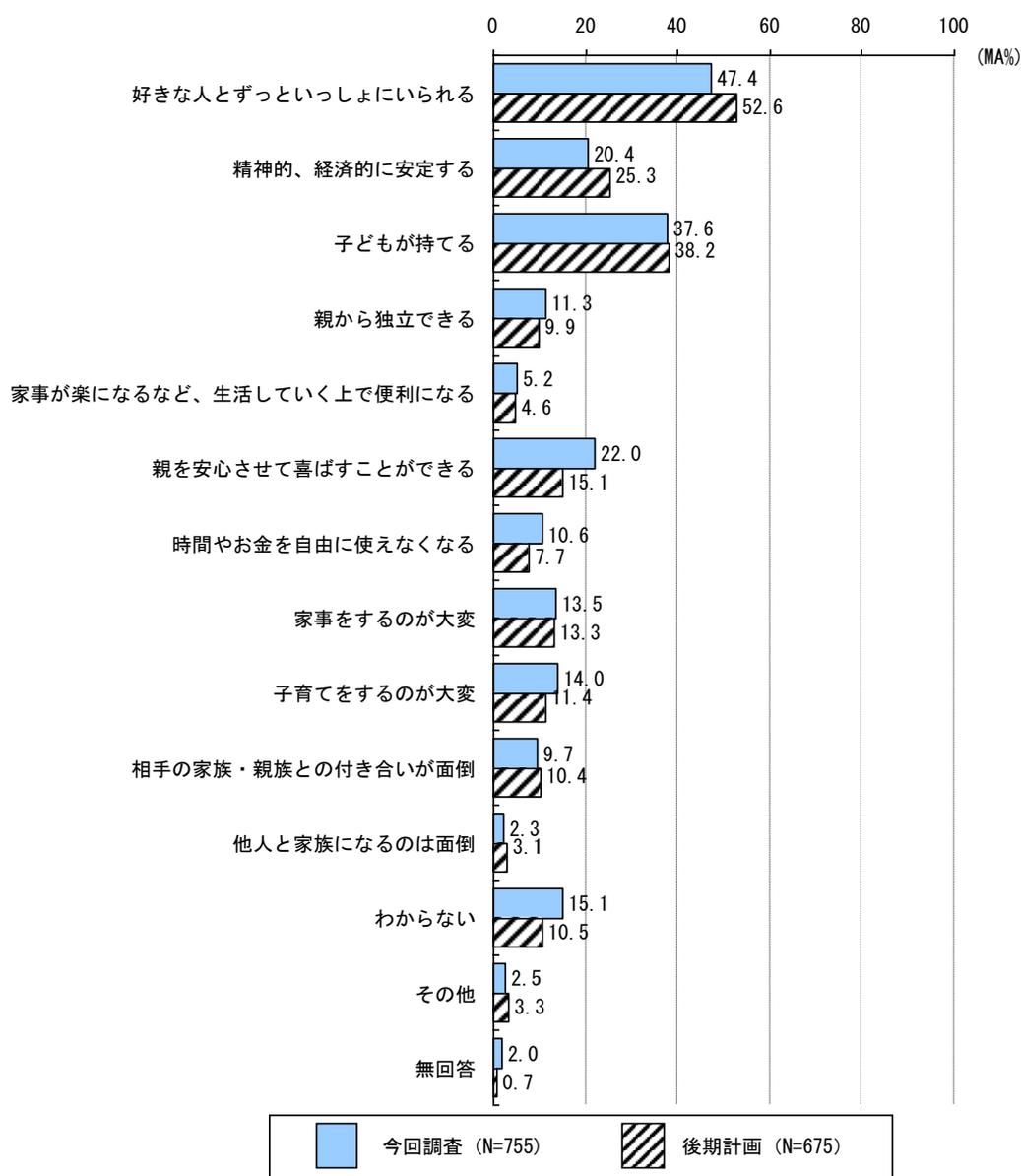
■前回調査との比較

後期計画調査・今回調査ともに「好きな人とずっといっしょにいられる」が最も多く、全体的な傾向は共通しているが、「親を安心させて喜ばすことができる」が6.9ポイント増加している。

【結婚のイメージ】



＜前回調査との比較＞



IV 中学生・高校生調査の結果

(2) 子どもを持つことについて

問28 あなたは、将来子どもは何人ぐらい欲しいと思いますか。(〇は1つ)

■全体

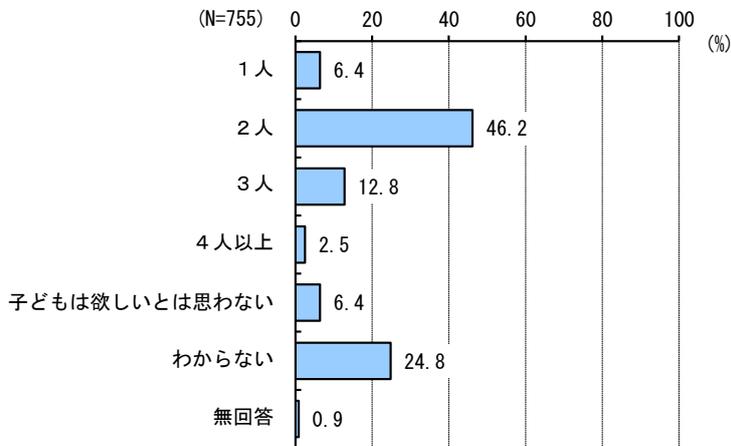
将来の子どもの人数について、「2人」が46.2%で最も多く、次いで「わからない」24.8%、「3人」12.8%となっている。「子どもは欲しいとは思わない」は6.4%みられる。

■中学生・高校生別

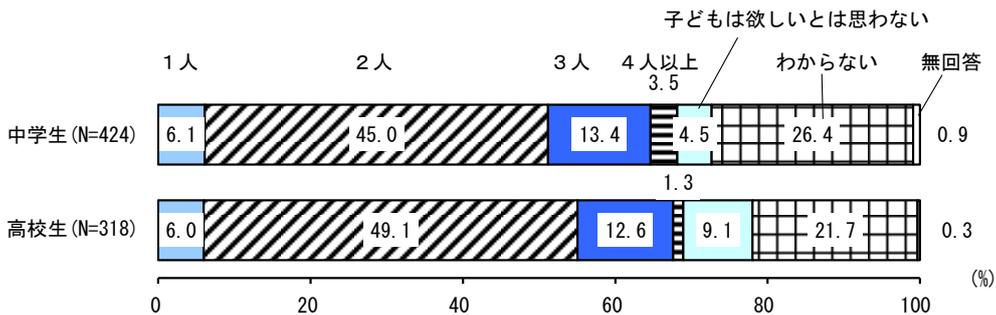
中学生・高校生ともに「2人」が最も多く、次いで「わからない」となっており、概ね全体と同様の傾向となっている。但し、「子どもは欲しいとは思わない」は、高校生では約1割を占めている。

【将来の子どもの人数】

<全体>



<中学生・高校生別>



問29 子どもを持つことへのイメージについて、あなたの考えに近いものはどれですか。  
(〇は3つまで)

■全体

子どもを持つことへのイメージについては、「自分の子どもはかわいいと思う」が55.6%で最も多く、次いで「当然、子どもを持って育てたいと思う」49.4%、「子育てを通して人間として成長できる」34.2%となっている。

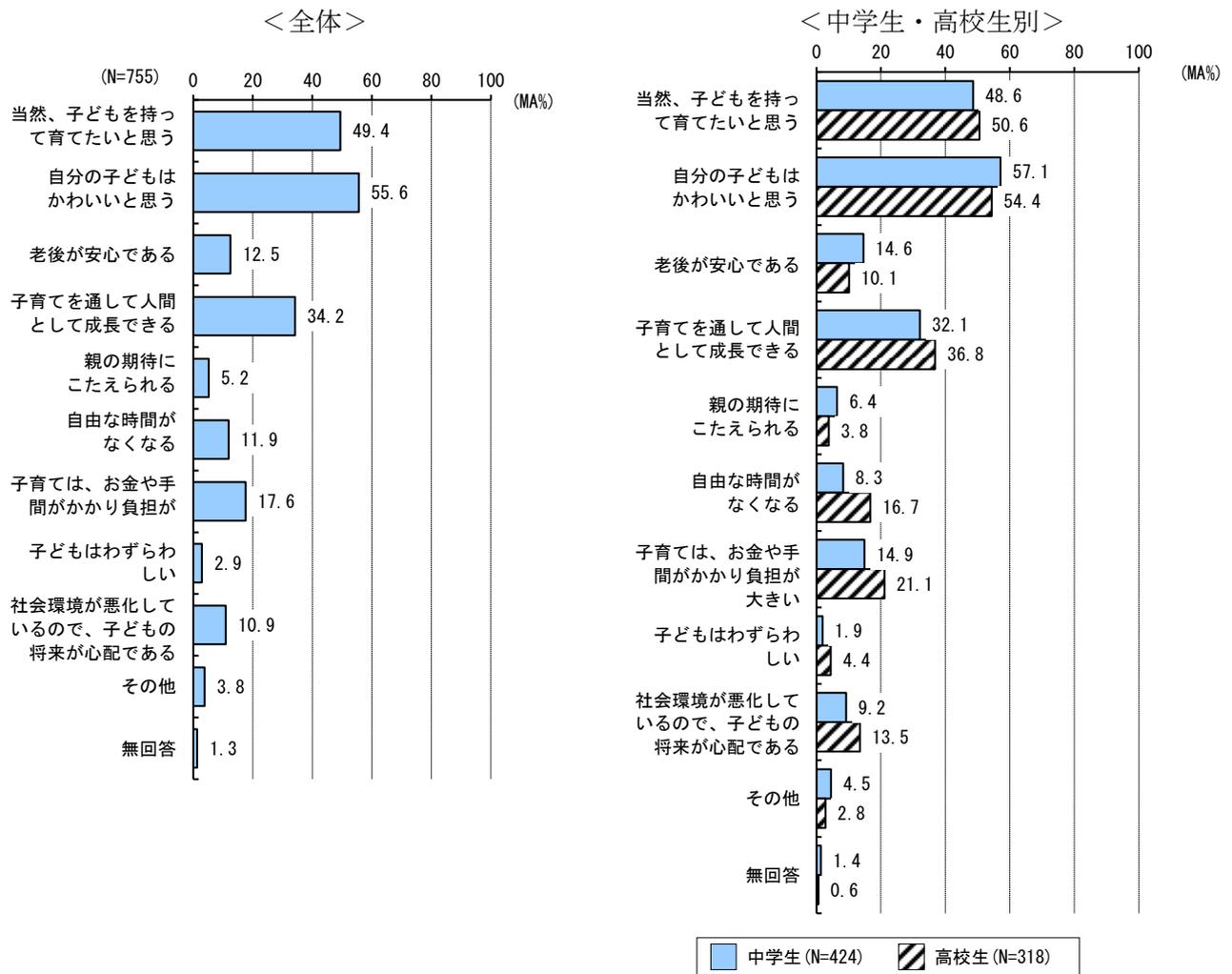
■中学生・高校生別

中学生・高校生ともに「自分の子どもはかわいいと思う」が最も多く、次いで「当然、子どもを持って育てたいと思う」となっており、傾向は共通している。

■前回調査との比較

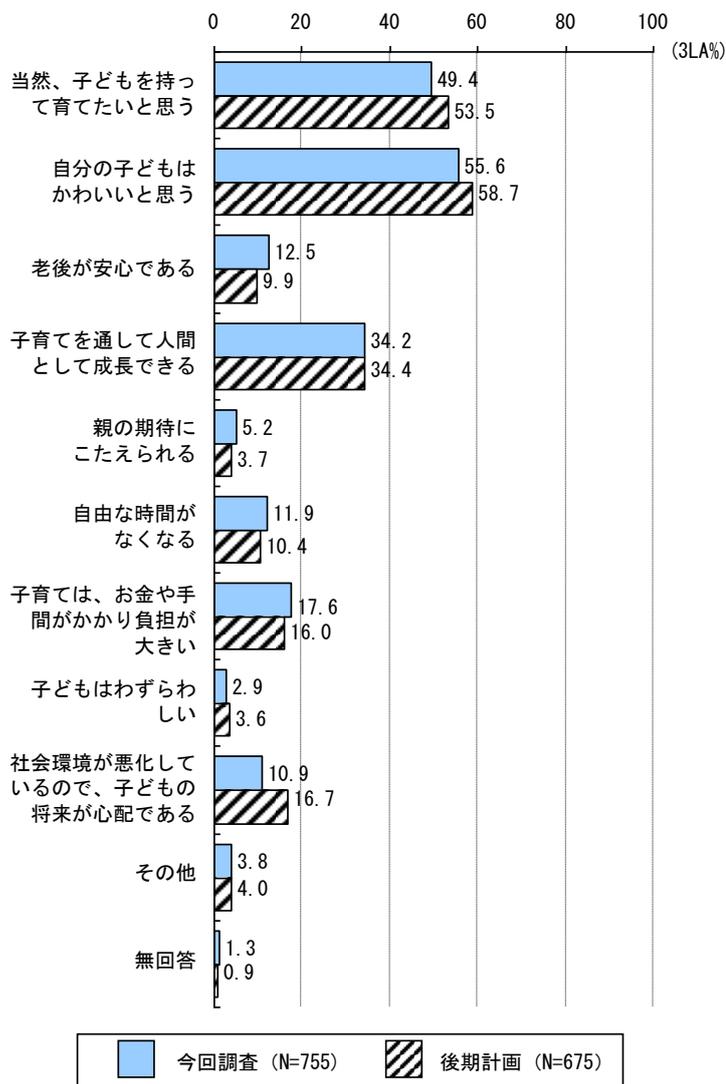
前回と比べて「当然、自分の子どもを持って育てたいと思う」が4.1ポイント減少となっている。

【子どもを持つイメージ】



IV 中学生・高校生調査の結果

<前回調査との比較>



(3) 将来の生活像

問30 あなたの将来のことに、あてはまるものに○をつけてください。

■全体

将来のことに、4項目で意識を尋ねた。

『①結婚したら家事をする』、『②結婚したら育児をする』、『③結婚したら仕事をやめない』については、「はい」が約9割と大半をしめている。

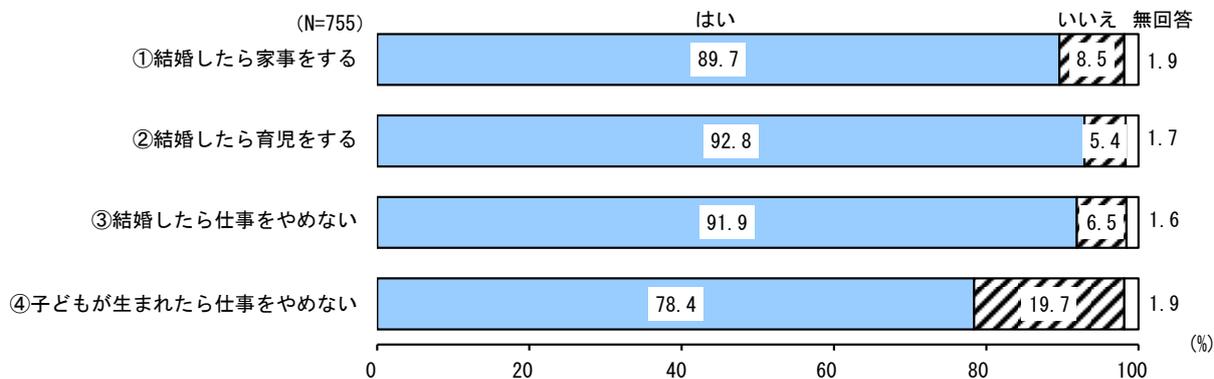
『④子どもが生まれたら仕事をやめない』についても「はい」が大半を占めているが、前述の4項目より「いいえ」の割合が高くなっている。

■中学生・高校生別

中学生・高校生ともに全体と同じ傾向となっている。

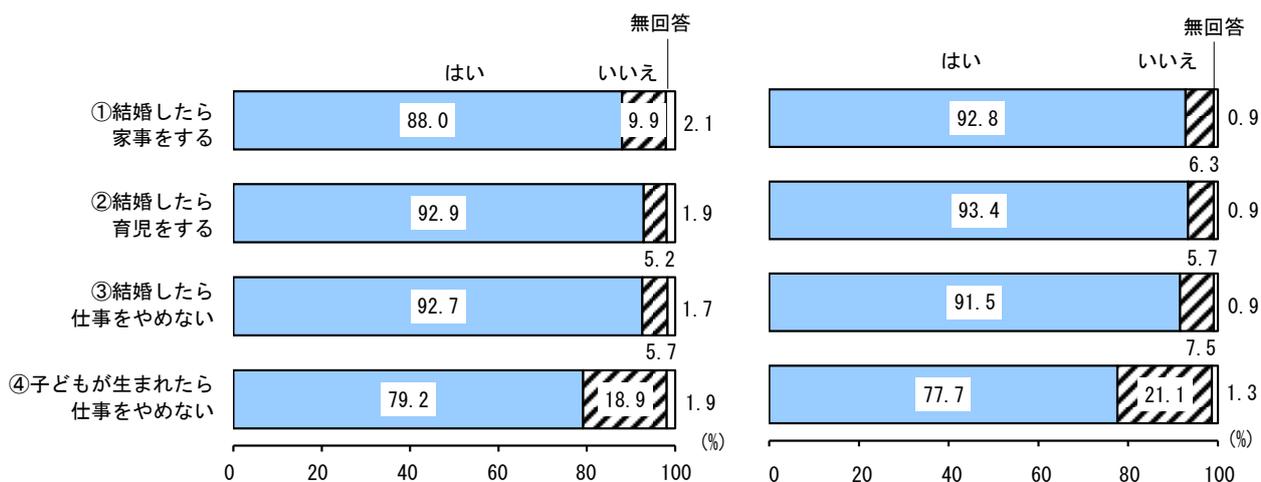
【将来について】

<全体>



<中学生>

<高校生>



## 7 高松市での居住継続意向

### (1) 高松市での居住継続意向

問31 あなたは、将来、高松市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

#### ■全体

将来、高松市に住み続けたいかについては、「どちらともいえない」が21.9%で最も多く、次いで「できれば済み続けたい」18.7%、「一度市外へ住み、将来高松市に戻りたい」16.7%となっており、意向は分散している。

#### ■中学生・高校生別

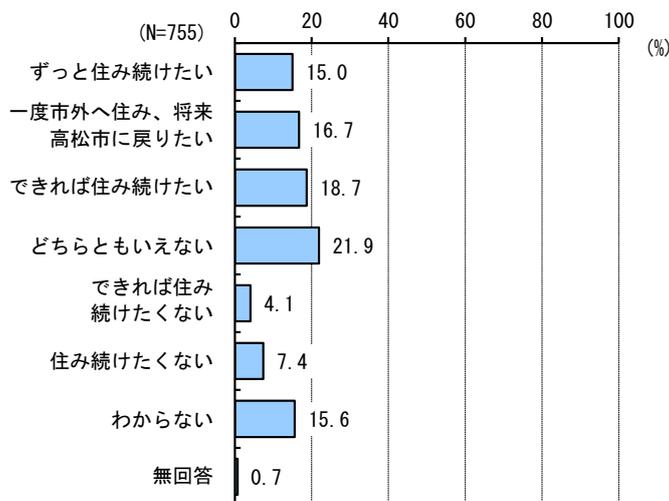
中学生・高校生ともに、「ずっと住み続けたい」、「一度市外へ住み、将来高松市に戻りたい」、「できれば住み続けたい」をあわせた居留意向をもつ割合は約5割を占めている。

#### ■前回調査との比較

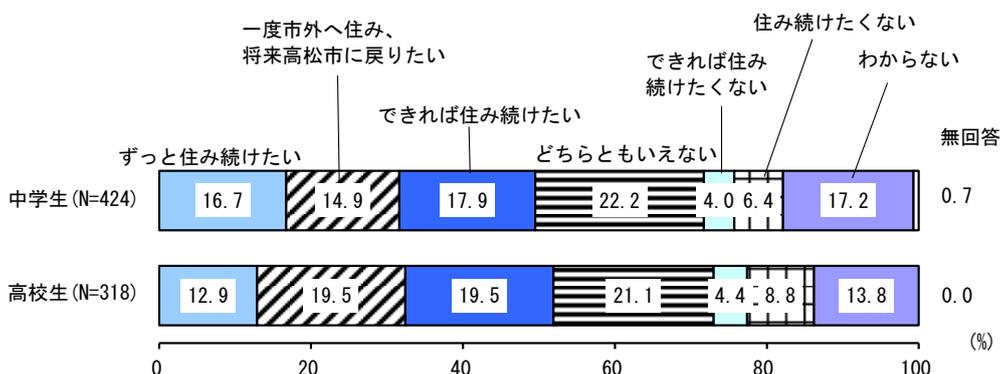
後期計画調査・今回調査ともに「どちらともいえない」が最も多いことは共通しているが、「ずっと住み続けたい」、「一度市外へ住み、将来高松市に戻りたい」、「できれば住み続けたい」をあわせた居留意向をもつ人の割合は、後期計画調査より今回調査の方が5.3ポイント上昇している。

【将来、高松市に住み続けたい】

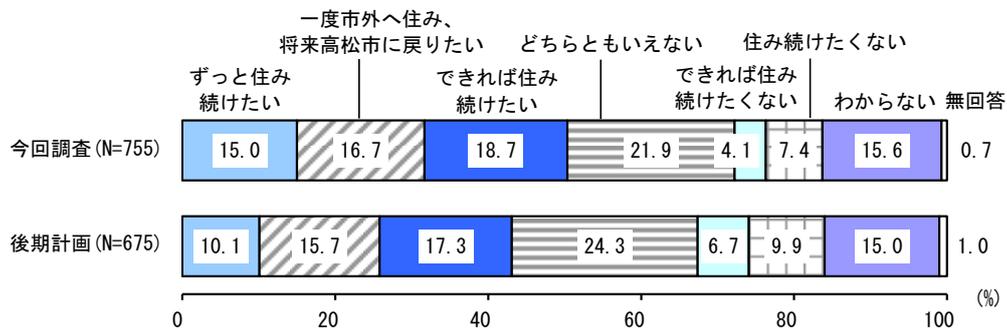
<全体>



<中学生・高校生別>



<前回調査との比較>



#### IV 中学生・高校生調査の結果

## V まとめ



## 1. 教育・保育事業及び子育て支援事業等について

### (1) 定期的な教育・保育事業

- 平日の現在の利用率は、「幼稚園」28.8%、「認可保育所」32.9%、「認定こども園」1.0%、「院内・事業所内保育施設」1.3%となっている。
- 平日の今後の利用希望（複数回答）は、「幼稚園」63.2%、「認可保育所」52.2%、「認定こども園」29.1%、「院内・事業所内保育施設」6.1%となっている。現状と比べると、いずれも今後の希望率の方が高いが、特に「幼稚園」の希望が多くなっている。
- 父母の就労タイプ別にみると、“フルタイム×フルタイム”や“フルタイム×パートタイム”でも「幼稚園」の希望が各々47.2%、59.1%あり、“フルタイム×非就労”で「認可保育所」の希望が29.4%ある。一概に就労している＝保育所希望、就労していない＝幼稚園希望とは言えない状況である。
- 平日の希望利用日数は、事業に関わりなく「5日」が多い。利用時間では、幼稚園は「9時～15時まで」の「1日6時間」、認可保育所は「9時～17時または18時まで」の「1日8・9時間」、認定こども園は「8時または9時～17時または18時まで」の「1日10時間」が多い。院内・事業所内保育施設は「8時～18時」の「1日9・10時間」の希望が多い。
- 土曜日、日曜日の定期的な教育・保育事業の利用については「利用する必要はない」が多数を占めているが、幼稚園の長期休暇中の利用については、「ほぼ毎日」と「週に数日」をあわせると65.5%が希望しており、利用時間は希望終了時刻が「15時」が多くなっている。
- 教育・保育内容で充実してほしいことについては、「教育・保育環境の充実」68.2%、「幼稚園や保育所の先生の専門性や資質の向上」61.0%が多い。
- 定期的な教育・保育事業については、区域におけるニーズを正確に把握し、待機児童が生じないよう量の確保を図るとともに、保護者が希望する事業や施設を選択しやすくみづくり、教育・保育内容の質の向上が求められている。

### (2) 病児・病後児保育事業

- 病児・病後児保育事業を利用したことがあるのは、就学前児童11.1%、小学生2.0%であるが、就学前児童では病気の際に父親または母親が会社を休んで対応したもののうち33.2%（全体の11.0%）が病児・病後児保育事業の利用を希望している。
- 就学前児童の保護者の病児・病後児保育を利用したくない理由や、小学生の保護者の病児・病後児保育事業を利用しなかった理由をみると、「他人にみてもらうのは不安」「利用料がかかる・高い」「利便性がよくない」「子どもをみる人がいる」などがあがっている。
- 病児・病後児保育事業の充実とともに周知を図る必要があるが、「子どもがかawaiiそう」「子どもが嫌がる」といった自由意見にもみられるように、利用は一定以上には増えないと考えられる。

### (3) 不定期の預かり事業

- 就学前児童の保護者で、現在、一時預かり・幼稚園の預かり保育・ファミリーサポートセンター等の何らかの不定期的な預かり事業を利用しているのは13.6%である。小学生の保護者でこの1年間に一時預かりを利用したことがあるのは18.4%となっている。
- 今後の利用希望をみると、小学生の保護者では15.8%が利用を希望し、利用希望日数は「月

## V まとめ

1・2日」が多い。一方、就学前児童の保護者では不定期事業の利用希望が45.1%あり、利用希望日数は年間平均22日（月1.8日）となっている。

- 保護者のリフレッシュ目的や急用等に対応する一時預かり事業のニーズは今後増加していくことが予想され、提供体制の確保、提供内容の質的向上が求められている。

### (4) 宿泊を伴う預かり

- この1年間に泊りがけで家族以外にみてもらったことがあるのは、就学前児童の保護者24.9%、小学生の保護者17.5%である。
- その際の対応としては「親族・知人にみてもらった」が最も多い。「ショートステイ」の利用は就学前で0.4%、小学生で1.8%、「ショートステイ以外の保育事業を利用した」が就学前で0.5%、小学生で0.0%であり、宿泊を伴う事業の利用は極めて少ない。
- 「仕方なく子どもを同行させた」が就学前で20.1%、小学生で13.5%みられることから、ショートステイ等の宿泊を伴う預かり事業の周知広報を図るとともに、内容の充実が求められている。

### (5) 放課後児童クラブと放課後子ども教室

- 就学前の保護者は、小学校1～4年で39.1%、小学校5～6年で21.0%が放課後児童クラブの利用を希望している。一方、小学生の放課後児童クラブの利用率は14.5%であり、今後、現状より希望が増える可能性がある。
- 就学前の保護者について、休日の放課後児童クラブの利用希望をみると、土曜日、日曜日・祝日については「利用する必要はない」が多くを占めているが、長期休暇中については、平日と同様の時間帯で利用希望する人が9割を超えている。
- 小学生の保護者が利用を希望する学年をみると、「4年生まで」が最も多いが、「6年生まで」も26.1%（利用希望者を100%とする値）みられる。
- 小学生の保護者が放課後児童クラブを利用できていない理由をみると、「就労していないなど、利用要件を満たしていない」が最も多いものの、次いで「利用希望者が多くて利用できていない」となっており、待機児童の解消が必要である。
- 放課後子ども教室については、住んでいる小学校区にあった場合に47.6%が利用を希望している。
- 小学校区によって、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の利用希望に違いがみられる。以下に特徴のある小学校区を記載する。
  - 放課後児童クラブ・放課後子ども教室ともに全市平均より5%以上高い  
古高松、仏生山、円座、弦打、中央、木太南、塩江、安原
  - 放課後児童クラブのみ全市平均より5%以上高い  
高松第一、香西、東植田、古高松南、屋島西、木太北部
  - 放課後子ども教室のみ全市平均より5%以上高い  
亀阜、木太、川添、一宮、太田南、川東
- 今後利用増が見込まれる放課後児童クラブについて、待機児童の解消、内容の充実を図るとともに、放課後子ども教室と連動した実施の検討が必要である。

### (6) 地域子育て支援拠点事業（3歳未満）

- 「現在利用している」のは21.6%、「利用していないが、今後利用したい」が26.8%であり、あわせると約5割が利用を希望している。現在の利用率・今後の利用希望率ともに区域によって差があることから、地域のニーズを把握し、適切な利用に結び付ける必要がある。
- なお、利用希望回数は「月4回（週1回）～月7回」が最も多くなっている。

## 2. 子育て支援全般について

### (1) 仕事と家庭の両立支援

- 育児休業を取得したのは、母親の70.7%（就労している人を100%とする）、父親の1.3%（同）であり、父親では「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」などから、取得できなかった場合も多くみられる。
- 母親の職場復帰については、「希望より早く復帰」が51.7%と半数を占め、「希望通りの時期に復帰」が35.2%となっている。希望より早く復帰した母親の理由は「希望する保育所に入るため」が最も多い。
- 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合には3歳まで育児休業を取得したいという母親が約3割、1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合には1歳まで育児休業を取得したいという母親が約9割を占めており、育児休業制度や保育事業の充実によっては、より長く育児休業を取得したい希望をもつ母親は多い。
- 育児休業から職場復帰時に短時間勤務制度を利用したのは29.0%であり、「利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が38.8%と多い。利用しなかった（利用できなかった）理由としては「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が63.4%で最も多い。制度の整備だけでなく、職場の理解が求められている。
- 子育てをしながら仕事をする上で必要なこととして、「日中の定期的保育（幼稚園、保育所など）の充実」が83.6%、「家庭の協力」72.0%、「企業の体制の充実」58.3%が3大ニーズとなっている。

### (2) 相談支援

- 日頃、就学前の保護者・小学生の保護者ともに約9割が何らかの悩みを感じている。悩みの内容としては、就学前の保護者では「子どもの性格や行動のこと」43.2%、「子育てにお金がかかること」33.8%、「子どもの遊ばせ方やしつけ方がわからないこと」25.7%、「子どもの勉強や進学のこと」25.7%が多い。小学生の保護者では「子どもの勉強や進学のこと」52.7%、「子どもの性格や行動のこと」43.9%、「子育てにお金がかかること」33.9%が多い。
- 相談相手としては、就学前の保護者・小学生の保護者ともに「祖父母等の親族」と「友人や知人」が圧倒的に多く、「子育て支援施設」や「市の相談窓口」は極めて少ない。
- 相談支援機関の認知度や利用経験については、『高松市保健センター』は認知度、利用経験ともに高いが、『香川県子ども女性相談センター』『高松市子育て支援課子ども女性相談室』『子どもと家庭の電話相談（香川県子ども女性相談センター）』については、利用経験は就学前の保護者で数%、小学生の保護者でも10%程度までとなっており、認知度も30%台から50%程度までとなっている。
- 気軽に相談できる祖父母や友人・知人はもとより、専門的な相談など幅広い相談内容に対応

## V まとめ

できるよう、市の相談窓口の充実及び各種相談窓口・相談支援機関の周知広報が求められている。

### (3) 子どもの居場所

- 子どもの遊び場については、就学前の保護者・小学生の保護者ともに「安心して遊べる場所」(各々57.2%、68.6%)と「近くの遊び場」(各々51.4%、63.2%)が二大ニーズであり、次いで、就学前の保護者では「雨の日に遊べる場所」、小学生の保護者では「思い切り遊ぶために十分な広さがあるところ」が多い。
- 就学前の親子の居場所として重要なことについては、「自宅に近い」62.3%、「曜日や時間にかかわらず、いつでも利用できる」46.5%、「同年齢の子どもと一緒に遊べること」45.9%が多い。
- 高松市が子育てしやすいまちだと思わない人は就学前の保護者で10.3%、小学生の保護者で10.2%と少数であるが、その最大の理由として、「公園や児童館など子どもの遊び場が少ない」(就学前の保護者57.8%、小学生の保護者63.1%)があがっている。
- 自宅の近くにおいて子どもの遊び場・居場所の拡充を図るとともに、「安全」「雨天でも利用できる」「十分な広さ」など、遊び場・居場所の機能の充実が求められている。

### (4) 行政施策全般について

- 理想とする子どもの人数は、就学前の保護者で「3人」、小学生の保護者で「2人」と「3人」が多いが、実際の子どもの人数は就学前の保護者・小学生の保護者ともに「2人」が5割以上を占め、理想より実際の子どもの人数が少ないのは、就学前の保護者で50.1%、小学生の保護者で38.9%となっている。理想より実際の子どもの人数が少ない理由として「経済的な負担が増えるから」が就学前で65.1%、小学生で61.2%と最大の理由となっており、少子化の大きな要因は経済的負担であることがわかる。少子化対策として、経済的な支援が求められている。
- 子どもが健やかに育つ環境をつくるために必要なこととして、就学前の保護者では「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」47.7%、「幼稚園や保育所にかかる費用負担を軽減して欲しい」44.5%が二大ニーズとなっている。一方、小学生の保護者の要望は分散しているが、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」31.1%、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい」27.9%、「交通安全のための教育や道路・歩道を整備して欲しい」27.4%となっている。就学前期・小学生期ともに“親子の居場所づくり”が最大のニーズであり、これに加えて、就学前期では“教育・保育に関する費用負担”、小学生期には“医療体制”“交通安全”が求められている。

3. 区域別のニーズのまとめ（子ども・子育て支援事業に関わる事項）

	都心	中部	東部北	東部南	西部北	西部南	南部
平日の定期的な教育・保育事業の希望	・「幼稚園」66.7%、「保育所」46.9%、認定こども園28.3%	・「幼稚園」69.9%、「保育所」52.1%、「認定こども園」26.5%	・「幼稚園」64.4%、「保育所」44.9%、「認定こども園」37.3%	・「保育所」60.5%、「幼稚園」57.0%、「認定こども園」20.5% ・保育所のニーズが他区域に比べて高い	・「保育所」61.4%、「幼稚園」60.0%、「認定こども園」31.0% ・保育所のニーズが他区域に比べて高い	・「幼稚園」56.9%、「保育所」56.9%、「認定こども園」25.5%	・「保育所」57.8%、「幼稚園」49.1%、「認定こども園」42.2% ・認定こども園のニーズが他区域に比べて高い
休日の定期的な教育・保育事業の希望	・土曜日：34.0% ・日曜・祝日：15.4%	・土曜日：35.6% ・日曜・祝日：12.8%	・土曜日：32.9% ・日曜・祝日：11.0%	・土曜日：47.5% ・日曜・祝日：21.5%	・土曜日：35.8% ・日曜・祝日：17.3%	・土曜日：38.9% ・日曜・祝日：11.2%	・土曜日：36.6% ・日曜・祝日：13.7%
長期休暇中の幼稚園の利用希望 （幼稚園利用者を100%とする）	・ほぼ毎日：25.7% ・週に数日：42.8% ・合計68.5%	・ほぼ毎日：21.9% ・週に数日：43.3% ・合計65.2%	・ほぼ毎日：21.5% ・週に数日：43.0% ・合計64.5%	・ほぼ毎日：20.5% ・週に数日：43.6% ・合計64.1%	・ほぼ毎日：12.8% ・週に数日：41.0% ・合計53.8%で、他区域に比べて利用希望率が低い	・ほぼ毎日：38.8% ・週に数日：31.3% ・合計70.1%で、他区域に比べて利用希望率が高い	・ほぼ毎日：10.7% ・週に数日：39.3% ・合計50.0%で、他区域に比べて利用希望率が低い
病児・病後児保育施設の利用希望	・11.8%	・9.4% ・利用しない理由として「他人にみてもらうのは不安」58.3%が他区域に比べて高い	・8.2%	・14.5%	・10.3% ・利用しない理由として「利便性がよくない」32.4%が他区域に比べて高い	・11.6% ・利用しない理由として「利便性がよくない」32.8%が他区域に比べて高い	・11.8%
不定期の預かり事業の利用希望	<就学前調査> ・53.1% ・他区域に比べて高い <小学生調査> ・14.2%	<就学前調査> ・46.1%  <小学生調査> ・21.8%	<就学前調査> ・45.9%  <小学生調査> ・17.7%	<就学前調査> ・41.5%  <小学生調査> ・13.0%	<就学前調査> ・35.9% ・他区域に比べて低い <小学生調査> ・12.1%	<就学前調査> ・39.3% ・他区域に比べて低い <小学生調査> ・12.0%	<就学前調査> ・34.8% ・他区域に比べて低い <小学生調査> ・13.9%
放課後児童クラブの利用希望  ※小学生については、「利用している」+「利用したいが利用できていない」	<就学前調査> ・1～4年生：38.5% 5～6年生：20.9% <小学生調査> ・19.7%	<就学前調査> ・1～4年生：41.4% 5～6年生：19.5% <小学生調査> ・19.1%	<就学前調査> ・1～4年生：40.0% 5～6年生：21.7% <小学生調査> ・18.7%	<就学前調査> ・1～4年生：42.1% 5～6年生：23.7% <小学生調査> ・14.0%	<就学前調査> ・1～4年生：37.9% 5～6年生：20.7% <小学生調査> ・19.8%	<就学前調査> ・1～4年生：45.1% 5～6年生：21.6% ・1～4年生の利用希望率が他区域より高い <小学生調査> ・15.6%	<就学前調査> ・1～4年生：30.6% 5～6年生：25.0% <小学生調査> ・18.1%
放課後子ども教室の利用希望	<就学前調査> ・1～4年生：18.7% 5～6年生：14.3% <小学生調査> ・51.3%	<就学前調査> ・1～4年生：13.8% 5～6年生：17.2% <小学生調査> ・49.6%	<就学前調査> ・1～4年生：13.3% 5～6年生：13.3% <小学生調査> ・45.5%	<就学前調査> ・1～4年生：15.8% 5～6年生：13.2% <小学生調査> ・41.0% ・利用希望率が他区域に比べて低い	<就学前調査> ・1～4年生：13.8% 5～6年生：17.2% <小学生調査> ・41.8%	<就学前調査> ・1～4年生：11.8% 5～6年生：7.8% <小学生調査> ・46.7%	<就学前調査> ・1～4年生：22.2% 5～6年生：22.2% ・利用希望率が他区域に比べて高い <小学生調査> ・45.7%
地域子育て拠点センターの利用希望	・42.6%	・44.4% ・利用率が他区域より高い	・37.5%	・34.7%	・38.2%	・32.8%	・26.7% ・利用率が他区域より低い
今後、行政に期待すること （上位3位）	<就学前> ・子連れで出かけやすい場所の増加（50.0%） ・幼稚園や保育所にかかる負担軽減（40.9%） ・交通安全教育、歩道整備（22.6%）  <小学生> ・子連れで出かけやすい場所の増加（31.9%） ・犯罪防止体制の強化（29.6%） ・医療体制の整備（29.0%）	<就学前> ・子連れで出かけやすい場所の増加（51.9%） ・幼稚園や保育所にかかる負担軽減（49.5%） ・交通安全教育、歩道整備（25.2%）  <小学生> ・交通安全教育、歩道整備（34.4%） ・子連れで出かけやすい場所の増加（29.0%） ・学校教育の推進（24.8%）	<就学前> ・幼稚園や保育所にかかる負担軽減（47.3%） ・子連れで出かけやすい場所の増加（41.8%） ・交通安全教育、歩道整備（18.5%）  <小学生> ・学校教育の推進（27.3%） ・子連れで出かけやすい場所の増加（26.7%） ・交通安全教育、歩道整備（25.1%）	<就学前> ・子連れで出かけやすい場所の増加（51.5%） ・幼稚園や保育所にかかる負担軽減（40.0%） ・親所が安心して集まれる身近な場所の拡充（18.5%）  <小学生> ・子連れで出かけやすい場所の増加（36.0%） ・学校教育の推進/医療体制の整備（28.0%）	<就学前> ・子連れで出かけやすい場所の増加（50.3%） ・幼稚園や保育所にかかる負担軽減（31.7%） ・親所が安心して集まれる身近な場所の拡充（24.1%）  <小学生> ・医療体制の整備（37.4%） ・子連れで出かけやすい場所の増加（36.3%） ・交通安全教育、歩道整備・犯罪防止体制の強化（23.1%）	<就学前> ・幼稚園や保育所にかかる負担軽減（49.4%） ・子連れで出かけやすい場所の増加（43.8%） ・低学年児童を放課後に預けられる制度の拡充（19.1%）  <小学生> ・医療体制の整備（30.5%） ・子連れで出かけやすい場所の増加（29.9%） ・犯罪防止体制の強化（28.7%）	<就学前> ・幼稚園や保育所にかかる負担軽減（46.0%） ・子連れで出かけやすい場所の増加（38.5%） ・医療機関の整備（21.7%）  <小学生> ・医療体制の整備（36.2%） ・子連れで出かけやすい場所の増加（35.1%） ・交通安全教育、歩道整備（28.7%）

※調査区分がないものは、すべて「就学前保護者調査」 ※他区域より高い・低いの記事は、全市平均と比べて5%以上の差がある場合



## VI. 自由意見のまとめ



## 1. 自由意見のまとめ

調査票の最後に、子どもが暮らしやすいまちづくりについて自由意見欄を設けたところ、就学前の児童保護者 797 人（全体の 35.6%）から 2,039 件、小学生の保護者 411 人（全体の 32.3%）から 1,005 件、中学生・高校生本人 179 人（全体の 23.7%）から 287 件の意見が寄せられた。

項目ごとに整理すると、以下のとおりである。

## ■ 1. 保健・医療について

医療費無料年齢の引き上げや任意予防接種の補助などの医療費補助の充実についての意見が多くなっている。

項目	内容	就学前	小学生	中高生	合計
1. 保健・医療について		146	120	0	266
	医療費補助の充実（無料年齢の引き上げ、任意予防接種の補助）	114	105	0	219
	小児科の充実（増設、夕方夜間休日の利用）	4	9	0	13
	医療体制の充実（夜間・休日診療病院の増加、診療時間の延長）	6	5	0	11
	乳児家庭全戸訪問の実施、保健師への相談会の開催・充実	10	0	0	10
	母子の健診・予防接種の充実（機会、場所）	6	1	0	7
	医師、看護師、保健師の資質の向上（親子への気配りが無い、信頼できない）	6	0	0	6

## VI 自由意見のまとめ

### ■ 2. 保育所について

保育料の無償化や値下げ等の見直しをしてほしいという意見が多く、次いで、入所しやすく、待機児童の解消をしてほしいという意見になっている。

項目	内容	就学前	小学生	中高生	合計
<b>2. 保育所について</b>		326	44	8	378
	保育料見直し（無償化、値下げ）	72	5	1	78
	入所しやすく、待機児童の解消、年度途中の受け入れ	51	8	2	61
	入園条件見直し（未就労時の受け入れ、育児休暇中・出産中の受け入れ、兄弟姉妹を同じ園で受け入れ）	43	9	2	54
	保育所の増設（空きがない、近場にほしい）	41	8	3	52
	人員の量質向上、教育内容の改善、行事に親が参加できるように（休日実施など）	23	4	0	27
	時間延長（開始時間と終了時間）	22	3	0	25
	一時・短期・夜間・休日・長期休暇中の受け入れ	22	1	0	23
	設備の充実（老朽施設の改修、広い園庭、駐車場の設置、子ども用トイレ、玩具、等）	9	2	0	11
	児童発病時の対応改善、病児保育もいつもの保育所してほしい	8	0	0	8
	幼稚園との教育の差をなくしてほしい	7	0	0	7
	給食の充実と改善（米飯を多く、アレルギー対策）	7	0	0	7
	入園申請後に入園可否を早く知らせてほしい	4	1	0	5
	障がい児をすべての保育所で受け入れてほしい	4	1	0	5
	保育園が信頼できない、行政が保育園をチェックしてほしい	5	0	0	5
	園庭の開放	4	0	0	4
	保育士の待遇改善	2	0	0	2
	平日の保育業務を放棄して保育士が参加する研修会をしてほしくない	1	0	0	1
	行事参加の負担軽減	0	1	0	1
	子どもの様子を連絡してほしい、先生と話す機会がほしい	0	1	0	1
	4月から導入予定の新保育制度を再検討してほしい	1	0	0	1

### ■ 3. 幼稚園について

幼稚園の無償化、値下げなどの利用料見直しをしてほしいという意見が多くなっている。

項目	内容	就学前	小学生	中高生	合計
<b>3. 幼稚園について</b>		118	13	0	131
	幼稚園の利用料見直し（無償化、値下げ）	19	3	0	22
	時間延長（開始時間と終了時間）	20	2	0	22
	一時・短期・夜間・休日・長期休暇中の受け入れ	17	1	0	18
	人員の量質向上、教育内容の改善、行事に親が参加できるように（休日実施など）	15	1	0	16
	私立幼稚園への助成（利用料金の補助）	11	2	0	13
	入園しやすく、定員の増加、年度途中の受け入れ	6	0	0	6
	幼稚園の増設（空きがない、近場にほしい）	7	0	0	7
	設備の充実（老朽施設の改修、広い園庭、駐車場の設置、子ども用トイレ、玩具、等）	6	2	0	8
	PTA 活動、行事参加の負担軽減	3	1	0	4
	障がい児をすべての幼稚園で受け入れてほしい	4	0	0	4
	園庭の開放	3	0	0	3
	給食の実施（毎日）	2	1	0	3
	入園条件見直し（兄弟姉妹同じ園に）	2	0	0	2
	幼稚園が信頼できない	2	0	0	2
	給食費の支払いを銀行窓口以外でもできるようにしてほしい	1	0	0	1

### ■ 4. 認定こども園について

こども園は必要性があるのか疑問という意見や認定こども園の増設をしてほしいという意見がある。

項目	内容	就学前	小学生	中高生	合計
<b>4. 認定こども園について</b>		10	0	0	10
	こども園は必要性があるのか疑問	5	0	0	5
	認定こども園の増設	4	0	0	4
	料金見直し（無償化、値下げ）	1	0	0	1

## VI 自由意見のまとめ

### ■ 5. 学童保育について

学童保育の増設（親切、定員増加、希望者全員の受け入れ）をしてほしいとの意見が多く、次いで学童の対象年齢の引き上げ（小学6年生まで）の意見となっている。

項目	内容	就学前	小学生	中高生	合計
<b>5. 学童保育について</b>		77	90	0	167
	学童の増設（新設、定員増加、希望者全員の受け入れ）	25	21	0	46
	学童の対象年齢の引き上げ（小学6年生まで）	12	16	0	28
	休日、長期休暇の学童実施	8	17	0	25
	設備充実・人員の量質向上・内容充実・勉強（宿題）の実施・給食の実施	12	10	0	22
	時間延長（開始時間と終了時間）	9	9	0	18
	利用料見直し（無償化、値下げ、1日単位料金、時間単位料金）	6	4	0	10
	一時利用可能に（1日のみ、休日のみ、長期休暇のみ）	0	9	0	9
	警報時の対応改善（時間まで学校で待機、警報がなくても実施）	4	3	0	7
	障がい児の受け入れ	1	0	0	1
	いじめ対策	0	1	0	1

### ■ 6. 小学校について

小学校については、校庭・体育館・プールの開放をしてほしいという要望が最も多く、次いで、公立学校のレベルアップ・学校ごとの学力差の是正・教育内容の充実と見直しをしてほしいという意見になっている。

項目	内容	就学前	小学生	中高生	合計
<b>6. 小学校について</b>		41	99	4	144
	校庭・体育館・プールの開放	6	27	0	33
	公立学校のレベルアップ・学校ごとの学力差の是正・教育内容の充実と見直し（道徳教育、食育、性教育、体験学習、野外活動、体力向上等）	3	23	0	26
	担任の充実（人数・経験・資質・子どもへの配慮）、先生への教育をしてほしい	3	15	1	19
	校区にとられない学校選択制度の導入	8	3	0	11
	PTA活動、学校行事参加の負担軽減	2	6	0	8
	設備の充実（遊具、運動場の拡張、校舎の耐震化、エアコンの設置、洋式トイレの設置、等）	2	5	0	7
	土曜日授業の復活	1	5	0	6
	登下校の安全のために集団登校・通学バス・ス	2	1	3	6

クールゾーンの導入				
校区割りの見直し（近所の子どもたちは同じ校区に、子どもが少ない校区の合併）	5	1	0	6
休日・放課後・長期休暇中に補習授業・習い事を実施してほしい	1	4	0	5
給食について（アレルギー等の対応）	3	1	0	4
警報時の対応改善（時間まで学校で待機）	3	1	0	4
いじめ対策	0	2	0	2
スクールカウンセラーによる児童へのカウンセリング	0	2	0	2
障がい児をすべての学校で受け入れてほしい	2	0	0	2
学級崩壊への対応、予防対策	0	2	0	2
保護者と先生の対話の機会を増やしてほしい	0	1	0	1

### ■ 7. 中学校について

中学校については、公立学校のレベルアップ・教育内容の充実と見直しを求める意見が中高生に最も多くなっている。

項目	内容	就学前	小学生	中高生	合計
<b>7. 中学校について</b>		6	5	20	31
	公立学校のレベルアップ・教育内容の充実と見直し（体力向上等）	0	0	6	6
	担任の充実（人数・経験・資質・子どもへの配慮）、先生への教育をしてほしい	0	1	4	5
	校区にとられない学校選択制度の導入	3	1	0	4
	登下校の安全のために集団登校・通学バス・スクールゾーンの導入	0	0	3	3
	学習環境の改善、公立中学が荒れているのが心配	1	0	1	2
	PTA 活動の負担軽減	1	1	0	2
	いじめ対策	0	0	2	2
	テストをしないでほしい、順位づけをやめてほしい	0	0	2	2
	軽度の障がい児を受け入れる学校を作してほしい	0	1	0	1
	保護者と先生の対話の機会を増やしてほしい	0	1	0	1
	設備の充実（洋式トイレの設置、等）	0	0	1	1
	校区割りの見直し（子どもが少ない校区の合併）	1	0	0	1
	留学生の受け入れ	0	0	1	1

## VI 自由意見のまとめ

### ■ 8. 高校について

高校については、軽度の障がい児を受け入れる学校をつくってほしいやすべての子どもが高校に進学するようになってほしいという意見となっている。

項目	内容	就学前	小学生	中高生	合計
8. 高校について		0	2	0	2
	軽度の障がい児を受け入れる学校を作してほしい	0	1	0	1
	すべての子どもが高校に進学するようになってほしい	0	1	0	1

### ■ 9. 子育て支援について

子育て支援事業について、一時的な預け先の充実を希望する意見が最も多く、次いで、病児・病後児保育事業を充実してほしいとなっている。

情報に関しては、子育て支援に関する情報を各家庭に周知してほしいという意見が最も多く、次いで、子育てに関する相談先の充実をしてほしいという意見になっている。

施設については、児童館、子育て支援センター、コミュニティセンターなどの増設をしてほしいという意見が最も多く、次いで、児童館、子育て支援センター、コミュニティセンターの充実・改善をしてほしいという意見になっている。

その他では、子育て支援の強化を望む意見が最も多く半数以上を占めている。次いで、児童手当の充実、各種サービス利用料の見直し、各種サービス無料利用券の配布をしてほしいという意見になっている。

項目	内容	就学前	小学生	中高生	合計
9. 子育て支援について		811	367	65	1,243
	9-①事業	101	35	0	136
	一時的な預け先の充実（夜間、休日、長期休暇中のみ、冠婚葬祭、警報、病気、出産、子どもの兄弟姉妹の行事、私用、リフレッシュ、就職活動、等のとき）	51	18	0	69
	病児・病後児保育事業の充実（施設の増設、定員の増加、利用時間の見直し（延長・休日）、利用料の見直し、送迎バス）	27	11	0	38
	子育て事業の各種サービスの利用に不安がある	7	0	0	7
	ファミリーサポートの充実（利用場所・利用料・利用時間の見直し）	3	2	0	5
	ベビーシッター、家事サポートの支援充実	4	0	0	4
	放課後子ども教室の充実（施設の増設、実施回数増加、内容の充実）	0	3	0	3
	不妊治療へのサポート充実	3	0	0	3
	ひろばの充実（高齢者ボランティアの採用、利用時間の見直し）	2	0	0	2

	子育てタクシーの充実（利用地域の拡大）	1	0	0	1
	近くで利用できる障がい児のデイサービスがない	0	1	0	1
	9-②情報	118	44	2	164
	子育て支援に関する情報を各家庭に周知してほしい（最新情報を定期的に、転入者は転入時に）	73	27	1	101
	子育てに関する相談先の充実（定期的な相談会、相談窓口の増設、相談担当者の増員、講演会の実施、親子への精神的ケア、24時間の電話相談）	30	15	1	46
	子育て支援事業に関するホームページの改善（らっこネットの充実、保育所の学年ごとの空き状況、写真付きで紹介、情報の最新化、等）	9	0	0	9
	子育て支援に関する申請手続きを簡略化・迅速化・休日受付可能にしてほしい	4	1	0	5
	支援給付や保険料免除の情報を周知してほしい	2	1	0	3
	9-③施設	83	25	16	124
	児童館、子育て支援センター、コミュニティセンター、図書館、動物園、水族館、博物館の増設	36	16	4	56
	児童館、子育て支援センター、コミュニティセンターの充実・改善（講座やイベントの充実、駐車場の設置、設備や遊具の充実と衛生管理強化、ベビーカー利用者への配慮、利用時間の見直し（夕方・休日）、利用料の見直し（無償化、値下げ）、職員の対応改善）	35	9	1	45
	子どもと一緒に気軽に利用できる施設の充実（遊び場所、食事できる所）	10	0	0	10
	勉強する場所を増やしてほしい（図書館、等）	0	0	6	6
	スポーツできる場所を増やしてほしい（体育館・テニスコート、等）	0	0	5	5
	託児所つきのカルチャースクールがほしい、託児所が図書館にほしい	2	0	0	2
	病院に託児所を作してほしい	2	0	0	2
	病院で病児保育をしてほしい	1	0	0	1
	9-④その他（全般）	509	263	47	819
	子育て支援の強化	303	143	26	472
	児童手当の充実、各種サービス利用料の見直し（無償化、値下げ）、各種サービス無料利用券の配布	45	29	1	75
	多子家庭、双子家庭への支援充実	27	14	0	41
	子ども・親・お年寄り・地域の人たちとの交流	21	5	10	36

VI 自由意見のまとめ

	の場をつくってほしい				
	経済的な不安がある	23	13	0	36
	イベントを利用しやすく（回数を増やす、休日や長期休暇中にも実施する、開催日を周知する）、イベント内容の充実、内容をアンケートで決めてほしい	15	8	2	25
	より良い支援・助成があればもっと子どもを産みたい	15	8	0	23
	障がい児への支援充実（社会の理解度向上、経済的支援、教育支援、育児相談支援、送迎支援、障がい者用施設・設備の充実、園・医師・保護者・役所の連携改善）	11	12	0	23
	母子家庭、父子家庭への支援充実	12	5	1	18
	教育費用の支援（小中高）	5	7	0	12
	塾・習い事の補助金がほしい、習い事をボランティアで教えてほしい	2	9	0	11
	ベビー用品のレンタル化（チャイルドシート、ベビーベッド、バウンサー、3人乗り自転車）	5	1	4	10
	助成を公平にしてほしい（子どものうまれ月（4月と3月）で1年近く差がある、所得制限の見直し、低所得者への手厚い助成、等）	6	3	0	9
	母親が働かず子育てに専念できる環境にしてほしい	6	1	0	7
	少子化対策の実施	2	1	1	4
	アレルギーがある子どもへの配慮をしてほしい	4	0	0	4
	子ども手当を世帯主でない親（母親）の口座にも振り込めるようにしてほしい	3	1	0	4
	児童虐待の防止対策	1	0	1	2
	教育格差が広がらないようにしてほしい	1	2	0	3
	ベビー用品の支給や助成金（オムツ、ミルク、チャイルドシート）	2	0	0	2
	ボランティアができる場がほしい	0	0	1	1
	助成の不正受給、サービスの不正利用の是正	0	1	0	1

## ■ 10. 遊び環境・公共施設等について

遊び環境・公共施設等について、公園・ボール遊びができる広場の増設をしてほしいという意見が最も多く、次いで、歩道・地下道・通学路の整備をしてほしいという意見となっている。

項目	内容	就学前	小学生	中高生	合計
<b>10. 遊び環境・公共施設等について</b>		285	158	108	551
	公園・ボール遊びできる広場の増設	123	91	49	263
	歩道・地下道・通学路の整備（ガードレール、カーブミラー、外灯、信号、歩道橋、横断歩道）	38	29	41	108
	公園の改善（遊具の増設、衛生管理強化（犬のふん、タバコ、ゴミ、トイレを清潔に）、治安強化、駐車場の設置・拡大、子ども用トイレの設置）	41	8	2	51
	子どもが安心して遊べる場所がほしい	26	17	4	47
	天候（雨、暑い日、寒い日）に関係なく安心して遊べる施設がほしい	22	4	1	27
	公共交通機関の充実（電車、バス）、料金の値下げ	11	5	4	20
	公共施設、商業施設の改善（ベビーカー（2人用含む）利用者への配慮、駐車場、オムツ替え台、子ども用カート（2人用含む）、子ども用トイレ、キッズスペース）	15	2	1	18
	ベビーカー（2人用含む）で行動しやすい環境づくり	9	2	0	11
	遊園地を作ってほしい、商業施設を増やしてほしい	0	0	5	5
	学割を増やしてほしい	0	0	1	1

## ■ 11. 仕事との両立支援について

仕事との両立支援については、母親が育児をしながら働きやすい環境にしてほしいという意見が最も多く、企業への子育て支援の啓発運動、企業による子育て世帯への取組充実を希望する意見となっている。

項目	内容	就学前	小学生	中高生	合計
<b>11. 仕事との両立支援について</b>		99	49	3	151
	母親が育児しながら働きやすい環境にしてほしい	32	26	1	59
	企業への子育て支援の啓発活動、企業による子育て世帯への取り組み充実	26	6	1	33
	育児休暇制度の改善（利用しやすく、期間を長く、長期休暇後の復帰が不安）	16	0	1	17
	親が子どもと過ごせる時間が増えるようにして	3	13	0	16

## VI 自由意見のまとめ

ほしい				
母親の復職支援・就職支援の充実	10	3	0	13
短時間勤務制度について（利用しやすく、期間を長く）	10	0	0	10
公務員だけが育休制度を利用して、民間企業が利用できないのを改善してほしい	2	1	0	3

### ■ 12. まちづくり等について

まちづくり等については、市民のマナー向上を求める意見が最も多く、次いで、子どもが安心して成長できるまちづくり、地域の人の見守りがあるまちづくりを求める意見となっている。

項目	内容	就学前	小学生	中高生	合計
<b>12. まちづくり等について</b>		60	32	66	158
	市民のマナー向上（子育て世帯への理解、交通マナー、運転マナー、夜間のバイクの騒音、喫煙マナー、たばこ・ゴミのポイ捨て、地域に迷惑な人がいる）	20	13	31	64
	子どもが安心して成長できるまちづくり、地域の人の見守りがあるまちづくり	10	3	26	39
	校区・地域によって差がある支援の見直し	26	11	0	37
	交番を増やす、警察のパトロールを強化してほしい	0	1	3	4
	車がないと移動が不便	2	1	1	4
	防災教育、防災訓練、防犯教育を地域でしてほしい	1	1	0	2
	地域の活動（子ども会等）が負担になるのでやめさせてほしい	1	1	0	2
	同じ学校の子どもは同じ子ども会に入れるようにしてほしい	0	1	1	2
	公衆電話を増やしてほしい	0	0	1	1
	大学を増やしてほしい	0	0	1	1
	うどん屋を増やしてほしい、閉店時間を遅くしてほしい	0	0	1	1
	自然を維持してほしい	0	0	1	1

## ■ 13. その他

その他の意見は以下のとおり。

項目	内容	就学前	小学生	中高生	合計
<b>13. その他</b>		60	26	13	99
	アンケートが分かりにくい、長い、返信用封筒が小さすぎる	19	2	0	21
	現状で満足している、充分である	8	6	7	21
	税金が高い、税金の使い方が適切でない・無駄が多い、社会保険料が高い	12	6	1	19
	職員の対応が悪い（傲慢・事務的・無気力な態度、職員が座ったまま何もしていない、たらいまわしにされる）	10	5	0	15
	アンケートは本当にランダムなのか（何度も回答している、兄弟分が同時に届く）	6	0	0	6
	アンケートではなく、直接要望を聞く機会を作ってほしい	3	0	0	3
	アンケートに何度も回答しているが何も改善していない、回答しても何も改善されとは思わない	1	2	0	3
	市は子どもより高齢者へのサービス・配慮に力を入れていると思う	1	2	0	3
	その他	0	1	2	3
	高松市では住みたくない	0	0	1	1
	子どもを甘やかさない、厳しくしてほしい	0	0	1	1
	放射能汚染（食品、運動場）が心配	0	1	0	1
	地域の体育協会の会長が保護者に傲慢な振る舞いをする	0	1	0	1
	今後は少子化が進むので、高齢者のことだけ考えればよい	0	0	1	1